アクサ生命

健康経営優良法人2022 インタビュー

Voice Report



Voice Report 1200号記念号発刊によせて



新型コロナウイルス感染症のパンデミックは世界中の人々の働き方に影響を与え、また健康観を根底から変えました。多様な労働環境も導入され、企業は従業員の生きがいややりがい、生活全般を含めた幸福度の向上も視野に入れた改革を一層求められるようになりました。また、この間、少子化、未婚化、人口の地域偏在が加速し、コミュニティの維持だけではなく、国家の維持にも大きなリスクをもたらすようになっています。このような社会情勢の中で、生涯にわたって現役であり続け、またジェンダー、発達に課題を抱える人々、国籍の違いなどを包摂しながら、社会を維持、発展させていく仕組みづくりが必要とされています。多様性（ダイバーシティ）を受け入れ、持続可能な開発目標（SDGs）の理念にも挙げられている社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）を達成していくためには、お互いの理解を促し、受け入れ、工夫していく力の醸成が必要となってきます。

現在、「健康の社会的決定要因」への対策の重要性が指摘されています。健康に決定的に影響を与えてしまう、地域や家族の経済的社会的要因、地理的要因、生活環境、労働環境などです。これまで、私は糖尿病など生活習慣病等の重症化予防事業に取組んできましたが、生活習慣の改善には地域や職域における健康管理や家庭生活などの環境改善が極めて重要であることを痛感しています。そして、一人ひとりが自分のものとして身に付けている、広く健康に関する知識（ヘルスリテラシー）も健康の維持に決定的な影響を与えることがわかりました。従業員全体のヘルスリテラシーが高いと、高齢の従業員が多くても、健診もうまく活用しながら、早期発見・早期対処ができています。

アクサ生命さまとは数年にわたり、共同研究で健康経営支援プログラムを作成するなど、健康経営に関するお手伝いをさせていただいています。『健康経営 アクサ式』は、人的経済的資源が限られる中小企業の健康経営を支える、まさに『働くすべての方とそのご家族に人生100年時代を健やかで幸せに生き抜いていただく』『会社の永続的発展を実現する』ことを目的とした包括的な取組みであると考えております。今回のVoice Reportにも、地域や業種、従業員の構成などの特性に応じた健康経営の素晴らしい実践例が掲載されており、参考になります。2015年にオール・ジャパンで日本健康会議が発足し、「健康なまち・職場づくり宣言」が提唱されてから約8年、大きな前進がみられていることに深い感慨を覚えます。

こうした取組みに関われることは非常に光栄であり、みなさまが今後ますます発展されることを祈念しております。

広島大学大学院医系科学研究科 成人看護開発学 教授
日本健康会議実行委員
森山 美知子

カリフォルニア州立大学フレズノ校看護学部大学院（看護学修士、老人看護専門看護師コース）。博士（医学）。京都第一赤十字病院、日本赤十字社医療センターなどで看護師として勤務。厚生労働省看護専門官などを経て、2002年より現職。全国の医療保険者等に疾病管理プログラムを提供する(株)DPPヘルスパートナーズ（元取締役会長）。日本学術会議連携会員他。



この度、Voice Report1200号を刊行することができました。全国の企業経営者の皆様に様々な知見をご披露いただいた賜物であり、厚く御礼申しあげます。

企業経営者の皆様にとって健康経営を実践する目的は、社会に対して価値提供し続け企業の永続的な発展を実現することであるといえます。

そして、企業の発展を支える従業員の皆様は、企業においてかけがえのない存在であり、企業における価値創造を支える極めて大切な資本であるといえます。

一方で、企業を支える従業員の皆様が、価値を創造し続けるには、健康は必要な要素ですが、それだけでは十分ではありません。健康に加えて、自らの仕事の社会的な意味や意義を理解し、働きがいのある仕事をし続けたいと願うこと、そして、人生100年時代を前向きに捉え充実した人生を自らが創り上げる信念をお一人おひとりが持つこと、が重要です。

こうした健康観、仕事観、人生観という視点は、Well-beingの実現に密接に結びついています。従業員のWell-beingを企業が支えることで、日常的に幸福な社員が集い、価値を創造し、企業が発展していくのだと考えています。ご披露いただいた事例では、こうした好循環を企業経営者の皆様が自然と実践されていらっしゃることに敬服いたします。

政府は、企業価値の大半が人的資本を含む無形資産から生じていることに鑑みて、本年中には、財務諸表に載らない人的資本に対する投資状況について企業に積極的に開示を求めることとなりました。そして、健康経営はこの方向性に沿って進化しています。

アクサ生命は、「人生の目的やビジョンに基づいて人生の計画を立て、主体的に自分の人生を経営していくこと」を『ライフマネジメント®』と名付けました。そして、健康経営の実践支援においても、一人でも多くの皆様にこの取り組みを進めていただくことをサポートし、より高いレベルで健康経営実践の目的を実現いただくことを目指しています。

地政学的な状況や経済状況の急速な変化に直面する今、私たちは目の前の不安に集中しがちです。しかし、どのような未来を創り上げたいのか、そのために何をすべきか、そうした未来をデザインする力こそが、不安を乗り越え、活き活きと働き価値を創造し続け、明るい未来や人生そして明るい社会を切り拓く原動力となると確信しています。

Voice Reportにご協力いただいた企業様の益々のご発展を心より祈念申しあげますとともに、私どもも微力ではございますが、働く皆様とそのご家族のWell-beingの実現、企業様の持続的な発展、その結果としての社会の持続可能性向上に向けて、日々努力を積み重ねてまいります。

アクサ生命保険株式会社
代表取締役副社長兼チーフディストリビューションオフィサー
幸本 智彦

CONTENTS

ホワイト500 P.

1009	東急株式会社	東京都	首都圏第六FA支社	10

大規模法人 P.

1010	社会福祉法人とおの松寿会	岩手県	大船渡営業所	11
1011	三井ミーハナイト・メタル株式会社	愛知県	岡崎営業所	12
1012	社会福祉法人ひまわり	兵庫県	神戸FA支社	13

ブライト500 P.

1013	北王コンサルタント株式会社	北海道	帯広営業所	16
1014	株式会社コー・ワークス	宮城県	仙台営業所	17
1015	日興テクノス株式会社	神奈川県	横須賀営業所	18
1016	小森株式会社	愛知県	豊橋営業所	19
1017	艶栄工業株式会社	愛知県	豊橋営業所	20
1018	山八商事株式会社	愛知県	豊橋営業所	21
1019	株式会社オノコム	愛知県	豊橋営業所	22
1020	アジアクリエイト株式会社	愛知県	豊橋営業所	23
1021	日本介護サービス株式会社	愛知県	豊田営業所	24
1022	フィトンチッドジャパン株式会社	京都府	近畿第二FA支社	25
1023	宇治第一交通株式会社	京都府	京都営業所	26
1024	株式会社サンワ	大阪府	大阪東営業所	27
1025	株式会社八代塗装	大阪府	大阪東営業所	28
1026	アサヒ物産株式会社	兵庫県	神戸第二FA支社	29
1027	株式会社アイネットファクトリー	兵庫県	神戸営業所	30
1028	有限会社舞子運送	兵庫県	神戸営業所	31
1029	株式会社今井商店	兵庫県	神戸営業所	32
1030	株式会社フクネツ	福岡県	福岡中央FA支社	33

中小規模法人

東北・北海道 P.

1031	株式会社HYK	北海道	札幌FA支社	36
1032	株式会社システムウォール製作所	北海道	札幌営業所	37
1033	株式会社西尾青果	北海道	苫小牧営業所	38
1034	東海建設株式会社	北海道	苫小牧営業所	39
1035	苫小牧港開発株式会社	北海道	苫小牧営業所	40
1036	道央建鉄株式会社	北海道	旭川営業所	41
1037	株式会社ネクサス	北海道	帯広営業所	42
1038	株式会社オリテック21	岩手県	盛岡営業所	43
1039	花住ホーム株式会社	岩手県	花巻営業所	44
1040	株式会社中央コーポレーション	岩手県	花巻営業所	45
1041	株式会社小澤商店	岩手県	大船渡営業所	46
1042	株式会社本間青果	宮城県	仙台営業所	47
1043	株式会社TOHO	宮城県	仙台営業所	48
1044	隼電気株式会社	宮城県	仙台営業所	49
1045	株式会社友善商事	宮城県	石巻営業所	50
1046	有限会社武山商運	宮城県	石巻営業所	51
1047	三和工業株式会社	宮城県	石巻営業所	52
1048	株式会社タカハシ電工	山形県	山形営業所	53
1049	株式会社多田	山形県	天童営業所	54
1050	リーフエステート株式会社	福島県	いわき中央営業所	55
1051	株式会社いわき印刷企画センター	福島県	いわき中央営業所	56
1052	いわき電気工業株式会社	福島県	いわき中央営業所	57
1053	株式会社稲村屋	福島県	いわき中央営業所	58
1054	株式会社三森電機	福島県	白河営業所	59
1055	八溝マテリアル株式会社/八溝運輸商事株式会社	福島県	白河営業所	60
1056	株式会社藤建技術設計センター	福島県	白河営業所	61
1057	大竹運送株式会社	福島県	白河営業所	62
1058	福島県南土建工業株式会社	福島県	白河営業所	63

関東 P.

1059	五光物流株式会社	茨城県	茨城西営業所	64
1060	株式会社ヤオハン	栃木県	佐野営業所	65
1061	株式会社ダスキンプロダクト東関東	埼玉県	首都圏第四FA支社	66
1062	大総プロミシング株式会社	埼玉県	川口営業所	67
1063	株式会社柏南自動車教習所	千葉県	松戸営業所	68
1064	ヤグチ物流株式会社	千葉県	松戸営業所	69
1065	有限会社房州リサイクル	千葉県	木更津営業所	70
1066	藤建株式会社	千葉県	船橋営業所	71
1067	コメット工業株式会社	千葉県	船橋営業所	72
1068	株式会社常磐植物化学研究所	千葉県	成田営業所	73
1069	通信機器産業健康保険組合	東京都	首都圏第四FA支社	74
1070	一般社団法人日本エステティック業協会	東京都	首都圏第四FA支社	75
1071	株式会社ステラリンク	東京都	首都圏第四FA支社	76
1072	栗山造園株式会社	東京都	首都圏第五FA支社	77
1073	株式会社カンポ広場	東京都	首都圏第六FA支社	78
1074	株式会社ムジャキフーズ	東京都	首都圏第六FA支社	79
1075	古久根建設株式会社	東京都	首都圏第六FA支社	80
1076	BSP社会保険労務士法人	東京都	首都圏第七FA支社	81
1077	株式会社大昌運輸	東京都	丸の内営業所	82
1078	有限会社アグリゲイトガーデン	東京都	町田営業所	83
1079	箱根観光船株式会社	神奈川県	横浜FA支社	84
1080	株式会社リカバリータイムズ	神奈川県	横浜第二FA支社	85
1081	株式会社栄港建設	神奈川県	横浜営業所	86
1082	横浜建設株式会社	神奈川県	横浜営業所	87
1083	テイト・エンタープライズ株式会社	神奈川県	横浜営業所	88
1084	株式会社東邦通信システムズ	神奈川県	相模原営業所	89
1085	TOWAレーザーフロント株式会社	神奈川県	相模原営業所	90
1086	株式会社アルプス	山梨県	甲府営業所	91
1087	株式会社シップス	山梨県	甲府営業所	92
1088	オオタ総合食品株式会社	山梨県	甲府営業所	93
1089	株式会社ピアリング	山梨県	甲府営業所	94
1090	株式会社キムラ	山梨県	甲府営業所	95
1091	藤精機株式会社	山梨県	甲府営業所	96
1092	株式会社昭栄精機	山梨県	山梨北営業所	97
1093	有限会社ハッスイトランスポート	静岡県	藤枝営業所	98

北信越 P.

1094	株式会社アイシン	新潟県	上越営業所	99
1095	株式会社SIC桑原	新潟県	上越営業所	100
1096	秀和建設株式会社	新潟県	長岡営業所	101
1097	株式会社太陽スポーツ	富山県	富山営業支社	102
1098	株式会社山添シート内装	長野県	松本営業所	103
1099	株式会社ナガキュウ	長野県	松本営業所	104
1100	株式会社西軽精機	長野県	佐久営業所	105
1101	オリオン有限会社	長野県	佐久営業所	106
1102	有限会社トモエ自動車商会	長野県	伊那営業所	107
1103	伊那燃料株式会社	長野県	伊那営業所	108

関西・東海 P.

1104	共栄化成株式会社	岐阜県	東海中央FA支社	109
1105	有限会社田上製作所	岐阜県	東海中央FA支社	110
1106	有限会社カムライフノジリ	岐阜県	岐阜営業所	111

健康経営優良法人2022 インタビュー

Voice Report



1107	横山塗装株式会社	岐阜県	西濃営業所	112
1108	株式会社植倉造園	岐阜県	西濃営業所	113
1109	丸文工業株式会社	岐阜県	西濃営業所	114
1110	社会保険労務士法人絆	愛知県	東海中央FA支社	115
1111	弁護士法人アーヴェル	愛知県	東海中央FA支社	116
1112	株式会社康臨丸	愛知県	東海中央FA支社	117
1113	社会保険労務士法人An-field	愛知県	東海中央FA支社	118
1114	しんくみ東海北陸健康保険組合	愛知県	東海中央FA支社	119
1115	株式会社ハンズコーポレーション	愛知県	中京中央FA支社	120
1116	有限会社サトー化成	愛知県	名古屋営業所	121
1117	株式会社ハートエレクトロニクス	愛知県	知多営業所	122
1118	鈴秀工業株式会社	愛知県	知多営業所	123
1119	ミロク工業株式会社	愛知県	知多営業所	124
1120	旭運輸株式会社	愛知県	知多営業所	125
1121	株式会社駒来商事	愛知県	小牧営業所	126
1122	白濱建設株式会社	愛知県	岡崎営業所	127
1123	岡大物流株式会社	愛知県	岡崎営業所	128
1124	株式会社ホンダカーズ蒲郡	愛知県	豊橋営業所	129
1125	株式会社ヤマサン	愛知県	豊橋営業所	130
1126	株式会社玉井設計・玉井建設株式会社	愛知県	安城営業所	131
1127	株式会社鈴木室内装飾	愛知県	豊田営業所	132
1128	豊田プレス工業株式会社	愛知県	豊田営業所	133
1129	株式会社中田商事	三重県	津営業所	134
1130	有限会社太田コンクリート	三重県	鈴鹿営業所	135
1131	株式会社安土産業	滋賀県	彦根営業所	136
1132	日光精器株式会社	滋賀県	彦根営業所	137
1133	大橋電設株式会社	滋賀県	彦根営業所	138
1134	京都宝製菓株式会社	京都府	京都営業所	139
1135	八光第一交通株式会社	京都府	京都営業所	140
1136	株式会社藤大(FUJIHARU)	京都府	京都営業所	141
1137	山城繊維工業株式会社	京都府	京都営業所	142
1138	イーパフォーマンス株式会社	大阪府	大阪FA支社	143
1139	株式会社ロード	大阪府	大阪FA支社	144
1140	株式会社熱研	大阪府	近畿FA支社	145
1141	社会保険労務士法人Voice	大阪府	近畿FA支社	146
1142	株式会社OSU Health Support Academy	大阪府	近畿FA支社	147
1143	金剛ダイス工業株式会社	大阪府	近畿FA支社	148
1144	あまゆり株式会社	大阪府	近畿第二FA支社	149
1145	京阪建物株式会社	大阪府	近畿第二FA支社	150
1146	株式会社ビーエムセンター	大阪府	大阪営業所	151
1147	株式会社関西トランスポート	大阪府	大阪営業所	152
1148	有限会社野口商事	大阪府	大阪営業所	153
1149	渡辺泰株式会社	大阪府	大阪営業所	154
1150	有限会社Kauri	大阪府	大阪営業所	155
1151	株式会社山崎木工所	大阪府	大阪営業所	156
1152	日本コムシンク株式会社	大阪府	大阪営業所	157
1153	株式会社JRC	大阪府	大阪営業所	158
1154	大和建工材株式会社	大阪府	大阪営業所	159
1155	テックマート株式会社	大阪府	大阪営業所	160
1156	ラ・クォール本町クリニック	大阪府	大阪営業所	161
1157	株式会社アジャイルウェア	大阪府	大阪営業所	162
1158	株式会社キリン・エンジニアリング・サービス	大阪府	大阪営業所	163
1159	株式会社セブンスターバレット	大阪府	大阪営業所	164
1160	小川工業株式会社	大阪府	大阪営業所	165
1161	株式会社新栄ビルサービス	兵庫県	大阪営業所	166
1162	サンライズ鉄工株式会社	大阪府	大阪東営業所	167
1163	株式会社竹屋化学研究所	大阪府	大阪東営業所	168
1164	近畿工業株式会社	大阪府	大阪東営業所	169
1165	株式会社SKB	大阪府	大阪東営業所	170
1166	株式会社時風プレイス	大阪府	大阪南営業所	171
1167	株式会社共栄社	大阪府	大阪南営業所	172
1168	株式会社三幸舎ランドリーセンター	大阪府	大阪南営業所	173
1169	株式会社和泉セレモニーセンター	大阪府	大阪南営業所	174
1170	大日整工株式会社	大阪府	大阪南営業所	175
1171	泉鋼管工事株式会社	大阪府	大阪南営業所	176
1172	山陽製紙株式会社	大阪府	大阪南営業所	177
1173	泉谷電気工事株式会社	大阪府	大阪南営業所	178
1174	株式会社田島運輸／ひかり物流株式会社	大阪府	大阪南営業所	179
1175	株式会社内藤工機	大阪府	大阪南営業所	180
1176	角野晒染株式会社	大阪府	大阪南営業所	181
1177	株式会社エフ・ラボ	大阪府	阪神営業所	182
1178	株式会社ASTCIA	兵庫県	神戸営業所	183
1179	株式会社関西広告社	兵庫県	神戸営業所	184
1180	新明和商事株式会社	兵庫県	阪神営業所	185
1181	尼崎ホテル開発株式会社／ホテルヴィスキオ	兵庫県	阪神営業所	186
1182	倉本運送株式会社	兵庫県	阪神営業所	187
1183	旭建設株式会社	兵庫県	阪神営業所	188
1184	株式会社大下水道設備商会	兵庫県	姫路営業所	189
1185	株式会社河岸製作所	兵庫県	姫路営業所	190
1186	美樹工業株式会社	兵庫県	姫路営業所	191
1187	株式会社まつよし	兵庫県	東播営業所	192
1188	有限会社藤久鐵工	兵庫県	東播営業所	193
1189	神戸合成株式会社	兵庫県	東播営業所	194

中国・四国 P.

1190	ササベ印刷株式会社	岡山県	倉敷営業所	195
1191	株式会社カープランニング広島	広島県	福山営業所	196
1192	株式会社フィッツ	広島県	福山営業所	197
1193	協和建設工業株式会社	山口県	山口営業所	198
1194	有限会社元気ジャパン	山口県	山口営業所	199
1195	豊田鋼機株式会社	山口県	山口営業所	200
1196	株式会社遠山	山口県	下関営業所	201

九州・沖縄 P.

1197	株式会社ソアー	福岡県	福岡中央FA支社	202
1198	株式会社機動開発	福岡県	福岡中央FA支社	203
1199	株式会社中村工務店	長崎県	諫早営業所	204
1200	株式会社菊川鉄工	鹿児島県	鹿児島営業所	205
1201	今別府産業株式会社	鹿児島県	鹿児島営業所	206
1202	株式会社ユタカ産業	鹿児島県	川薩営業所	207
1203	小城製粉株式会社	鹿児島県	川薩営業所	208
1204	株式会社池田コンサルタント	鹿児島県	鹿屋営業所	209
1205	株式会社正栄物流	鹿児島県	鹿屋営業所	210
1206	森山事務機販売株式会社	鹿児島県	鹿屋営業所	211
1207	株式会社宇都電設	鹿児島県	鹿屋営業所	212
1208	有限会社浅海技術	沖縄県	那覇営業所	213

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。
※「ライフマネジメント®」は、アクサ生命保険株式会社の登録商標です。





健康経営優良法人2022 インタビュー
Voice Report
120th
The Interview

東急株式会社



代表取締役社長
髙橋和夫 氏

人の成功と失敗のわかれ目は第一に健康である

- 代表取締役社長　髙橋和夫 氏
- 本 社 所 在 地　東京都渋谷区桜丘町
- 主な事業内容　不動産賃貸業、不動産販売業、その他
- 従 業 員 数　1,461名
- 加 入 健 保 名　東京西南私鉄健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
ホワイト 500
健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

当社創業者である五島慶太翁は、『人の成功と失敗のわかれ目は第一に健康である。次には、熱と誠である。体力があって、熱と誠があるならば、必ず成功する。』※と残しております。健康が不可欠という考えは、当社の価値観として創業当初より脈々と受け継がれてきました。

100年続く健康投資の土壌

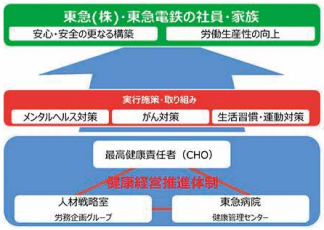
創業者の言葉もあり、もともと健康意識が高い企業ではありました。創立30周年の記念事業の一環で昭和28年には東急病院を設立し、地域医療に貢献しつつ従業員の健康管理に取り組んできました。特に鉄道、バス事業では従業員の健康がお客さまの安全安心に直結します。また、運転士などの職種は養成までに時間もお金もかかり、簡単に替えが効く仕事ではありません。長く、健康な状態で定年まで働き続けてもらうことは求められていました。
このような背景から、従業員ファーストで健康を考えていきましょうという土壌は昔からありました。

健康経営のスタート

2016年に健康経営優良法人の認定が始まってからは、早急に最高健康責任者(CHO)の設置と、健康宣言を行いました。また、同時期に始まったダイバーシティーの取り組みと合わせて、ライフスタイルとワークスタイルのイノベーションをしましょうと社内にも打ち出すことができました。
働く人や働き方の多様性が増す中で、一人一人が健康でいることが高いパフォーマンスを発揮する要因であると改めて感じています。

健康宣言　(2016年2月1日制定)

- 「安全」と「安心」は交通事業をはじめとする当社事業の根幹であり、お客さまが当社にお寄せくださる「信頼」の源泉です。その根幹を担う従業員およびその家族の健康は「信頼」を担保する柱であり、最優先で取り組む事項と位置付けます。
- 東急線沿線に住まう方の生活環境を創造することは当社の存在意義です。「健康増進」を付加価値として提供することで、お客さまの生活環境を充実させていきます。
- 人々の「健康増進」を事業として継続していくことで、東急線沿線をご利用するお客さまのみならず、社会への貢献として地域活力を維持・発展させていくことを目指します。





認定により従業員の意識も向上

それまでの取り組みの延長線上にあったので、健康経営優良法人認定のために特別なことは行いませんでした。むしろ認定後に「従業員に対しての健康意識が高い企業として優良銘柄にも選んで頂いた会社である」とCHOから発信いただくことで、従業員の中で健康に対しての意識は一層高まっていきました。
健康診断で再検査になった従業員に対しては、東急病院との連携や保健師の訪問でフォローをしやすい環境も整えることができました。

「こころ・からだ・くらしの健康」を守る

健康経営の効果測定として、生産性という概念はインフラ事業にとって見えにくいものです。インフラ事業においてはアブセンティーズムについて、それ以外での部署ではプレゼンティズムに注視しています。特にワークエンゲージメントにおいては定期的なサーベイや、人事異動に伴うメンタルヘルスチェックを実施して保健師、産業医を絡めたサポート体制を敷いています。
従業員の「こころ・からだ・くらしの健康」を守っていくのが企業としての使命です。企業病院を抱え、医学的なアプローチに強みを持つ反面、未病やプレゼンティーズムへの対応が今後取り組むポイントです。

東急グループ全体での健康経営 ウェルビーイングに繋げていく

健康投資への経営的リターンの定量的評価も課題になりつつあります。エンゲージメントや従業員の健康状態の数値化、可視化をしていく事で経営陣、投資家に共有していくことが重要です。
また、グループ内で健康経営の裾野を広めていきたいと考えています。各社が取り組みに参画できるような風土作りと、裾野を広げてレベルアップしていける様な取り組みをする為に年一回のアワードを開催しています。
その先に「この会社で働くことに喜びを感じてもらうとともに、幸せなことで人生が豊かになる」ウェルビーイングに繋がっていくと確信しています。

1010

岩手県
大船渡営業所

Voice Report 120th

社会福祉法人とおの松寿会



理事長
松田　功 氏

地域と共に自らも永続発展していくために

■理　　事　　長　松田　功 氏
■本 社 所 在 地　岩手県遠野市松崎町白岩18-7
■主な事業内容　医療・福祉
■従　業　員　数　166名(男性:43名・女性:123名)

健康経営優良法人 2022認定
大規模
健康経営優良法人
2022 認定

地域社会の一員として貢献し、信頼され、高齢者が安全で快適な生活が送れることが我々の事業目的です。そのためには、職員が健康であることが必要です。利用者の満足度が高く、快適に過ごすことができるサービスを提供し続けるために、健康経営にしっかりと取り組み、職員が健康で、幸せな人生を過ごすことができるよう努めてまいります。

職員の健康を最優先に考え、以前より積極的な健康活動に取り組んでいます。

高齢化と少子化が急速に進んでいる現状において、社会福祉法人を取り巻く環境は厳しく、特に働き手となる介護職員の確保が一層深刻な状況です。ここ、岩手県遠野市においては、国をはるかに上回る高齢化の進行、人口減少と厳しい状況を抱えています。採用が厳しい環境が続く中、介護職員の体調管理は、当法人において最優先事項であることから、以前より積極的に健康活動に取り組んでおり、健康経営アドバイザーからの薦めもあり、健康経営優良法人認定の取得を目指すことを決意しました。

介護の仕事は腰痛が課題、腰痛予防に力を入れて取り組んでいます。

介護の仕事と腰痛は切っても切れない関係であり、最も大きな課題です。当法人では全職員に腰痛ベルトを支給し、始業前の体操と1日に2度のラジオ体操を行っている他、月に数回、コロナ前であればヨガの先生を招いてのヨガ教室、現在は職員主催でのエクササイズ教室を実施し、腰痛予防に力を入れて取り組んでいます。



(上)エクササイズ教室の様子
(下)当法人で取得した認定の一例

楽しく運動不足を解消するため、遠野市の健康ポイント事業に参加しています。

遠野市の健康ポイント事業に参加し、職員の多くが活動量計を持って仕事に臨んでいます。活動量計を通じて確認できる歩数や体重や筋肉量の数値により、自分の身体の状態に対する意識が高まったのを感じます。また、「今日は何歩歩いた？」等の職員間でのコミュニケーションツールとしての役割も果たしており、日々楽しく健康活動に取り組むことができています。

メンタルヘルス対策として、法人専用メンタルヘルス相談窓口を設置しています。

法人独自でメンタルヘルスの先生と契約を結び、法人職員専用のメンタルヘルス相談窓口を設置しています。法人から先生に携帯電話をお渡しし、法人を介さず職員が直接相談ができるような体制をとっており、メンタル面での相談しやすい環境の構築と働く上での心の安心に繋がっています。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい。

地域の高齢者が安全で快適な生活が送れることが実現できることが当法人の事業目的です。地域とともに自らも永続発展していくことです。地域の高齢者をしっかりと支えるためには、われわれ職員が健康であることが必要です。当法人では職員の働きやすい環境づくりの一環として、さまざまな認定を取得しております。これからも健康増進施策を取り入れて、体調を整え、ワークライフバランスを推進し、職員の成長を図りながら安心して働き続けられる職場環境であり続けるために、そして、地域から愛される、そんな存在になるために、健康経営にしっかりと取り組んでまいります。

三井ミーハナイト・メタル株式会社



代表取締役社長
山口克己 氏

風通しのいい活気あふれる職場を築き、従業員全員が「総活躍」できることを目指して

- 代表取締役社長　山口克己 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県岡崎市岡町字上野川111
- 主な事業内容　鋳物の製造、加工、輸入および販売
- 従　業　員　数　315名(男性:281名・女性:34名)

健康経営優良法人 2022認定
大規模
健康経営優良法人
2022 認定

わたしたちは、「卓越した技術と信頼で、社会の未来に貢献する」という企業理念のもと、良い製品とサービスをお客様に提供する企業を目指しています。この理念を達成するには、コミュニケーションの活性化、風通しのいい活気あふれる職場風土を築くことが重要であり、心身の健康は、これらの活動の原動力となると考えています。そのために、従業員とその家族の健康保持・増進を積極的にサポートし、安全で快適かつ健康的で、全員がいきいきと働ける職場環境を目指し取り組んでいきます。

【健康経営】に取り組むきっかけ

当社の親会社である三井E&Sグループが2019年より「健康経営」に積極的に取り組んでいることから「健康経営」という言葉を知りました。
当社においても健康経営を導入し、従業員の健康を増進していくことで従業員がその能力を最大限に発揮することが出来ればモチベーションの向上や生産性の向上につながると考え、従業員一人一人が健康で、長く働き続ける環境を整えていきたいと思い、アクサ生命の担当者から具体的な推進方法の説明を受け、取り組みをスタートしました。

定期健診とその後のフォローはより丁寧に

定期健診後の再検査・精密検査については、より丁寧に受診勧奨をしております。対象者には、個別にメールや文書で受診を促し、受診していない従業員に対して所属長がフォローを継続して実践しております。
また、産業医や健康保険組合とも連携を図り、生活習慣や食事内容の見直し等、個別指導を行っております。





健診結果をいかした健康づくり(食事、運動)のセミナー実施



健康経営専用掲示板



食堂に「塩分表」を配布

従業員の意識の変化

健康経営を積極的に、そして継続して推進していけるように、「健康経営推進委員会」をたちあげ、毎月2回開催しております。
専用の掲示板を設置し定期的に情報発信することで、以前よりも食生活の改善や運動を始める社員が増えるなど、少しずつ健康に関する意識変化が見られるようになりました。
年2回「健康習慣アンケート」を実施し、従業員の健康状態や健康に関する意識を数値化することで、課題の改善状況を把握し、今後もより具体的な取り組みを推進していきます。

喫煙率の低下へ、禁煙タイムの見直し・禁煙外来の費用補助の活用

喫煙率の低下に向けた取り組みとして、喫煙による健康被害についての啓蒙活動と禁煙タイムを見直し、徐々に禁煙タイムを増やしていきました。
また、健康保険組合の支援として禁煙外来の費用を補助する制度があり、禁煙を後押ししています。



オンライン禁煙外来
プログラム

今後の展望について

現在、そしてこれからも従業員一人一人が「働きやすく、働きがいのある職場」であると感じるためには、心身ともに健康であることが大切であると考え、次世代に向けて、従業員の健康をいかにして守るかは会社の事業を継続するうえでとても重要に感じております。
健康経営は「継続して取り組む」ことが大切であると捉え、認定取得のための特別な取り組みではなく、今後も出来ることから実行に移していきたいと考えております。

1012

兵庫県
神戸FA支社

Voice Report 120th

社会福祉法人ひまわり



理事長
岩田優子 氏

地域にとって、なくてはならない存在でありたい。

- 理　　事　　長　岩田優子 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県朝来市
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　170名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 兵庫支部

健康経営優良法人 2022認定
大規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

「良質なサービスは職員の健康から」を運営方針に掲げ、お客様に喜ばれ信頼される良質なサービスは職員一人一人の健康が礎と考えております。「こころ」や「からだ」が元気な職員のいる施設は、利用者を元気にするだけでなく、利用者の家族にも安心して頂けます。ストレスのかかる職場であるからこそ、健康経営の取り組みでそれらを解消し、健康で長く働ける職場でありたいです。

過去の辛い経験から職員の健康を強く意識

介護現場の第一線で働く職員がガンで亡くなるという事を、過去に３人経験し、どうして早期に発見して治療する事ができなかったのか、とても悔やまれました。そのような職員を今後一切出さないようにしたい強い思いから、「健康経営」に取り組むようになりました。
健康診断は、もちろん職員全員受診していますが、健康診断の結果、再検査になった場合は、再検査に要した時間の費用を会社が負担し、必ず再検査に行ってもらいます。また、がん検診にかかる費用を補助する等、普段から健康を意識してもらえるように、家族を巻き込んで健康意識の周知をしています。

介護サービスのプロとして自己管理は必須

介護サービスの従事者は、利用者との接触時間が長く、耳元で会話したり、体調など把握しながら身の回りのお世話をします。
「こころ」や「からだ」に不調であると、利用者のちょっとした変化が分からず、それが事故につながったりします。
ましてや体の不調があると、利用者に病気をうつしてしまったり、クラスターが起こったり大変な事になります。
良い介護サービスを提供するには、「こころ」も「からだ」も元気でないとダメなんです。





日程を分けて「日帰り旅行」(写真下)に行っています。「出張手打ちうどん」(写真左)は今年で4年目。職員と利用者に茹でたてのうどんを振舞っていただきました。職員のコミュニケーションの向上や離職防止、リフレッシュの機会になっています。

良い人材を確保
からだ・こころ・社会的健康を促進

介護業界の人材不足は危機的状況であり、常に危機感を感じています。人材が不足すると、サービスの低下を招いてしまいますので、人材確保は重要です。最近では、ICTの活用や外国人特定技能実習生、技能実習生も雇い入れております。そして、長く安心して働いてもらうため、健康に関するセミナーの実施や、企業型確定拠出年金を導入し、福利厚生を充実しています。
職員の声をしっかり聞くため、アンケートも毎年実施しており、働きやすい職場環境を整備しております。

コミュニケーションやリフレッシュの機会を
会社が作ることにより仕事のやりとりが円滑化

施設が朝来市と豊岡市の２か所に分かれており、普段異なる施設の職員同士が接する機会が少ないので、「日帰り旅行」などの施設を跨いでイベントを実施しました。すると、仕事のやりとりがスムーズになりました。
また「出張手打ちうどん」は今年で４回目となり、職員と利用者に茹でたてのうどんを振舞っていただきました。
職員のコミュニケーションの向上や離職防止、リフレッシュの機会となり、利用者にも喜んでもらえる機会にもなりました。今後も続けていきます。

地域になくてはならない存在に

生き生きとした職員がいる施設は、利用者は安心して利用でき、利用者の家族は、安心して利用者を預けることができます。
そのために「お客様に喜ばれ信頼される良質なサービスは職員一人一人の健康が礎と考える」という運営方針を貫きます。
職員一人一人が仕事が楽しい、健康で充実した社会生活が送れるよう、これからも健康経営の取り組みを続けていき、地域になくてはならない存在になります。

健康経営優良法人
2022 認定
ブライト 500

健康経営優良法人2022 インタビュー
Voice Report
120th
The Interview

北王コンサルタント株式会社



社員とその家族が幸せに暮らせるように「健康経営」に取り組む

■本社所在地　帯広市西7条北1-11
■主な事業内容　建設コンサルタント業・測量業
（土木建築インフラの調査・計画・設計）
■従業員数　130名

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定
ブライト500

当社は、「イノベーション」と「ワークライフバランス」を強く意識し、半世紀以上にわたり蓄積してきた技術や知識を活用し、慣れ親しんだ手法を改良することで品質と生産性の向上を図り、よりよい技術サービスを提供します。社訓「和親協力」を心に刻み、社会のニーズに的確に対応し、地域から信頼される会社であるために、社員一同更なる研鑽に励みます。

社員が安心して働ける環境づくりの一つとして取り組んだ健康経営

当社は、社員が安心して働けること、安心して働ける環境を整備することを重要視しています。ノー残業デーの設定や、年次有給休暇の計画的な消化を促すなど、仕事とプライベートをともに充実させることを大切に考えており、社員が健康で働ける職場環境の整備と健康経営の取り組みを始めることにしました。

管理栄養士が発行する野菜通信で食事に関する意識づけとコミュニケーション

グループ会社の農業法人で収穫した野菜をセットにして全社員に提供し、「美味しい野菜を食べることができた」ととても好評です。管理栄養士の資格を持った担当者が旬の野菜の栄養情報やレシピをまとめた「野菜通信」を発行することで、社員の間で野菜や健康の話をする機会も増え、健康に関する相談が寄せられるなどコミュニケーションも図られるようになりました。また、仕事の合間に食べられるように「とうもろこしクッキー」等の野菜入りの手作りおやつを提供するなど、食と健康への意識向上のため様々な取り組みに挑戦しています。



社員に配布する野菜セット



社用自転車と駐輪場

定期健康診断の再検査受診率UP

「健康経営」、「働き方改革」を推進していく為には社員が健康であることが大切です。健康診断等の結果、再検査を要することもあります。現在は定期健康診断受診時と再検査受診のために特別休暇を付与しています。
また、健康診断受診結果を産業医からの視点でアドバイスをいただき従業員に対し再検査勧奨を行うなど、再検査受診率100％を目指して取り組んでいます。

運動不足解消とSDGs推進のため、社用自転車を購入し駐輪場を造りました。

コンサルタントは普段、社内でパソコンに向かって仕事をすることが多く、一日の歩行距離は微々たるものになります。また、短距離の移動でも自動車を使うため、外出時にも長距離を歩くことがほとんどありませんでした。そんな社員の運動不足を少しでも解消するため、社用自転車を購入し駐輪場を造りました。街中の移動は積極的に自転車を利用することで運動不足解消にもなりますし、車を使う頻度を減らすことにより、ＳＤＧｓの取り組みを推進しています。

今後の展望

会社が取り組んでいる「健康経営」を通じて社員自身も健康への関心が高まっております。
健康で生き生きと仕事が出来る環境が仕事の効率化や働き方改革につながるばかりでなく、高い技術と知識を持つ社員のスキルアップにつながると考えています。また、健康であることは充実した人生を過ごしていく上でも不可欠なことです。
今後更に情報を集めて健康経営の取り組みを推進していきます。

1014

宮城県
仙台営業所

株式会社コー・ワークス



代表取締役社長
淡路義和 氏

従業員が自身の健康の大切さを理解し 心身ともに充実して働ける会社を目指して

- 代表取締役社長　淡路義和 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市
- 主な事業内容　システム開発事業、地方創生事業
- 従　業　員　数　32名（男性：24名・女性：8名）

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

従業員数の増加を見越して始めた従業員の健康管理の取り組みが、今の健康経営につながっています。2019年から本格的に健康経営の取り組みをはじめ、従業員が心も身体も元気で働ける環境づくりを進めてきました。健康経営優良法人認定2020、2021を連続で取得し、取り組み三年目で、健康経営優良法人2022 ブライト500に選出されました。

従業員数が50名を超える前に労働法令上 求められる課題を満たす取り組みを始めました。

従業員数が徐々に増えるに伴い、健康課題を抱える従業員数も増加し、少しずつ従業員の健康管理について取り組みを始めていました。その取り組みの中で「従業員が50名以上になると求められる労働法令上の義務を満たす準備を今のうちから始めよう」と検討するようになりました。そんな時に健康経営を知りました。会社が考える“従業員が心身ともに満足して働ける職場作り”が、健康経営の基本方針に合致していたことから、2019年より本格的に健康経営の取り組みを始めました。

従業員の“メンタルヘルスサポート”に 注力した取り組みを行っています。

自社で開発した“ココケア“というアプリを用いて、従業員の業務面・メンタル面のサポートを月二回行っています。発信したメールに従業員からコメントがある場合には、担当者から連絡するようにしています。そこで従業員に気分的な落ち込みがあれば面談を実施し心のケアを行います。セルフケアのサポートとして研修を年に数回導入し、年に一回だったストレスチェックを年二回に増やしました。そのうち一回のストレスチェックの後は、担当者が必ず全員と面談を行い従業員の心の状態を確認しています。面談をする前に公認心理師に相談して決めた面談項目に従い面談を行いますが、面談時には傾聴に徹し、従業員が安心して話をできる環境を作るようにしています。面談の中で抽出された課題は、経営課題と捉え職場環境改善に努めています。



自社で開発した従業員の業務面・メンタル面をサポートするアプリ・ココケアの画面

従業員がより働きやすい環境を 整える取り組みを強化しました。

担当者がメンタルヘルスマネジメント2種に加え、両立支援コーディネーターの資格を取得したことで、就業規則の補足として育児介護休業規定、治療と業務の両立に関する規定、傷病休暇規定等を追加し福利厚生の充実を図りました。会社が従業員が安心して働ける場であったり、自己成長が望める場となるよう意識しながら健康経営に取り組んでいます。今年から従業員満足度（Employee Satisfaction：ES）調査を年に二回取り入れました。ESが向上し、顧客満足度（Customer Satisfaction：CS）の向上につながっていけば健康経営の成果が出てくると感じていますので、従業員がより働きやすい環境作りをこれからも行っていきます。

これからの取り組みとして

メンタルヘルスに注力した取り組みを行ってきましたが、従業員のヘルスリテラシーをより高くするため、一人ひとりのセルフケアの意識づけを強化していきます。セルフケアだけではなくラインケアの強化として管理職のラインケア研修やハラスメント防止に向けた取り組みなども行っていきたいと思います。
また身体的な健康面では、コロナ禍でのテレワークの推進により、運動不足や喫煙・飲酒量の増加等が課題として顕在化してきました。この対策として毎月の社内報で健康課題を絞り、情報発信を行っていますが、それに加え“健康ポイント制”を導入し、体重や禁煙など健康に関するポイントを付与し、ポイントの高い社員に奨励一時金を支給する独自の制度も策定中です。
従業員が自身の健康の大切さを理解し心身ともに充実して業務を行えるよう、これからも従業員の健康づくりをサポートしていきたいと考えています。



毎月社内報で取り上げている健康情報のコーナー

日興テクノス株式会社



代表取締役社長
長谷川浩正 氏

健全な経営と働き甲斐のある職場創りに向けて

- 代表取締役社長　長谷川浩正 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県横浜市磯子区森
- 主な事業内容　情報通信業
- 従　業　員　数　75名(男性:64名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社では「ネットワーク」「ソリューション」「ヘルスケア」「スマートオフィス」の４つの分野を柱として南関東を中心に企画・販売・構築・導入・運用・保守までのICTを中心としたオフィスに関わる製品・サービスをワンストップでご提供させて頂いております。皆様から長きにわたり信頼預けるよう「感謝」の気持ちを忘れずICTの総合インテグレータとして高度なテクノロジーとサービスによりお客様の満足を実現してまいります。

創業以来の経営理念に通ずる健康経営

弊社は、1946年(昭和21年)9月に電話設備工事業者としてスタートし、その後の急速な技術革新の中、ICTに関わる分野で常に新しいテクノロジーを取り入れ、「誠実と信頼」の経営理念のもと、お客様にご満足いただける製品とサービスをご提供し続け、おかげさまで今年で75年を迎えます。まさに、健康経営は弊社の経営理念にも通じ、弊社の経営方針の一つであります「健全な経営と働き甲斐のある職場創りによって社員とその家族の生活向上」を体現する取り組みであると考えております。

日興テクノスらしさの健康経営

弊社ではかねてより、定期健康診断は勿論のこと、2019年10月に横浜マラソン沿道清掃を通じた従業員間のコミュニケーション向上を図ることやスポーツクラブとの提携・利用補助、立ち会議スペースの設置、就業時間中禁煙の社内制度化、年次有給休暇の取得促進や時差出勤制度の導入、婦人科検診の受診勧奨など、取り組みを進めておりました。





2019年10月　横浜マラソン沿道清掃

全社員が参画する健康経営に向けて

2020年3月27日に健康企業宣言を制定し、自社ホームページで社内外へ発信をしました。さらに、弊社の健康課題の把握と効果検証を目的として全役員・従業員を対象に健康習慣アンケートを実施しました。加えて、「アンケート結果のフィードバック」と「健康経営と健康習慣の研修」を目的とした社内セミナーをオンラインで行いました。全社員が健康経営の取り組みに参画し、自身の健康増進を主体的に考える体制を意識し、今後も取り組みを進めて参ります。

健康課題は労働時間の適正化

弊社の健康課題は、「残業時間の削減」と認識しております。改善策として、所属長及び社員の意識改革を行い、毎月集計している残業時間について幹部会の場で各部署ごとに所属長へ通知、目標値を達成できない部署については、所属長へ勧告し理由及び対策を説明します。また、ノー残業デーの導入やテレワーク、直行直退の定期的なアナウンスを実施する等の環境を整備することで、モチベーションアップやワークライフバランスの推進、業務の効率化を図り、生産性向上という健康経営の本来の目的にチャレンジしております。

今後の展望

近年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、在宅勤務やWeb会議等への移行が必須となり、社内の集まりを変えるだけではなく、人と人の繋がり方が大きく変化しています。仕事の仕方も大きく変わり、それに伴いIT化も進み、利便性が高まり業務効率や生産性が向上しました。今後も、働き方改革を推進し、従業員が安心して働くことができるよう、職場環境を整え「健康経営」に取り組んで参ります。

1016

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 120th

小森株式会社



代表取締役社長
牧原浩昌 氏

「健康で快適な職場」の実現を目指し健康経営を実践

- 代表取締役社長　牧原浩昌 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市元町
- 主な事業内容　繊維産元商社
- 従　業　員　数　20名(男性:14名・女性:６名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2017～2022
ブライト500 2022 認定

弊社は創業105年、創業以来「人が財産」という考えで社員の健康を最優先で業務に取り組んでいます。社員一人一人が専門性をもっており、代替がききません。製造設備があれば設備の点検は必須ですが、設備が無い弊社は社員の健康の点検、すなわち健康診断の実施が最優先という考えで、長年にわたり健康経営を実践してまいりました。おかげ様で6年連続健康経営優良法人認定に繋がっています。

健康診断の実施内容を小森スタイルに

基本である健康診断も精度が重要です。しかし今までの法定の健診では十分な精度ではないと判断し、8年前から実施機関や方法を大きく変更いたしました。35才までは基本項目に加えて会社負担で各種検査をオプションで実施。35才以上は全員人間ドッグを実施。日程を調整し勤務時間中に実施するので、受診率は100%になります。要再診、精密検査の判定が出た社員は勤務時間中に病院にて再診等の対応をしてもらっています。費用はかかりますが、何よりも病気の発症を未然に防止するため点検の制度・精度は重要と考えています。

健康づくりのメインは食生活から

人が財産という基本理念は、創業当時より食事を提供してきた歴史にも顕れており、現在も昼食は会社負担で提供しています。何よりも栄養のバランスが大事ですし、欠食の防止にもなります。温かいご飯とみそ汁、業者と相談したバランスの取れた献立を基本に、ヘルシーメニューや麺類などを選択でき、飽きさせない工夫をしています。業務の都合で外食を摂らざるを得ない場合も食事手当を支給し、欠食の防止につなげています。
過去にはスーツなど被服の支給も行っており、こうした食事の提供は、一体感の醸成やリクルート効果にも繋がっています。



ラジオ体操風景

社員のヘルスリテラシー向上にも注力

会社の施策の実践に加え、社員の健康づくりへの意識を高めるため健康教育にも力を入れています。朝礼で週1回および毎月の定例会議で、その時期に必要と思われる健康情報の提供を実施しています。(インフルエンザの予防接種・食中毒にならないための消毒方法・季節の変わり目の体調管理方法など)
さらに、協会けんぽからの資料等を会議で公開、回覧し健康課題と解決方法の周知にも努めています。

各種健康施策の実施

ラジオ体操は50年以上前から毎朝全社員で行っています。平成11年にはラジオ体操優良団体等地方表彰を受けました。メンタルヘルス対策として、気軽に利用できる相談窓口を設置しています。就業規則で周知しハラスメントの防止や育児介護休業の対応にもつながっています。また、コロナ禍で実施できていませんが、20年以上前から海外への社員研修旅行を実施し、コミュニケーションの向上につながっていました。喫煙対策として、教育の実施や屋外へ喫煙場所を完備したことにより1割程度と減少しています。

基本理念は不変、施策は随時ブラッシュアップ

基本理念は不変ですが、健康診断の内容を改定したように、健康経営の実践内容は時代に沿ったものに随時ブラッシュアップしていく必要があります。これからも社員とのさらなるコミュニケーションや健康づくりのための情報収集につとめ、「小森スタイルの健康経営」をさらにパワーアップさせてまいります。



創立100周年記念食事会

艶栄工業株式会社



代表取締役社長
嶋田義男 氏

健康経営で老若男女が活き活き働く職場に

- 代表取締役社長　嶋田義男 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市宝町
- 主な事業内容　綿・麻織物機械染色業
- 従　業　員　数　63名(男性:38名・女性:25名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019~2022 4年連続認定
ブライト500 2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th The Interview

弊社の社員は18歳から77歳まで、幅広い年齢で構成され、さらに女性も多数活躍頂いております。この老若男女が元気に長く働き続けてもらい、会社をより持続性のある良い会社にしていくにはどうするべきか、という課題をすこしでも解決していくため2018年から健康経営に取り組んで参りました。
その結果2019年から4年連続で健康経営優良法人に認定、2021年からは2年連続でブライト500に認定されました。

職場環境の見直しからスタート

染色工場は作業効率を考えると24時間稼働は欠かせません。以前は当然のように夜勤の残業がありましたが、社員の健康に配慮し身体の負担を減らすこと、および高齢者の再雇用を積極的に進める為にも夜勤の残業はゼロ、長時間の残業も少なくして過重労働・長時間労働防止をおこない作業環境の良化に努めました。更には夏場は50度にもなる染色工場特有の蒸し暑さによる熱中症対策として、各職場に扇風機、冷蔵庫を完備し飲料水の補給体制を整えています。午後3時にはアイスクリームによるリフレッシュタイムもあり社員の心と体の癒しのひとつとなっております。

健康経営の実践①

健康管理の基本である健康診断、再受診の取組みは整えていますが、変則勤務の社員は年2回の健診を実施しています。食生活では社員食堂にてメニューの栄養成分の表示をして意識付けをおこなっていますが、コミュニケーションも兼ねて年1回うなぎ弁当やお花見弁当を提供し喜んでもらっています。さらに蒲郡市の体重測定100日チャレンジに参加したり、毎月1回の全員集会で健康情報の共有をおこなって健康づくりへの意識化を図っています。



艶栄工業㈱ SDG s 宣言





朔日会にて社長訓示

健康経営の実践②

コロナ禍において通常の感染症対策やBCPの策定・周知は当然のことですが、マスク不足のおりに生地を加工し布マスクを作り社員、家族や関係先に配布し喜ばれました。メンタルヘルス対策は産業医と連携し相談窓口を設けストレスチェックも行っています。
喫煙率低下のために、就業時間は喫煙禁止とし屋外に喫煙所をもうけ分煙も対応しており、受動喫煙防止対策実施施設認定を取得しています。

女性が活躍できる職場

現在の社員の63名のうち女性は25名。管理職にも積極的に登用し40%の占率になります。人材育成にかけるコストも男女平等にし、女性でも積極的にスキルアップに取り組める環境づくりを行っております。女性が活躍できる会社は伸びる会社になると考えており、今後も同一労働同一賃金で女性が伸び伸び働く機会をより一層広げてまいります。

健康経営でリクルートに成果

健康経営の発信の一番の成果はリクルートに好影響が出ていることがあげられます。これまではハードな職場環境のイメージでなかなか新卒の採用がうまくいきませんでした。働き方改革と健康経営によるイメージアップにより、ここ数年で5名の新卒社員の採用ができました。おもに九州地区からの採用で、現地に事務所をおいた効果も大きいのですが、新たな社員の入社が職場の活性化の源となっており、社員全員が誇りとやりがいをもって働ける会社を作ってまいります。

1018

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 120th

山八商事株式会社



代表取締役
鈴木俊介 氏

「人生を豊かにする会社」の実現のために

- 代 表 取 締 役　鈴木俊介 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市宝町
- 主な事業内容　不動産事業・ホームファッション事業
- 従　業　員　数　34名(男性:16名・女性:18名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020~2022 3年連続認定
ブライト500 2021・2022 2年連続認

「人生を豊かにする会社」という経営理念のもと、寝具インテリア用品の企画・販売や不動産事業など、ライフスタイルに豊かさを加えるビジネスを展開している弊社は、今年で創業100周年を迎えました。
会社を支える社員が健康であってこそ、その理念を体現できるというフィロソフィーが脈々と受け継がれ、今では健康経営の取り組みを社員自らが考え、制度化させ、ブラッシュアップを行っております。

健康経営に取り組むきっかけ、基本的な考え方

2001年23歳で代表取締役に就任しました。ほどなくして健康を原因とする社員の入れ替わりは、引き継ぎなどの準備を踏まえた入れ替えとは違い、会社の負荷が大きいことを実感しました。そこで、職場では、アクシデントが発生しにくい環境を作ることの重要性を強く認識しました。その後、『健康経営』という言葉に触れて、それまで個別に行っていた取り組みを社員自らが考え、制度化させるステップアップの機会にすることを決意しました。

基礎となる定期健康診断の受診と、再受診勧奨を通じた健康状態の把握

定期健康診断において受診率100%はもちろんのこと、社員の不安解消のために会社負担で各種オプション検査も受診できる制度も作り、人間ドックも対応しています。さらに、人事総務部で受診結果を把握し、その結果を元に書面で個別に再受診の勧奨を行っております。保健指導は保健師に来社いただき、業務時間内に個別指導が受けられる体制となっています。コロナ感染症対策としては、定期的に抗原検査を実施するとともに、コロナワクチンの接種が始まった際は、混雑による感染リスクの軽減や、従業員が安心して接種時間を確保できるよう、有給休暇とは別枠でワクチン休暇制度を導入いたしました。



サラダランチDAY



昇降式スタンディングデスク



外部トレーナーによる
ストレッチ風景

女性の働きやすい環境づくりと、活躍する女性の積極登用

女性の働き方にも配慮し、産休や育休の取得・復帰は当然のこと、育児などでも有給休暇の取得やテレワークへの切り替えがしやすいようにバックアップ体制を整え、業務の分散化なども実施しています。
環境整備を進める中で「あいち女性輝きカンパニー」の認証も受け、女性の積極的な登用に社内制度を改革していく予定です。また、育休への理解と協力という意味で男性育休環境整備を行い、新しい価値観で男性も女性も関係なく育休が取得できるように社内の風土や仕事の進め方を改善していきます。

社員発案による、2022年の新たな取り組み

今までは経営者視点での取り組みから、社員理解も進み社員発案施策も複数実行されるようになりました。 その一例として2022年の新たな取り組みでは、食生活改善を目的としたサラダランチDAYを設定。毎月8日をサラダランチDAYとして、希望者には昼食にサラダを配布し食生活改善に向けた支援を行っております。また、長時間座って仕事をすることによる健康障害の改善を目的として、スタンディングデスクを事務所内に設置。スタンディングミーティングを導入することにより会議の効率化と健康増進に繋がっています。

企業は人が創るもの

人財は大切な経営基盤であり、人の基盤である健康を向上させることが働く人のパフォーマンス向上に繋がっています。長時間労働すれば、反動はフィジカル、メンタル両面で発生し労働効率が低下します。一方、業務効率を上げれば負担も減り、コストも減り、その余裕から何かが生まれるはずです。会社というチームを強化するためには、いかに社員全員がポジティブな状態で就業してもらうかが重要です。そのため健康経営を意識した社内制度改革をルーティーンとして社員一人ひとりの能力を最大限に発揮してもらうためのより良い労働環境づくりに努めてまいります。

株式会社オノコム

「なければつくる」精神で信頼を築く

- 代表取締役社長　小野達朗 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊橋市鍵田町
- 主な事業内容　建築業
- 従　業　員　数　157名(男性:126名・女性:31名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019~2022 4年連続認定
ブライト500 2021 2022 2年連続認定

昭和9年の創業から88年。工事、設計、不動産・資産活用、リフォーム、メンテナンス等、建築に関する全てのサービスをワンストップで対応できる建築プロデュースグループです。
わたしたちが「なければつくる」精神でつくってきたもの、それは「たてもの」だけでなくお客様の夢を実現する「人」です。従業員やその家族、グループに関わる全ての人が笑顔になれるように「安全」と「健康」をデザインすることに取り組み続けています。

「なければつくる」精神による健康経営の実践

オノコムは「なければつくる」精神のもと、従業員が誰でも提案ができ、アイデアを直ぐに協議する環境を整えています。新しい事へのチャレンジや積極的な活用を進める社風から、様々な制度を取り入れ、健康経営優良法人認定制度もそんな声から申請・取得に至りました。
一人ひとりのヘルスリテラシーの向上に取り組み、『安全』と『健康』を最優先する風土づくりに取り組んでおります。「たてもの」は、多くの人が関わり、1つのものを完成させます。人と人との関わりがあってこそ、良い「たてもの」が出来上がると考えております。そのため、多様な人が『安全』に『健康』で働けるように、一人ひとりの自立した健康管理や多様な人のコミュニケーションを促進し、一人ひとりのこころと体の健康保持・増進を支援しています。

多様な人が『安全』に『笑顔』で働ける取り組み

【コミュニケーション手当】
3部門以上の人が集まり開かれた食事会や飲み会に対して、1人3,000円のコミュニケーション手当を支給しています。この制度により部署を超えた輪が広がり、色々な刺激を与えあっています。
【部活動費用補助】
文化的またはスポーツなどのサークル活動を５人以上で開催し、メンバー募集や活動報告を社内ＳＮＳで行うことで１万円の補助が受けられます。
【インフルエンザ予防接種費用の会社負担】
従業員だけでなくその家族も含めて、インフルエンザワクチン接種費用の全額補助を行っております。
【付加検診の希望受診制度】
希望者には、健康診断の付加検診を全額会社負担で受けられる制度があります。
【受動喫煙への対策】
勤務時間中の禁煙を実施しています。建設現場に於いては分煙の徹底を実施しています。

オノコムグループの目指すところ

人財は目に見えない資産に該当し、企業価値を長期的に向上させる重要な要素です。従業員が活き活きと働き、各々が成長していくサポートをしていきたいと考えています。オノコムでは、介護・子育ての特別休暇、男性育休、フレックスタイムの促進を行い「勤務形態の柔軟性」を持たせています。職場の問題や課題を自ら発見、解決し、積極的な提案が出来る環境を整え、活発に動きがある組織風土を生み出しています。従業員の会社に対する信頼や愛着をいかに高め、多くの価値観を活かしていくのかが、企業としての成長に繋がっていくと考えています。働きたい企業として選ばれる企業であるために、継続的な取り組みを進めていきます。


コミュニケーション手当利用の食事会


サークル活動補助利用のバドミントン

1020

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 120th

アジアクリエイト株式会社



代表取締役会長
佐藤邦男 氏

「みんなにとって良い会社」を実現するために

- 代表取締役会長　佐藤邦男 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊川市蔵子町
- 主な事業内容　産業用自動化機械・プラントエンジニアリング・安全体感教育装置製造
- 従 業 員 数　35名(男性:28名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定
ブライト500認定

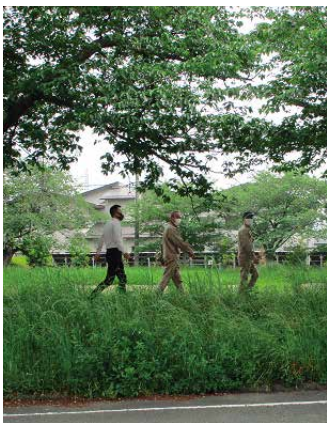
企業にはいくつかの社会的な使命・責任があり、弊社は「みんなにとって良い会社」という経営理念で表現しています。一日の大半を過ごす職場は社員にとって社会そのもので、「働く」ことを通して一人一人の人生を託せる、そんな会社でありたいと願っています。その社員の健康を会社の施策を利用してサポートできる健康経営は組織運営の要として取り組んでまいりました。

食生活の改善からスタート

これまでも社内風土の向上を目指し様々な第三者機関の認定・認証を受けてきました。おもなものは愛知ブランド企業・あいち女性輝きカンパニー・AICHI　WISH企業・ISO9001・経産省はばたく中小企業小規模事業300社・愛知県ファミリーフレンドリー企業などです。そんななか定期健康診断や人間ドックなどの結果が思わしくない社員が若手でも多いことが判ってきました。そのタイミングで管理栄養士さんからオファーがあり食生活の改善から取り組むこととし、2019年からの健康経営優良法人の認定につながりました。

食生活がメンタルケアにもつながる

健診結果が悪かった社員には管理栄養士から食生活の改善指導を行ってもらっています。外部の専門家のため社員も熱心に取り組んでいます。2日に1回食事内容を写真で管理栄養士に報告しアドバイスを受けることにより15Kgも減量できた社員や三食きちんと食べている社員が増えるなど着実に効果につながっています。管理栄養士との個人面談では、食生活へのアドバイスとあわせ様々なコミュニケーションを通じて心のケアにも繋がり、メンタルヘルスの向上にも役立っています。



ウォーキング風景



ケータリングランチ

様々な取り組みをアイディアでブラッシュアップ

さらに週一回健康食品(ヨーグルトなど)を全員に提供し、食べ物への関心を高めています。また、管理栄養士は季節ごとにケータリングでランチを提供しています。これまではフルコースメニューでしたが今後は副菜へと趣向を変えていきます。食堂はお昼休みに集うところなのですが、実際には自席で食事する社員も多いので会社がこうした仕掛けでコミュニケーションの増進に繋げていきます。また食事が健康に与える影響などをテーマとしたセミナーを定期的に開催しておりリテラシーを高めています。

女性が輝く職場に

これまで技術者は男性中心でしたが女性を2名採用し活躍していただいてます。女性活躍企業としてあいち女性輝きカンパニーに指定いただきましたが、名実ともに女性の輝く職場を実現していきます。さらに30年以上前から家庭の事情に合わせ出勤可能なフレックス勤務を採用しており、仕事と家庭を両立いただいて長く安心して働ける職場となっています。

コミュニケーションも重視し みんなにとって良い会社に

コミュニケーションもより重視しています。年代ごとに親睦会メンバーを結成しウォーキングイベントなどの社内レクリエーションを社員自ら企画し実施しますので、大変盛り上がっています。こうした健康経営の取り組みを継続して大切な社員の健康維持をサポートし、「みんなにとって良い会社」をよりブラッシュアップしてまいります。



健康セミナー

日本介護サービス株式会社



「いつまでも健康で元気に働きたい」を実現するために

- 代表取締役社長　安藤憲昭 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊田市樹木町
- 主な事業内容　介護業
- 従　業　員　数　155名(男性:56名・女性:99名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定
ブライト500 2021・2022 2年連続認定

弊社の「健康経営への取組」は安全衛生活動の『社内健康づくり』から始まりました。継続は力なりです。約10年前より「健康づくり活動」を毎年コツコツと根気よく積み上げてきた成果として、社員の意識向上・休職や退職者減少など年々少しづつですが効果として表れ昨年度と今年度において健康経営優良法人ブライト500の認定も頂く事が出来ました。まだまだ課題は山積してますので今後も基本方針【和・思いやり・積極性】を柱に活動を継続していきます。

女性が活躍している会社 だからこそ女性社員の健康づくり

女性社員数が全社員数の約2/3を占めていますので女性社員の活躍や健康維持は事業発展にとって、とても重要な課題となっています。
そこで女性社員の健康づくりプロジェクトチームを結成。
腸内フローラ活性化プロジェクト(腸内環境を整える)
【腸内フローラの会(４週間毎日酢キャベツを食べる会)】
多数の女性社員の方々に賛同や参加をして頂きました。
女性社員の健康相談・健康づくり活動を定期的に実施していき、更に働きやすい職場環境になるよう活動していきます。

健診結果・健康習慣アンケートなどの集計を 客観的に見る・現状を知る

健診結果の集計や健康習慣アンケートなどの結果を客観的にみて健康リスクの高さが浮き彫りになりました。特に40歳以上の男性社員の健康リスクが高い結果となっていますので、まずは特定保健指導の対象者を減らしていく活動を実施しています。
【85会(男性メタボ基準である腹囲85センチ以内になる)】
毎月の体重測定及び運動メニューの課題を実施してもらいました。まだ始めたばかりの小さな第１歩ですが、少しでもリスクを減らせるように活動を継続していきます。



2021・2022 認定証
(右)代表取締役 安藤憲昭
(左)健康経営担当者 阿部耕造



毎週木曜日は【野菜を摂ろうデー】
採れたて新鮮野菜を社内販売

健診を受診するだけでは健康になれない

毎年6月末に定期健康診断を実施しています。全社員が受診しやすいように受診会場を社内に設けて３日間実施。まず最初に３日間の中で都合の良い日時(就業時間内)の希望をとり出来る限り希望に沿って受診してもらっています。
健診直前対策として30日間
【『チャレンジ宣言』(自ら健康づくりを宣言し実践する)】
を実施し意識を高めてもらっています。また健診結果後には、再受診対象者への受診勧奨及び特定保健指導の受診を積極的に推奨しています。毎年全社員が健診を受診。健診結果オールＡ(全ての項目でA判定)の表彰者も増えました。

コロナニモマケズ 社内コミュニケーションは健康の必須アイテム

コロナ禍により毎年開催している日帰りバス旅行が困難な状況下ですが、社員同士のコミュニケーションは心の健康づくりに欠かせません。季節ごとにフォトコンテストを実施し、応募して頂いた社員の写真は全て掲示し表彰も行っています。その他、社員紹介(写真・コメント入り)の掲示や各職場の紹介ビデオを作成するなど個人や職場単位でのコミュニケーションを図れるように工夫しています。

手軽に気軽に・・・みんなで楽しく野菜生活！

社員の食生活改善は健康な身体づくりには必要不可欠です。
【野菜を摂ろうデー】(6月～12月毎週木曜日)
農園で野菜をつくっている社員に社内にて『野菜販売』をしてもらっています。手軽に新鮮な野菜を買えるメリットを生かし、少しでも野菜を食べる習慣を身につけてもらうようにしています。
社員同士で「この野菜の名前は？」「どう調理するの？」など野菜名や調理方法についての会話が弾み、野菜が社員間のコミュニケーションツールにもなっています。

1022

京都府
近畿第二FA支社

Voice Report 120th

フィトンチッドジャパン株式会社



代表取締役社長
逢坂達也 氏

従業員の心と身体の健康を守り、働く喜びに溢れる職場環境づくりを目指して

- 代表取締役社長　逢坂達也 氏
- 本 社 所 在 地　京都府相楽郡精華町光台1-7
- 主な事業内容　製造・販売業
- 従　業　員　数　5名(男性：1名・女性：4名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 京都支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続
3回目認定

弊社では「活動を通じて、健康的で持続可能な未来づくりに貢献する」を事業ビジョンに掲げ、独自の技術で天然植物原料で抽出した森林浴成分「フィトンチッド」を活用した製品の、研究・開発、生産・販売事業に取り組んで参りました。事業活動を通じて、森林浴成分「フィトンチッド」を齎し出す「樹木」「森林」「自然」に触れる度に、現代社会生活が如何に自然と乖離し、「人の健康」が蝕まれているかを実感してまいりました。そんな折に、「健康経営優良法人認定制度」の存在を知りました。従業員が心身ともに健康で活躍出来る職場環境を提供する事で生産性の向上を図り、事業ビジョンのより確実な実現に向けて邁進することが出来ればと考え、当該制度への取り組みを開始しました。

コミュニケーションの増進に向けた取り組み

2021年7月社内イベントとして、滋賀県高島市にある「森林セラピー体験」を社員一同参加のもと実施いたしました。森林セラピーは、科学的な証拠に裏付けされた森林浴のことで、森を楽しみながら心と身体の健康維持・病気の予防を目指し、森の中で呼吸法やヨガ等のリラクゼーションプログラムを行うセラピーのことです。今回のセラピーでは、森の清流の畔に佇み清々しい流れの音に耳を澄ませ自分の呼吸に精神を集中する時間を持ちました。ゆっくり流れる時間に心が落ち着いていくのを感じ取ることができました。木漏れ日が差し込む森歩きでは、五感で自然を感じる喜びを社員一同が体験し、心身共にリフレッシュすることが出来ました。今後も定期的に「森林セラピー体験」を行なっていきたいと考えてます。





運動の機会の増進に向けた取り組み

2022年6月健康講座として、株式会社ConditioningLaboから先生をお招きし「心と身体の健康講座」を開催しました。「自分の事だけを考える時間は一日にどのぐらいあるか？」という問い掛けから講座ははじまり、一同「自分」について振り返りました。仕事と家庭生活、子育て等々「自分の事だけを考える時間」って意外と無い事に気が付きました。「自分を大切にすると周りが大切に思える」「心も身体も自分でしか守れない！もっと自分を知ろう！」とのアドバイスを受けた今回の講座は、自分探しの「Conditioning」でした。業務中に座ったまま出来るストレッチの実技も教わり、身体が解れれば心も解れることを実感しました。今後は日常業務の合間にリフレッシュタイムを設けて身体を動かしていきたいと考えています。



今後の展開について

健康経営優良法人の認定を受けて3年、弊社の健康経営への取り組みが認められ今年度は「ブライト500」にも認定されました。今後も、経営者自身はもとより従業員の心と身体の健康を守り、働く喜びと幸福感を感じてもらえる職場環境を目指し、工夫を凝らした取組の継続を実施していくつもりです。

宇治第一交通株式会社



代表取締役社長
伊藤　洋 氏

「健康第一」「安全第一」「地域第一」

- 代表取締役社長　伊藤　洋 氏
- 本 社 所 在 地　京都府宇治市槇島町大川原30-1
- 主な事業内容　一般乗用旅客自動車運送業
- 従　業　員　数　111名(男性:107名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康経営表彰事業所決定
事業用自動車の乗務員の高齢化に伴い今後ますます健康経営が注目されていくと思い
当社はグループでいち早く健康優良法人認定を受け、ますます健康づくりに取り組んで参ります。

いつも元気で「笑顔で接客」

自分の体調が優れなければ、お客様に悪いイメージが繋がり不快感を与える。体調が万全でなければタクシー運行に支障を来す。まず自分達自身が体調管理の為に、会社から発信する健康アドバイスを基に自分の健康意識を改善し実行するようにする。
毎週、毎月、毎年と会社が健康指導を行い当社にて健康で少しでも長く勤務できる事を目指しています。

ご家族の協力

ご家族の方々にバランスの良い食事の摂取と
睡眠時間の確保ができる環境を作る協力をお願いしている。
睡眠不足は運転業務において非常に危険であることをご家族の方にも理解して頂く。

継続は力

同じことの繰り返しになりますが、継続的な健康アドバイス、健康指導をして従業員全員の健康維持・健康増進に役立てる。
継続して健康作りのきっかけを発信していくということである。



年間通じて毎月約４日間行われる全員懇談会にて健康セミナー実施風景
講師は健康経営アドバイザー　テーマは7つの生活習慣

生産性の向上をはかる

毎日100％の力でとはいかないが従業員全員が健康経営に取り組み、体調を整えておくと仕事の生産性が向上し会社にも利点がでてくる。

健康起因事故の撲滅

体調管理が不完全のままでは運転はさせない。
仕事に来る以前の問題で体調管理も仕事をする為の準備であり健康づくりをしっかりと行う生活をし
健康起因の事故を防ぐ。

今後の展望

従業員全員自分達自身の健康づくりに気が付き、健康維持・増進が継続してできる制度を会社として作りあげたい。例えば徒歩通勤の推奨などを取り組んでいきます。



取締役　上田智之 氏

1024

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 120th

株式会社サンワ



代表取締役会長
霜野武志 氏

「子どもたちの喜ぶ顔が見たくて」を実践し続けるために！

- 代表取締役会長　霜野武志 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市荒本西４-４-14
- 主な事業内容　図工・美術教材・クラフト・インテリア
  雑貨の企画、製造、卸、販売業
- 従 業 員 数　60名（男性：19名・女性：41名）

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

「子どもたちの喜ぶ顔が見たくて」・・・当社の事業目的は、この言葉に集約されています。1961年の創業以来、60年にわたり変わらない想いで、図画工作および美術教材の商品の開発から製造・卸・販売まで、一貫した生産・サービス体制を整えた総合メーカーとして、長年培ってきた知識やノウハウを生かした、さまざまな提案ができる企業へ。子どもたちの内面の発達をサポートしていく「情操教育企業」としての立場を明らかにしていきたいと考えています。単なる教材メーカーにとどまらず、先生方と一緒に考え、行動していける企業へ。

従業員が安心して働ける環境づくりの一つとして取り組んだ健康経営

健康経営という言葉を知る前から、従業員の健康には気を配り、ラジオ体操の実施や働く環境の整備などを行ってきました。私自身も、数年前から健康経営という言葉をよく聞くようになったけれども、具体的にどのような取り組みを実施していけばよいのか分からない状況でした。そうした中、アクサ生命の担当者から［健康経営優良法人認定制度］のことを聞き取り組むことを決めました。現時点では具体的には決まっていませんが、今後会社として、色々な認定や資格を取得していきたいと考えています。

以前から実施していること＋新たな取り組み

全従業員が気持ちよく会社へ出社できるような、仕事を通じて成長していると実感したり、会社に来ることでわくわくする、そうしたマインドの部分をより強化することで、健康に対してさらに意識するようになったり、楽しく働くことにも繋がっていくと思っています。その中でも、コミュニケーション向上は非常に大切な取り組みです。新卒の内定者向けに新しく「ランチ会」を実施したり、また月に一回「部下から上司へ」というかたちで、one on oneの実施を昨年度から取り入れました。内容は、仕事の事から普段の事まで特に決まりはなく、部下の話を聞くというそういった場を設けています。コロナ禍で開催ができていない事もございますが、以前から取り組んでいる、上司と部下の「サシ飲み」＝飲みニケーション、「サンクスカードによる表彰制度」など、できる範囲で引き続き取り組んでいきたいと思います。



新たに取り組みを始めた「ランチ会」の様子



毎月作成している社内報！

ワークライフバランスと従業員の教育機会

ワークライフバランスの取り組みの一環として報告書のデジタル化、時間外労働は月間35時間までと決め、その時間を超えないように部署ごとに管理(社内チャットにて見える化)を行い毎週アナウンスしています。
また、従業員の教育機会も会社として力を入れている取り組みの一つです。毎月１回１日かけて研修(勉強会)を実施しています。弊社では「社会貢献プロジェクトチーム」を設けています。プロジェクトチームが外部の研修(消防署に行って消火器の使い方を勉強。さらに地震についても体験しいざという時に身を守る術を学ぶ)などに参加し、そこで学んだことを中心にテーマを決め、研修(勉強会)を実施しています。

働く全従業員のスキルアップに向けて！

従業員のスキルを向上させる為に、100～200項目からなるスキルマップを作成しました。スキルマップを活用して３つ(「教わった・一人でできる・教えることができる」)に分けてまずは現状を把握します。今できていない部分については一つずつクリアさせ、最終的に全項目教えることができるところまで目指して取り組んでいます。また、新たに課ごとにデジタル化したワークフローを作成しています。スキルマップやワークフローを作成したことで部署異動があった際にも引継ぎなどがよりスムーズになっています。

今後の展望

弊社に入社して良かった！と思ってもらい、また友人や家族に自慢できる会社を目指しています。新しい人材を確保することも大事ではありますが、今弊社で働いている従業員が健康で永く働いてほしいです。今後も健康経営優良法人ブライト500を継続的に取得できるよう、実践している健康経営の質の向上を意識して取り組み、今以上に全従業員の健康管理などを呼び掛けると同時に、全従業員の幸せをサポートしていきたいと考えています。

株式会社八代塗装



代表取締役社長
友田義昭 氏

健康経営とは、家族である社員を守るツール

- 代表取締役社長　友田義昭 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府八尾市高砂町3-50-2
- 主な事業内容　金属製品塗装業
- 従　業　員　数　95名(男性:64名・女性:31名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2022認定

お客様に「真心」込めて奉仕する・可能性への挑戦に「情熱」を傾ける与えられた「使命」を自覚し、自己開発を行うことが当社の基本姿勢です。こうしたメンタリティーの部分こそがお客様との信頼関係を築く第一歩だと考えております。

健康について考える環境づくり

経営者である私が社員の健康に関心を持ち関わることは、経営上とても重要なことと位置付けています。健康診断で指摘のあった社員へは必ず個人面談を実施し、診断結果に基づき改善に向けたアクションプランを該当者と一緒に作成します。
そしてその後の取り組み状況もコミュニケーションの中で定期的に確認します。言わずもがなではありますが、社員の健康が企業の健康に結びつくという考え方こそが健康経営の本質です。
そんな観点から従業員の健康課題を放置しない、させない考え方を浸透させることが私の役割と考えています。

禁煙は愛する家族のため、愛する仲間のため

喫煙者には喫煙本数を確認の上、吸ったタバコの本数をグラフ化し、換算するとどのぐらいの金額になるのかを示します。
それで一体何が買えるのか、買ってあげられるのか…こんな話をよくします。私は代表に就任してから社員の命は家族の命と考えていますので、やっていることは少々必要以上と思われるかもしれません。たまに喫煙所に顔を出し、「そんなの吸っておいしい？」って聞きますから。だからこそこの考え方に共感し、禁煙に取り組んでくれた社員には敬意を表し、称賛します。
それはきっと自分のためだけではなく、家族のため、仲間のために決意できたことに他ならないと思うからです。

写真左は卒煙者に対しての表彰式
「貴方は愛する家族のため、愛する仲間のために完全にタバコから卒業できたことを証します」「おめでとう！」



卒煙式



社内にはたくさんの「ありがとう」

当たり前のことなど何１つない

暑い日も寒い日も手足を思いっきり伸ばして、今日１日の始まりはラジオ体操からです。弊社ではただ単にラジオ体操を実施するのではなく、寒い日でも「本気のラジオ体操」です。それ以外にも抜き打ちで朝礼時に屈伸をやらせてみると、両足だとほとんどの社員ができるのですが、「次は片足で」と言うとほとんどの社員ができなかったりします。その時に「両足があってよかったことに気付けてよかったね」と投げかけてみます。
当たり前のことなんか何１つありません。それに感謝できる気づきを与えることも私の大事な役割だと考えています。

福利厚生の充実

福利厚生についても私自身が社員にとって「良い」と思うことは積極的に取り入れるようにしています。八尾市にある鍼灸院はただ鍼治療をするのではなく、しっかりとお腹を温めてから施してくれることが気に入り、法人で回数券を購入することを決めました。あと男性とは体力も身体の構造も違う女性社員からは、同じく福利厚生として取り入れた大阪梅田にある骨盤矯正も評判です。
福利厚生の意味合いとは少し違いますが前述の禁煙に対する一時金や、健康経営チームへの謝礼金など、会社がよくなる積極的な行動に対しては私も行動へ移します。

健康経営ブライト500とは

愛があり、本気で向き合えばそれが強い絆になる。その結果安心して働ける職場環境へ結びつく。健康であることを当たり前と思わず、いつまでも元気で気持ちよく働けるスタッフであってほしい。
その想いと行動の延長線上に健康経営優良法人ブライト500があるのだと思います。
最後になりますが、弊社にはチーム健康経営があります。業務中はもちろん業務最優先です。そんな中でここまで健康経営を社内に浸透させ、積極的に参画してくれた健康経営事務局メンバーへ心から感謝。
「仲間の健康のために尽力してくれたチームへ、ありがとう！」

1026

兵庫県
神戸第二FA支社

Voice Report 120th

アサヒ物産株式会社



代表取締役
大西能久 氏

新しい価値をこの手から

- 代表取締役　大西能久 氏
- 本社所在地　兵庫県加古川市西神吉町岸134-3
- 主な事業内容　製造メーカー　卸売業
- 従業員数　107名(男性:57名・女性:50名)
- 加入健保名　協会けんぽ 兵庫支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

卸売業に加え、工場を所有することでメーカーの役割も担い、今では企画・製造から販売・物流までを自社で行うことが可能になり、企画からお客様の手に届いた瞬間まで関われる企業になりました。「どんなものだったら喜んでくれるだろう」と常に相手を想い、それを実現するための「挑戦」と「情熱」の心をもって、アサヒ物産株式会社は自分たちにしかできない「唯一無二」を目指し続けます。

「意外と出来てることは多いかも。」些細なきっかけから始まった健康経営優良法人への取り組み

健康経営優良法人の存在を知ったきっかけは、アクサ生命の担当者の方からの提案でした。
その後、説明会セミナーに参加した担当者が申請項目を見ていたところ、「意外とうちの会社ってできてること多いんだな。」と気づきました。
「これなら健康経営優良法人の認定を受けられるかもしれない！」という些細なきっかけから取り組みは始まりました。

担当者と従業員の間での意識の差

新しく取り組みを始めたのは良いものの、そもそも従業員が「健康経営って何？」という状態だったため、健康経営への理解をしてもらう事に苦労しました。
朝礼で話してみたり、メールを全従業員に送ってみたり、地道に健康経営優良法人の存在をアピールしていきました。
アピールをする中で、従業員一人一人が自分のことと感じてもらえるような取り組みにすると理解も深まるのでは、と考えるようになりました。評価項目を見てみると、弊社では「従業員の心と身体の健康づくりに向けた具体的対策」が弱いと気づきました。そこで、まず初めに行ったのがメンタルヘルス研修の実施とジムに通う人への費用補助でした。



左上画像:メンタルヘルス研修
左下画像:弊社製造商品「果香音」クロワッサン鯛焼き
右画像:レクリエーション社内ボーリング大会

ブライト500認定のために強化した情報発信

ブライト500に認定されるには、取り組み内容を増やすだけでなく、その内容をいかに社外へ発信できているかが重要と考え、社外発信を強化しました。
具体的には、SNSアカウントや自社ホームページ、採用説明会などで健康経営の目的や取り組み内容を配信しました。
SNSでは、同じ認定企業からコメントが入ったり、フォローされたりすることで新たなコミュニケーションが生まれました。
そうした活動を続けることで、徐々にではありますがメディア等からの取材も入るようになり、好循環が生まれたと感じています。

従業員の健康増進のために企業がバックアップ

社長のアイデアにより本社の側にある建屋で食堂を営む予定になっています。
主に従業員がランチタイムに活用する「食場/しょくば」は自社でカロリーは勿論のこと、糖質や脂質を計算した食事を常に摂る事ができ、従業員がいつまでも健康でいられるようサポートすることができます。また、時にはお客様や取引先を招いて健康食にて商談等々ができるスペースにも充てたいと考えています。
健康食材を使用してみんなで「健康増進！」。

今後の取り組み予定企画

「健康第一、早期発見」
①線虫がんスクリーニング検査「N-NOSE」
②遺伝子検査「Genesis2.0+」
①②の検査を福利厚生の一環として、その費用を会社が一部負担し、がんの早期発見によるリスク低減、肥満タイプ、心筋梗塞などの疾患リスクの分析に利用し、従業員の健康意識の向上、健康増進に役立たせます。

株式会社アイネットファクトリー



代表取締役社長
池田隆志 氏

「従業員やその家族の幸せのために」を実現するための健康経営

- 代表取締役社長　池田隆志 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市西区北別府
- 主な事業内容　電気通信工事
- 従　業　員　数　14名(男性:12名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人 2019~2022
中小規模法人 4年連続認定
2021・2022 ブライト500 2年連続認定

企業理念　「ステークホルダーに最も信頼される企業を目指します」

経営基本方針
1.健康経営
2.現場力の強化
3.働き甲斐のある企業風土の実現
4.人を活かす経営
5.持続的成長の実現
6.健全経営
7.取引先と永続的な関係の実現

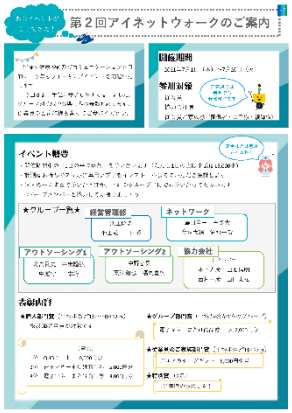
健康経営取り組みの背景

当社は通信インフラの工事、保守、監視業務を24時間365日行っており、いつ何時でも、「安全・迅速・確実」に対応する必要があります。特に「安全」については、最も優先される事項であり、安全に作業を完遂するためには、従業員が常に健康であるという事が必須条件であると考えております。そこで、従業員の心と身体の健康を維持するために、アクサ生命から健康経営の提案を受け、様々な取り組みを始めて5年目を迎えました。

「心の健康づくり計画」を策定

当社の従業員の勤務地は6か所に分散しており、勤務時間も24時間365日シフト勤務になっているため、全従業員が一同に顔を合わせる機会がほとんどありません。また、近年のコロナウイルス感染症の蔓延により、小集団での集まり等も行えなくなりました。そこで、従業員のストレス増加が危惧されたため、2021年7月に「心の健康づくり計画」を策定しました。主な取り組みとしては、以下となります。

★管理者および従業員のメンタルヘルスに関するeラーニング講座の受講と理解度テストの実施
★従業員にいつでも実施可能な簡易型ストレスセルフチェックプログラムの展開
★家族の協力による従業員のストレスおよび疲労蓄積度チェックの実施
★アクサ生命の健康経営サポートパッケージ「産業医プログラムベーシックプラン」で提供されるストレスチェックを実施
★従業員とその家族、協力業者参加のウォーキングイベントの開催



従業員の健康に対する意識の向上のために



グループウェアのポータルページとして「健康ポータル」を開設し、アクサ生命から提供される「健康ワンポイントアドバイス」など、ホットな健康情報を展開し、従業員の健康意識の向上に繋げています。また、従業員は四半期毎に「個人健康目標」を設定して、他の従業員と進捗状況や結果等の内容を共有します。各従業員の健康目標や健康経営の取り組み姿勢は、2021年度から人事評価の重大項目となりました。

問題点と今後の展望

健康経営を継続することにより、従業員の健康に対する意識は向上してきていますが、特定保健指導の対象者数は、残念ながらほぼ変化がみられません。今後は従業員に刺激を与えるべく、新しい施策が必要と思われ、アクサ生命の健康習慣WEBアンケート結果を参考にして、「運動」「食事」「睡眠」「喫煙」「飲酒」「こころ」というテーマ毎に、魅力的な取り組みを考えていきたいと思います。
従業員一人ひとりの健康は、個々人や家族の幸せと事業発展の礎であり、従業員が心身の健康を保ち、最高のパフォーマンスを発揮してこそ、最高の仕事ができます。当社は従業員の健康を重要な経営資源の一つであると捉え、今後も組織的に健康活動を推進するとともに、個人の自発的な健康活動を積極的に支援します。

1028

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 120th

有限会社舞子運送



代表取締役
河原靖典 氏

あなたの会社の“物流”と“美化”のコンサルタント

- 代表取締役　河原靖典 氏
- 本社所在地　兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和
- 主な事業内容　貨物輸送、廃棄物処理業
- 従業員数　62名

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人 2019～2022
中小規模法人 4年連続認定
2021・2022 ブライト500 2年連続認定

企業理念～舞子品質

★社員満足　収益性のある会社を築き、従業員の福利厚生を高め、優れた労働環境を目指す
★顧客満足　運送・廃棄物事業を通じて美しい街作りに貢献できる企業を目指す
★社会満足　法令順守の精神を貫き、安全・安心を提供できる企業を目指す

健康経営のきっかけは従業員の難病！

2017年のちょうど真夏の蒸し暑い時期でした。ある社員が体調が悪いとのことで病院に行き、軽い熱中症の診断を受けて帰宅しました。その夜中に容態が急変して生死をさまよいました。原因は熱中症ではなく、日本に症例が10件しかなく、半数が亡くなっているという難病でした。
おかげさまで何とか持ち直して現在も元気に仕事をしてくれていますが、会社としてサポートしてあげないといけないという使命感から健康経営を始めるきっかけとなりました。

喫煙撲滅！

運送業の仕事柄、2年前は喫煙率が66％と大変憂慮すべき実態でしたので、煙草の販売会社の禁煙セミナーを実施し、電子タバコへの切り替えと、禁煙への挑戦を始めました。禁煙希望者は会社に「禁煙宣言書」を提出し掲示板に貼り出して、禁煙に成功したときは、もともとの非喫煙者も含めて非喫煙手当を支給しました。それでもやめられない社員向けに禁煙外来の受診費用も会社で負担したことで喫煙者の割合も劇的に減少し、今や数人の規模まで喫煙者が減少しています。



ヨガ教室の様子



本社ビル



企業理念

特定検診で早期発見、そして楽しいイベント！

健康診断は受診率は100％で、その後の2次検診も100％の受診となっています。おかげ様でここ2年毎年1人は重篤な病気が早期発見されますが、大事に至らず、現場に復帰してくれていることが望外の喜びです。
また、セミナーも年2回定例でマネー、睡眠、禁煙等、テーマを毎回決めて実施しています。全社員が集まることからセミナー後に懇親会・忘年会を実施し、みんな楽しくセミナーを聞いてくれています。

体と心のメンテナンス！

メタボや腰痛・肩こりに悩む従業員が多いため様々な取り組みで体と心のメンテナンスに努めています。
①ヨガ教室：心と体の調子を整え運動不足解消に。
②ワンポイントアドバイス：アクサ生命から提供されるチラシを給与明細に入れて渡し続ける意識改革
③仕出し弁当の提供：安価で栄養バランスのとれた食事の提供
④週一回心電図計測：早期に体調不良者を発見し、運転中の事故を未然に防ぐために実施
⑤カイロプラクティック施術：ゆがみの矯正・痛みの軽減で生産性アップ
⑥高濃度酸素発生機：血流改善・免疫力・集中力アップ

今後の対策！

昨今の働き方改革の以前から、長距離運行から撤退して、体調管理のため、早朝出勤でも6時以降出勤で、その日の夕方帰宅するシフト制を敷いています。おかげ様で体調不良で休暇を取得する社員がほぼいません。
新型コロナウイルス・熱中症・インフルエンザ対策としても、発熱等で体調不良を申告した際、産業医と相談のうえ、最低1週間の強制休暇を取得してもらい、感染防止に万全を期して安心感を醸成しています。
今後もできる対策は行い、明るい職場で、働きやすい環境を作り続けていきたいと考えています。

株式会社今井商店



代表取締役社長
今井俊介 氏

創業116年！和洋の良酒文化を通じて潤いある暮らしをサポート！

- 代表取締役社長　今井俊介 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市中央区港島南町
- 主な事業内容　業務用酒類卸売業
- 従　業　員　数　61名(男性:46名・女性:15名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019年より4年連続
2022 ブライト500認定

Voice Report 120th

＜今井商店の社会貢献活動＞

★コルク栓集めに協力し、心身に不自由のある方々の施設に寄付をしています。

★ロマネ・コンティのルーツ「サンヴィヴァン修道院」の修復保存募金活動に寄付し、協力しています。

★「神戸から東北へ」という想いから「ワインサポート東北」の発起人となりチャリティー活動に尽力しています。

ブライト500の認定を受けて増えた取材

今回までで健康経営優良法人認定を2019年から4年連続で取得させていただくことができました。今回2022では更にブライト500の認定を取得することが出来ました。
これもひとえに普段の取り組みが評価されたのだと思っています。
昨年までは優良法人認定取得マークをホームページ、店頭、名刺、会社案内等々あらゆる媒体に掲載し、取引先を始め、社内外に目立つよう露出してきました。おかげ様でこのマークに興味を持ってくれる企業・経営者が多く、沢山の方々に優良法人取得の良さを話せる機会が増えたことで仲間も少しずつ増えてきているのを実感しています。

優良認定取得による求人効果

健康経営を始める前は当社より早く優良法人認定を取得した会社から従業員の新規採用について効果があるとお聞きし、優良法人認定取得を目指し取得を継続してきました。
その結果、従前はハローワークを始め、様々な媒体で採用を行ってきましたがほとんど応募がない状況でしたが、優良法人認定マークを採用媒体に掲載したところ、年齢が若い方の応募が増え、実際の採用につながり、認定を取得した効果を実感出来ています。今年はブライト500の認定を取得出来たので、あらゆる媒体に掲載するようにしてこれまで以上に採用にプラス効果があればと期待しています。



チャリティ・ワインオークションの一幕



ワインサポート東北のチャリティ



会社全景

メンタルサポートは充実

メンタルサポートについては社内相談窓口組織がしっかりしていて、些細な事であったとしても早期に気遣いしながら対応してくれているだけでなく、外部の相談窓口や制度もしっかり利用していることで重大な事案には至ってないので従業員は安心感をもって業務に精励し、生産性アップの相乗効果ももたらしていると思います。今回ブライト500を取得したことでこれまで以上に気遣いのある対応を心掛け心の病で重症となる方はゼロのまま継続したいと思っています。

コロナ対策

昨今のコロナ禍の中、在宅勤務が増えたことで出勤率が劇的に減少しており、連絡がメールやSNS中心となり、実際に会って会話することが減っていることから健康診断について、従前より受診期間を長くして受診勧奨をしています。更に、2次健診に至っては、在宅勤務が影響してか要精密検査・要治療対象者がほぼ全員になるほど増えたため、1人づつ丁寧に2次健診を受診するまで何度も声掛けを行い、全員受診を達成しました。
しかし、今後、体調不良者を減らすための方策を速やかに検討し、実施しなければと考えています。
なお、感染症対策としてインフルエンザワクチンは当たり前ですが、コロナワクチンについても職域接種を事務所内で接種が出来るようにしたことから予約不要とのことで好評でした。

ブライト500認定を受けて

ブライト500の認定は健康経営を教えてくれた企業への恩返しにもなると思っています。また、現在加入しているロータリークラブの例会でも認定取得のコツを聞かれたりして、わかる範囲で回答しています。同様なことは全ての社員もお客様から聞かれることなので、特に営業の人間には説明できるよう研修・周知し、健康経営の良さを広げていけるようにしています。

1030

福岡県
福岡中央FA支社

Voice Report 120th

株式会社フクネツ



代表取締役社長
永島誠一郎 氏

「挑戦と和」
より良いものづくりを追求していくには、社員のこころとからだの健康が欠かせません

- 代表取締役社長　永島誠一郎 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県糟屋郡篠栗町
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　115名(男性:98名・女性:17名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 福岡支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2022 認定

1969年、日本が高度経済成長していく中で、ものづくりの縁の下を支える熱処理会社が九州にも必要であると考え、熱処理設備1台にて起業しました。顧客が集積していない九州において仕事量を確保していくためには付加価値を高める必要性を感じ、1976年から研削加工、1999年に表面処理、2017年から切削加工を行い、現在では熱処理を中心に、材料から切削、熱処理、研削加工、表面処理まで一貫した生産を行っています。

ふくおか健康づくり団体・事業所宣言

会社が成長するためには、社員の成長が不可欠であり、その大前提として、社員のこころとからだの健康が最も大切と考えます。近年、鬱病や生活習慣病などの発症リスクが高まる中、弊社で行っている健康診断の結果も年々、有所見率が増加傾向にあり今後の社員の健康への不安を覚え、社員への健康への意識改革を行うために、2021年5月にふくおか健康づくり団体・事業所宣言を行うことにしました。これまで行ってきた、全社員への健康診断やメンタルヘルスチェックに加え、ラジオ体操を朝礼前1回から朝礼前、昼休憩後の2回へと変更、インフルエンザワクチンの半額補助から全額補助への変更及び会社での集団接種など様々な取り組みを行いました。

健康経営優良法人認定に向けて

ふくおか健康づくり団体・事業所宣言を行った中、銀行担当者より健康経営のコンサルタントの方を紹介して頂く機会があり、やはりまだまだ不十分であり、健康経営優良法人認定に向けた活動が必要であると考え、2022年の健康経営優良法人認定に向けてキックオフすることにしました。社長として健康企業宣言を行い、社員のこころとからだの健康を守るための決意を示し、まずは、安全衛生会議の中に健康経営推進の組織を組み込み、体制を整えた結果、初年度から健康経営優良法人ブライト500に選んで頂くことができました。

社員のために

今後は、今までの取り組みにプラスして喫煙率低下のための禁煙外来や、普段、歯科に通院していない社員に向けた歯科検診の全額補助を決定し、多くの社員が受診するよう案内していく予定です。また、健康アプリに全社員の健康診断結果を登録し、社員自らが現在の健康状態を確認し、数値化された健康リスクの将来予測や、今後の健康増進に向けた目標管理などを行えるように致しました。さらに睡眠時間のアンケート調査や、体力測定による健康状態の確認を行い、社員一人ひとりの現時点での問題点を抽出し、更なる対策を講じ、有所見率を低下させていきます。

リテラシー教育

食事や運動、睡眠時間など社員自らが問題となる生活習慣を改善していくことが、健康への近道であると考えます。そのためには社員一人ひとりが健康への意識を高めていく必要があり、より多くの社内外セミナーに参加するなど、リテラシーを高める機会を提供していきます。また社内外にホームページや安全衛生会議等を利用して情報を発信し、会社全体で健康への重要性を認識していく活動を行っていきます。更に社員旅行、山登りやボーリング他、新型コロナウイルス感染拡大により出来なかったコミュニケーションや運動の機会を、コロナ対策を打ちながら可能な範囲で提供していく予定です。





社内レクリエーション 久住山登山

ありたい姿

我社の基幹となる熱処理は、1,000℃を超える温度や油を扱う厳しい作業環境にあります。厳しい環境であるからこそ強靭な製品を生み出すことができる日本に欠かせないものづくりだと考えていますが、健康を維持していくためには、厳しい作業環境を少しでも良いものにしていかなければならないと考えます。そのための設備、環境投資には、会社がより多くの利潤を生みだす必要があり、その利潤を生みだしてくれるのは社員です。社員の健康と成長、そして会社の成長が好循環していくような健康経営を全社員が一丸となって行っていくように取り組んでいきたいと思います。



健康経営優良法人2022 インタビュー

Voice Report

120th The Interview

株式会社HYK



代表取締役社長
上保木聡志 氏

関わる全ての人が幸せになれるように「いいこと思いついた。」を形に！だからこそ、「健康経営」！！

- 代表取締役社長　上保木聡志 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市清田区里塚２条6-1-3
- 主な事業内容　菓子製造業・福祉業
- 従　業　員　数　３名(男性:0名・女性:３名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

自らが被災したことが取組むきっかけに。関わる全ての大切な人達を守るための答えが「健康経営」でした。
さらに、「いいこと思いついた。」・「もったいない、を形に。」するためにも「健康経営」にこだわっていきます。

食と福祉を結ぶ。

私たちは、札幌マドレーヌ本舗マドマドレと就労継続支援Ｂ型事業所ベジタブルを運営しております。食と福祉というと、休憩がとれない、休みがとれない等働くのが大変そうと思われる方が多いと思います。だからこそ、働きやすい環境の会社があってもいいんじゃないか？
そんな思いで「健康経営」を目指しました。そして「食と福祉を結ぶ。」をテーマに「いいこと思いついた。」を形にしていきます。

働きやすい環境づくり

私は、「スタッフが・支援する人が疲れていては、いいサービスは提供できない。」と考えております。そこで、「土日祝祭日休み」「１日７時間労働（昼休みもしっかり確保）16時30分終業」「残業０時間（５年間残業０時間継続中です。）」「有給100％以上消化（翌年度の有給をどんどん使ってもらっています。）」「テレワークと時差出勤を活用したハイブリッドワークの導入（感染対策と孤立化を防ぐ）」と、少しでも働きやすい環境づくりに取り組んできました。
「健康経営」の取組情報はSNSで、積極的に発信しています。ただ、SNSは時間管理の難しさや精神負担が大きいのでスタッフには任せず、社長の私がSNS担当です。
それでもTwitterは18,000フォロワー様を超えるアカウントになりました。
「いいこと思いついた。」を形にして、さらに働きやすい環境づくりに取り組んでいきます。





写真左：札幌マドレーヌ本舗マドマドレの店舗
写真右：札幌マドレーヌ本舗マドマドレのマドレーヌ、クッキー等の商品
札幌から『まあるい優しさ、おいしい幸せ』お届けします!!

きっかけ～「ピンチをチャンスに。」

私たちは、2018年９月６日北海道胆振東部地震で被災し、建物が全壊判定を受け移転を余儀なくされ、マイナスからのリスタートとなりました。そんな大変な時を乗り越えられたのは、関わる全ての人の存在でした。職場がなくなるかもしれない、という不安を一日でも早く解消して、当たり前の日常を取り戻してあげたい、その思いがパワーとなり何とか乗り越えることが出来、今があります。

「もったいない、を形に。」は フードロス削減だけじゃない！？

まずは、廃棄野菜を減らしたい、だから乾燥野菜・野菜パウダーにしよう、だからお菓子にしよう、と「もったいない、を形に。」してきました。今は、お菓子の賞味期限をのばすことに注力しています。マドレーヌは製造から160日、クッキーは製造から144日と賞味期限の延長に成功しました。賞味期限をのばすことは、もちろんフードロス削減につながります。賞味期限が長ければ、在庫を持つことが出来るので、計画生産が可能になり、結果働く時間削減につながるのです。なので「もったいない、を形に。」はフードロス削減だけじゃなく、働く時間削減にもなり、先ほどの働きやすい環境づくりにつながっているのです。

まとめ～「いいこと思いついた。」を形に！

関わる全ての人が幸せになれるように「健康経営」にこだわっていきます。働きやすい環境づくりにチャレンジしながら、被災をした会社だからこそ、今度は被災地支援が出来る会社になりたいと考えております。常温保存で、軽くて、賞味期限が長いマドレーヌやクッキーを救援物資として活用いただけるように、「健康経営」を続けながら、安心安全な商品を作り続けていきます。
「いいこと思いついた。」を、どんどん形にしていける会社を目指していきます。

1032

北海道
札幌営業所

Voice Report 120th

株式会社システムウォール製作所



人生100年時代、健康であればまだまだ活躍できる

- 代表取締役社長　阿部幸男 氏
- 本 社 所 在 地　北海道石狩市新港南1-22-21
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　21名(男性:18名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

箔を付けたくて始めました、効果は感じ取れます。

「体に気を付けてね」、「サラリーマン体が資本だよ」、「具合悪かったら休んでね」、「おかしいと思ったら病院行ってね」などなど、健康を気遣う言葉は多々あれど、逆に私が言われた時にどう思うかというと、ありがたいと思う反面なにか他人事の、いわばあいさつ代わり程度にしか感じ取れない自分がいます。おそらく社員の皆さんもそうだろうというのが出発点です。
「会社も手間暇かけて頑張ってやってるんだから、本当にみんなの健康を心配しているんだから」という姿勢を感じ取ってもらい、会社もこれだけ取り組んでいるんだから(健康経営優良法人といういわば箔がついている)自分自身ももっと真剣に健康管理をしよう」と思ってもらいたくて始めました。

トレーニングルームの設置・・・
楽しみながら心と体を健康に

心も体も健康であることを目標にトレーニングマシン、ランニングマシン、体重計、血圧計を設置。休日には、家族も使用可能にしています。
複数の方が一緒にトレーニングをすることで、長期継続ができたり従業員のコミュケーションも取れています。
“〇キロ痩せる”“ベンチプレス80キロ上げる”などを目標にトレーニングに励んでる方もいます。



健康診断・感染対策・・・継続+発見+予防

健康診断では、35歳以上の方は全員胃カメラ検査を行い、脳梗塞、心筋梗塞リスク検査、消化器系がんセット検査、BNP検査、PSA検査、骨密度検査などのオプションを自由に追加できたり、メタロバランス検査(がんリスクを調べる検査)の追加検査なども行い早期発見を心がけています。
健康診断の結果後には、二次検査勧奨にも取り組んでいます。また、会社でインフルエンザの予防接種を受けるなど感染対策にも気をつけています。
コロナ対策には、アルコール消毒は各部屋ごとに設置、アクリル板で仕切りをして感染予防をしたり、検査キットを家庭にも保管してもらい、熱が出た時には直ぐに確認できるようにしています。
アクサ生命様から頂くワンポイントアドバイスも活用させていただいています。食べ物、飲み物、睡眠などのアドバイスが書かれたものを給料明細と一緒に渡すことで、本人そして家族の方にも見ていただき、家族も健康管理ができるような取り組みをしています。

従業員の高齢化・・・
健康であればまだまだ活躍できる時代

会社設立から19年目に入り、従業員の高齢化にふと気づかされます。
20代も2名ほど活躍していますが、平均年齢は47歳と高めです。
健康であれば70代、80代でもまだまだ現役で活躍できるのではないかと健康である事の大切さを改めて考えさせられます。
そのため、分煙の取り組みとして喫煙室も設置しました。
以前に比べ喫煙者は減っていますが、喫煙率は38%で、これからの課題になりそうです。



株式会社西尾青果



代表取締役社長
西尾清隆 氏

食卓に笑顔と健康をお届けする当社社員が健康であるべき会社を目指して

- 代表取締役社長　西尾清隆 氏
- 本 社 所 在 地　北海道室蘭市日の出町
- 主な事業内容　卸売業
- 従　業　員　数　13名(男性:6名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

お客様へ「安心・安全」をお届けするために

当社は、室蘭市中央卸売市場で昭和45年に創業以来、一昨年、50年という節目にあたり、北海道の広大な自然の中で育った野菜を生産者様から消費者の皆様へお届けするパイプ役として、「新鮮な野菜・果物を安心安全にお届けする」という信念を持ち、今日に至るまで、努力してまいりました。食を扱うという事は、『安全・安心』は当然ですが、その扱う私たち社員が不健康となれば、その食品も健康とはならない事を鑑み、先般、アクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度のお話を聞き、当社社員の健康促進増進と思い、認定へ向けての取り組みを開始しました。

市場関係者全部門にて実施した受動喫煙対策

昨年７月に「健康事業所宣言」に手を挙げ、真っ先に注力したのが『受動喫煙対策』です。職場環境の特性もあり、弊社のみ受動喫煙対策を実施しても、他の仲買業者も市場内にあり、各社同調し実施までのハードルが高く、思うような活動には至りませんでした。そこで、「卸売市場組合」を通じ、上記の「受動喫煙対策」をテーマとした議題を提案し、組合内で論議を重ねた結果、別途、「喫煙室」の設置を行う事を決め、対策を実施しました。
また、各仲買業者内の「勤務時間内禁煙」ポスターを組合で作成し、市場内各事務所・休憩所への掲示を施しました。



新たに設置した市場内「喫煙所」



市場内
『禁煙』ポスター



感染防止を目的した
TEAサーバーの導入

大切な社員とその家族の健康とともに

私自身「健康経営って？」からスタートし、健康経営関連の情報収集を行い、2021年7月の宣言後、自ら健康経営と正面に向き合う行動を行いましたが、自身を含め、今の年齢からの、健康不安の部分が健康診断等で多く見受けられてきております。「このままでは・・」と考え、会社を守る、さらには、お客様への信頼を継続させていかなければならない立場から、役員含め社員自身またその家族も守ることも、大きな使命と考えております。今一度、自身を含めた全社員の健康状態の「見える化」を進めるべく、今回の「健康経営」の各指標に行動を移しました。その結果、健康と正面から向き合う姿勢が確立し、大きな成果を得ることができました。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み

市場組合を通じて市場内及び各事務所内従業員間・来客面談時の飛沫防止を図り、市場主要箇所に、消毒液・ペーパータオル等を設置し、来客者も含めた「感染対策」及び「感染拡大防止」に努めております。
弊社としては、従業員全員に、毎朝の検温を実施し、管理者がその数値を確認し、台帳への記入を義務化とし、市場への入場を許可する「ルール化」を明確にしました。
また、新たにTEAサーバーを導入し、今までマイカップでの飲料補給を行っていましたが、紙コップを設置し、飲食からの感染防止を図りました。

今年度認定取得からみた今後の課題へチャレンジ

健康経営に取り組み、今回初めての「健康経営優良法人認定」取得になりましたが、役員・社員問わず、あまり見ることがなかった従業員同士での「健康意識」が徐々にではありますが、生まれてきていることが目に見えるようになりました。しかし、まだ取り組むべき課題が多く残されており、今回の認定を機に、今一度、精査し、来年の『２年連続取得』を目指すべく取り組んでいきたいと考えております。

1034

北海道
苫小牧営業所

Voice Report 120th

東海建設株式会社



代表取締役社長
中田孔幸 氏

「社員・家族共に健康である会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　中田孔幸 氏
- 本 社 所 在 地　北海道室蘭市高砂町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　37名(男性:30名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康経営連続認定を受けて

令和２年８月に「健康事業所宣言」に手を挙げ、今回の「健康経営優良法人認定2022」を昨年の認定に続き、取得することができました。各方面からのご助力に、深く感謝申し上げます。弊社では、健康経営を機に、一昨年から、「２次検診」の100%受診を、必須課題と掲げ、受診するための『ルーティン(組織運営)化』を図り、昨年においては一昨年と比較し、上記の目標達成までには至りませんでしたが、受診率を捉えると目標達成への足掛かりができつつあります。これは「健康経営」への取り組みを実施した大きな効果であり、また更には、役員含め全社員の健康への配慮意識付けとした無形効果を出すことができました。

「コロナ」渦中だからこそ、『感染対策』を徹底しての社員コミュニケーション

弊社は、毎年２月には「節分豆まき」、春には役員・従業員全員での「安全祈願・健康祈願」また、年３回の地域環境美化活動「まちピカ活動」、夏には「サマーフェスティバル」を実施していました。
昨年からのコロナ渦に伴い、夏のイベントは中止を余儀なくされましたが、「節分」「まちピカ活動」を実施し、社員間のコミュニケーション向上を図りました。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み

昨年より、入り口に来客者向け「体温自動測定」ならびに「アルコール洗浄」が一体化した機械を導入し、外部からの感染防止を図る取り組みを実施しました。



安全祈願 健康祈願
節分豆まき



地域清掃活動
(まちぴか運動)



体温自動
測定機

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

弊社従業員がいつも健康で、働き続けられるのは、従業員のご家族があってのことと私自身、常々思っている事です。
今は、従業員に何かあった場合の福利厚生として、会社で準備しておりますが、これからは、従業員だけではなく、そのご家族の皆様の「健康課題」を会社として取り組んでいきたいと考えております。

認定を受けての当社の目指す将来ビジョン

今回の弊社「健康経営優良認定法人2022」において道内含め、同業種認定企業も多く見受けられ、昨今の業界を見てみると業界全体の成熟度が増し、価値観が多様化を求められる今日、建設業界も大きな変革の時を迎えております。当社が企業理念として掲げている「共生と創造」そして「社員・家族とともに健康で」はまさにその使命を果たすではないかと思っております。

連続認定取得からみた弊社の課題へチャレンジ

健康経営に取り組み、今回「２年連続認定取得」となり、役員・社員問わず、会社全体での「健康意識」が芽生えてきていることが肌身に感じてきました。しかし、まだ取り組むべき課題が多く残されており、今回の認定を機に、今一度、精査し、来年の『３年連続認定』を目指すべく、取り組んでいきたいと考えております。また、弊社において2022年３月に『SDGs』への取り組み宣言を行い、「健康経営」と、両方での取り組みも加速していきます。









1035

北海道
苫小牧営業所

苫小牧港開発株式会社



代表取締役社長
関根久修 氏

従業員の“幸福”が企業成長への歩み

- 代表取締役社長　関根久修 氏
- 本 社 所 在 地　北海道苫小牧市入船町2-9-15
- 主な事業内容　フェリーターミナル運営事業、不動産事業
- 従　業　員　数　110名（男性：91名、女性19名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2022 認定

Voice Report 120th

国内有数の取扱量を誇る「フェリーターミナルの運営事業」をはじめ、「工業用地・住宅用地造成分譲事業」「苫小牧国際コンテナターミナル関連事業」「不動産賃貸事業」等を通じて苫小牧地域の発展と共にあゆみ、北海道経済に貢献しております。
港開発グループは地域に根ざした企業として、『社会的使命（Social Mission）・誠実（Integrity）・信頼（Trust）』をモットーにグループ一丸となって、これからも地域社会の発展に貢献してまいります。

「健康経営」を取り組んだきっかけ

安全・安心なフェリーターミナルの運営および苫小牧地域の産業・居住・都市機能の整備・拡充を通じて地域社会の発展に寄与するため、社員一人ひとりが貴重な『人財』であるという認識に立ち、社員の心身の健康を重視する健康経営の取り組みをスタート致しました。
社員全員が長い職業生活の中で元気でハツラツとその能力を発揮できるよう、社員および家族の健康の維持増進、職場環境の整備・活性化を推進し、社員の健康を通じて企業の成長を図り、社会の発展に貢献して参ります。

サステナビリティに繋がる健康経営

サステナビリティ経営の取り組みとして、2009年より、当社が分譲した住宅エリアで生活する児童に環境教育の場を提供するため、市内小学6年生児童と共に「道の駅ウトナイ湖」に隣接する社有地「苫湖Myグリーンパーク」にて植樹会を行っています。
また、社会教育への貢献と地域の人々から喜ばれるフェリーターミナルを目指すため、2014年より、主に教育機関を対象とした当社コンシェルジュによる、「社会科見学」の受け入れや、コンシェルジュが講師として、市内小学校を訪問し苫小牧西港に関する学びの場を提供する「みなとの出前講座」を実施しております。
今後も活動を継続して行い、健康経営へ取り組む所存です。



ウトナイ小学校の児童とどんぐりの苗木を植樹。
自然保全と動植物の生態系について学びます。

みなとの出前講座
苫小牧港の役割や物流、フェリーの種類などを、コンシュルジュがこどもたちにわかりやすく紹介しています。



福利厚生での社員向け健康経営

健康経営の一環として、インフルエンザ予防接種の家族補助や配偶者健診費用補助、社員が当社レストランで使用できる食事補助券の配布をしております。また、健康経営の指標の一つでもある「コミュニケーションの促進」として、運動機会の提供とコミュニケーション活性化のための社内部活動への費用補助等、各種施策に取り組んでおります。
なお、日々の業務等で生じた疲労・ストレスを解消するため、気軽かつ低予算で旅行できるよう、保養施設の利用料金補助も実施しております。

さらなる意識向上へ

毎年２回定期健康診断を実施しており、社員の受診率は100％です。また、定期健康診断後、要治療・要受診対象者に対しては、個別に受診勧奨文書を送付するほか、「定期健康診断再検査受診休暇（2日以内／年度）」を設けております。しかし、社内での再受診率は50％に満たないことや再受診対象者自体が多い等の課題もありますので、引き続き健康改善に向けた取り組みを実施していきます。

今後の展望

地域社会と自社のサステナビリティに資する経営を実践するため、「新たな社会動向・グローバルな課題を視野に入れたサステナビリティ経営への取り組み」を中期経営計画の主要テーマとして、社員一人ひとりがいきいきと働けるよう、ワークライフバランスの推進と定着させるための制度設計等、今後も様々な「challenge＝挑戦」をし、健康経営に邁進してまいります。

1036

北海道
旭川営業所

道央建鉄株式会社



代表取締役社長
安達晃幸 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　安達晃幸 氏
- 本 社 所 在 地　北海道滝川市幸町3-3-16
- 主な事業内容　鉄骨工事業
- 従　業　員　数　32名(男性:26名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

北海道の滝川市で、鉄骨工事業を展開しています。創業から50年以上が経過しました。健康経営は企業の永続的な発展と従業員の幸せを同時に目指せる取り組みです。従業員の元気は会社の元気！元気の源である健康に、会社全体として今後も取り組んでいきます。

健康経営に取り組んだきっかけ 注力した取り組みをお聞かせください

健康経営の取り組みについて、2年くらい前から意識し始めました。本格的に取り組んだのは昨年からです。
過去に定年間近の従業員が亡くなってしまい大変辛い思いをしました。その時に知り合いの社長の会社で、健康経営に取り組んでいることをお聞きし、会社で従業員の心身の健康を守ることの大切さを再認識させていただいたことがきっかけとなりました。
今、特に注力していることは、女性の結婚や出産による離職を防ぐための休暇制度や、健康診断の内容の強化、朝礼等で健康情報の提供などを行っています。
これらは従業員の声を聴き、取り組みやすく、すぐに実践できることからコツコツ始めようと取り組んでいきました。
今では、会社全体が健康思考へチェンジしてきていること、そして、社員の一人一人の意識が変わり、健康に関する話題や情報、意見などが、よくでてくるようになりました。

苦労した取り組みや今後の課題はなんでしたか

引き続き健康に関する定期的な情報提供をおこなっていきたいと思っていますがその資料作りにはけっこう苦労しました。また、禁煙対策も今後の課題と思っています。そして、コロナ禍が続く中、従業員どうし親睦をどうはかっていくかということも課題となってきています。

今後の展望

従業員の健康は財産であり、健康経営に取り組むことで仕事の効率もあがり福利厚生・社会貢献にもつながり、ちいさな1歩が大きな効果を生んでくると思っています。コロナ禍で大変な状況が続きますがこういう時だからこそ、コロナ対策を十分したうえで親睦、コミュニケーションを高めるスポーツイベントなども考えていきたいと思っています。







1037

北海道
帯広営業所

株式会社ネクサス



代表取締役社長
曽根啓介 氏

お客様に最高の成果を提供すべく、常に技術を研鑽

- 代表取締役社長　曽根啓介 氏
- 本 社 所 在 地　北海道帯広市西6条南6-4
- 主な事業内容　土木建築工事業
- 従　業　員　数　42名(男性:32名・女性:10名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

基本理念に則り、社員一人一人が誠意を持って仕事にあたり、ご満足いただける施工とともに感動をお届けし、さらにお客様の繁栄をも考えられる会社でありたいと思っております。また、地域社会の一員として、環境や高齢化の問題だけでなく、総ての人に優しいユニバーサルデザインの考え方を元に、具体的な生活提案をさせていただきます。さらに社会のみならず社員一人一人が、地域に住む人々と共に将来の長きにわたって、健康で安全な生活を営んでいける社会の実現に貢献してまいります。

健康経営の取り組み

人生100年時代による長期雇用継続化に向けて、高い技術を必要とする建設業では、社員の健康維持が必要不可欠です。中でも年長社員は、年相応の健康維持が困難な事や、後進の若い世代の方々も食生活の偏り等の悪影響にて、ベストコンディションを維持していくのは自助努力だけでは、難しいと感じさせられる現実に日々、直面しております。しかしながら、全社員の健康維持・増進が実現できれば、さらに高い仕事のパフォーマンスが期待できるため、当社の経営理念の「技術の研鑽」の実現に向けて、国が推奨する「健康経営」の導入に踏み切りました。

フィットネスクラブや公共体育施設での健康支援

フィットネスクラブと法人会員契約をしています。
人生100年時代に突入し健康面にも気を遣いながら長く働いていただけるように、当社社員は法人会員価格で安く利用することができます。
また、「あおぞら共済」にも会社負担にて、加入しており、公共の体育施設も全社員、格安にて利用する事が可能です。
(とかちプラザ・明治十勝オーバル・よつ葉アリーナ十勝・サンドーム音更)
個々人のご予算に合わせて、利用しやすい体制としております。
全社員が、活用しやすい運動機会の促進を図っております。









社員の健康を把握するためにアンケート実施

健康経営の取り組みは現状維持ではなく常に新しい取り組みを考えています。本年度は全従業員を対象に生活習慣に関するアンケートを実施しました。
生活習慣を把握することにより改善点が明確になり、今以上に従業員の身体の健康、心の健康のサポートに繋がると感じています。また、ワークエンゲージメントの状態もわかるため、今後の働きやすい環境作りの参考にしていきたいと考えています。

病気の治療と仕事の両立促進に向けた取り組み

けがや、重い病気により、「会社や同僚、仕事関係の人々に迷惑をかける」との思いから離職を考えなくて済むように、会社契約で医療保険に加入することにより、社員の皆さんが治療を続けながら、いきいきと働き続けられるように、治療と仕事の両立支援を行っています。
勤務時の事故によるものであれば、労災が適用されることは当然の事としながらも、勤務外の事故や病気であっても、社員は家族と捉えて、医療保険による給付金支給を行い、会社が経済的不安を払拭し、社員の皆さんを支えていくことを目的としております。

今後の展望～　積極的に新たな人材の獲得

マイナビとの連携による日本全国での求人活動。中途採用・未経験者も含めて、入社後に安心してキャリアアップできる教育体制。
そして、充実の福利厚生制度を導入しております。
最新の当社独自の取り組みとしては、
①奨学金返済支援制度
②貸与自動車車種選択制度(私有車利用可能な車を貸与)
③携帯電話手当支給
その他、退職金制度・産休育休制度・資格取得支援制度、そして、何よりも「健康経営」の取り組みが挙げられます。

1038

岩手県
盛岡営業所

Voice Report 120th

株式会社オリテック21



代表取締役社長
櫻岡賢拓 氏

「従業員が健康であること」が会社の何にも代えがたい財産です

- 代表取締役社長　櫻岡賢拓 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県紫波郡矢巾町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　25名(男性:18名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

(株)オリテック21は「オリジナルの技術を活かし、内に信頼、外に信用、社会に貢献する集団を目指す」を経営理念に掲げ、「橋梁の点検調査から補修補強工事まで」のメンテナンス業務に当社オリジナルの技術を提案しています。新しいことを柔軟に取り入れ、社員の「やってみたい！」の気持ちを尊重して成長してきた会社です。失敗を恐れて何もしないのはもったいない！失敗したら次に挽回すればいい！そんな「失敗が許される会社」を目指し、風通しの良い職場づくりに努めています。

社員ひとりひとり楽しく働いてほしいから

まず、根底にあるのは、社員にはいきいきと働いてほしいという願いです。当社は30代・40代が多く活躍しており、家族を支えている世代でもあります。会社は社員とその家族を守る責務があると考え、社員がこころも身体も健康でいるための働き方を常々模索しておりました。そんな時にアクサ生命の担当者より健康経営の具体的な取り組みを提案いただき、スタートさせることができました。

身体が資本の仕事だからこそ

当社は橋梁の点検・補修工事が主な事業内容です。現場作業員は身体的に大変な日もあります。身体が資本の仕事だからこそ、健康には気を使ってもらえるように社内に血圧計・ヘルスメーターを設置したり、心身のリラックスに役立ててもらえるようフットマッサージャーを購入し、休憩時間などに活用してもらっています。
また、定期的に健康についてのセミナーを開催し、日々の生活に役立つような情報を共有しています。







2022年2月1日健康セミナー実施
テーマ:普段何気なく飲んでいる飲み物のカロリーについて
講師は代表取締役自らやっていただきました☆

風通しの良い職場づくりが健康への近道！

社員が健康であるために何より重要なのは、やはり社内の雰囲気ではないでしょうか。仕事で失敗したとしても信頼のおける仲間や上司のサポートがあれば、大きな壁にぶちあたったとしても大抵乗り越えられると考えます。私たちの職場では常にチームで業務を行い、一人で抱え込まないようにしています。常に周囲を気にかけ、相談しやすい職場づくりをこころがけています。
そして、そのためには日々のリフレッシュは欠かせません。残業、休日出勤は基本させないことでプライベートを充実させ、働く意欲を保てるよう配慮しています。
また、ここ数年はコロナの影響で密な行事は難しい中でも、社員同士の交流を図れるようなレクリエーションなどを企画し、風通しの良い職場づくりを目指しています。





2021年10月実施のウォーキング大会の表彰式にて

今後の展望

専門家を招いたセミナー等を定期的に開催し、社員の健康への意識を高める取り組みや、協会けんぽが実施する事業所内での歯科検診を継続的に行うこと。
また、ウォーキングアプリなどを活用した取り入れやすい企画の実施や、決まったイベントを毎年の恒例行事にすることで、社員全員が参加しやすい無理のない健康経営を目指していきます。

花住ホーム株式会社



■ 代表取締役社長　石川征路 氏
■ 本 社 所 在 地　岩手県花巻市材木町12-38
■ 主な事業内容　一般建設事業
■ 従　業　員　数　40名(男性:28名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

こんな会社です。

花住ホームの家は自然素材をふんだんに取り入れ、きれいな空気をつくる「身体に良い住まい」をコンセプトとしてきました。一生涯のうちに摂取する物質のなんと約８割が空気で、なかでも室内空気が全体の57％を占めています。体に良くない食べ物や飲み物は意識すれば取り入れるのを避けることができますが、空気は吸わないというわけにはいきません。だからこそ、一日のうち特に多くの時間を過ごす住まいの室内空気＝住まいの空気環境が大切になります。また、花住ホームの住まいの「基本性能」として高断熱・高気密・計画換気・全室同温湿度など、高いレベルの性能を全棟に実現しております。

健康経営に取り組んだきっかけ

花住ホームはまもなく創業40年を迎えます。昭和58年(1983年)の創業当時より、常に時代の先を見据えた家造りを心掛けてまいりました。現代における暮らし方は多様化しており、ご家庭の数だけ家造りのスタイルがあると思います。弊社は、フルオーダーの家をご提案させて頂くことで、多様化する生活スタイルの中、それぞれのお客様が満足のいく理想の生活を実現するお手伝いをさせて頂きます。未来に向かって、心を豊かにするような快適で健康的な家造りを目指してまいります。2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsの取り組みに、弊社でも出来ることから参加してまいります。2021年にはRE Actionにも参加をし、使用する電力を100％再生可能エネルギーにすることを目標に掲げ、脱炭素社会の実現に微力ながら協力出来たらと考えております。この地球に住むすべての人々に寄り添った家造りを目指し、一人でも多くの方に幸せになって頂きたいと願っております。
新型コロナウイルスが流行し、健康について改めて考えるきっかけとなりました。持病や生活習慣病が原因で重症化することも周知され、より健康でいることが大事だということを感じました。通常の住宅会社であれば他の業者に外注される、土木工事、上下水道、電気工事なども含め、自社で施工にあたる体制を整えています。だからこそ、社員の健康は必須といえます。

取り組みについて

定期健康診断率も毎年100％を達成しております。安全大会も実施しており、消防署の方に来ていただきAEDの使用方法、心肺蘇生法などを学んでいます。アルコールチェッカーも導入し、社員が毎朝測定しています。今後もアクサ生命さんのお力添えをいただき、健康経営に取り組みたいと思っています。









1040

岩手県
花巻営業所

Voice Report 120th

株式会社中央コーポレーション



代表取締役社長
佐々木史昭 氏

社員一人一人の健康が、全社の健全経営に繋がる

- 代表取締役社長　佐々木史昭 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県花巻市東宮野目第11-5
- 主な事業内容　鉄骨工事業
- 従 業 員 数　131名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

★取り組んで一年が経過して

2020年度から健康経営へ取り組みましたが、きっかけは当社社員の喫煙率が意外と高いことでした。特に若手社員の喫煙率を減らせないか！と思って始めましたが、期待していたほど効果は出ていないのが実情です。一方、会社全体に健康管理の大切さをメッセージとして強く打ち出すことが出来、社員全員で歩数チャレンジに取り組み、健康増進に寄与出来ています。普段話をすることがない社員同士のコミュニケーションも促進され、会社経営全般にプラス効果を生んでおり、今後にも大きな期待をしています。

みんチャレを歩数チャレンジに一本化

当初は約135名の社員全員が、①歩数、②運動、③栄養、④睡眠、⑤禁煙、の5つのジャンルから自由に一つを選んで、5人一組で構成するチーム員となってもらい、アクサ生命推奨のスマートフォンアプリ「みんなでチャレンジ」を活用してチーム毎に活動を日々共有、楽しみながら健康増進へ取り組むはずでした。しかし、①歩数以外のジャンルでは毎日継続が出来ず脱退者が出てしまうなど、中途半端な状況が見えてきました。毎日続けるにはハードルが高すぎたり、アプリ自体の完成度が低い場合もあったようです。そこで、昨年7月に思い切って社員全員で、①歩数チャレンジに取り組むことに一本化し、チーム全体の再編成を行いました。総務部のサポートが全員に届きやすくなり、毎週、各チームの平均歩数がランキング化されてラインで共有、全社における自分のチームの立ち位置も明確になり、モチベーションが維持しやくすくなりました。半年ごとにチーム構成もリセットし、新たなメンバーと親しくなるきっかけにもなり、社内の懇親ツールとしてもよく機能していると評価しています。

岩手の自然を健康経営の源に

岩手県は自然に恵まれた山や川、海に囲まれた癒やしの空間が豊富です。社長みずから、岩手20名山の完登を目指して精力的に取り組んでおり、年内に達成の見通しです。岩手の山は、一番高い岩手山でも標高2037m、ルートを選べば一日で登下山が可能で、八幡平、姫神山、早池峰山、焼石岳などの名山に加え、三ツ石山、秋田駒ヶ岳、和賀岳、東根山など、自然豊かな山々を気軽に楽しむことができ、そばには必ず個性豊かな温泉があります。社員には岩手の自然を楽しむよう推奨し、当社の健康経営の源にしています。





健康関連行事を積極的に開催

従来より毎朝、社員全員揃ってラジオ体操を行っていますが、冬期間に推奨される転倒防止体操を年間通して行うことで社員の転倒防止に効果を上げています。国道4号線沿いの花壇の整備を、事務所の社員総出で、健康管理も兼ねて楽しみながら行っています。春と秋の年2回、懇親ゴルフコンペを開催するようになって26年になり、令和4年6月に第52回大会を開催しました。社員だけでなく取引先の参加者も多く、健康増進に加え、懇親も大いに深まっています。当社にはかつて野球に懸命に取り組んだ社員も多く、ソフトボールで活躍した女性社員もおり、男女問わず、花巻鉄工会野球大会（軟式）等に積極的に参加し、華麗なプレーを見せています。

1オン1ミーティングの活用

令和3年度から、平素から上司と部下が定期的に1対1で、仕事に関わらず、どんなことでも気楽に話し合う場を設ける1オン1ミーティングを行っています。3か月に1回30分程度、年4回ほど、上司は聞き役に徹しながら様々な話題を話し合うことで、お互いの信頼が深まり、本音で話し合える関係が醸成できてきていると感じています。当社では安全衛生活動目標として、社員のメンタルヘルスに起因する欠勤率が0.9%以下となるよう、年間を通してモニタリングしていますが、1オン1ミーティングを開催するようになってこの数値が低下して来ていると感じており、社員一人一人を大切にする経営の一つの形として成果が上がっているものと喜んでいます。





1041

岩手県
大船渡営業所

株式会社小澤商店



代表取締役社長
小澤伸之助 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　小澤伸之助 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県釜石市大町1-10-6
- 主な事業内容　不動産業
- 従　業　員　数　4名(男性:3名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

当社は、釜石市内を中心に展開する複数のグループ会社の本社機能として重要な存在です。各社の事業は、多岐に渡り、不動産事業及び自動車教習所、タクシー事業、FRP製造業、そして食の製造加工販売といずれも地域に必要とされて、地域に密着し、社会に貢献してビジネス展開しております。
「人」は資産。これからも長く働ける職場として「健康経営」に取り組んでいきます。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営優良法人認定制度を知り、目指してみようと思い取り組みはじめました。何より「働く人がいないと会社は回らない。」
私自身は、健康を意識しています。今回は、外部からのきっかけを機に、従業員1人1人を見直す大変良い機会と捉えました。
そして、1人1人の意識を高めていきたいと思いました。
まずは、グループの総務的位置付けの(株)小澤商店から認定を取得しようとスタートしました。

大切な人財だからこそ健康経営に取り組む！

グループ各社の労務管理をする立場として、健康経営優良法人認定項目を満たせるように、自分達が率先して健康経営に取り組んでいこうと意識が高まりました。
まずは、健康診断受診と再検査は必ず行くことを徹底しました。
また、職場に血圧計を設置していつでも測定出来るようにして、みんなで楽しみながら、日々の健康管理が進みました。
さらに、定期的に職場内で、アクサ生命から毎月提供される健康経営ワンポイントアドバイス等を活用して、健康情報提供の機会を設けています。
今後の課題は、運動不足の解消です。



盛岡駅フェザン店



恒例のグループ全体登山♪

職場の親睦を深めたい！

以前から、社員旅行やお花見、慰労会、忘年会など、健康経営の指標の一つでもある「コミュニケーションの促進」にも取り組んできました。なかには、グループ全体での親睦の機会もあります。
恒例となっているのが、毎年開催している霊峰出羽三山登山です。40年近く、継続しており、昨年もご来光を見に行きました。心が洗われるようで、何とも言えず気持ちが良かったです。食事は、精進料理を頂くのが恒例となっており、健康的です。この行事は、先代から引き継ぎ、これからも大事にして継続したいと考えております。

健康経営に取り組む効果

アクサ生命の「健康習慣WEBアンケート」を実施したことで課題が明確になってきました。今後も継続して、毎年WEBアンケートを実施していくことで経年比較をして、生活習慣の「見える化」をして、課題と改善点に取り組んでいきます。
グループには「食」に携わる会社もあります。毎日の食生活改善は大切なことです。これからは、食の部分も連携していく予定です。
健康意識が高まってきている中で、長く働ける職場環境を創っていきたいと考えております。

今後の展望

今後の計画として、地域への感謝の気持ちを込めて、毎月1回グループ全体で地元の清掃を実施する予定です。飲食店も多い地域ですし、地域住民あっての会社ですので、はじめてみようと思いました。日頃の運動不足解消にもつながり、やりがいもあることなので定着させていきたい。まさに、健康経営と思います。
最後に、今年はグループ全社が健康経営優良法人認定取得出来るよう取り組み始める第一歩の年にしたいと考えております。

1042

宮城県
仙台営業所

株式会社本間青果



代表取締役社長
本間　充 氏

「共に生きがいのある人生の創造」を実現するために

- 代表取締役社長　本間　充 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区
- 主な事業内容　青果物・一般食品等卸売業
- 従　業　員　数　75名(男性:45名・女性:30名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

弊社は、経営理念でもある「私たちは、共に生きがいのある人生を創造します。」を実践するために定年制を廃止し、意欲がある従業員はいつまでも働ける職場環境にしました。その為には心と身体が健康であることがとても重要であると考え、今後も従業員の健康増進にしっかりと取り組み企業価値の向上に繋げていきます。

従業員の平均年齢が高くなり 体調管理がとても重要と考えていました

青果卸の仕事は、早朝から始まります。事業を拡大していく中で、従業員の平均年齢も高くなってきておりました。お取引先が増えても業務に支障が出ないようにするためには、従業員の体調管理がとても重要であると以前から考えておりました。また、人手不足で求人を行っていたのですが、より仕事に熱意を持った人材を求めていくために何か差別化出来る事はないか？と思案しておりました。そんな時に健康経営アドバイザーから「健康経営」という話を伺い、この考えは弊社に必要なのではないかと判断しました。

従業員の健康増進だけでなく採用にも 効果があると知ったことがきっかけでした

さっそく話を伺うと、①従業員への健康増進を会社が積極的に行うことで会社の業績向上や価値向上につながる。②ホワイト企業の証として社会から認知される。③その結果、採用にも効果がある。という説明に納得しました。すぐに健康宣言し、健康経営に取り組むことを決意致しました。健康経営は、会社全体で従業員全員を巻き込んで取り組む必要があります。弊社は、仕入れ・営業・総務と部門によって業務内容も就業時間も異なります。その為、全従業員への普及を実践する担当者を設置して会社一丸となって取り組みを開始しました。



ラジオ体操の様子



行動変容を促すための掲示物

産業医と連携し、健康診断の結果から 2次検診と特定保健指導に取り組んでいます

健康診断で2次検診が必要な従業員を対象に、産業医との面談、2次検診結果の提出までを義務化しました。過去、2次検診を放置し重症化した従業員がいました。自分自身の健康を疎かにさせないために、会社として産業医と連携しながら受診勧奨を行っております。また、特定保健指導についても対象者は必ず面談を受け生活習慣の改善をしていくよう保険者と連携して取り組んでおります。インフルエンザ予防接種費用の会社一部負担も導入しております。

喫煙率が高いことも課題でしたので 思い切った施策を導入しました

喫煙率が高いことも課題でした。4年前に新社屋ができた際に、喫煙所を遠く離れたところに設置し、この場所のみでの喫煙を許可しました。また、喫煙所の清掃は喫煙者が交代で行うことにしました。徐々にですが喫煙者が減少してきたと思います。煙草は健康に良くないことは明らかです。喫煙者からは反対意見も出ましたが、従業員の健康が最優先ですのでこの取り組みを継続しております。目標は、喫煙者をゼロにすることです。

定年をなくし、意欲ある従業員は いつまでも働ける職場にしました

弊社は65歳定年制でしたが、4年前に定年という制度を廃止しました。現在は、働きたいという意欲がある従業員は、いつまでも働くことができる環境です。少子高齢化ですので高齢者が元気で意欲を持って働ける職場がこれからは必要だと考えています。その為には、心と身体が健康でなければ仕事を続けることができません。弊社で働くことで収入だけでなく健康も手に入れることができ、それが大切な従業員の幸せにつながると信じ、これからも健康経営に　取り組んで参ります。

株式会社ＴＯＨＯ



代表取締役社長
早川英雄 氏

「年齢を重ねても元気に働ける職場作り」の実現に向け

- 代表取締役社長　早川英雄 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　27名(男性:24名・女性:３名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

当社では年齢の高い従業員も多く、長く勤めてもらうには、会社全体で従業員の健康を守ることが大切だと考え、健康づくりを始めました。協会けんぽ宮城支部を行い、健康経営優良法人認定を目指しました。従業員の健康課題を顕在化し、従業員全員で健康づくりに取り組み始め2022年健康経営優良法人認定を取得しました。

社員の健康状態を案じ、将来の事業継続のため健康経営の取り組みを決意しました。

健康経営に取り組む以前から、社員の健康状態について不安を感じておりました。社員が病気休業し不在の際は、部門を超えてサポートをしています。これをきっかけに、社員の健康は事業を継続していく上では、とても大切なことであると強く感じるようになりました。将来も事業を継続していくためには社員が健康であることは必須であり、経営者として、何か対策を講ずる必要があると考えておりました。

「従業員の喫煙率は高く、受動喫煙者への健康被害を防ぐ」ことを取り組みの中心に据えました。

社員に喫煙者が多く、受動喫煙の健康被害を防ぐこと、喫煙による健康被害を意識してもらうことで、自分自身で考え行動するよう促し、健康経営の取り組みの大項目としました。具体的には、喫煙場所を徹底すること、灰皿数の削減、喫煙場所の人数の制限という喫煙ルールを作り、社員全員に通知しました。また、新規営業社有車を禁煙車に設定し、喫煙防止を推進しました。健康経営セミナーで実施した血管年齢測定会では、喫煙者の中に、実年齢よりも血管の老化が進んでいる社員もおり、喫煙により健康被害の気づきになりました。今後も、社員が自分で気づき減煙・禁煙に取り組める施策を考えていきます。



春と秋に血管年齢測定会を実施しました

コロナ禍でも従業員同士のコミュニケーションを大切にしています。

当社の従業員は20代～60代まで幅広い年齢層で構成されており、業務上だけではなく業務を外れてもコミュニケーションを大切にしてきました。
新型コロナウイルス感染症の影響から、ディスタンスを取らざるを得ない環境の中、感染対策を行いながらコミュニケーションの場を作り、従業員のコミュニケーション活動をサポートしています。
今年はグランドゴルフを予定していましたが、当日の天候不良により、グラスカーリングとボッチャを全員で行いました。体を動かしながらコミュニケーションも取れ、笑顔で取り組んでいた事が印象的でした。



グラスカーリングの様子



ボッチャの様子

今後の目標

「年齢を重ねても従業員が元気で働ける職場作り」の実現に向け、年齢の高い従業員には自身の健康を大切にした健康づくりの支援を、若い従業員には将来の健康を意識して今からできる健康づくりの支援を実践していきます。定年まで少しでも健康で勤務できる環境を整備するのが今後目指すところです。そしてこの会社で長く働きたいという社員を健康面でサポートできるのが健康経営だと認識しております。大切なのは「健康寿命」、従業員の健康寿命を延ばせるように一人一人が考え・行動する健康集団を目指して、これからも健康経営に取り組んで参ります。

1044

宮城県
仙台営業所

Voice Report 120th

隼電気株式会社



隼電気㈱社屋

「社員が幸せになれる会社」を目指して

- 代表取締役社長　千葉ミオ 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　32名(男性:27名・女性:５名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「健康」「経済」「人間関係」この3つが人生において重要であると考え、会社を経営しております。土台は「健康」です。「健康」であるからこそ、「人間関係」が良好となり、「経済」つまり、会社の成長や従業員の収入アップにもつながります。従業員の健康を会社一丸となって、増進させることが、私の使命であり、社員が幸せになれる唯一の道であります。だから健康経営に取り組むことにしました。

「健康」「経済」「人間関係」この3つを大切にしたい。

社長に就任してから、ずっと取り組んできたことは、社員が幸せになれる会社を目指したい、そのためには、「健康」「経済」「人間関係」のこの3つを大切であると考え、会社を経営してきました。当社は、本人が希望すれば、ずっと働けることができるのですが、健康でなければ、働くことができませんので、従業員が健康であるように以前から、いろいろと取り組んできました。そんなときに、健康経営アドバイザーから、健康経営という取り組みについて話を伺う機会があり、健康経営優良法人認定の取得を目指すことを決意致しました。

従業員の健康課題を把握して、取り組みを行っています。

まず最初に従業員の健康習慣についてアンケートを実施しました。その結果から、運動をする習慣がない従業員が多かったこともあり、以前から、階段利用の促進をしておりましたが、このアンケート結果を受けて、より一層の階段利用を促しております。もちろん、体調不良のときなどは、エレベーターを利用してもかまいません。階段を利用することで、運動不足の解消を図るとともに、足腰の鍛錬にもつながりますので、これからも継続して、階段利用の促進を行っていきます。





社員自ら向上委員会を開催し、健康問題の解決に努めています。

PET検査、献血での検査成績などを活用して、生活習慣の予防を図っています。

いまやがんは日本人の2人に1人はかかると言われております。当社では、健康診断だけでなく、40歳以上を対象として、PET検査も会社費用負担で、実施しております。早い段階でがんが見つかれば、治療に専念して、また職場に復帰してくれることが可能です。大切な従業員を病気で失うことほど、つらいことはありませんので、PET検査を実施しております。また、献血にも取り組んでおります。検査成績を確認することで、自身の健康状態に関心を持ってもらい、生活習慣の改善に役立てて頂いております。

従業員同士のコミュニケーションを活性化360度評価で、仕事にもプラス。

人間関係もとても大切です。当社では、従業員同士のコミュニケーションを活性化させるために、好きなことや熱中していること、将来の夢、などを共有しております。こうすることで、普段、現場に出て、顔を合わすことが少ない従業員同士のお互いのことを知る、良いきっかけにしてもらっております。また、360度評価で、お互いの長所を言葉で表すことも取り入れています。やはり、お互いの良いところを知ることで、仕事に良い影響を与え、成果にもつながってきていると実感しております。

仙台市企業禁煙プロジェクトに参加社員が幸せになれる会社を目指します。

禁煙活動にも力を入れております。禁煙ポスターの掲示や禁煙手当の支給をしており、喫煙率の減少に繋がっております。また、仙台市企業禁煙プロジェクトにも参加し、喫煙者へは、禁煙補助剤と禁煙サポートリーフレットを配布しております。健康経営の取り組みは、これからも続けて、社長自らが率先して、従業員の健康増進に繋がるように取り組んでまいります。「健康」「経済」「人間関係」の3要素を満たされるように、従業員と一緒になって、社員が幸せになれる会社を目指してまいります。

1045

宮城県
石巻営業所

Voice Report 120th

株式会社友善商事



代表取締役
小笠原博美 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　小笠原博美 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県石巻市湊
- 主な事業内容　自動車部品販売業
- 従　業　員　数　33名(男性:23名・女性:10名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

1973年3月に自動車部品販売会社として創業、2023年に50周年を迎えます。
乗用車から大型トラック、更に外車の部品まで、自動車部品や用品を総合的に扱う商社です。

創業社長と２代目社長が健康で苦労した

創業後６年で創業者ががんで他界。その後を引き継いだ２代目社長が苦労して会社を発展させ、新社屋や第二倉庫を落成させるまで拡張しました。そして、２代目社長もがんで他界。
2010年に３代目として私が事業を承継しましたが、志なかばで断念せざるを得なかった歴代社長の無念や苦労は、健康であることの重要さを教えてくれました。
社員ひとりひとりが自分の人生の経営者であり、また、社員が明るく笑顔で働いてくれることが会社にとっての財産。そして会社の発展には社員の健康が必要不可欠だと思っています。



段ボールギーニを社員と取引先で囲んで

女性の働きやすい職場環境の整備

社内では10名の女性が活躍しています。産休や育休の間はチームワークで仕事をカバーし、復職しても働ける場所がある安心感を持てるよう、社内ルールを整備しました。
また、男性社員と女性社員がコミュニケーションを図れるよう共同作業を行ったり、女性の働き方に関する情報を男性社員に向けて発信するなど、女性活躍の推進が会社の成長につながるよう取り組んでいます。



健康習慣アンケートで課題が見えてきた

社員の家庭での食生活や健康意識はなかなか把握しにくいです。そのため、健康習慣アンケートを実施しました。日頃の取り組みもあってか、健康は重要と考えている社員がとても多いことが明らかになる一方で、さまざまな課題も浮き彫りになりました。
「会社は自分の健康を見てくれている」と受け止める社員も出てきましたので、今後も継続して健康習慣アンケートを行い、経年の変化を捉え、課題の解決に取り組んでいくつもりです。

内部発信・外部発信への取り組み

健康経営の担当者を総務部門から選任し、事務的なことを一任。社内外の発信は社長やIT担当者が行う体制にしました。
社外発信では、所属する経営者団体や地元商工会議所で取り組み内容を発表するとともに、他社の事例を積極的に取り入れるようにしています。





（2022年3月24日　石巻商工会議所にて）
全般を社長、具体的取組を総務担当者が発表

1046

宮城県
石巻営業所

有限会社武山商運



代表取締役
武山孝好 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　武山孝好 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県石巻市
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　48名(男性:35名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

2021年8月に設立20周年を迎えた運送会社。宮城県内や首都圏への運送を手掛けるとともに、地元石巻市の小中学校への給食の配送や隣接市町村の郵便局同士の局間輸送など、幅広い面で地域に貢献しています。2011年の東日本大震災による被災を乗り越えて、2022年2月、新社屋が完成しました。

人手が必須の業態だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました

運転中の事故が最も会社へのダメージが大きいので、疲れが溜まっていないか、睡眠不足ではないか、運転に集中できているか、等々のドライバーの健康が最も気がかりです。
私生活を含めて、悩みや不安を感じることなく安心して働ける環境を作ることが大切だと考え、早くから健康経営に取り組み、2021年から２年連続で健康経営優良法人の認定を取得しました。

デジタル化を健康経営に活かす

運転中の速度や急加速などを記録するデジタルタコグラフと、衛星利用測位システム(ＧＰＳ)を連動させたシステムを全車両に完備しています。車両の位置情報をリアルタイムで把握することにより、顧客サービスで的確な指示を出せるだけでなく、しっかりと休憩できているかを本社から確認できます。
真面目なドライバーほど休憩を取りたがらないので、「休憩をとることも大切」とアドバイスしています。





外部の力を借りて健康経営の取り組みを進展させる

運送業界では、健康が起因となる事故が相次いでいますので、「安全第一」ではなく、「健康第一」こそが顧客から選ばれる会社になると信じています。
そのためには外部の力を積極的に借りることも必要。当社では、公認心理士を招いた社内研修やストレスチェックを実施してきました。また、地元商工会議所の共済福祉制度を担当している保険会社のサービスも活用し、課題の抽出→対策の立案→対策の実施と効果の検証→次の課題の抽出、というサイクルを年間を通じて回しています。

年齢の差や性別の差がない職場を目指す

20歳代から60歳代までの幅広い年齢層の従業員がおり、そのうち約15%が女性ドライバーです。
従業員の健康習慣アンケートを行ったところ、「雇用延長など年齢に関わらず働ける職場を希望」との回答が多くありました。これは、『この会社で長く働き続けたい』という気持ちの表れと受け止めることができます。
年齢や性別に関係なく、明るく元気に働ける職場づくりを目指すには、健康経営を外すことができないと感じています。



前列と２列目が女性

三和工業株式会社



代表取締役
佐藤隆一 氏

風通しの良い職場を構築し、社員の創造性を引き出す

- 代表取締役　佐藤隆一 氏
- 本社所在地　宮城県石巻市北村
- 主な事業内容　製造業
- 従業員数　40名(男性:34名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昭和49年に従業員２名で精密板金を主体に創業。以降、拡大を重ね、現在は設計から塗装までを一貫して手掛けるモノ作りのプロフェッショナル集団へ変貌。取引先から指示された物を図面通りに作るのではなく、「品質と精度」にこだわり、使用する背景を考えながら最終利用者を意識して製作しています。

設計から塗装までの一貫した製作のためには機械と職人技の両方が必要、だから健康経営

当社は経済産業省や中小企業庁の認可を得てさまざまな先進設備を導入しています。設備を効率よく稼働させ、操作をするのは、「人」。また、設計から塗装までの一貫した製作のためには、職人技も必要になります。
製造業は不良を出さずコストを最小化してこそ利益構造が安定しますが、それを支えるのは経営者ではなく、社員です。モノ作りを支えるのは社員であり、代替がききません。
身に付けたスキルを会社で永く発揮してもらうためには、健康が必要不可欠です。



導入した最新の
ファイバーレーザー加工機

体の健康も心の健康もバランスの良い食事から

食事への意識向上に少しでも繋げられればと、社内に昼食は勿論、自分のスタイルで活用出来る置き型社食を取り入れました。厳選された食材が安心と、昼食に限らず夜ご飯の一品にお子様のお弁当の一品に、様々な活用ができると好評です。
また、体調不良による作業能率の低下を減らし、食事のバランスの大切さに繋がり始めています。
そして、１日中モノ作りのために現場で作業をしているわけではなく、研修や教育機会もたくさん設けています。
2022年は管理栄養士を招き、食事や栄養について社内セミナーを計画。健康情報に関するチラシを毎月全員に配布しており、１年以上継続してきました。この積み重ねが社員の意識改革につながり、さらにセミナーによって一段高い結果につながると期待しています。

社員に報いる福利厚生

退職金制度の確立とともに、社員全員が利用できる外部サービスを導入しました。このサービスは電話相談とスマホ健康アプリの２つで構成され、電話相談は「健康相談」と「メンタル相談」が利用できます。
社員は20歳代前半から60歳代後半まで幅広い年齢になっており、家族構成もさまざま。家庭内の健康上の悩みにも相談に乗ってもらえますので、利用価値が高いと思っています。
スマホの操作が苦手な社員もいますので、健康アプリの定着が今後の課題です。

健康経営とSDGsは相性が良い

当社事務所の入り口には、SDGsの取り組みを一覧にして掲示しています。SDGsの17の目標のうち、「③すべての人に健康と福祉を」、「⑧いきがいも経済成長も」の２つは健康経営の目的と一致します。
また、健康経営は会社と社員が一緒になっての取り組みであり、さらに外部のサポートも必要なので、「⑰パートナーシップで目標を達成しよう」にも合致すると思います。
これからも会社の成長と社員の生活の安定のために健康経営の取り組みを継続します。







1048

山形県
山形営業所

株式会社タカハシ電工



代表取締役社長
髙橋勝彦 氏

「従業員の働きやすい環境を整えること」実現のために

- 代表取締役社長　髙橋勝彦 氏
- 本 社 所 在 地　山形県山形市くぬぎざわ西4-1
- 主な事業内容　一般電気工事業
- 従　業　員　数　34名(男性:29名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は、おかげさまで令和元年に創業50年を迎えました。病院・学校・工場・住宅等建物に関わる幅広い分野で電気工事業を手掛けております。また、近年地球温暖化防止に役立ち、且つ環境に優しい太陽光発電やエコキュートの施工・販売も力を入れております。今後も、お客様に『安全』・『確実』に電気を使用いただけるように、若い人材を育成し『信頼』される企業を目指します。

従業員にとって働きやすい環境を整えること。その為に健康経営に取り組む必要を感じました。

健康経営に取り組むきっかけは、２年前にアクサ生命の担当者から健康経営の情報提供があり、健康経営優良法人認定のお話を伺った際です。
ちょうど当時、弊社として取り組みを強化していた従業員の働きやすい環境つくりと相まって、従業員の健康に留意する必要性を感じておりました。
静かで景観が良い山形中央インターへ本社の移転により、従業員にとって働きやすい環境を整えることがハード面で加速できました。
また、冷却ファン付作業服や安全靴等、安全に配慮した取り組みを強化しております。
会社施策が一方的にならぬよう、年2回の賞与支給時期に、社員の声や悩み相談を個別に聞く体制を構築しております。
そのような取り組みの中から、従業員からの声が多かった、本社と米沢営業所のリモート環境を整えるなど、ウイズコロナに対応した施策ももつことができました。
健康経営の取組は、結果として、働き方改革関連法により、就業規則を改定し、労働環境を前倒しで見直す良い機会ともなりました。



ロッカールームには、汗を流すことが出来るシャワールームも完備しています。

会議室には、卓球台も設置してあり、仕事終わりに楽しくレクレーションを行っています。



大切な社員の健康増進への取組。

健康経営により、高校卒業者を毎年継続して採用できるようになりました。また、新規学卒離職率の低下も図れております。
働きやすい環境を整え、健康経営に取り組む弊社の姿勢が、徐々にではありますが、社内だけではなく社外にも浸透して来ていると実感しております。
今年の課題は、健康診断の再検査受診100％を目指すことです。定期健康診断は100％受診できておりますが、要再検査の従業員の受診がなかなか進展しません。
せっかく健康診断を受けているのに、再検査を受けることで万が一の重篤な病気を回避する機会があるのに、非常に残念でたまりません。
会社として、従業員の健康増進を目指し、運動後仕事後の汗を流すために、ロッカールームやシャワールームも完備しております。
また、従業員間のコミュニケーションを深めるため、会議室に卓球台等設置しております。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

今後の健康経営の展望は、従業員の健康だけでなく、従業員の家族の健康も拡大して留意していくことです。
弊社にとって従業員は、家族そのものです。従業員の家族ももちろん同様です。
現在アクサ生命の健康経営ワンポンイアドバイスを毎月配布、自宅にお持ち帰り頂いております。
そのような取り組みを拡大しながら、健康経営の展開強化して参りたいと思います。

株式会社多田



代表取締役社長
多田丈弘 氏

いつまでもあると思うな親と健康

- 代表取締役社長　多田丈弘 氏
- 本 社 所 在 地　山形県寒河江市栄町8-41
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　74名(男性:15名・女性:59名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

平成17年に創業、山形県寒河江市を中心に特別養護老人ホーム、デイサービスなど介護事業に取り組んでまいりました。現在では企業主導型保育園、フィットネスジム、給食センターの事業を行っております。「株式会社多田は良い介護サービスをする」ではなく、「どんな業態でも良いサービスを提供してくれる」と、思っていただけるように日々努力し、活力ある地域社会の実現に向け精進してまいります。

健康経営を取り組むきっかけ

企業の将来ビジョンの中で「介護度の維持改善率」を3年後には寒河江市でNo1に、5年後には山形県でNo1、そして10年後には日本一に、ひいては「健康寿命日本一」を目標としております。利用者の介護度維持改善率を向上させるには働く社員自身が「元気」でなければ利用者の方へ「元気」を提供することができないと思います。その為には社員自身が心身ともに健康であることが重要と考え健康経営に取り組むこととなりました。

健康寿命を維持するためには、「栄養」・「口腔」・「運動」の３つが重要

健康寿命の維持をするには「栄養」・「口腔」・「運動」の３つが欠かせません。そこで自社の業務を生かし、特に「栄養」と「運動」に対して従業員に食事の提供や運動する環境や機会を提供しております。

給食センターを利用した取り組み

給食センターに在籍する管理栄養士が毎週、従業員向けに献立を作成し情報発信を行っております。発信当初に比べ現在ではオススメの季節食やいろんなテーマに沿った献立を作成、最近では女性の鉄分不足についてをテーマとした献立を作成頂いております。
また、従業員向けに栄養バランスを考えたお弁当を１食２５０円で提供しており、特に男性職員の利用が多く、以前はコンビニで昼食を購入しカップラーメンを食べる従業員が多くいましたが今では栄養バランスの取れたお弁当を利用する従業員が増えております。



管理栄養士が作成した一週間の献立

運動の機会とコミュニケーション

当社の一年間の計画の中に「ネクサス」という取り組みがあります。業務に関する研修の他にソフトボールやドッヂボールなど運動をする行事も行っております。現在はコロナウイルス感染に気を付け「コミュニケーション」と「心身ともに健康」になろうという取り組みを行っております。また、フィットネスジムを無料で従業員に利用いただいております。社内では愛好会のような形で自転車部などの活動も行っており、現在11名ぐらいで活動しています。
「ツール・ド・さくらんぼ」などのグルメライドに参加、平日出勤前の朝５時、６時に活動を行い体を動かすと同時に、自身と従業員のコミュニケーションを図る場としても活動しております。



企画弁当のチラシ



ネクサス活動「ソフトバレーボール」

「三方良し」の経営理念

経営理念である「三方良し」に基づき、「お客様良し・社員良し・会社良し」をバランス良く取り組む中で、社員の離職率が低くなりました。介護サービス業界は長くお客様に馴染みの顔がいる事が重要だと考えております。そのためにも社員が健康で長く働ける環境づくりを目指し計画を立てて取り組んでまいります。

1050

福島県
いわき中央営業所

Voice Report 120th

リーフエステート株式会社



代表取締役社長
熊田　亮 氏

心身ともに健康で働き続けることができる企業に

- 代表取締役社長　熊田　亮 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市鹿島町
- 主な事業内容　不動産業
- 従　業　員　数　10名(男性：5名・女性：5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

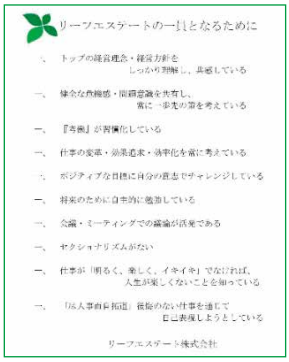
仕事は、明るく、楽しく、イキイキと

弊社の社訓に『仕事が「明るく、楽しく、イキイキ」でなければ、人生が楽しくないことを知っている』とあります。心身ともに健康でなければ、「明るく、楽しく、イキイキ」と仕事をすることはできません。
人生も楽しくすることはできません。
常々、社員の健康は会社にとって最も大事なことと考えていました。社員が不健康では生産性も落ち、社内の雰囲気も良くありません。特に、社員の平均年齢が40歳を超えた7, 8年前から健康問題に対しての意識が高くなってきました。

できるところから

当時、健康診断で要治療、要再検査と指摘される社員も多かったのですが、二次検診の受診率はあまりよくありませんでした。まずは病気の早期発見、早期治療が大事なので、二次検診の費用を全額会社で負担し、受診結果までを管理をするようにしました。今では、受診率は１００％になり、体調不良で長期休暇を取る社員もほとんどいません。
また、私自身が健康のお手本になるようにスポーツジムに通い始めました。ジムでの運動だけではなく、積極的に体を動かすようにし、食生活の見直しもしました。その結果ダイエットに成功し、体調も良くなりました。その姿を見せたことで、ジムに通い始める社員がいたり、社員の健康に対する意識も徐々に変わってきたと思います。
そのような中「健康経営」の案内を受け、現在取り組んでいることそのものでしたので、すぐに賛同しました。やるからにはただ漠然とするのではなく、社員の意識を高めるためにも優良法人認定という目標に向かって取り組むことを決めました。





健康習慣アンケート

日ごろから社員の健康には気を使っているつもりでも、いざ「健康経営」となると、これ以上どう取り組んでいいのかわかりませんでした。
課題を見つけるために健康習慣アンケートを実施したところ、仕事への満足度は高く、誇りを感じながら仕事をしてくれている一方で、ストレスを感じている、不健康な生活習慣がある等の課題も見えてきました。
健康に対する意識が変わってきたと思っていましたが、喫煙については改善意識が低い傾向があることもわかりました。
アンケートで客観的に分析できたことはとても参考になりました。

コミュニケーション

お客様に直接接する機会の多い仕事なので、ストレス軽減や職場のコミュニケーションを深めるために、定期的に食事会やボーリングなどのレクリエーションを実施しています。何をしようか、どんなお店にしようかとみんなで考えるのも楽しみの一つになっています。
コミュニケーションを取る中で、職場の問題の共有やお互いに助け合う精神が根付き、気兼ねなく休暇が取れる雰囲気になっているので有給休暇の取得率は高く、産休育休も取得できています。
離職率も低いのは嬉しいことです。



今後に向けて

喫煙対策に関しては、喫煙所を屋内から屋外に移しましたが、喫煙率はまだ改善されていません。
禁煙意識の向上にむけて更に取り組みを検討したいと思います。
今後も社員が心身ともに健康で働き続けることのできる企業を目指したいと思います。

株式会社いわき印刷企画センター



代表取締役社長
鈴木一成 氏

ひとりひとりの社員が会社の財産
～健康第一、社員ひとりひとりの幸せを願って～

- 代表取締役社長　鈴木一成 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市平荒田目
- 主な事業内容　印刷業
- 従　業　員　数　19名(男性:9名・女性:10名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営に取り組むきっかけ

数年前より始業前に行っていたラジオ体操。会社での一日の始まりに、出社してから仕事への切り替えのスイッチとして取り組んでいました。このような取り組みを広報誌やSNSに掲載していたところ、アクサ生命の担当者の方より「健康経営優良法人」の認定取得を目指してみては、とご提案をいただきました。社員ひとりひとりが健康であるからこそ、毎日の仕事に全力で取り組むことができる。当社のスローガンである、“良い会社をつくりましょう”に通じると考えています。



社員の意識改革

これまでの仕事の進め方(属人化による偏りなど)で発生している長時間労働の常態化を解消するため、仕事が多い時でも、適材適所で柔軟に対応できる体制を整えています。時間外労働の削減目標と実績を見える化することにより、社員ひとりひとりが業務の改善に取り組んでいます。仕事の進め方(考え方)を変えるには、いくらか時間はかかりましたが、前年度よりも残業を減らしていく意識を持てるようになってきました。



塩屋崎灯台



フラガール

イラストでいわきを元気にしよう！といわきのたくさんの良いところを発信しています

完全週休二日制の導入
～ライフワークバランスの相乗効果～

私たちの会社は、子育て世代の30、40代の社員が中心です。健康で継続的に仕事に取り組むためには、仕事だけでなく、私生活の充実を図ることも大切と考え、今期より完全週休二日制を導入しました。ライフワークバランスの充実している環境が、社員ひとりひとりの仕事に対するポジティブで活力あふれるモチベーションにつながると考えています。

健康管理

私たちの会社は、すべての健康保険加入者が健康診断を受けています。診断後の二次検査や保健指導を受けるように積極的に声掛けを行い、社員ひとりひとりが健康づくりへの意識を高めています。また、社内で血圧計を共有スペースに置き、気軽に測れるようにしたり、社員同士で体重管理の情報を共有しています。こうした活動を広報誌やSNSへ掲載することにより、健康づくりの継続につなげています。近頃、自主的にジョギングを始めた社員もいて、とてもいい傾向だと思っています。

今後の展望

何事も継続することが大切です。まずは、健康に関する情報を回覧したり、掲示物などで意識付けを行い、前向きに取り組めるようにしていきたいです。「健康」は、身体的な健康と同じく、精神的な健康も大切です。今後はメンタルヘルスケアも心がけ、カラダもココロも健康で、仕事が継続できるよう体制を整えていきたいと考えています。ひとりひとりの社員が健康で安心して働き、社内、社外からも「良い会社だね」と思ってもらえるよう、これからもいろいろ学びながら取り組んでいきたいと思います。

1052

福島県
いわき中央営業所

Voice Report 120th

いわき電気工業株式会社



代表取締役社長
末永雅登 氏

地域の未来づくりに貢献できる企業をめざして

- 代表取締役社長　末永雅登 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市平五色町
- 主な事業内容　電気工事業
- 従　業　員　数　45名(男性:39名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

働き方改革と健康経営

数年前から従業員の健康については意識をしていました。特に東日本大震災後、業務に追われ残業続きで体調を崩す社員が増え、業務にも影響が出始めていました。
その頃、働き方改革という言葉も聞かれ始め、業界でも認定や入札、助成金等にも関係し、取り組まなくてはいけない流れにもなっていました。適正な労働時間と健康は密接だと感じていたので、働き方改革に取り込まないと健康になれないと強く思いました。それが健康経営に取り組むきっかけになったと思います。

ワーク・ライフ・バランス

まずは、労働時間の改善に取り組みました。
工期のある業種では、「仕事はしっかり、労働時間は短く」することはたやすいことではありません。
そこで機械化やネットワークの整備、活用等環境面で時短につながることは積極的に取り組みました。
有給休暇に関しては、年間5日も消化できている社員は少なく、現場を抱えてだと、なかなか休みを取りづらい状況がありました。そこで、消化率を上げるために『有給取得推進日』を設けました。繁忙期を避け、工期などを確認した上で、年間2日間は連休になるように会社で決めて取ってもらっています。残りの3日間は社員の都合で自由に取ってもらいますが、1月くらいになると、消化率をみて声掛けして更に促進しています。
また、女性社員だけでなく、男性社員でも育休を取りやすくしました。すでに3人の実績があり、1ヶ月～2ヶ月間取得しています。女性社員よりは短い期間ですが、ご家族に大変喜ばれています。



『仕事と生活の調和』『働く女性応援』など社員の働きやすい環境作りに取り組んでいます

健康づくり

健康診断結果のデータを管理し、再検査の指摘があった社員には二次検診の声掛けをしています。以前は業務多忙を理由に受診率が低かったのですが、今では100%受診になっています。
ストレスチェックも義務ではありませんが、3年前から実施しており、結果が悪い社員には個別面談やメンタルヘルス相談窓口も設けています。
万が一、病気になってしまっても治療と仕事を両立できるように治療費のケアについても整備しています。
また、運動機会を持てるように、スポーツジムの入会金を会社負担にしました。まだ利用者の人数は少ないですが、こうした取り組みが、徐々に社員の意識に浸透していくことを期待しています。

課題

喫煙に関しては、喫煙所を屋内から屋外に移したり、禁煙に成功した社員に報奨金を出す制度も作りました。実際に制度を使って禁煙に成功した社員も出ました。ただ喫煙率はまだ高い傾向にあるので、完全禁煙に向けてはまだ過渡期です。
健康になりたいという意識には、まだ社員間でも格差があります。朝礼や回覧で健康に対しての話題を取り上げるようにしていますが、コロナ禍で毎年実施していた安全大会が出来なくなり、みんなで集まる機会は減ってしまっています。もっとコミュニケーションを取りながら、健康づくりに対しての意識を上げるようにしていきたいです。



株式会社稲村屋



代表取締役社長
稲村光弘 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　稲村光弘 氏
- 本 社 所 在 地　福島県双葉郡広野町
- 主 な 事 業 内 容　宿泊業・飲食業
- 従　業　員　数　35名(男性:15名・女性:20名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

弊社は2011年の東日本大震災により被災した地域の復興に携わる企業や地域の方々を支援し、今後50年は続く廃炉事業に従事する関係者の長期滞在での衣食住の食住を提供する会社です。私たちの子孫が未来で安心して生活ができる街づくりに少しでも携わり、「住んでよかった」「働けて良かった」と思えるような会社を目指してまいります。

社長の思いと健康経営の趣旨が一致した

初めて健康経営の話を聞いたとき『当たり前、当然のこと』だと共感できた。メリットがありデメリットはないことですぐにでも認定を目指すこととなり、従業員の意識改革として朝礼で注意喚起より始めてはみたが、いざ実践してみると「分かってはいるが何から始めたらよいのかわからない」まさに手探りの活動でした。しかしながら活動1年目で経済産業省の健康経営優良法人の認定、福島県の健康経営優良法人の認定も受けることができたので今後も継続して認定されるよう日々努力してまいります。

禁煙への取り組みと説得力

お客様用に設置した喫煙ルームが、日中はお客様が少ないことから従業員が多く利用していたため、離れた場所に社員専用の喫煙所を設けたが距離があるせいで往来が逆にもやもやし、良い発想もうまれることなく時間だけが消費され改悪された環境となってしまった。また、従業員が喫煙していてはお客様に「宿舎禁煙」に対する説得力が無く、受動喫煙につながるなどお客様にご迷惑をかけてしまう恐れがあるため、社員用の喫煙所を撤廃し排煙装置の設置してあった喫煙ルームも撤廃しました。会社全体に禁煙を促すことで、結果ニコチン・タールといった有害物質を取り込まなければ頭はスッキリし、回転が良くなり仕事がはかどり良い発想も生まれ、また家族からも喜ばれ節約もできるようになった。お客様を最優先にといった考えから社員が常時喫煙していた環境から禁煙活動に成功し、就業時間中は完全禁煙にできた。



稲村屋　火の口本館



稲村屋24Hお風呂

新型コロナ等の感染予防の徹底

2020年に発生した新型コロナの対策として、従業員や来社する関係者の方用に事務所や来客用の応接室の仕切り設置と手指消毒はもちろんですが、お客様の多くは長期滞在の方であり休日になっても都内へ戻れない方のケアをはじめ、入退出の安全確認や手指消毒の徹底、朝食時や夕食時、お風呂の利用に対し三密対策を行うなど「自分たちも感染しない、させない」を徹底し、お客様や関係各社の関係者の感染拡大予防の徹底に全社を挙げて全力で取り組んでいます。

従業員のみではなくお客様の健康も促進したい

健康経営を実践していく中で、従業員の健康はもちろん、ご利用いただいているお客様の健康も考えることも宿舎サービスの一環と考えております。長期滞在で家族と会えずストレスがたまり、食事など自己管理が疎かになりがちで健康を損なう可能性が高くなるため、健康食を提供することで食事面のサポート、入浴時間を限定せずストレス無くいつでも入浴できるよう体制を整えております。更には新型コロナの影響によりなかなか帰省ができないお客様もいる中で、休日や空き時間に運動ができる運動施設の斡旋提供しており、土日祝日でも毎日と変わりなくくつろげる環境作りなど、きめ細やかなサービスを提供し健康な体作りもサポートしています。

今後の展望

現在某健康器具メーカーと連携しお客様の健康管理のための環境の準備を進めております。具体的にはお客様に身体の状態を把握できる装身具を装着しデータを取得、データを一元管理することで産業医と連携して病気の早期発見、予防や生活のアドバイスを行います。健康滞在宣言『ゴルフ×宿泊×健康食』生活習慣予防サービスとして事業を展開目指します。「サービス提供は当たり前、料金還元だけでなく人生100年時代！」これからは携わるすべての人に健康を還元していきたいです。

1054

福島県
白河営業所

Voice Report 120th

株式会社三森電機



代表取締役社長
三森穣治 氏

「共に成長　共に喜び」
～目的はすべての人の幸せと成長のために～

- 代表取締役社長　三森穣治 氏
- 本 社 所 在 地　福島県石川郡石川町
- 主な事業内容　電気工事・電気制御設計・保全
- 従　業　員　数　19名(男性:14名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

会社の経営理念に目的はすべての人の幸せと成長のために、会社経営の必要な視点として習った3つをアレンジしてスローガンを掲げています。人間性、科学性、社会性、当社にとっては人が一番です。

体が資本、健康あってこそ、「健康経営」を知って、取り組むことにしたものの、何から始めれば・・・

優良法人の認定を取るぞ！と周囲に尋ねたり、調べたりしながら始めました。健康経営アドバイザーの資格を担当する社員と社長が勉強して修了しました。社内で何をどこから始めていいかわからずに悩んでいたところに、アクサ生命の担当者から健康経営のサポートができるとの提案を受けて、相談をしました。まず取り組んだのは、健康習慣WEBアンケートで自社の健康課題を良い点も悪い点も知ることができました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

当社は以前は男性社員しかいない時代があり、迷いながら採用したことがありました。女性社員を採用したことで会社の雰囲気が変わり明るくなってきました。先代のころから社員自身はもちろん家族の健康のことは大事だと考えていました。レクリエーションや社員旅行などやってきていました。今になって、正しかったと振り返っています。健康経営で多様な社員のコミュニケーション、交流のための場づくり、などが重要であると再確認する気持ちです。

【主な取り組み】
・年頭式での社員それぞれの今年の目標発表
・年間計画の発表会
・レクレーション(花見、バレー、BBQ…)




2021年4月2日
マスタープラン(年間計画)発表会後のバレーボール大会の様子

目的はすべての人の幸せと成長のために、健康経営は新たな共通言語

私淑する、稲盛和夫氏のアメーバ経営を導入しています。人として何が正しいかをベースに、企業に高い目標と正しい性格を与え社員全員が所属する集団ごとの採算管理をすることにより全員参加経営を実現する経営管理手法です。お陰で、社員全員がコミュニケーションをとる共通の物差しができています。はじめは、「また何を…」あまりよくない反応でしたが、今となっては、幸せと成長を掲げる当社にとって、健康経営は新たな共通言語になると感じています。



2021年12月
冬のイルミネーション

健康経営に向けた課題

アンケートを基に食事をとる時間や食べているもの等を調査した。偏った食生活、朝ごはんは食べないという事が20代に多い事から、このままだと健康を保てなくなってしまうのではないかと思い、バランスの取れた食事をとって頂くことが課題と分かった。バランスのとれたお弁当を提供し、半分は会社にて負担する等を検討中。心と体のバランスを維持し、健康を続ける事が目標‼



MIMORI Electric Corp.

八溝マテリアル株式会社/八溝運輸商事株式会社



代表取締役 藤田氏　西森氏
代表取締役 田代氏

「共成、そして共生」共に成長　笑顔あふれる豊かな社会

- 代表取締役　藤田千恵子 氏　田代裕一 氏
- 本社所在地　福島県東白川郡棚倉町棚倉町裏34-2
- 主な事業内容　砕石製造・産業廃棄物処分
- 従業員数　30名(男性:25名・女性:5名)　16名(男性:16名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営優良法人2022認定は、社員たちの自主的チャレンジが始まり！　八溝マテリアルと八溝運輸商事では社員の健康と職場の安全のために昨年より安全衛生委員会を発足させました。両社とも、働き方や職場環境も異なり、危険を伴う業務を行っている社員が多くいます。安心して働ける職場づくりを目指し、委員会では各部署の若手社員を中心に健康と職場の安全について意見を交わし、様々な取り組みを実行しています。それらの活動を通じて、「健康経営優良法人認定取得」の挑戦が始まりました。

安全衛生の取り組み内容

まず、社員の健康課題を把握するために健康習慣WEBアンケートを実施しました。それぞれの健康についての意識を踏まえ、より健康に関心が持てるような取り組みを行います。セミナーの開催や健康に配慮したお弁当の提供、社内の自動販売機の飲料物カロリーと糖分の表示をしました。社員同士でも健康に関する話題が多くなったと感じていることから継続的に実施していきたいと考えています。

家族を安心して送り出せる職場環境づくり

砕石の工場内の安全パトロールを実施しています。危険個所のチェックや職場が整理整頓されているかの確認を行います。見落としがちな危険個所も他部門の社員が見ることで気付くことがあります。業種的に危険が伴う職場だからこそ、安全作業が出来る環境づくりに取り組んでいます。お互いの職場環境を見ることで、相互理解とコミュニケーションが格段に高まったと実感しています。



2021年8月健康セミナー実施
テーマは筋肉貯筋



健康弁当



安全衛生委員会の様子

先手必勝、決めたら早い。健康に向け一致団結！

安全衛生委員会から健康経営優良法人認定取得の目標を発案され、会社としても全面バックアップの体制を取りました。委員会だけでは決定しにくい事項についても社長、会長のフォローにより、プロジェクトの成功を加速させています。屋内禁煙についても、社長の即断により実施、喫煙者も納得して取り組むことができました。

社員が主体、皆で共に学び、意見やアイデアが出てくる取り組みにしたい。

健康経営の取り組みを始めて、社員の口から、健康に関する話題が多く聞かれるようになりました。健康診断の再検査受診率も高まるのではと期待しています。「次はこんなことをしてみては」とアイデアも出てきており、健康への意識も向上しています。社員が健康第一で過ごせる会社であり、業務も安全に遂行できる、企業づくりに取り組み、笑顔あふれる豊かな会社を目指します。

1056

福島県
白河営業所

株式会社藤建技術設計センター



代表取締役
近藤松一 氏

社員とその家族を大切にする会社

■代表取締役　近藤松一 氏
■本社所在地　福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野65
■主な事業内容　測量調査業務・土木設計・地質調査
■従業員数　47名(男性:35名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

社員の健康についての取り組みは、当社にとって最優先課題です。縁があって入社した社員が健康に過ごせる。それでこそいい仕事ができ、会社発展の実現に繋がります。今年で、3年連続の認定を取得しました。トップダウンで始めた取り組みも、今では社内全体に浸透してきたと感じています。昨年発足した「健康推進委員会」は当初手探りでしたが、企画・推進に熱意をもって、楽しみながら取り組んでいます。今後も、社員が健康上の理由でキャリアを損なうことがないよう、また明るく健康な職場環境を作れるよう、より一層「健康経営」の取り組みを進めてまいります。

皆で楽しみ、課題の運動習慣を増やしたい

「元気で働く職場」応援事業 **労働災害・転倒防止** をテーマにセミナーを実施しました。全5回にわたるセッションで、期間を集中して行ったため、仕事との兼ね合いに苦労した社員もいたようです。実際始めてみると、その場で身体の弱点が分かり、改善点(鍛える部位)が明確になったことで、自分の身体を改めて見直すきっかけになりました。体力的にハードという声もありましたが、効果を実感し、結果的に楽しみながら仕事のリフレッシュになりました。

労働災害を未然に防止！
座学と運動の実践により効果的な健康づくりスケジュール！！

回数	実施月	時間	運動プログラム内容	備考
1回目	10月29日	グループ差その1 9:00～13:00	転倒リスク測定&カウンセリング	8:30より会場設営。測定終了時間によりセミナー時間変更あり。
		全員 14:00～15:30	**カラダかわるセミナー** 実技やワークを通して、健康的に無理なく減量する方法を学ぶことができる体験型セミナーです。具体的な目標設定や普段の生活を変えていくことができる生活習慣改善プログラムです。	
2回目	11月12日	グループ差その2 ①13:30～14:30 ②15:00～16:00	**ミニボールレッスン** ミニボールを使った、職場や自宅でも簡単にできる運動をご紹介します。ストレス解消・メタボ対策にも効果的なプログラムです。	
3回目	11月26日	グループ差その2 ①13:30～14:30 ②15:00～16:00	**効果的なウォーキング** 「効果的な歩き方」のコツを習得することができるプログラムです。日常生活の中での「歩き」をエクササイズに変える方法をご紹介します。	
4回目	12月10日	グループ差その2 ①13:30～14:30 ②15:00～16:00	**adidasファンクショナルトレーニング** スポーツシーンをリードするadidas社が開発したトレーニングです。「体幹」を意識した運動を実践し、日常生活での姿勢維持や正しい身体の使い方を学ぶことができるアクティブなプログラムです。	
5回目	12月24日	グループ差その1 9:00～13:00	転倒リスク測定&カウンセリング	8:30より会場設営。測定終了時間によりセミナー時間変更あり。
		全員 14:00～16:00	**スリープタフネスセミナー** 睡眠の質を上げるためのセルフケアメソッドを習得できる、実践型のプログラムです。睡眠に対しての正しい知識と行動を身につけ、仕事のパフォーマンス向上を狙います。仕事中の眠気の改善による、労働災害防止・生産性向上・品質事故防止にもおすすめです。	



VDI疲労改善セミナー



元気で働く職場応援事業
ミニボールレッスン

全社員を巻き込むチーム対抗戦！！

「ふくしま健民アプリ バーチャルウォーキング大会」
10月から2か月間　健民アプリのイベントを活用し、チーム対抗戦の大会に参加しました。年齢、部署などをまたいで9チームを編成し、チーム名を「いくら」「えんがわ」「納豆巻」などすしネタに！また、上位には賞品を準備し、中間速報など、話題になるよう工夫しました。季節的に「ついつい食べ過ぎてしまう」などの声もありましたが、社員共通の話題となり、盛り上がりました。楽しく健康を意識するきっかけ作りになりました。

協会けんぽ 出前講座「VDI疲労改善セミナー」

デスクトップを見る機会が多くなることからくる身体的・精神的疲労や眼精疲労について学ぶセミナーを実施し、座ってできるストレッチや簡単なマッサージなどを学びました。セミナー後、就業中や休憩時間などに実践している社員が多く見受けられ、意識が高まったように感じました。長時間PCに向かうことも多い仕事なので、疲労を溜めこみすぎないよう、日ごろから取り入れ、今後も継続して意識の向上を促していきたいです。

多くの社員が楽しんで知恵を出し合い広がり

健康推進委員会は、各部署から選抜されたメンバーで構成されており、相互理解とコミュニケーションの役割を担っています。企画やメンバー構成、仕事とのスケジュール調整など、会社全体を巻き込んでいくための工夫を行った結果、健康習慣アンケートで、「運動習慣あり」の割合が(前回) 0%⇒(今回) 8%に、「睡眠による休養が十分か」も(前回) 28%⇒(今回) 48%と向上しました。今後も知恵と工夫で参画意識の高い取り組みとし、すべての社員にとって健康経営が自身の人生経営となるよう取り組んでまいります。

1057

福島県
白河営業所

大竹運送株式会社



代表取締役
大竹徳一 氏

社員の健康はお客様からの「安心」と「信頼」の礎

- 代 表 取 締 役　大竹徳一 氏
- 本 社 所 在 地　福島県西白河郡矢吹町赤沢850
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業
- 従　業　員　数　52名(男性:47名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

物流を通じて地域の皆様のお役に立てるよう努めて参りました。当社は業界の中では、長く勤めている社員が多く、25年以上勤めている社員も1/3程います。そうした中で、社員の身体も若い頃とは同じではないと感じ、日ごろから健康については、「技術や適性があっても健康でないと乗務はできない。健康は第一。」と社長自ら声をかけていました。運行管理面でも求められることも多く、6〜7年前から健康経営計画を立てて取り組み、今回初めて健康経営優良法人にエントリーして初該当となりました。

2022年度安全衛生管理方針

基本方針「お客様に信頼いただける輸送の安全は、経営の根幹あり、従業員の安全と健康は企業活動に重要であることから、一人ひとりの協力を得て事故・災害・疾病のない明るい職場づくりにまい進する。」
目標:安全:交通事故・交通違反0件！飲酒運転撲滅！健康診断受診100% 適度な運動して健康を維持！

健康診断で得られる安心　早期治療
社員の健康　職場の財産　家族の宝

健康診断は、10年程前は、なかなか受診しない社員もいて、一人ひとり声をかけて受診を促していました。近年は、巡回検診車で、営業所の社員も感染症予防対策をし、一斉に受診しています。その日に受診できない社員は、運行部門と連携、優先的にシフト調整をして、指定病院に予約、全員受診しています。生活習慣病検診については、巡回検診車や地元自治体の検診を利用することで、無料で利用できるため、同じ日に受診するように調整しています。要再検査は受診した報告書にサインをして提出し、自分自身の健康状態について関心を持ってもらっています。





2021年12月29日　事故防止講習会で健康について教育を実施
テーマは、「冬に多発！温度差で起こるヒートショック」

産業医によるストレスチェック

6年前から地元の医院で産業医をお願いしています。月に1回の訪問をしてもらい、研修や面談をしてもらっています。同じことでも第3者しかも専門の知見を持った医師から指摘を受けると重みもあり、効果は大きいです。健康施策労務施策も相談しながら実施しています。
ストレスは外からは見えないので、未然防止になっています。

気を付けているのは、若い気持ちでいる？
自覚していない気力体力の衰えからくる病気や事故

会社の検診結果でわかるのは「最低限の範囲。」自分の体調が優れないと思ったら、病院に行き、精密検査を受けるなど各自かかりつけの病院で診てもらうように声掛けしています。65歳を超えると運転適齢診断を3年に1回受診、同時に健康診断の結果を基に勤務の延長ができます。当社は延長を希望する社員が多く、日頃から健康を意識しております。社員へは一人ひとりの生活環境を思い浮かべながら健康アドバイスをしています。

社員と一緒に、質の高い仕事ができる、
より良い会社を目指したい

運送業に限らない社会全体かもしれませんが、変化の非常に激しい時代です。お客様に信頼されるためには、一人一人の社員も成長していかなければなりません。健康はその基本です。最近では社員同士が、健康について、食事や運動などを話題にしていることが多く、健康についてが共通の話題になっているように感じています。社員一人一人の健康が仕事の会社の成長につながりより質の高い仕事、より良い会社となるよう取り組んでいきます。

1058

福島県
白河営業所

福島県南土建工業株式会社



代表取締役
小野利廣 氏

和をもって、力を合わせる

- 代 表 取 締 役　小野利廣 氏
- 本 社 所 在 地　福島県白河市中田260
- 主 な 事 業 内 容　一般土木建築工事業
- 従　業　員　数　27名(男性:24名・女性:３名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

平凡なことを非凡に行うことによって、顧客の満足と信頼を確立する。企業の責任義務に関しては、継続が第一の要件であると考えます。時代の流れ、環境の変化に対応しながら事業を行っていく所存です。これからの当社においては従業員が性別や年齢を問わずに持ち味を発揮し、永く活躍してほしいと願う中で、健康経営の取り組みは非常に重要であると考え取り組んでいます。

平凡なことを非凡に行い、顧客の満足と信頼を確立する。コミュニケーションで健康経営推進

平凡なことを、非凡に取り組むことで、高い仕事の品質も実現できます。そのためにも社員の健康は最重要課題の一つと考え、個別面談や日々の会話により従業員一人一人の特性や希望を把握するとともに、短時間勤務や有給休暇取得の推進等の福利厚生を充実することで、柔軟な「働き方」を取り入れています。
また、経営陣が、従業員一人一人の相談に、しっかりと答えられるように日々のコミュニケーションを心がけています。

すべての人に健康と福祉を

役職員全員が一丸となり健康づくりに取り組むことで、公私において充実した生活を送れることを目指しています。アンケート結果においても従業員の運動不足の課題は感じています。毎朝のラジオ体操の他、昨年は協会けんぽのオンデマンドのストレッチ講座も実施いたしました。社員同士の交流と運動不足解消を兼ねて、有志にて卓球部としての活動をしています。



低GI、バランス栄養食の自動販売機



卓球部の活動風景

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

健康経営の優良認定を取得するにあたって、喫煙者が多く、禁煙施策を社内で実施していくことに対して苦労をしました。本人の喫煙や受動喫煙の害を伝える、禁煙講習を行ったり、一人一人と話すことで、理解を広げていきたいと感じています。
また朝食を食べてこない社員や、栄養の偏った食事をする社員のために、バランス栄養食や高血糖などを意識した低GI食品を社内の自販機に補助を出して設置をしています。

仕事の中で役に立つ、活かす取り組み。社員の「熱中症アドバイザー」

知り合いの会社様から「熱中症アドバイザー資格」について紹介いただいて、弊社でも、技術者(現場代理人)全員が「熱中症アドバイザー」の資格を取得しています。熱中症の発生を防ぐには、適切な熱中症対策の知識が必要です。健康知識+実戦ですぐに役立っています。
また、このような会社同士のつながりによって、健康経営を推進していけるのはありがたいことです。

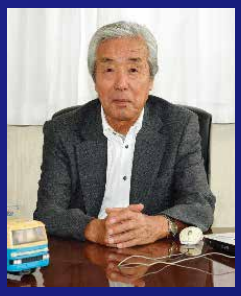
社員自身が変化を楽しむ自走式の取り組みを期待しています。

男性の育児休業や介護休業、法定を上回る休日数などワークライフバランスに配慮した取り組みも進めています。育児や介護など様々な課題を抱える社員も多くいます。健康経営の取り組みで、世代を超えた社員間の会話も増えてきています。社員が主体的に意見や、アイデアを言ってくれる、変化を楽しむようになるといいですね。年齢を重ねても社員が健康で働ける。本人、会社はもちろん社会にも役立つ、三方良しの取り組みに成って行くことを期待しています。

1059

茨城県
茨城西営業所

五光物流株式会社



代表取締役社長
小林章三郎 氏

「社員とその家族の豊かで幸せな生活を目指して！」

- 代表取締役社長　小林章三郎 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県筑西市飯島69-2
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　100名(男性:85名・女性:15名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

弊社は、安全・安心で良質な物流サービスの提供を通じ、お客様のベストパートナーであり続けることを目指しています。しかし業種柄、特にドライバーは早朝や深夜帯の運行が多い為、生活が不規則になりがちで、従業員の健康や体調の維持管理が経営的な課題でした。健康経営を通じて、従業員の健康という未来への投資を行うことで、社員とその家族の豊かで幸せな生活の実現を目指します。

健康経営の必要性を以前から感じていた

20年以上前に、弊社のドライバーがトラックの中で脳梗塞になりました。今のように携帯電話もない時代で、助けを呼ぶことも出来ないまま何時間もトラックの中で苦しんでいました。最終的には自力でトラックから出て周りが気付くことが出来ましたが、その方は下半身に麻痺が残り、仕事も退職し、現在では寝たきりになっています。その時の従業員のことや、その家族のことがずっと心の中に残っており、従業員が健康でいること、そこに会社として関わることの必要性を感じていました。そんな中で健康経営というものを知り、長年感じていた不安を解消する取り組みとして導入することにしました。

経営者自身の言葉による健康宣言を社内外に発信する

まず健康経営を始めるにあたり、協会けんぽに宣言書を送付するだけではなく、経営者自身の言葉による健康宣言を社内外に発信することから始めました。なぜ健康経営に取り組むのかや、具体的な取り組みを記載した文章をHP上にアップした上で、社内外に発信しました。掲げた重点取り組みは下記の通りです。

1 社員が心身ともに健康的に働ける職場作りの改善
2 健康診断受診率100%、及び結果のフォローアップの徹底
3 禁煙の促進に取り組み、喫煙率の低下を目指す
4 長時間労働を抑制し、メンタルヘルスケアに取り組む



社内での体操の様子



健康経営の責任者
友常総務部長

具体的な取り組みの中でも、特に健康診断の受診及びその後の個別面談が大切

あらゆる病気は早期発見、早期治療が非常に重要です。その為の健康診断ですが、健康診断はただ受ければ良いというものではなく、その後の対応が大切だと感じます。健康診断後の従業員の方々へは、総務部長が個別面談を行い、結果の確認、結果によっては再検査の受診勧奨を丁寧に行っております。

個々の従業員と面談した際には、体調面の変化だけではなく、近況等の話にも耳を傾けるようにしています。そうすることにより、体調だけではなく、様々な悩みやメンタルの状態、変化にも気付けます。

アクサ生命の保険に従業員が加入することにより、病気になった後の不安も解消された

健康経営に取り組むにあたり、健康作りの面だけではなく社員に万が一のことがあった際や、病気になって長期間働けなくなってしまった場合、本人や家族を金銭的にもサポートしてあげたいという思いがありました。

そこでアクサ生命に相談し、万が一の時だけでなく、就業不能にも備えられる保険を提案してもらいました。従業員全員が加入することにより、皆が安心して働ける環境作りが出来ました。安心して働ける環境があれば、社員の皆は高いパフォーマンスを発揮し、お客様にも満足していただけるサービスを提供できると考えています。

今後の展望

健康経営の目的である従業員とその家族の幸せ実現の為には、社員の居場所である会社自体が永続的に発展しなければなりません。

今後さらに労働力の人口減少が続く中で、会社が持続的に成長するためにも、「人材」と、その「健康」に積極的に投資して参ります。

これからも、社員とその家族の幸せと共に、会社も成長していけるよう、健康経営に取り組んで参ります。

1060

栃木県
佐野営業所

Voice Report 120th

株式会社ヤオハン



代表取締役社長
財田忠典 氏

Fresh&Smile いつも新鮮 いつでも笑顔

- 代表取締役社長　財田忠典 氏
- 本 社 所 在 地　栃木県栃木市平柳町1-28-16
- 主な事業内容　小売業
- 従　業　員　数　498名(正社員:109名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営に取り組むきっかけ

コロナ禍において、会社・従業員の健康意識が高まってきてその中で健康経営を知りました。
会社から情報発信する事で、会社全体で更に健康への意識を高めていきたい、そして今後の人材採用に関しても健康経営を活かしていきたいと思い取り組み始めました。

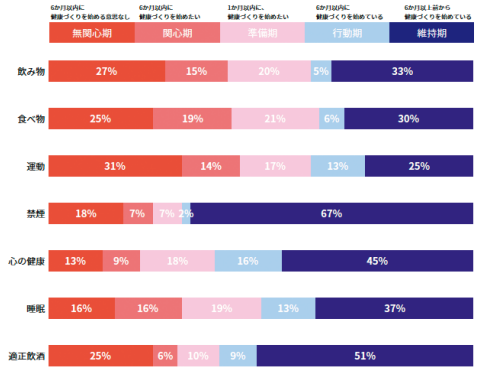
健康を意識するために…

・月１回会議の中で、健康に関する情報を発信
・毎日全社員の健康状態を管理
・メンタル相談窓口を社内に設置
・健康診断二次検診の受診勧奨
・ストレスチェックを実施
・講師を招いて健康セミナーを実施

モチベーションアップと健康意識の向上

従業員一人一人の健康意識が高まってきて、休み時間など健康に関する話題、ストレッチを実施している社員がみられるようになってきました。結果、以前多かった風邪などの体調不良の社員が激減しました。

■ もっとも取り組まれている生活習慣は「禁煙」
■ もっとも取組みが少ない生活習慣は「運動」



【これから我々の目指すべき『健康』とは】
をテーマに健康セミナー実施

作業改善と生産性向上

体調不良の休暇をとる社員が少なくなったことにより、作業の効率が図れ、残業時間が減少しました。
社員が家族と過ごす時間やプライベートの時間をもつことができるようになりました。又、ストレスチェックの実施改善によりストレスが軽減されてきたこともあり、活気が出てきました。

今後の展望

社員の高齢化が進む中、社員一人一人の健康に対する意識を更に高め、定年を迎えても生涯にわたり長期的に働ける職場環境をつくっていきます。そして、SDGsへの取り組みや、更なる地域貢献に努めてまいります。社員の笑顔・家族の笑顔・地域の皆様の笑顔のために。



1061

埼玉県
首都圏第四FA支社

Voice Report 120th

株式会社ダスキンプロダクト東関東



代表取締役社長
中島久志 氏

- 代表取締役社長　中島久志 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県三郷市彦川戸
- 主な事業内容　サービス業
- 従　業　員　数　122名(男性:36名・女性:86名)
- 加 入 健 保 名　ダスキン健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

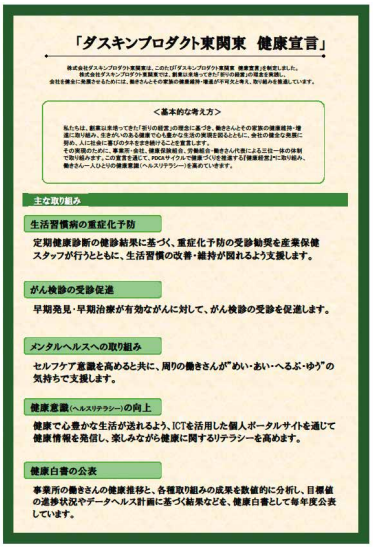
当社は株式会社ダスキンの連結子会社であり、ダスキンのダストコントロール商品の洗浄・加工及び配送を主たる事業としております。
ダスキン企業集団の一員として健康経営に取組み、従業員とその家族の健康維持・増進により、生きがいのある、健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に務め、地域社会に貢献できる企業を目指しています。

「健康経営」に取組むきっかけ

ダスキン健康保険組合からの推奨を受け健康経営への取組みを開始しました。
従業員122名の平均年齢は40代後半という事もあり、生活習慣病の重症化予防をはじめとした、健康維持の重要性を認識し、会社、健康保険組合、労働組合による三位一体の体制で取組んでいます。
「健康経営」への取組みを通じて、従業員の健康意識を高めてまいります。

当社のこだわり

ダスキン経営理念の一節にある、
「物心共に豊かになり、生きがいのある世の中にすること」の実践として、従業員とその家族が、心身ともに健康で、豊かな生活を送れる事を目指し、従業員の健康推移と各種取組みの成果を数値的に分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果などを健康白書として毎年公表しています。


「ダスキンプロダクト東関東　健康宣言」

<基本的な考え方>

主な取り組み

生活習慣病の重症化予防
定期健康診断の健診結果に基づく、重症化予防の受診勧奨を産業保健スタッフが行うとともに、生活習慣の改善・維持が図れるよう支援します。

がん検診の受診促進
早期発見・早期治療が有効ながんに対して、がん検診の受診を促進します。

メンタルヘルスへの取り組み
セルフケア意識を高めると共に、周りの働きさんが"めい・あい・へるぷ・ゆう"の気持ちで支援します。

健康意識(ヘルスリテラシー)の向上
健康で心豊かな生活が送れるよう、ICTを活用した個人ポータルサイトを通じて健康情報を発信し、楽しみながら健康に関するリテラシーを高めます。

健康白書の公表
事業所の働きさんの健康推移と、各種取組みの成果を数値的に分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果などを、健康白書として毎年度公表しています。

課題への取組み例

・定期健診受診率100%達成及び再検査、精密検査の受診推奨。
・40～73歳まで3年に1度、人間ドック同等の項目が受診できる節目健診の実施。
・がん検診の実施。(大腸がん・婦人科)
・部位検診(胃・大腸・肺・脳)の費用援助。
・特定保健指導を含む「生活習慣改善プログラム」「重症化予防プログラム」の実施。
・ファミリー健診の実施。
・オンライン禁煙プログラム全額助成。(成果不問)
・社内完全禁煙。
・健康情報、健診内容、医療費情報等が確認できるヘルスケアエンターテイメントアプリ「kencom」の活用。(ウォーキングイベントも実施)

今後の展望

定年延長・雇用拡大により、60歳以上の健康リスクの高い従業員の人数は、今後増加が見込まれており、更に重要性が高まる「健康経営」に、今後も引き続き取組んでまいります。
その事で健康経営の波及にも、お役立ちができればと考えます。
また、生涯現役社会の実現は、ダスキン経営理念の具現化でもありますので、この思いを大切に継承させていきたいです。

1062

埼玉県
川口営業所

Voice Report 120th

大総プロミシング株式会社



代表取締役社長
大薮和之 氏

健康経営によるマインドチェンジ

- 代表取締役社長　大薮和之 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県草加市高砂町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　8名(男性:6名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「健康第一」は大前提であり、基本中の基本ですが、それを実践するためのツールが必要でした。

健康経営を取り入れたきっかけ

日頃から社員の喫煙率の高さや運動不足が気になっておりました。
このまま今のままでいくと、生活習慣病やストレスによる心身的な病になる可能性が非常に高いと気になっていました。
一緒に働く仲間達にも危機感をもってもらいたかったのが健康経営を始めたきっかけです。
そのような時、アクサ生命のサポートを頂き、具体的に動き出す事ができました。

仕事も家庭も充実した生活設計

人生の目標や計画を立てる上で最も大切な事は「健康である」という事、同じ志をもつ同志と同じ目標に向かって歩いていくために毎月1回は体を動かそうという事を実施しております。
時間が合えば社員の家族も一緒に参加して、コミュニケーションを取り、例えば仕事でストレスを感じる時でもみんなで体を動かし解消できる会社でありたいと考えております。

コロナ禍でもできる事

コロナ禍でいろんな制約がある昨今でも、やる気になればできる事はある。
作業開始前のラジオ体操に始まり、休憩時間のストレッチや普段車で通勤している社員も自転車で通勤するようになり、会社全体に健康に対する意識が高まっています。
今まで喫煙していた者が禁煙に取り組んだり徐々に良い方向に進んでいる事を実感しています。

経営者としての変化

健康経営を取り入れるようになってから、経営者としての考え方に変化が表れました。
今までは、作業効率や営業効率等、実務を最優先に会社を経営してまいりました。
でも健康経営を取り入れるようになってから、何をするにもまず健康第一であることが大前提であるという基本中の基本を思い出したような気がします。



優良法人認定証を手にする佐藤副社長

今後の展望

今現在働いている社員、これから一緒に働くことになる仲間、みんな健康で、できるだけ長く働けるような環境作りに取り組んでいきたいと考えております。
これからは社内だけではなく外部に向けても健康経営を発信していきたいと考えております。

株式会社柏南自動車教習所



代表取締役会長
有馬洋一 氏

興味がある事はとことん突き詰める！！！

- 代表取締役会長　有馬洋一 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県柏市高柳21
- 主な事業内容　自動車教習
- 従　業　員　数　39名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は千葉県柏市で自動車教習所を経営しています。教習を行うためには車種ごとに公安委員会による厳しい審査があります。もちろんその審査に合格をしなければ各車種を扱うことはできません。はくなんは千葉県内でも3校しかない全車種教習所です。
すなわち全ての審査に合格をした数少ない教習所です。場内では様々な車種が走っており、実際の道路に近い形で運転を学ぶことができます。

早期発見・早期治療の大切さを伝える

教習所の草木の手入れや道路の整備をする用務員を雇った時の話です。この方は今まできちんとした福利厚生のある会社で働いたことがなく、健康診断すら受けていなかった方でした。
日頃の会話の中で『健康診断を受けてみないか』と声を掛けてみました。
ご家族とも相談され受診をしたところ、なんと『がん』が発覚。幸い早期発見だった為、命に別状はなく手術のみで日常を取り戻すことができました。病気になってから健康を考えるのではなく、健康な時から対策をしておくことが重要であると改めて認識しました。従業員との日々のコミュニケーションは体調のことを聞き、変化がないか確認しています。

今後の健康経営について

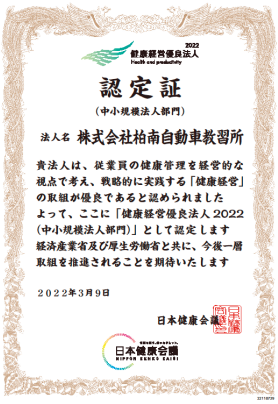
スタッフ一人一人が健康になることにより安全で楽しい教習ができる事と信じております。今後もよりいっそう社員の健康づくりに取り組み、教習業務はもちろん社会貢献できるよう努めていきたいと思います。



物事を考え、突き詰めることがモットー

物事を突き詰めて調べることがモットーであり、それは病気に関しても同じです。兵庫にも会社があり、たまたま病院が隣接しているので、健診や自身の体調不良の際にもすぐ診察を受けに行ける環境です。気になることは先生に聞き、自分でも調べつくし、何が最善の治療なのかを判断しています。
ある日、このような事がありました。勤務時間中に従業員が突如倒れたのです。心臓の病気でした。なんとか一命をとりとめたもののペースメーカーは必須となりました。ここまではよくある話かと思います。しかし、最初に埋め込んだペースメーカーでは私が納得いかず、最新のものに変えてもらうようにと、再度、従業員に病院へ向かってもらいました。先生も驚かれたでしょう。結果、遠隔で心臓の動きを把握できるものに入れ替えていただき、その後、今でも元気に働いています。セカンドオピニオンではないですが病院が提示する治療法がすべてではないかもしれません。どのような事でも自分で調べ、納得する選択をするべきだと思っています。





1064

千葉県
松戸営業所

Voice Report 120th

ヤグチ物流株式会社



代表取締役
谷口定之 氏

～従業員満足度の高い会社を目指しています～

- 代表取締役社長　谷口定之 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県野田市上花輪
- 主な事業内容　運送業、人材派遣業
- 従　業　員　数　115名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は野田市内問わず千葉県内の求職者支援をする「人材部門」と、地元野田市に根付いたお醤油や調味料等の原料や製品輸送を行っている「運送部門」の2つの組織から成り立っております。またキッコーマングループである総武物流の関係会社としての自覚と責任を持ち、物流品質の向上に努めることでお客様から信頼され、社員が健康で生涯安心して働くことができ、社員とその家族が幸せになれる人柄（会社柄）の良い企業を目指しています。

元々の経営方針やトップの意識が健康経営と合致しました

当社は、千葉県の最北部の醤油のまちで知られる野田市にある運送事業と人材派遣事業等を行っている会社です。会社として、社内の労働環境の見直しと改善を継続的に行い、一生涯安心して働くことができる職場環境を作るということが、元々の根幹にありましたが、「健康経営」という言葉につきましては３年ほど前に、健康経営のセミナーに参加したことで知りました。元々の考え方にプラスして、経営の観点からも生産性の向上につながる等のメリットを感じ、その後、アクサ生命さんの健康経営のセミナー等に参加させていただくことで、その思いは強くなりました。

以前からの取り組みと、それに加えての取り組み

以前より社員の健康面には強い関心を持って、大きく4つの取り組みをしています。

①喫煙者率が元々高く、大きく50％を超えていました。そこで、喫煙所の設営とルール作りを行ったり、喫煙者率の統計をとったり、喫煙者の“アウェイ感”を出して、喫煙者率を下げる取り組みをしてきました。その結果、その率も50％を切ることができ、喫煙所も撤去することができました。現在も禁煙を言い続けています。

②健診結果で指摘事項があった社員に対して、以前は口頭のみで再検査等の指示を出していましたが、なかなか行ってくれない状況が続いたため、“再検査受診予定表”を作成する等、行かざるを得ないルール作りを強力に推し進めた結果、4年前に再受診率が対象者の100％になりました。今後も継続的に100％受診率にするための仕組みづくりをしていきたいと思っています。

③体調管理にも気を使い、夏場は熱中飴、ネッククーラー、涼感スプレーの用意も行い、感染症対策としてもロゴ入りのタオルを作成し全員に配布も行いました。

④メンタルヘルスの部分も重要視しています。中間セクションを設置し、あえて直接の業務とは別の部署の人間が話を聞ける、相談ができる体制を整え、SOSサインを見逃さないよう会社全体でサポートすることを意識しています。

数値や定量での効果は時間はかかりますが…

社員が何か言ってくる際に、「“健康経営”をしているんだから聞いてください…」的な発言が多くなってきています。今までにはなかったことです。数値や定量では図りにくいことかもしれませんが、こういった会話の積み重ねが大事なことだと感じています。

社員とその家族に愛される企業であるために

当社は『健康経営推進委員』という組織を立ち上げ、社長を含めて４名のチームで取り組んでいます。社長のリーダーシップのもと、様々な対策はこのメンバーを中心に実行し続けています。現在は健康経営の取り組みに興味がない従業員にも積極的に参加してもらえるような楽しい施策を考えています。今後も、社員と社員の家族から労働環境や働くにあたっての健康環境のいい会社だと思っていただけるように、環境を整えていきたいと思っています。





1065

千葉県
木更津営業所

有限会社房州リサイクル



代表取締役
渡邊清隆 氏

「今後もプライドを持って、安心して仕事ができる会社に」

- 代 表 取 締 役　渡邊清隆 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県館山市亀ヶ原
- 主 な 事 業 内 容　廃棄物収集運搬業
- 従　業　員　数　16名(男性:13名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

千葉県館山市にあります当社は、産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬、樹木伐採等を行う1986年創業の会社です。「親切・丁寧・迅速な対応」をモットーに、地域に根ざした身近な存在であり続ける会社です。

健康経営、優良法人認定申請のキッカケ

２.３年程前に、病気で２名の社員が連続して体調を崩し、入院を伴う長期休暇に入ってしまったことがありました。
社員の平均年齢も高いのでお互い気をつけようと話をしている時に、アクサ生命の担当者と出会い「健康経営」を知りました。
最初は面倒くさいのかなと思いましたが、よくよく聞いてみると、既に取り組んでいることであてはまることが多かったのと、取り組みに対してサポートいただけるということで、先へ進むこととしました。

健康経営を知る前に実施していたこと

・感染症対策として、コロナ前から業務用トラックには“消毒用アルコール液”を各車に完備し、コロナ感染拡大前からマスクも大量購入してあり、社員に配布し、着用を義務付けていました。
・社員同士のコミュニケーションが重要と考え、横浜中華街や成田山等への日帰り社員旅行の実施、近隣で話題となっている店での昼食、ヘルシー弁当を取引先に手配しての社内会食等を実施してきました。





館山市にある本社社屋



地位向上に向けて



社長と各認定証

健康経営の取り組み開始とともに実行していること

・安房医師会にある地域産業保健センターを活用して、二次検診先等の新たな確保
・福利厚生の一環として、宿泊や買い物ができるレクリエーション施設と契約し、利用の働きかけ
・喫煙者に対し、継続した禁煙の呼びかけ
　→その効果もあって、１名が禁煙に成功し、他の喫煙者も本数の減少等、取り組み成果あり
・社長による社員との個別面談の実施
　→定期的に健康面や体調に関して心配事がないかを確認。また、担当業務の変更時やミスが頻発した際には不定期に実施。社員の表情を常に意識し、些細な変化も把握するよう心掛けている。

大切な社員・家族の健康が育てる会社の成長

私たちの仕事は広く世の中においても、勿論この館山地域においても不可欠な仕事です。しかし、廃棄物収集業という仕事柄、低位に見られがちな業種であり、エリア内の同業他社含め、その地位向上に努める必要性を感じています。そのために日頃から常に社員へ話していることは
①自分たちの仕事にプライドを持とう
②感謝されることをしよう
③いい加減なことはしないようにしよう
④身だしなみもきちんとしよう
⑤モチベーションを上げよう
健康経営に積極的に取り組むことによって、社員が安心して仕事に取り組め、また家族が安心して生活できる職場づくりを目指し、会社としても更に成長していきたいと考えています。

1066

千葉県
船橋営業所

Voice Report 120th

藤建株式会社



代表取締役社長
伊藤達也 氏

笑顔になれる住まいづくりの安心パートナー

- 代表取締役社長　伊藤達也 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県習志野市谷津5-40-37
- 主な事業内容　建築工事業
- 従　業　員　数　10名(男性:8名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昭和43年、先代の社長が創業して以来、住宅関係中心に業務を続けさせて頂いております。“住まいづくりの安心パートナー”をモットーにお客様の大切なご家族がたくさんの時間を過ごすお住いを、私共の経験＋知識＋知恵をもとに、居心地のいいお住いにつくりあげるべく精一杯の提供をさせていただきたいと思っております。

アクサ生命担当者のサポートにより健康経営優良法人認定を取得することができました

以前からアクサ生命の担当者よりお話を頂く中で、昨年より健康経営へ取り組ませていただきました。
2年ほど前に、病気で仕事に出てこれない従業員がでたことが健康経営へのきっかけにもなりました。
以前、一部の従業員は健康診断を後回しにしていた状況でしたし、仕事柄、現場作業も多い中で、従業員の年齢も高くなって来ています。少しでも健康で元気に仕事をしてもらいたいという願いからも健康経営に取り組むことにしました。

ワンポイントアドバイスの回覧＆掲示で意識アップ！

アクサ生命の担当者より健康に関するワンポイントアドバイスの資料を毎月、継続的にいただいております。
７つの生活習慣に関して、それぞれのアドバイスを頂くことができるので、従業員の状況や季節によって、情報提供の内容を変えてもらっています。
夏の猛暑が続く際には、飲み物の取り方についての情報提供をして、少しでも健康促進のお役に立てるよう意識し回覧と掲示を行っております。

健康診断を受診する中で協会けんぽからの指導を活用！

現在では、健康診断を全員に受診してもらう中で、様々な情報提供を協会けんぽより頂く中で、保健師の方にも来ていただき、従業員への個別面談も実施いただいております。
個別面談を実施することで従業員の意識も変わってきたのを感じます。
二次検診も会社負担で受けてもらっており従業員の積極受診になりました。
実際に病気で仕事を休むという社員もほとんどいない職場環境を経営者としては、大変ありがたく感じております。

従業員も積極的に健康経営へ参加！

健康経営Webアンケートを毎年1回従業員に行っており、従業員の健康への意識と行動変容の確認をしております。
アンケート結果は、改善しているものもあれば、検討課題もありますが、その時その時の傾向として参考にさせていただき、従業員の健康への取り組むきっかけとなればと思っております。
健康への意識も変わってきたことからもアンケートについても積極的に行っていただいており、1週間程度の期日の中で全員がしっかりとお答え頂いております。





※熱中症対策グッズを
従業員に支給します。

現在と将来を見据えた健康経営を実施したい

今後は、少しづつ健康への意識と知識を高めてもらうためにも、運動習慣を身に着けてもらいたいと思っております。
自宅や仕事場で簡単にできる運動などの紹介を行い、意識的行動から習慣化への取り組みができるような投げかけをしていくと同時に、その時代に合った従業員の健康への投資もできる限りのことをしていきたいと思っております。
将来的には、事業承継も考える中で、スムーズな事業承継のためにも従業員みんなが健康で生産性の高い仕事ができる環境を作っていきたいと思います。

コメット工業株式会社



代表取締役会長兼社長
由川久子 氏

経営資源の集中と利益率の向上を支援するパートナー

- 代表取締役会長兼社長　由川久子 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県習志野市茜浜2-3-6日本通運内M2
- 主な事業内容　アウトソーシングおよびIT導入支援業
- 従　業　員　数　29名(男性:27名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

1972年にコメット工業株式会社は設立され50年が経ちます。PC・周辺機器の検査・修理・キッティング導入展開作業や在庫管理・配送迄の一貫したサービス提供そして中小企業向けIT機器導入支援サービス・コンサルティングを行っており、日々の業務を通じて、お客様のニーズに即したすべての仕事の質と、「品質・コスト・スピード」をより高め、継続して取り組んでおります。

企業経営に健康経営が必要だと以前より感じていました

10年程前に、専務自身がメンタルで悩むケースが多かったことから従業員のメンタルケアの一つとして役に立てればと心理カウンセラーの資格を取得しました。それがきっかけで、メンタルヘルスケアに関する資格を取得した中に健康経営という言葉を知りました。
そこから、ストレスに役に立つような情報提供を朝礼時に行うようになり、さらには最近では、協会けんぽさんからの資料等も活用してよりタイムリーな情報をお伝えするようになりました。

健康経営優良法人認定は、アクサ生命の担当者を通して知りすぐに申請しようと思いました

昨年、アクサ生命の担当者から健康経営優良法人認定についての情報提供をいただき、まさにメンタルヘルスケアを意識していた中で、この認定をすぐに取ろうという気持ちになりました。
担当者の方からも毎月、健康についての情報提供をいただき、それを従業員と共有する中で、少しでも健康への意識を高めてもらえればと思い継続していき、おかげさまで健康経営優良法人認定を取ることができました。









少しづつ健康経営を進化させていきたい

従業員の食事に対する考え方や健康診断への意識の変化が見受けられてきたことから、今では、歯の健康診断の無料券を渡すことで歯の健康も意識をしてもらうようにしております。
また、コロナ渦の中では、顔認証の体温計を導入し、密にならないようにしながらも、四半期に一回のくじ引き大会を実施することで、少しでも従業員にリフレッシュしてもらえるような取組をしてきました。
また、健康診断の二次検診についても、個別に案内をすることで二次検診の受診率を上げております。

大切な社員は、家族への思いと同じくらい健康に配慮していきたい

従業員の中には、独身者も多く、本人のことではあるのだけども、そこまで健康について気にしない社員も多いことから、こちらから単なる情報提供だけでなく、食事のアドバイスや現場仕事がある場合は、軽食を持たせたり、暑い日には清涼飲料水や塩飴等を持たせるなど常に健康に配慮し取り組んでおります。
以前は、朝、会社に出社しても目も合わせない社員もいた中で、少しづつ目を合わせた元気な挨拶に代わり、顔色がよくなってきました。普段からの挨拶や声掛けにより従業員の体調や気持ちに変化がないかを意識して活動しております。

今後の取組は、常に進化しつづけること

今後の部分では、弊社に在籍していて良かったと思ってもらうためにもさらに健康経営を進めていきたいと思っております。
病欠で休む従業員も少なくなってきており、半休制度を導入することで午前・午後のどちらかで病院に行きやすい環境もつくっております。
今後、より生産性の高い仕事を通じて、やりがいと健康への意識をもち長く仕事をしてもらいたいという気持ちを持っております。

1068

千葉県
成田営業所

Voice Report 120th

株式会社常磐植物化学研究所



代表取締役社長
立﨑　仁 氏

「植物のちからを健康に。」

- 代表取締役社長　立﨑　仁 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県佐倉市木野子
- 主な事業内容　医薬品原薬、健康食品素材等の製造販売
- 従　業　員　数　120名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は1949年創業の植物化学の専門企業です。私たちは社会に役立つ植物化学成分の新たな価値づくりに挑戦し、植物のちからを引き出すことで、専門企業ならではの製品とサービスを提供させていただいております。「健康・長寿の達成」は、SDGsの実施指針にもなっており、医から食、治療から予防へ市場の関心も高まっています。高い使命感を持って植物とヒトの明るい未来を提案し続けていきます。

月並みな健康対策のうえに、独自の健康対策を

「社員の健康こそが社員の幸福と全事業におけるサスティナビリティ活動の根幹であると考えています。また、コロナを機に、切実に健康を考えました。そこで、独自の健康経営として、「waku-waku健康宣言」を実施し、社員の健康増進に努めています。
①感謝とワクワク　②ベジファーストと噛む習慣　③適度な運動習慣　④「健康経営サプリ™」の提供　⑤健康的な知識・意識の向上　⑥健康診断の実施と人間ドッグの推奨の以上６項目の宣言となります。

「健康経営サプリ™」をはじめとする様々な取り組み

上記の６項目の中から、何点かご紹介します。
④「健康経営サプリ™」 ～当社の事業を活かした取り組みのひとつであり、70年以上にわたり研究し続けてきたエビデンス豊富な当社の植物エキスを配合した、“社員の、社員による、社員のためのオリジナル処方のサプリメント”であり、福利厚生の一環として、社員に無料で提供しています。
この取り組みは社外からも好評で、2022年1月より福利厚生サービスとして外販を開始しました。すでに15社以上の企業に導入いただいています。
②「ベジファーストと噛む習慣」 ～特別なことをしようとしても長続きしない。できることを継続してやろうという取り組みの一つ。
野菜を先によく噛んで食べる。従業員の健康を第一に考え、野菜や果物の300グラム（キャベツ1/4玉相当）摂取の推奨をしています。噛む習慣、ベジファースト、玄米ご飯を含めた野菜が沢山食べられる健康食堂の予定もあります。



健康経営サプリ™


ラジオ体操指導資格者バッジ

waku-waku健康宣言の取り組みのつづき

③「適度な運動習慣」 ～アンケート等の状況から、運動不足の認識はありました。そこで、継続的にできる運動ということで、“ラジオ体操の公認指導者資格”を正社員の80％が取得をしました。講習を受けることによって、正しいと思っていた動きが、実は間違っていたことも多く、毎日２回行っているラジオ体操に対しての意識も変わり、更なる健康増進に努めています。
また、ウォーキングの推奨についても仕組みづくりを行っています。

植物とともにあらゆる可能性を追求～社員の幸せを目指し、社会に貢献しよう

サスティナブルな事業の環境を作るには、社員の健康が土台です。その土台の質を高めるためにすべての策を講じていきたいと思っています。例えば、選択制の週休３日制の導入、２時間単位での有給休暇取得。また健康はからだだけでなく、精神的な健康も大切です。ストレスチェックの実施、メンタル相談窓口、ハラスメント対策等、常に本音が言える自由な風土づくりをさらに進めていきたいと思います。


敷地内佐倉ハーブ園にて社長を挟んで
健康経営担当の鈴木さんと加藤さん

1069

東京都
首都圏第四FA支社

通信機器産業健康保険組合



理事長
三上嗣治 氏

■理　　事　　長　三上嗣治 氏
■本 社 所 在 地　東京都中央区日本橋
■主な事業内容　社会保険事業
■従　業　員　数　31名(男性:16名・女性:15名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

Voice Report 120th

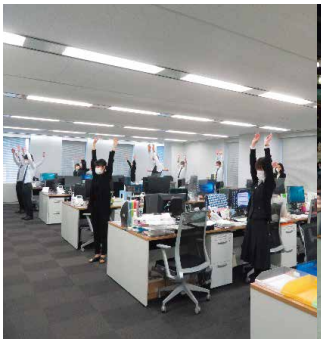
当組合は、情報通信システム及び情報通信ネットワークに関わるソフトウェア、システム及び機器の開発、製造等を主たる業とする事業所の社会保険事業を担っています。
６万人を超える加入員の皆様の健康維持・増進を第一に考え、加入事業所様の「健康経営」を積極的に後押ししています。

「健康経営」に取組むきっかけ

健康保険組合は加入事業所の健康経営をサポートする立場にあります。そのため、一事業所として健康経営に率先して取組み、加入事業所への範として示すことができるよう取組みを開始しました。
2017年２月には健康企業宣言を開始し、外部サポートを受けずに独自の取組みにより活動してきました。また、健康経営のみならず、活動からの波及効果として、スポーツエールカンパニーや東京都スポーツ推進企業の認定を受ける等、意識を高く保っています。

当組合の課題

ストレスチェックを実施したところ、「対人関係」や「コミュニケーション不足」に悩みを持つ職員が多い結果となりました。
コロナ禍におけるコミュニケーションを工夫しながら、ワークエンゲージメントの向上に努めていきたいと考えています。



ラジオ体操



通さんぽ

課題への取組み例

・健康企業宣言委員会の発足
・毎朝のラジオ体操の実施
・ウォーキングイベント「通さんぽ」やウォーキング大会、ボウリング大会等の実施
・職員交流を目的としたランチ会の実施
・健康に関する社内セミナーの実施
・職員全員の産業医面談を実施
・飲食に関する情報周知(コンビニや外食メニューのカロリー表示等)
≪保険者としての取組み≫
・健康企業宣言の取組みを開始した加入事業所に、血圧計・体重計・体温計を無償配布
・健康企業宣言に取り組んでいる加入事業所をＨＰや機関誌に掲載
・加入事業所の健診データ取りまとめ等のサポートを実施

取組みによって得られた効果

健康経営に取り組んだことで、職員の運動や飲食に対する意識が少しずつ向上しています。具体的には、階段を利用したり、最寄り駅からひと駅歩く等日々の生活の中に運動を取入れたり、栄養が偏りがちになる外食時に健康を意識したメニューを選択する職員が増えました。
また当組合では、職員同士の交流にも重点を置いており、ウォーキング大会等の実施により職員交流が増え、職場の雰囲気がより明るくなったと実感しています。

今後の展望

職員の健康があってこそ、健全な事業運営が出来ると考えています。
その為にも、当組合自らが率先して健康経営を実践し続けるとともに、加入事業所の生産性やワークエンゲージメントの向上を目指し、健康経営を推進してまいります。

1070

東京都
首都圏第四FA支社

Voice Report 120th

一般社団法人日本エステティック業協会



理事長
天辰文夫 氏

■理　　事　　長　天辰文夫 氏
■本 社 所 在 地　東京都千代田区麹町
■主な事業内容　エステティック業企業団体
■従　業　員　数　11名(男性:3名・女性:8名)
■加 入 健 保 名　東京化粧品健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

エステティック事業の運営においては、「技術」「顧客サービス」と「経営」が大切であることは言うまでもありません。この要素の根幹を成しているのが“人”です。特に顧客との接点となるエステティシャン、従業員はサロン運営の成否に関わる大事な人財です。従業員が健康的に働くことができる環境づくりを企業が積極的に進めることで、従業員の活力や生産性向上につなげることができると考えています。

「健康経営」に取組むきっかけ

エステティック業界には国家資格や業法がなく、また新規参入も多く、消費者にとり評価するのが難しい業界の一つとなっています。業界団体共通の資格制度と団体独自の自主基準によりサロンのレベルアップを行っておりますが、当協会では自主基準に、今後益々重要になる人への投資を加え、労務環境の整備、教育とキャリアアップの充実を審査項目に加えました。また、この自主基準につき経済産業省が推奨する「ヘルスケアサービスガイドラインのあり方」に関する自己宣言の承認を同省より取得しました。その際、健康経営の考えが当協会の自主基準「優良サロン制度」と親和性が高いことを認識し、エステティック業界にも是非浸透させようと２年前から取り組みを始めました。

当社のこだわり

当協会のミッションの一つに「女性活躍」があります。エステティック業界は女性の比率が非常に高く、また必然的に女性管理職の割合も他業界に較べ多くなっています。当協会では女性活躍を業界に浸透すべく、消費者志向経営に取り組み、女性が長く働くことができ、安心して子育てができる雇用環境を整備することに注力しております。この活動も健康経営につながるもので、優良サロン制度、健康経営、消費者志向経営の3本を柱としてエステティシャンの社会的地位向上に取り組んでおります。



左　：　毎朝のストレッチ
右上：　桜ウォーキング
右下：　職場のコミュニケーションセミナー

取組み例

・エステティック業界のため、経済産業省監修のもと「健康経営ハンドブック」を作成
・職場のコミュニケーションセミナーを実施
・意識づけ、定着させるために健康づくりミーティングを月に1度実施
・桜ウォーキング大会の実施
・有給取得状況や会議議事録等の開示
(透明性/風通しの良さ施策/互換性・コミュニケーションの向上)
・東京化粧品健康保険組合や東京商工会議所のイベント等の情報提供
・講演等で加入会員向けに健康経営のメリットを説き、申請の支援を実施

今後の展望

就職情報誌の調査によると、若い人の間にはエステティック業界について残業、有休取得等の労働環境が厳しいというイメージがあるようです。現実はこのようなことは無いのですが、このイメージを払拭し若い人にこの業界を目指していただくために、会員企業にも健康経営優良法人の取得を進め、ガイドブックの作成、講演等様々な方法で呼びかけております。また会員企業の方でも健康経営の必要性に気づき、新たに取り組むところも出て参りました。今後どんなに機械やAIが発達しても、エステティシャンの“手とおもてなしの心”による癒しに代わるものは無いと考えます。業界としては、質の高いエステティシャンの養成により一層力を入れることが必要です。人材への投資を惜しまず、良い職場環境のもと人を育て、質の高いサービスを提供し、消費者の支持を得ていくことが重要と考えます。この意味でも健康経営を通じた人への投資は今後のエステティック産業にとり重要な経営戦略といえます。

1071

東京都
首都圏第四FA支社

株式会社ステラリンク



代表取締役社長
前田保宏 氏

「将来を見越したサービスを展開、社会と共に成長していく」

- 代表取締役社長　前田保宏 氏
- 本 社 所 在 地　東京都千代田区九段南
- 主な事業内容　ソフトウェア等開発・販売業
- 従 業 員 数　グループ21名（男性：13名・女性：8名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

技術変化の流れが速いＩＣＴ業界において、最新技術による開発や付加価値を高めるサービスを提供しており、継続した価値創造のためにも、モノづくり、コトづくり、ヒトづくりの精神を大切にしたいと考えております。弊社はおかげさまで創立10周年を迎えました。今後も未来を築いていくため、従業員の幸せ、社会貢献、事業成長に向けてできることは何かを常に考え、健康経営に取り組んでまいります。

健康経営への取り組みのきっかけ

弊社グループ企業全体での従業員数は約20名。少数精鋭で業務に取り組んでおります。ITサービスの開発や提案など、知識や経験、発想力が必要になる業種ですので、従業員一人一人の重要性がより増していると考えており、パフォーマンスが発揮できる環境づくり、働きやすさ改善の取り組みとして会社が実施できることは何か思案しておりました。
そのような折、健康経営の取り組みを知り、自社で活かすことを提案。更に管理栄養士であり健康経営エキスパートアドバイザーでもあるかたとの出会いがあり、2020年に健康経営の取り組みを開始いたしました。その結果として、同年には銀の認定取得、2021年及び2022年の2年連続で健康経営優良法人の認定に至りました。

取り組みで得られた効果

・健康情報の発信を定期的に行うことで従業員が継続的に健康を意識し、実際に“健康的な行動”をとるようになった、との言葉をもらいました。
・健康経営認定により、従業員の健康をしっかり考えている信頼できる企業との評価を頂き、取引企業が増えました。
・個人の希望に応じて、健康上の対策についても調整しながら業務を進めたことで、本人にとっても会社にとっても、潜在的なリスクを回避することができました。
・弊社の健康経営認定を知った他社様から協業のご提案をいただくことが多く、熱中症アラート等があるBCP対策サイネージ等の、新サービス展開に繋がりました。

社内での推進体制

内部担当者を事業所毎に設置することに加え、健康経営エキスパートアドバイザーのかたに外部相談窓口となっていただき、内外どちらでも、従業員の希望に応じて、健康相談に対応できる体制にしております。
また、取締役が声がけして直接状況をヒアリングするなどし、個別の悩みにも会社として臨機応変に対応できるようにしています。

今後の展望

全社員が“健康的な行動”をとることができるよう、より一層工夫を行っていく事はもちろんですが、従業員一人一人の多様な価値観を尊重する職場づくりも大事だと考えております。組織統制とのバランスを図りながら、弊社らしい健康経営を実現してまいります。

具体的な取り組み事例

健康経営エキスパートアドバイザー監修の健康情報を定期的に配信し、健康意識の向上に取り組んでおります。
体重計を事業所に設置し、いつでも体重管理ができるような環境づくりを実施しています。
年の節目ごとに行う全体ミーティングで、健康経営の推進と意義について、健康経営担当者だけでなく全従業員に対して説明を行っています。「従業員の健康」という見えない資産の価値について理解してもらえるようアプローチすることも、重要な取り組みと考えております。



1072

東京都
首都圏第五FA支社

Voice Report 120th

栗山造園株式会社



代表取締役
石井洋美 氏

健康は人間の最大の幸せの1つ

- 代表取締役　石井洋美 氏
- 本社所在地　東京都板橋区板橋2-54-10
- 主な事業内容　造園業
- 従業員数　25名
- 加入健保名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

板橋区で造園業を営んで今年で58期目になります。主な業務内容は、街路緑化・植栽工事・高速道路緑地帯維持管理作業・公園等維持管理作業・緑地土木、これらに付帯する一切の業務になります。社員は25名ですが、少数精鋭を目指し社員ひとりひとりがプロ意識をもち、日々取り組んでおります。
造園の設計・施行、植栽・移植・花壇造成、剪定・伐採、除草・草刈・刈込等の緑豊かな景観作りを通して、人々の心を豊かにできる仕事だと思っております。

5年連続「健康経営優良法人」に認定されました

当社は主に外作業なので、何よりも「健康」でなければなりません。板橋本社では主に官公庁の仕事をメインに行っていますが、有明事業所では湾岸線の緑地帯に維持管理がメインのため作業の半分が夜間作業になってきます。
私の前職は、管理栄養士として食育や栄養相談、HACCP取得に向けた衛生指導をしておりました。平成19年より当社の経理に携わるようになり、平成29年に父より会社を引継ぎました。外作業で毎日身体も使っていますし、社員の欠勤が特に多いわけでもありませんでしたので、みんな健康なんだと勝手に思い込んでいました。たまたま、平成27年の社員の健康診断を見て、あまりにも健康に無関心な社員が多いことに驚き、「誰かが倒れる前に何とかしなければ…」と思い社員の健康に真剣に取り組むようになったのが、健康経営を始めたきっかけです。
その後、少しずつではありますが社員の協力も得られるようになり、2018年から5年連続で認定を受けられています。

社員への恩返し

平成27年から事業承継を見据え、父より少しずつ引き継ぎを進めてきましたが、経理・総務はできても造園・土木・鳶土工といった現場作業は全くわからない私を受け入れ、会社を支えてくれている社員に感謝しています。
社員ひとりひとりが現場で100％のパフォーマンスを発揮するためには、社員自身と社員の家族が、まず健康でなければなりません。健康でなければ、仕事だけでなく、プライベートも安心して楽しむことはできません。
以前から、少しでも社員の意識改善につなげたいという思いで給与明細書に健康一口メモを同封し、主に食生活改善をテーマにした情報提供をしたり、その時期に不足しがちな栄養を補うためのタブレット等を配布したりなどは行ってきましたが、この健康経営への取り組みを通して労働環境も見直すことができました。



『健康経営優良法人』5年連続認定



工夫を重ねてきた職場環境づくり

過重労働を防止するために人員を増やし、時間外作業の事前申請を徹底し、お互いが助け合いながら作業を進めていく環境を整えたことで、月平均の残業時間は8時間以下に抑えられています。また、モチベーションアップのために人事評価制度を取り入れたことで自分自身がなりたい姿を明確にし、そこに向かって今できることに取り組んでいる姿が見られるようになり、お互いが相手の良いところに気づけるようになってきました。作業上仕方ないことではありますが、本社と有明事業所での勤務時間の違いにより、同じ会社の社員でありながら十分なコミュニケーションをとることが難しい状況でしたが、コロナ感染症の影響もあり、万が一当社で感染者がでた場合でもお客様にご迷惑をかけずに作業が継続できるよう少人数の班別作業としました。また、感染予防を徹底するために事務所に集合しなくても作業の進捗状況が確認できるように全員にタブレットPCも貸与しました。今ではこのタブレットPCを活用し、毎月1回以上、全員参加での会議ができるようになり、オンラインではありますが、社員同士のコミュニケーションにも役立っているようです。

社員数が少ないことで以前から課題であったストレスチェックも、アクサ生命様のサポートのおかげでクリアすることができました。

より充実した生活を送るために

当社の定年は68歳ですが、健康ならばいつまでも仕事ができる継続雇用制度を設けています。仕事ができる環境というのは、本人が心身共に、より充実した生活を送るためには欠かせないものだと思いますし、今までの経験を現場で活かしてもらえることは会社にとってもとてもありがたいものです。
当社のような零細企業で満足できる健康経営を進めていくには時間がかかりますが、社員への健康投資により、家族を含めた社員の活力向上を通して、事業の生産性の向上につなげていきたいと思っております。

1073

東京都
首都圏第六FA支社

Voice Report 120th

株式会社カンポ広場



代表取締役
清水　亮 氏

何よりも社員の健康が第一！

- 代表取締役　清水　亮 氏
- 本社所在地　東京都目黒区五本木1-29-12
- 主な事業内容　新聞販売・通信販売
- 従業員数　19名
- 加入健保名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営を始めたきっかけ

「新聞販売店のイメージアップを図りたい」そんな思いでいた時、「健康経営」の新聞記事を目にしたことがきっかけでした。
何よりスタッフの採用・定着、労働環境の改善といった労務の悩みを抱えており、社員の健康を気遣う職場、働きやすい環境の職場をつくっていくことを、社内外にしっかり発信していく必要があると思い取り組むことを決意しました。

具体的には、朝刊配達、夕刊配達、訪問集金など業務時間が深夜から夕方と不規則な勤務時間が多く、屋外での仕事ということもあり夏は熱中症、冬は凍傷など、過去にスタッフが病院に運ばれる事もありました。その為、早く改善に取り組むべき大切な課題として認識していたこともありました。

健康経営への取り組み

特に社員とコミュニケーションをより積極的にとることを意識した取り組みとして、職場のメンタル対策スタッフの配置、健康づくり労使委員会を設置しました。
特に後者の「健康づくり労使委員会」では、毎日夕礼であがった出来事の振返りを中心に毎月１回、労働環境の共有・改善を目的として実施しています。



健康経営に取り組む
スタッフの皆さま

はじめてからの変化

以前より年に二回、組合の健康診断の受診は参加していました。しかし、その結果をうまく活用する事はなく、受診結果を個別に渡して終わりでした。
健康経営の取り組みをスタートしてからは、担当者が受診結果を基に健康習慣の改善を相談し、時には病院に同行もするようになりました。嬉しいことに、次回の健康診断の時期を確認しにくる社員もおり、健康意識への高まりを感じています。
また、社内設置の自動販売機にカロリー表示をし、飲み物からも健康を意識してもらうようにしました。始めたばかりなので具体的な数値結果には結びついていませんが、店内に置いてあるゴミ箱を見ると、明らかに糖分の多い飲料から、ミネラルウォーターのペットボトルが多くなりました。これも意識向上の結果だと思います。

今後の展望

この取り組みは、当初の目的であった労務課題の解決だけではなく、社員とのコミュニケーションや、個々の健康に対する意識の向上など、たくさんの効果があると実感しています。
また採用活動の際、「健康経営優良法人認定」取得を、しっかりアピールしていきたいと思います。

コロナによって世界の流れが大きく変わりました。今までの経営手法では確実において行かれると思います。またSDGsへの取り組みも必須課題になります。
これからは「笑顔で楽しく仕事ができる会社」そんな夢のような会社を目標に掲げ、夢で終わらせることなく業務環境の改善に取り組みます。
そして次の取り組みとして、“この業務が初めての女性でも活躍できる職場づくり”を始めていきたいと思っています。
（具体的に女性トイレの増設、改修。変速ギアの無いバイクの導入、オフィスレイアウトの工夫など）

1074

東京都
首都圏第六FA支社

Voice Report 120th

株式会社ムジャキフーズ



代表取締役社長
田代隼朗 氏

「従業員のコミュニケーションも円滑に」

- 代表取締役社長　田代隼朗 氏
- 本 社 所 在 地　東京都渋谷区恵比寿
- 主な事業内容　繁盛店店主の輩出・育成
- 従　業　員　数　29名（男性：16名・女性：13名）
- 加 入 健 保 名　全国外食産業ジェフ健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**健康経営にはじめは難しく考えていたが、既にできていた事や取り組みやすい項目も多かったです。
従業員個々に健康づくりの取り組みを共有したことでコミュニケーションツールにもなり、世代を超えて職場の一体感が増していきました。**

学生に興味を持ってもらうことが最初のきっかけ

健康経営について考えたきっかけは日経新聞の記事でした。学生がこういった部分に興味があるという内容だったのですが、新卒採用にプラスになる事ばかりだと分かりミーティングに上げました。そこからは即決。会社がなんでもチャレンジさせてくれる環境があるので、それも後押しになりました。
健康経営については全く分からない状態からのスタートでしたが、健康は誰しもが抱える課題、従業員が達成できたら会社にとっても財産になるなと感じたことも大きなポイントです。

従業員に楽しんで取り組んでもらうには？

継続的に取り組まないといけないという事は分かっていたので、「いつまでに何をやろう」といったスケジュールを組むことから始めました。もともと週単位、15分単位の業務スケジュールを作るというのが社内で定着していたのでこの部分はスムーズに行えました。
点数を取るだけが目的ではなくて、どうやったら楽しんで健康づくりに取り組んでもらえるか？という部分も考えていきました。他企業の取り組みをリサーチしつつ、バランスボールの設置などできることから始めていきました。



健康経営担当の飯島さんが月２回発行する「MJ健康情報」（左）や毎朝のラジオ体操（右上）、「私の健康宣言」（右下）を全従業員で共有することで、社内の健康意識を向上させています。

全社員を巻き込んでの取り組み

実際に健康経営の取り組みをしていく上で全従業員が同じ熱量で取り組みを進められています。従業員それぞれが健康について何かしなきゃなと思っていたタイミングであったことも要因になりますが、「私の健康宣言」の共有を始めたことが大きいです。
従業員それぞれに健康づくりでの達成目標を４ヶ月毎に共有してもらい、達成者にはプレゼントの用意もしています。お互いの健康目標について興味を持つことで、進捗の確認や健康に関する話題が普段のコミュニケーションで増えていきました。
また、従業員個々の意識の変化には月２回発行している「MJ健康情報」も一役買っています。
ちょうど健康経営に着手した時期と、新型コロナの影響で環境が変わっていった時期がリンクしていたこともあり、仕事だけでなくお互いの健康状態を気にする様になりました。

健康経営から派生していく効果

当初の目的であった新卒採用への影響も徐々にですが出てきているように感じます。新しい取り組みをすると、従業員がSNSで発信をしてくれます。元々充実していた社内イベントとの相乗効果か、応募人数に関しては実際に増えています。

再現性とブライト500を目指して

今後の課題としては大きく２つあります。会社としての再現性を高めていくことと、ブライト500を目指すことです。
これまでの取り組みは担当の発信力と従業員の皆さんの協力もあり会社を良い方向に進めてくれました。誰が担当しても持続していける仕組みを作ることが会社としての課題であると思います。
また、規律の整備や社外への発信をする事で持続可能な活動にしていきたいと考えています。

古久根建設株式会社



代表取締役社長
油井幸雄 氏

社員の健康が会社の経営を支えていく

- 代表取締役社長　油井幸雄 氏
- 本 社 所 在 地　東京都文京区音羽1-1-1
- 主な事業内容　総合建設業　不動産業　その他
- 従　業　員　数　159名
- 加 入 健 保 名　東京都土木建築健康保険組合
- 健康優良企業(金)　2019～2022 4年連続認定

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

Voice Report 120th

当社は創業127年を迎えるゼネコンとして「豊かな暮らし」と「生きる」を支える企業として活動を行っています。健康経営のターニングポイントは、7年前ですが生活習慣病の悪化から相次いで会社の貴重な人材を失ったことです。このとき「個人任せでは社員を守れない」という強い思いからトップによる健康経営宣言が行われました。社員の健康を第一とし、いきいきと働ける企業として健康経営に取り組むことになりました。

PDCAサイクルの推進で健康経営の風土醸成に努める

当社は、2017年より事業年度の健康経営計画を定め、毎年重点施策を定めて健康経営を実施し、その結果を評価して課題を改善していくPDCAを行って健康経営を推進しています。健康診断の有所見率は高めで推移していますので、生活習慣病の予防となる特定保健指導を導入しています。勤務時間内で対象者を本社に呼んで面接を実施しており、遠隔地の現場社員はリモートによる指導を行っています。また糖尿病の重症化防止として専門外来への紹介を行っています。働き方改革では建設業は課題の多い業界であり、過重労働対策として「休みを取ろうプロジェクト」を現場に掲示して残業削減、休日の取得促進に取り組んでおります。

健康リスクに備えた各種検査を実施(脳MRI・MRA、エコー、胸部CT)

社員の高齢化とともに動脈硬化に伴う脳心疾患やガンの罹患リスクが当社でも大きな問題となりましたので、当社では６年前より会社がほぼ全額相当を負担して、次の3つの検査を実施しています。１つ目は40歳以上の社員を対象に脳のMRI・MRA検査を３年に１回実施しており、2つ目は健康診断で30歳以上の社員を対象に２年に１回エコー検査を行い、ガンなどの早期発見を目指しています。また、3つ目は建設業の特殊性もありますが、石綿(アスベスト)検査として昭和63年以前に現場で勤務した者に対し、胸部ＣＴ検査を３年に１回実施して中皮腫等に罹患していないか検査を続けています。





社員の体調確認とコミュニケーション促進に「健康スコアカード」で声掛け

当社では社員の体調確認として、本人に記入させている「健康スコアカード」を上司が参考にして毎月一回、月初に部下に声掛けを行って確認しています。部下への問いかけは①よく眠れたか②おいしく食べれたか③体調は良いか④運動できているか⑤喫煙ルールを守れているか。の５項目です。導入のきっかけは、安全衛生委員会において上司は「月に１回位、健康に関して部下へ声掛けを行ってコミュニケーションを図ったらどうか」との意見が出されたのが始まりです。「眠れない」等の不調を発したならば、上司はラインによるケアを実施します。現在では月一回の血圧測定や勤務時間インターバルチェックも行っています。

家族を支える奥様(配偶者)へ社長からのメッセージ

３月１日～８日は「女性の健康週間」が創設されており、女性が生涯を通じて健康で明るく、自立して過ごすことが謳われています。当社では家庭を支える奥様(配偶者)に対し、健康診断受診を勧奨するため、定期的にメッセージを送っています。アンケート調査では配偶者の受診率は95％にのぼっていますが、専業主婦やパートの方は特定健康診断や人間ドックなどの受診率は低い状態にあります。女性は子育てなどで自分のことは後回しにしたり、健診にかかる費用も高額でなかなか健診に至らない傾向にあります。しかし、高齢化に伴い健康リスクも高くなってくることも理解して頂き「がん検診のすすめ」を送付しています。

今後の展望

当社の健康経営の取り組みは、無理せずにできることから実施するスタンスからスタートしましたが、PDCAサイクルをまわす中で徐々に定着化が図られ、健康診断の有所見率、高ストレス者の割合が減少するなどの効果が表れてきました。喫煙に関しては就業時間中は禁煙としており健保の取組みの禁煙サポートを行った結果、喫煙率は44％から30％以下に減少しました。また東京都土木建築健康保険組合とはがん血液検査、健康アプリの導入などを利用してコラボレーションを図っています。また、両立支援に関しても職場復帰を目指したリワークセンターを利用しており、今後は外部機関も活用して社員の健康の向上に努めてまいります。

1076

東京都
首都圏第七FA支社

Voice Report 120th

BSP社会保険労務士法人



代表社員
岸本貴久 氏

働きやすい職場づくりから企業経営をサポートする という経営理念を追求するために『健康経営』を導入

- 代　表　社　員　岸本貴久 氏
- 本 社 所 在 地　東京都千代田区
- 主な事業内容　社会保険労務士業
- 従　業　員　数　10名(女性:6名・男性:4名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

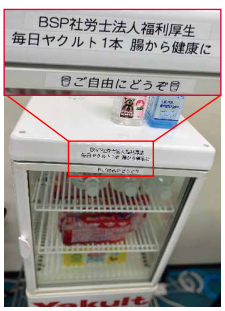
**「顧客満足」は当たり前のこと、『顧客の創造(P・Fドラッカー)』の実現を目指して、攻める社会保険労務士法人を運営していくためには、社員全員の健康が不可欠でした。
だからこそ、健康経営にも、いち早く取り組みを開始し、3年連続の認定を取得。
次代の雇用のあり方を追求しながら、雇用関係のロールモデルを目指します。**

社員の健康が業績に直結する ストレス過多のデスクワークだからこそ健康経営

優秀な人財がその能力を最大限に発揮することが『顧客の創造』を実現するための基礎となる部分であり、その基礎が崩れてしまうと、顧客サービスの質の低下につながり、業績にも直結してしまいます。そうならないようにするためには、社員全員が毎日健康で、イキイキ・ハツラツと業務に臨める職場環境を保つことが必要不可欠でした。であるからこそ、いちはやく健康経営に取り組みました。元気が一番。元気があれば何でもできる。良い仕事をお客さまにお届けするため、これからも健康に気を付けて頑張ってまいります。

健康維持のための具体的な取り組み

有給消化促進はもちろんのこと、超過勤務が慢性化することのないよう、その日の全員の業務が完了したことを確認してから岸本代表が退勤することを徹底しています。
個々の体調や健康状態に応じてテレワークもできるよう就業規則を改めたり、健康増進を目的としたウォーキングボーナス制度の導入といった試みも実施済みです。
もっとも効果があったと感じているのは、
　毎日の乳酸菌飲料の配布　です。
この乳酸菌飲料に含まれる乳酸菌シロタ株にはストレスをやわらげ、睡眠の質を高める機能があります。
腸活からの健康促進によって元気・活気がとても良くなりました。



毎日1本配布している
乳酸菌飲料の専用冷蔵
庫をフロア内に設置



腸活でイキイキ・ハツラツ
しているみなさん

健康経営優良法人認定を取得したことによる 効果を教えてください

認定マークを会社のホームページや名刺に掲示したことにより、顧客企業からの問い合わせや取得支援のご相談から顧問契約につながるケースが増えてきました。
健康経営優良法人認定を取得するということは、国のお墨付きをいただけたということになります。
少子高齢化の進展により、いずれは人財難が確実に訪れます。優秀な人財を確保できれば、事業の発展・企業の存続のためにも優位にはたらくものですし、従業員が働きやすい職場風土の企業は必ず成長します。国のお墨付きは、従業員がハツラツと働ける職場環境であることの証でもありますから、これを活用し、更なる向上のため、ブライト500を目指していきます。

『顧客の創造』を目指して

働きやすい職場づくりから企業経営をサポートすることを経営理念として掲げ、顧客ニーズを先取りし、『顧客の創造』を目指していきます。弊社では健康経営優良法人をはじめとして、
　安全衛生優良企業(ホワイトマーク)
　ユースエール
　プライバシーマーク
といった認定も取得。
次代の雇用のあり方を追求し、雇用関係のロールモデルを目指しながら、従業員が働きやすい職場づくりの一助になれるよう取り組んでまいります。

パンダのマークの
BSP社会保険労務士法人



株式会社大昌運輸



代表取締役社長
山本明徹 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　山本明徹 氏
- 本 社 所 在 地　東京都足立区堀之内1-17-13
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　30名(男性:29名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

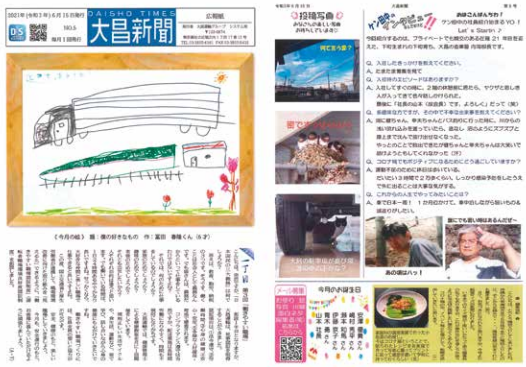
1966年の創業以来、明るく元気な社風のもと、社員とのコミュニケーションやIT機器を活用した労働時間管理や健康管理、車両の勤怠管理などを行いながら、安全と働きやすい環境つくりに努めております。また全国47都道府県にわたるネットワークと半世紀以上にわたる実績をもとに、物を運ぶだけでなく、輸送効率と品質向上のコンサルティング業務まで行っております。またグループ会社である有限会社大昌運輸(従業員数29名:内女性3名)も2022年の優良法人認定を取得しております。

健康経営に取り組んだきっかけ

5年程前に、知り合いの運送会社の社長から健康経営に取り組んでいるとの話を聞きました。自社も当時年配の従業員が多く、職業柄、高齢になった場合、働きたい意志があったとしても身体が健康でなければ難しいことから、従業員の為にも健康習慣などを時間かけて計画的に改善する健康経営に興味をもち、社長自ら1～2年セミナーや勉強会に通いました。

導入の工夫

社長としては、スタートにあたりドライバーの不規則になりがちな食生活や喫煙についての改善を意識していたが、いきなり健康を全面に出すことで拒絶反応がでては意味がないので、まずは3年前の新年会で先生を招きヨガ教室を実施しました。これが好評で楽しい体験として導入することができました。その後管理者を中心に時間をかけて健康経営の考え方を共有し、翌年の新年会で健康管理士を招き全体で３か年計画の目標を共有しました。一歩一歩時間をかけることで、社員に対して自分自身のための取り組みとして共有することができました。現在では毎月一回の健康教室や、飲食に関してグリコとの連携、ストレスチェックや高齢者の健康予防などに取り組んでいます。



大昌新聞R3.6.15号表面
社員紹介や、社長のコラム「テーマ:働きやすい職場」等が掲載されています。

コミュニケーションを大切にし、大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

「仕事は生活の中でも多くの大切な時間を占める場なので楽しんでもらいたい」との社長の考えから、もともと社内イベントなどに力を入れていました。コロナ禍でコミュニケーションが難しくなる中、新年会が中止になった年には、全員が共有できるようにDVDを作成し、新入社員の紹介や社長の会社方針の共有等を実施しました。また仕事柄社員が一堂に会する機会が少ないため、社内新聞を発行する等、色々試行錯誤して取り組んでいます。毎月の勉強会も、社長はあえてオブザーバーとし、講師と社員が活発に意見を交換できる形をとっています。やらされるのではなく、自発的に意識を変えることで、現在取り組んでいる健康診断の再検査受診率も上がってきており、また禁煙をスタートする従業員もではじめてきました。



大昌新聞R3.6.15号裏面

令和3年の取り組みや研修風景等が共有されています



新年会でのヨガ教室風景

1078

東京都
町田営業所

Voice Report 120th

有限会社アグリゲイトガーデン



代表取締役社長
古藤智賀子 氏

「社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　古藤智賀子 氏
- 本 社 所 在 地　東京都町田市根岸2-13-7
- 主な事業内容　造園工事業
- 従　業　員　数　8名(男性:7名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康経営に取り組むキッカケ

弊社は造園業で、従業員の体が資本の業務になります。健康で健全な体と心でなければ良い仕事はできないと考えており、もともと従業員の健康管理、社内外でのコミュニケーションを大切に取り組んで参りました。そんな時にアクサ生命保険の担当者から「健康経営優良法人」制度についてお聞きし、せっかく会社として日々取り組んでいることが形になるのであればとの思いと、より一層従業員が活き活きと働ける職場作りを実践していきたいとの思いから「健康経営優良法人」への取り組みを開始いたしました。

主な健康経営の取り組み

出社時の朝の検温や体調チェックはもちろんですが、朝食チェックも合わせて重視して実施しています。朝食は体づくりの基本なので、毎日きちんと食べるように指導と確認をしています。朝食を取らないで出社してきた社員には簡単なおにぎりやサンドイッチ、パンなどを会社で用意して、少量でも必ず食べてから現場に向かうようにしています。
社員が悩みを抱え込まないようにするため、ストレスチェックもかねて毎日必ず一人一人とコミュニケーションを取る時間を大切にしています。仕事の悩みはもちろん、家庭やプライベートなことも含めてリラックスして本音で話せるような雰囲気を意識し、悩みを翌日に引きずらないようにしています。
社内でのコミュニケーションを大切にし、定期的に社内レクリエーションを実施しています。



社員を支える家族あっての会社

会社は社員あって成り立つものであり、その社員を支える家族の存在があってこそ更に会社は支えられております。当社では社内でのイベントは社員の家族の参加も可としており、家族も含めてみんなで楽しもうという雰囲気で取り組んでおります。何事もみんなで盛り上がっている方が楽しいですしね。また、出産や結婚はもちろんですが、家族の誕生日など、家庭内でのイベントがある場合は休日や早帰りを推奨したり、会社からのささやかな贈り物を用意し、日々支えていただいている家族に感謝の気持ちを伝えるよう心がけています。
健康経営に取り組むことで家族を大切にする意識がさらに向上したと思います。支えてくれる家族の為にも体を大切にしないといけないなと喫煙を辞めた社員、仕事により一層励むようになった社員が増えました。日々の取り組みの中で改めて自分の体は自分のものだけではないんだということに気づけたことも大きかったと思います。

今後の展望

社員やその社員を支える家族の皆様が、当社に入社してよかったと感じてもらえる会社に一層なれるように取り組んでいきたいと思います。そして仕事はしっかり集中し、遊ぶときはみんなで全力で遊ぶ、何事もメリハリをもって楽しむことができるアットホームな会社を目指していきたいと思います。社員の幸せが会社の幸せですので、一人一人の心と体の健康を大切に、健康経営にこれからも取り組んでいきます。



箱根観光船株式会社



世界中のお客さまに心温まるサービスを提供したい

- 代表取締役社長　長峯昭彦 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県小田原市
- 主な事業内容　旅客定期航路事業（海賊船）
- 従　業　員　数　81名（男性：65名・女性：16名）
- 加 入 健 保 名　小田急グループ健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

豊かな自然が魅力の箱根エリア。その箱根のシンボルであり雄大な富士山を背景に青く透明な湖水をたたえる芦ノ湖が私たちの事業フィールドです。海賊船による芦ノ湖クルーズのほか、レストランやカフェ、ホテルを通じて、世界中のお客さまにおもてなしを提供しています。

きっかけ

健康経営優良法人の取得を目指したきっかけとしては、社員の健康意識を高めていくことでした。
喫煙率が全国平均よりも高いことや、小田急グループ内で健康診断結果の要医療者率が高いことから社員の自身の健康に対する意識が低いことが分かりました。
そこで会社として本気で社員の健康意識を高めるために健康経営に取り組み始めました。

社内全体への取り組み

①健康作り担当者
各船の船長・所属長を担当者に任命し、オンラインにてミーティングを開催しています。健康に関する情報を共有してもらっています。
②社内掲示板を使って健康習慣への情報提供
健康に関する情報を全社員で共有し、いつでも閲覧できるようにしています。
③健康診断　要医療者への再受診推進
健診結果で再検査になってしまった社員には、必ず受診してもらうように事務局から声掛けをしています。健診結果を放置させないことが健康維持に重要なことの一つと考えています。
④メンタルヘルス関連のオンラインセミナー
今は希望者のみの参加ですが、今後は社員全員に受けてもらいたいと考えています。
⑤朝のストレッチ
総務部では始業前にストレッチを導入し健康への効果を実感！現場の社員にも今後推進していきたいです。



情報はいつでも見られる
社内ポータルサイトに


朝はみんなでストレッチから
スタート！

喫煙者へ取り組み

①喫煙者との個人面談の実施
担当者、喫煙者、事務局の3者で面談を実施し、健康意識調査をしています。
②禁煙セミナー
健保組合から紹介してもらったオンラインセミナーへ参加を推進し、禁煙への取り組み方をレクチャーしています。
③禁煙チャレンジ宣言書
宣言して成功した社員には禁煙外来の費用を会社がサポートします。





禁煙チャレンジ宣言書

展望

健康への意識作りのために始めた健康経営ですので、これからも継続して認証を取得し続けたいと考えています。
今後のアクションとしては、禁煙チャレンジをしてくれる社員も出てきている一方、まだまだ自身の健康に無関心な社員もいるため、今の取り組みをブラッシュアップしながら意識作りを進めていきたいと考えています。
会社として大切な社員が健康でより長く仕事に取り組める環境作りに力を入れていきたいと考えています。

1080

神奈川県
横浜第二FA支社

Voice Report 120th

株式会社リカバリータイムズ



代表取締役
石田輝樹 氏

「働きながら健康になる会社」を実現するために

- 代表取締役　石田輝樹 氏
- 本社所在地　神奈川県横浜市鶴見区駒岡
- 主な事業内容　介護福祉事業
- 従業員数　81名(男性:21名・女性:60名)
- 加入健保名　協会けんぽ かながわ支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「わたしたちはあなたに価値と喜びと安心を提供します」

理学療法士がつくったリハビリ施設、介護のプロ達がみまもります。コンセプトとしては、自分でよくありたいという気持ちがある人を、国家資格を持った専門家たちがプロフェッショナルとしてみまもるリハビリテーション施設だということが、弊社の最大の強みとして複数施設を運営している会社です。

働く従業員が、健康であれば今よりもっとお客様に喜ばれる会社になる。

◆健康経営に取り組んだきっかけは、こんな想いからです。元々健康経営という言葉は知っていたし興味はあったのですが、本格的に取り組んだのは、コロナ禍で従業員同士のコミュニケーションロスがでてしまい、連携がうまくいかなかったりしたことがあり、人と人が支えあう仕事をしている為、先ずは内部から支えあえる環境を作る事が最大の改善だと思ったからです。私自身、従業員としっかりと向き合える環境を整えることが、取り組む上で一番大切なことだと今は凄く感じています。

ストレッチなど全員で一緒にやることで、一体感がうまれて気持ちのいい日になる。



一日の始まりを全員でやることに意味がある！(朝の風景)

◆今取り組んでいることは、上記のストレッチは欠かさずやっています。この風景で凄く嬉しかったエピソードがあるんです。これをやり始めてから、従業員同士のコミュニケーションでこんな体操を取り入れたらどうかなど、施設毎で頻繁に意見交換が出来るようになりました。職務の事などで何人かは、自分の意見を中々言えなかった人も、このコミュニケーションをきっかけに自分の意見を言えるようになり活き活きと仕事に取り組んでいる姿を見ることができ、取り組んで本当に良かったと感じています。あくまで一例ですが、全員で同じ方向に向いてきていると感じています。
①朝のストレッチ(意見交換など)
②施設内の懇親会の推奨(費用は会社負担)
③年4回社員面談(希望の人は社長面談)本音を聞くため。
④施設を休みにして、ヘルスリテラシー向上の研修
⑤毎月栄養士からの栄養情報発信



一人じゃできない！施設の管理者との関係性が大切！サポートする、してもらうのが大切！！

◆苦労した点は、一人じゃ出来ないということです。
当たり前の事ですが、私一人では絶対に出来なかったと思います。取り組むうえで当初から担当者を決め、いい意味で彼が周りを巻き込んで今があると確信しています。彼が言っていたことは、各施設の管理者の理解がなければ進まなかったということです。従業員が健康でなければ明るい挨拶や笑顔が出来ないことの重要性を訴え、そこから管理者も全面的に協力してくれたとの事でした。
管理者に伝える時には、数字化して目にみえる結果を配信しております。一から風通しを良くする為に取り組んだのは大変でしたね(笑)

全員で取り組んでいるということをこれからも全従業員へ案内していきます。

◆従業員の健康を一番に考えて、働きやすい環境を整えていくのが私の課題です。健康で長く働ける会社にしていく為にも今後の従業員への発信を重要視して、働きながら健康になる会社を目指します。その為には、今会社がやっていることをなぜ取り組んでいるのかということをこれからもよりシンプルにわかりやすく伝えていこうと思います。
そうすることで、利用者様へ安心と喜びを今以上に提供出来ると確信しています。従業員一丸となって、健康を意識している会社はどんどん前向きになっていき最高のサービスをご提供出来ると思っております。だから私たちは、健康経営に取り組んでいます。来年は更なる高みを目指して永続的に取り組みます。

株式会社栄港建設



代表取締役社長
岡田雅人 氏

「社員が健康で活躍できる会社」を実現するために

- 代表取締役社長　岡田雅人 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県横浜市港北区
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　34名(男性:21名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

お客様より「任せてよかった」といわれるような家造りをこれからも継続的に続けていくためには、オーケストラに例えるのであれば、指揮者である現場監督と、演奏家である職人にどれだけ優れた人材を抱え、心のこもった仕事ができるかにかかっています。この「人財」は社員が健康ではじめて、気持ちよく活躍をすることで増えていき、このことは会社の発展に欠かせない事を改めて実感、健康経営に取り組みました。

健康経営に取り組むきっかけ

社員がいてはじめて、会社が成り立ち、そしてその社員が活躍しなくては、会社の継続はないと思っております。
そのためには福利厚生や健康面での会社のサポートが必要であると考えていました。社員が働きやすい職場づくりは、人材の確保・定着、仕事に関する意欲の向上、生産性の向上につながっていくと考えております。健康経営の考え方が、弊社が考える理念と通じるところを感じ、取り組みを始めようと思いました。

健康増進のために大切なものは食事

社員の健康増進のために、弊社では食事に対する意識を持つことが大事であると考えております。
そこで週1回ランチを会社で作り、社員と一緒に取るようにしています。ランチを作る人も、皆の健康を考えて野菜中心のバランスのよい食事を楽しんで作り、食べるときにもコミュニケーションを皆でとることで、普段気づかない思いや健康面などの変化がわかることもあり、会社の環境作りに非常に役立っております。

健康経営への取り組み

社員には会社にいるときは、いい環境の中で働いてもらいたいという強い思いがあります。そのためには働く環境を整える必要があると考えております。
取り組みとしてコロナ前より完全分煙、各部屋に空気清浄機、キッチンなどを設置するようにいたしました。
また月1回社内でお茶教室を開催し「心の栄養」をとってもらうようにしております。コロナ前にはスポーツ大会、社内旅行などを開催しコミュニケーションを取れる場面を作り、継続的に一体感を持つ時間を大事にしております。今ではお茶教室などは、従業員が企画をすることもあり、これらの取り組みを通じて社員が主体的になってきたことを実感しております。

今後も大切な一人一人の社員とお客様のために

働く人、住む人のことを考えて仕事をすることが我々の仕事においては大事な部分だと思っております。今回、健康経営については以前より会社として様々な取り組みをしていたため、新たに特別なことを始めることなく認証を受けることができました。
今後も社員一人一人の意識を高めて、良い仕事をするために健康への意識向上をさらに図り、互いに成長できる場を会社としてもどんどん作っていき、社員一人一人とそしてお客様のこれからの幸福を実現していきたいと考えています。



「健康増進は食事から」事務所に設置されたキッチン



本社社屋前で全社員と撮影

1082

神奈川県
横浜営業所

横浜建設株式会社



代表取締役社長
須藤　剛 氏

「多様な人材が活躍する職場」を目指して

- 代表取締役社長　須藤　剛 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県横浜市栄区
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　75名(男性:62名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

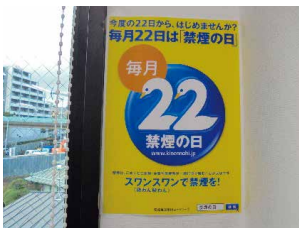
創業以来、「革新こそが伝統を支え続ける誇り」を胸に刻み、たゆみない努力を重ね、2021年に創立40年を迎えました。皆さまが快適に暮らせる都市づくりを目指して社員の知恵・経験・技術力の向上に努めています。健康経営に出会い、社員の健康が会社の財産であることを再認識し毎年取り組んできました。

国・横浜市健康経営認証制度にチャレンジ

健康経営に出会い社員の健康の重要性を感じ、2020年より国の健康経営優良法人認定と横浜市の健康経営認証にチャレンジしてきました。お陰様で弊社の取り組みを評価いただき、3年連続の国の認定と横浜市健康経営認証最高クラス(AAA)を取得をすることができました。

毎月22日スワンデー(禁煙の日)を導入

最初の大きな取り組みは、スワンデーの導入でした。毎月22日をスワンデー(禁煙の日)として本社内禁煙としました。喫煙室の前にポスターを掲示する等、継続して周知したことで徐々に効果が出てきました。
毎年8月に実施する健康に関する社内アンケートの結果を見ると過去2年間の比較で喫煙率が8%減少しました。
また、社内の自販機商品を健康飲料に入れ替えたり、社内に血圧計やマッサージチェア等の健康機器を設置するなど社員の目に見える形で健康経営に取り組んでまいりました。
健康経営の取り組みは営業部と管理部が中心となり組織的に実施しています。毎月、安全衛生委員会で会議を行い安全大会やメールで全社員に情報発信を行っています。
このような継続的な取り組みを続けたことで社員の健康に関する意識が高まりました。



スワンデー(禁煙の日)
ポスターを本社内に掲示



特定保健指導専用Room

毎年6月に健康診断を実施
同日、特定保健指導を実施

特定保健指導率100%

運動に関しての取り組みも階段利用の推奨ポスターの掲示や現場・フロアー単位でのラジオ体操の実施、野球部のクラブ活動支援などを行っています。
健康診断については、毎年6月に健診車に来てもらい一斉に実施しています。健康診断後のサポートが重要であると考え、健診と同日に、対象者は保健師等による生活習慣見直しの面談を行っていただきます。
このシステムにより特定保健指導実施率は100%です。その後も3ケ月に1回継続したフォローを実施しています。
健康増進に自ら積極的に取り組む社員が増えてきました。

完全週休2日制に移行

昨年から完全週休2日制に移行しました。
導入当初は、現場では戸惑いもありましたが、その後は休暇により心身ともにリフレッシュができると好評でした。
社員一人一人がどのようにすれば良い仕事が効率よくできるかを考え工夫した結果、生産性・効率面でも問題ありませんでした。

採用面でも効果

健康経営・よこはまグッドバランス賞(ノー残業デー・各種休暇制度等)・SDGsの取り組み等をHPでも紹介した結果、採用面でも良い効果が出てきました。
弊社の取り組みに興味を持ち共感いただいた人材が応募いただき毎年採用に繋がっています。女性の活躍も期待されますが、新卒で現場責任者としての採用をすることができました。人手不足のなか、優秀な人材が入社し、かつ定着いただいたことは会社にとっても大きな財産となっています。
健康経営は、社員が元気になるだけでなく、社員の意識改革から会社の成長にもつながる取り組みであり今後も継続していきます。

テイト・エンタープライズ株式会社



マスコットキャラクター
ふくろうの「ふくりん」

「個人の幸せから地域の幸せまで」が企業理念

- 代表取締役社長　呉島声仁 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県横浜市金沢区
- 主な事業内容　福祉事業
- 従　業　員　数　75名(男性:26名・女性:49名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

神奈川県横浜市金沢区で訪問看護ステーションとデイサービスを運営し、10年目となります。活動理念として「個人の幸せから地域の幸せまで」を掲げ、スタッフが働きやすい環境をつくり、安定して働くことが出来ることではじめて質の高いサービスを提供する土台が整うという考えのもと、働きやすさNo.1を目指して福利厚生制度を充実させています。

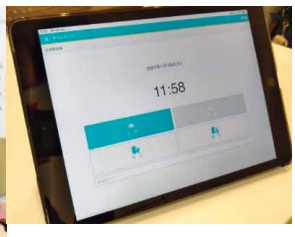
ワークライフバランスから健康経営に

従業員数が増える中で、継続して長く働いていただくためには福利厚生や健康面での会社のサポートが必要であると考えていました。
女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進するため、横浜市が働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内中小企業を認定する「よこはまグッドバランス賞」に弊社もチャレンジし認定を受けていました。
「8時間働き、8時間はプライベートを充実させ、8時間は睡眠をとる」という「8×3理論」を掲げ、ワークライフバランスを推進しています。
働きやすい職場づくりは、人材の確保・定着、従業員の意欲の向上、生産性の向上等につながります。
今までの取り組みが健康経営につながると感じ健康経営優良法人認定にもチャレンジすることを決意しました。

子育て世代を応援

弊社で働く従業員は、30～40代の子育て世代が多いのが特徴です。この世代の方にとっては、ワーク・ライフ・バランスは働くための前提条件であり、弊社でもフレキシブルな勤務体系を用意しています。
時短勤務・時間有給の導入や産前産後に伴う勤務時間についても柔軟に対応をしています。働くママやパパを応援するための勤務体系を積極的に導入しています。





タブレットで勤怠管理・業務連絡・コミュニケーションを積極的にとっています。

コミュニケーションを積極的に

メンタル面のサポートのためストレスチェックを2年前から導入しました。外部講師を招いてメンタルケアの研修を実施したり、定期的に面談を行って従業員のこころの健康に配慮をしています。
訪問看護・リハビリやデイサービスも運営しており従業員ごとの勤務時間も多様になります。
全員が一堂に集まる機会が少ない職種であり、コミュニケーション面での心配があります。それをカバーする意味で携帯とタブレットを支給し、出退勤管理・業務連絡・コミュニケーションを積極的にとるようにしています。

従業員の健康増進を支援

従業員の健康増進のために、デイサービス機材(ウォーキングマシン等)を昼休みや空き時間に利用する事を認めています。
また、健康診断は年に1回契約健診クリニックで実施しています。
介護に携わる仕事のため社員の健康意識は高く、100%受診をしています。
公私ともに多忙な世代の方が多いため今後は、健康の基本となる食に関する情報提供もしていきたいと考えています。

身心が健やかであることが、幸せな毎日に

代表自身がワーク・ライフバランスに関心が高く会社として様々な取り組みをしていたため健康経営についても新たに特別なことを始めることなく認定を受けることができました。
福祉事業は自分自身が健康であることが、利用者に良いサービスを提供することに繋がります。
健康経営を、毎年継続して取り組むことにより社員と御利用者の幸福を実現していきたいと考えています。

1084

神奈川県
相模原営業所

Voice Report 120th

株式会社東邦通信システムズ



代表取締役
橋本日吉 氏

笑顔で働ける中小企業の働き方デザインカンパニー

- 代表取締役　橋本日吉 氏
- 本社所在地　神奈川県大和市中央林間1-10-7
- 主な事業内容　OA・IT機器販売保守・WEB制作業
- 従業員数　19名（男性：16名・女性：3名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは、地域のお客様がいきいきと働ける、快適で生産性の高いITやオフィス環境の構築をして参ります。中小企業の“働き方デザインカンパニー”それが私たちの使命です。

経営理念に通じる健康経営

創業当時から会社の存在価値・意義は大切なものであり経営理念を冊子化し社内外に公表していました。
経営理念に「仕事を楽しくし、自らと仲間の成長を楽しみ、お客様に喜ばれることを楽しみます。そして、一度限りの人生を心豊かに充実させます。」を掲げていました。
健康経営の話を聞き、仕事を楽しむための基礎が健康であり、理念に通じる取り組みと感じスタートを決意しました。

IT利用による業務の効率化

弊社は、企業様のオフィスづくり、業務効率アップ、IT活用、ネットワーク構築、セキュリティ対策などを通して、お客様が本来の事業や業務に集中できるよう、安全・安心で効率的なオフィス環境の整備を提案・保守サポートしています。本業もあり社内でもリモートワークの環境が整っていました。
タッチ式のアプリを導入し出退勤管理方法も変更した結果、残業についても適正な管理が行えるようになりました。
ITを利用する事により業務の効率化も図れました。

食品残渣の有機肥料で育てた野菜を提供

働き盛りの方は、食事に無関心な人が多いと感じていました。
自立循環型“ヤサイクル”ループ運動（微生物を用いた食品残渣の有機肥料化）を展開し、持続可能な社会を推進しております。
地域の喫茶店からご協力をいただき、食品の残りや調理くずなどを調達し、撹拌発酵機“マジックバイオくん”にて、有機肥料を生成し関係者様にご提供しています。この有機肥料によって育てられた美味しい無農薬野菜が地元の中華レストランで使われることがあります。社員には「食」の大切さを教えており、自身やご家族の健康増進を推進しています。これらの取り組みは、SDGsの17のゴールの達成の一貫として環境について学ぶきっかけになると考えています。



“ヤサイクル”ループ運動で栽培した野菜（左）



市民マラソンにも参加（右）

健康診断は、2次健診まで実施

社員同士がとても仲が良いのが自慢です。会社の交流会を社員が企画し、コロナ禍前にはFM横浜主催の市民マラソンにも参加をしています。
また、健康診断の受診も大切ですが受診後に指摘を受けた場合の対応が更に重要です。
2次健診についてもきちんと受診をするように会社からも働きかけをしています。

会社経営の原点は社員

会社経営の原点は、社員であり、その社員が健康でなければなりません。健康づくりは継続して取り組むことが重要であると感じています。
今年度は、健康に関するアプリの導入を実施するなど新たな取り組みもしていきたいと思います。
健康経営を通じて社員の身心の健康維持増進をするとともに、経営についても健康であり続けるよう取り組んでいきます。

TOWAレーザーフロント株式会社



代表取締役社長
早坂　昇 氏

『健(すこやか)漲(みなぎ)りて
業(なりわい)壮(さかん)なり』

- 代表取締役社長　早坂　昇 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県相模原市中央区下九沢1120
- 主な事業内容　レーザ加工装置の開発、設計、製造等
- 従　業　員　数　89名(男性:82名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

私たちTOWAレーザーフロントは、『健康』であれば心身共に『漲る』ものが生まれ出し、『社業』も栄える事を念頭に、社員全員の健康維持・増進に取り組んでまいります。心豊かな笑顔溢れる職場作りに邁進し、社員・家族の健康と明るい社会づくりを目指しています。

全社で組織的に取り組む健康経営

3年連続で健康経営優良法人として認定いただきました。
社員の皆さんが健康で将来的にも長く働いていただくことは会社の成長につながります。一方、社員の皆さんが病気等で働けなくなるとご家族にとっても大きな損失になります。
以前から社員の健康づくりには注力してきましたが、健康経営を始めてからは全社で組織的に取り組むようになりました。
今後については、より一層社員の皆さんが健康に関して興味を持っていただけるようなイベントやセミナーを開催し、健康保持・増進に努めていきます。

産業医による健康講和を毎月ライブ配信

産業医の健康講和を月1回、ライブ配信しています。
以前は安全衛生委員会の中で限定的に行っていましたが、一昨年より対象を社員に拡大しZoomでライブ配信することにより、健康に対するヘルスリテラシーの向上に努めています。
テーマは、先生と相談し健康に関する旬な話題を30分ぐらいに纏めて頂き、毎月多くの社員の方に聴講してもらっています。普段聞けない医療の事についてのQ&Aの時間も設けるなどして、産業医との接点を持つことにより、社員が相談がしやすい環境づくりにも貢献しています。



(左)安全衛生委員会風景



(右)産業医講話風景

ファミリーフレンドリー休暇制度

有給休暇とは別に、社員の療養や通院、ご家族の看護・介護、予防接種等を目的としたファミリーフレンドリー休暇制度を導入しています。1年に5日付与し最大20日まで積み立てることができ、フレキシブルに半日および時間単位での取得が可能なことから柔軟な働き方に対応しています。
昨今では、コロナワクチン接種等で取得するなど、社員の皆さんに活用して頂いてます。

定期健康診断とフォロー面談等の実施

定期健康診断は健診機関を会社に呼び一斉に実施しています。
健診項目としては法定項目だけでなく、がん検診や婦人科健診も実施しています。昨年からは、腹部エコー健診も追加し、希望者にはインフルエンザの予防接種も行うなど、人間ドックに並ぶぐらい充実した健診内容となっています。
また、健康診断の結果をもとに、産業医・保健師で全社員面談や特定保健指導を実施し社員の健康に努めています。

健康経営の認知度が毎年向上

当社は、現在キャリア採用を実施していますが、面接の際に健康経営についてどのような取り組みをしているか質問を受けることがあります。
初年度認定を取得したときと比較して3年目を迎え健康経営の認知度と関心度が非常に向上していることを実感しています。
当社にとっては3年連続で認定を受けていることもPRポイントになっています。これからも、毎年新たな取り組みを導入し楽しみながら全社員が参画する仕組みづくりを心掛けてまいります。

1086

山梨県
甲府営業所

Voice Report 120th

株式会社アルプス



代表取締役社長
金丸　滋 氏

「サービスや接客を通じ、関わる全ての人を幸せに」

- 代表取締役社長　金丸　滋 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県中巨摩郡昭和町西条2799
- 主な事業内容　高速道路PA運営、公共施設運営 他
- 従　業　員　数　354名(男性:125名・女性:229名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

株式会社アルプスは、山梨を拠点に様々な施設や店舗などを運営する総合サービス企業です。例えば公共施設の管理運営、外食・小売店舗の運営、高速道路PAの運営、文化・スポーツ支援事業、海外のリゾート施設の立ち上げ等、「サービスや接客を通し、関わる全ての人を幸せにしたい」との思いから、複合的に様々な事業を展開しています。

健康経営に取り組むきっかけ

私たちアルプスは「サービスや接客を通じ、アルプスに関わる全ての人を幸せにする」という経営理念を掲げています。ある時にアクサの担当者から健康経営のことを聞きました。業界は空前の人手不足となっており、人材確保のためには女性の活躍推進や高齢者の雇用など、求職者へのアピールが必要でした。従業員たちが長く働き、それぞれが幸せになるためには健康が第一です。健康経営はこれらに有効な手段だと考え、会社を挙げて取り組むことにしました。

さまざまな健康増進策

健康習慣アンケートで生活習慣の課題を把握し、従業員たちにはオンラインの健康セミナーを実施して共有しています。このセミナーでは健康、医療、育児、メンタルなどの24時間電話健康相談や睡眠チェック、食事栄養管理支援や運動機会増進アプリが活用できることを伝えています。また以前からインフルエンザワクチンの接種は費用の半額を補助し、ストレスチェックは不定期の実施でしたが、現在は毎年実施することとしています。

社内SNSを使った情報共有

私たちアルプスでは情報共有の手段として「TUNAG」というネーミングの社内SNSを活用しています。例えばある店舗でレイアウトを工夫した事例があると、その写真を載せて紹介します。これを見た他の店舗や部署の従業員から「いいね！」など多くの反応が寄せられます。仕事に関する情報以外に従業員たちの誕生日のお知らせ等もおこなっています。この「TUNAG」には社長自ら毎週1回は投稿しています。生活習慣に関するワンポイントアドバイスの各種ツールもこれを活用し配信しています。



県優良認定授与式でのスピーチ



山梨えるみん
認定！



社内SNS「TUNAG」

課題は喫煙率の高さ

課題のひとつは30％を超える高い喫煙率です。私自身も喫煙者です。先日山梨県の「やまなし健康経営優良企業」に認定され、認定証の授与式で企業を代表してスピーチさせていただく機会がありました。この場で思い切って禁煙に取り組むことを宣言しました。前述の社内SNSでタバコに関する情報を発信したら複数の喫煙者から「ギクッ☺」等の反応があります。運動の情報には「そろそろウォーキングしてみようかな」との書き込みが見られるようになる等、健康への関心の高まりを感じています。

今後に向けて

上記のとおり課題となっている喫煙率を改善していくための禁煙外来や、健康診断後の再検査等の受診率を高めていけるよう費用補助を検討しています。今の従業員たちには今後益々健康で長く働いてもらえるような職場環境を作っていきます。健康経営を実施するうえで大切なのは「継続」だと認識しており、企業文化として健康経営の風土がしっかりと根付いていくよう取り組んでまいります。最後にひと言。私自身の完全な禁煙も目指します！(^_-)-☆

株式会社シップス



代表取締役
保坂尚宏 氏

「企業は人づくりの機関」の考えで取り組んでいます！

- 代 表 取 締 役　保坂尚宏 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県笛吹市石和町四日市場1787
- 主な事業内容　企業向け業務システム構築・運用サポート
- 従　業　員　数　28名（男性：20名・女性：8名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 認定

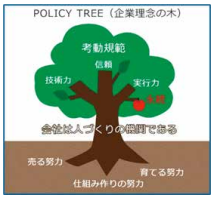
シップスは、2000年4月に中小企業向けのシステムインテグレータとして、山梨県石和町に誕生しました。社名の由来でもある、SI事業（System Integration）とPS事業（Professional Service）の2つの事業を中心に、企業向け業務システム構築・運用サポートのプロフェッショナル集団として、お客様とともに成長するために努力と研鑽を続けています。

企業理念＆経営姿勢

私たちは地域経済発展の視野に立ち、常に時代の変化とお客さまの要求を的確にとらえ、価値ある先進システムを提供し続けようとしています。会社は人づくりの機関です。社員と組織の成長を通じて、社会（お客様、取引先、家族、地域）に貢献したいのです。したがって私たちは成長し永続する義務があると考えています。人生の多くの時間を過ごすのが職場です。
だからこそ仕事を通じて充実した人生を送れるように私たちシップスは存在するのだと考えています。

残業時間の見える化

健康経営はアクサ生命の担当者から聞いて取り組み始めました。毎年健康習慣アンケートを実施し、課題を明確にしています。健康増進策の１つとして適切な働き方の実現に向け、残業時間の見える化をしました。残業が多くなっている社員については連続して業務負荷のかからぬよう、ストレスを溜めることのないようマネージャーに指示しています。また全員に月別の稼働時間をオープンにすることで、お互いに仕事の効率への意識が高まり、残業時間は目に見えて減ってきています。



企業理念の木



積極的な社内交流







社内風景

運動機会の増進に向けて

フィットネスジム等と法人契約することも考えましたが、より多くの社員に利用してもらうため、施設を限定せず、スポーツ施設ならどこに行ってもいいことにしました。利用料は本人にも一部負担してもらいますが、会社で補助しています。新型コロナ感染の影響を受けておりましたが、次第に利用者が増えてきて、今では社員の半数にまで上っています。これからも運動機会の増進に向けた普及啓発を積極的に実践してまいります。

感染対策と健康への意識づけ

新型コロナ感染症の対策はマスク・消毒の他、5割がテレワークとし、Webミーティングも多用しています。年間4回の全体会議では仕事上のことだけでなく、健康増進に関する情報も共有しています。アクサ生命による健康セミナーでは健康習慣アンケートのフィードバックと生活習慣のアドバイスをおこなう等、意識づけを図っています。こうした取り組みで健康に留意し、残業時間を抑え、作業効率を上げようとする人たちが増えてきています。

今後に向けて

社員には健康経営優良法人に連続して認定された会社の一員だということを認識し、今後はより一層自身の健康と家族を大切にしてもらいたいと思います。いい商品やいいサービスを提供するためには、まず社員が健康であることが大切です。お客さまに喜んでいただくことで業績が向上し、地域社会にも貢献できると考えています。「企業は人づくりの機関である」との考えのもと、健康経営に取り組んでまいります。

1088

山梨県
甲府営業所

Voice Report 120th

オオタ総合食品株式会社



代表取締役
多田　勝氏

『気持ちを豊かにする食の提案』が永遠のテーマです！

- 代表取締役　多田　勝氏
- 本社所在地　山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1741-1
- 主な事業内容　食肉加工・惣菜製造、販売
- 従業員数　93名(男性:51名・女性:42名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちの求める「本物」とは、美味しく安全・安心であること、そして何より美味しいお肉をお客様にお召し上がりいただきたいという「真心」が込められていることだと考えています。これらにより生まれた「本物」、それがミートデリおおたの商品です。他の商品との差別化を明確にするため「甲州信玄豚」等の“食材のブランド化”を実現しました。私たちは「肉」という食材の“安全性と美味しさ”を求め続けています。

経営理念の実現に向けて健康経営導入

我が社の経営理念は『全従業員の物心両面での幸福を追求すると共に、食の提供を通じて人類・社会の豊かな生活実現に貢献する。』です。「健康経営」を導入することで全従業員の健康意識が高まり、この経営理念が具現化していけると判断し、全社を挙げて取り組むことにしました。まずスタッフの生活習慣の課題を把握するために健康習慣アンケートをおこない、全スタッフを対象に集計結果のフィードバックを含めた健康セミナーを実施し、健康経営をスタートしております。

山梨えるみんを取得しました

山梨県には女性活躍社会の実現に向けて、女性活躍に係る職場環境の整備等に積極的に取り組む機運を醸成し、国の制度である「えるぼし」認定や「くるみん」認定取得の足がかりとなるよう、県が女性活躍推進に取り組む企業を独自認定する、「山梨えるみん」認定制度があります。当社は女性スタッフの継続就業、長時間労働の解消等の働き方改革、子育て期の女性の正社員としての採用などに積極的に取り組み、「山梨えるみん」として認定されております。



本社外観



輪読会の様子

「風林火山」の地で育った 富士の国 甲州信玄豚

食材のブランド化を実現

えるみん

山梨えるみんを取得

LINE WORKSの活用

スタッフとの情報共有には「LINE WORKS」を活用し、専用のトークルームを作成し運用しています。社長からスタッフに宛てたメッセージもこちらを活用しています。健康経営に関連する事項、例えば健康診断の受診日やストレスチェックの案内等も対象者宛に連絡しています。また、インフルエンザ予防接種の案内を全スタッフ宛にしています。アンケート機能を使って集計することでペーパーレスにつながっております。

『致知』輪読会で人間力向上へ

以前は稲盛和夫さんの「京セラフィロソフィ」を入社時に配布し輪読会をおこなっていました。現在は致知出版社の『致知』を全スタッフに毎月配布し、月１回の輪読会を実施しています。パートスタッフを含む約100名を複数回に分け、4人ずつのグループで、選んだテーマについての感想や意見を発表します。グループ分けのメンバーはお互いの交流のため毎回バラバラにしています。

これからのこと

上記の輪読会では発表者以外３人は発表者の良い所を見つけて褒めるのです。褒めるためには発表者の話を真剣に聴かねばなりません。相手の感想を聞き、相手の長所を見つけて褒めるということは、相手の気持ち・考えを知ること、理解することが必要であり、これは人として社会生活における基礎の力を養います。これを「人間力向上」と捉えております。また普段あまり接することのない様々な部署のスタッフが集い、話すことにより「社内連携向上」「コミュニケーション力向上」の側面もあります。同じ風を受けて全員で前に進むための基礎作りがこの輪読会です。
これからも積極的に健康経営に取り組むことで経営理念を実現していきたいと考えております。

株式会社ピアリング



代表取締役社長
宅間謙二 氏

ジュエリーの“不”の解決に取り組んでいます！

- 代表取締役社長　宅間謙二 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市宝2-25-19
- 主な事業内容　貴金属製造
- 従　業　員　数　38名(男性:25名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは昭和56年に創業、フィリピンに工場を設立し、平成22年に今の社名に変更して現在に至っています。イヤリング金具の特許も取得しました。ピアス感覚でおしゃれが楽しめる耳にやさしいピアリング、お母さん・娘さん・お孫さん三世代でお使いいただける「ピアリングリング」などをご提供しています。私たちはジュエリーに対する不満、不安、不快を解決するべく、日々商品開発に取り組んでいます。

健康経営スタート

以前から従業員たちの健康に配慮した経営をおこなっていますが、今般あらためて健康経営に取り組んでいくこととなりました。健康習慣アンケートで生活習慣の課題が明確になり、従業員参加の健康セミナーで内容を共有しました。生活習慣ごとのワンポイントのアドバイスを受けましたが、今までこうした機会は少なく、誰もが興味深そうに聞いておりました。このアンケートやセミナーは毎年実施し、意識や行動の経年での変化を確認していくことにしています。

毎週の定例ミーティングを重視

私たちは毎週月曜日の午後に定例ミーティングをおこなっていて、全従業員が参加します。業務に関する内容が中心ですが、経営側からの一方通行とならないよう、従業員たちからの意見や要望もしっかり聴くようにしています。フィリピン人の従業員も大勢いますが、同じ方向に歩んでいけるようコミュニケーションを取っています。このミーティングのなかで健康に関する話題も意識して出すように心掛けています。

社長自ら健康行動

社長として従業員の健康状態には常に高い関心を持っています。定期健診で健康状態について指摘された人とは個人面談をおこない、再検査や精密検査などの二次健診の打合せや、生活習慣をどう改善していくのかなどを話し合っています。
また意識して緑黄色野菜を多く摂取するなど、社長自ら健康行動をとり、従業員たちにその姿勢を見せるようにしています。



本社玄関



ピアリング

（商標登録済）

商標登録済です



ピアリングリング

健康意識の変化

これらの健康増進策やミーティングでの声掛けにより、従業員たちの健康意識が少しずつ高まっているのを感じています。昼休みの雑談の中で、例えば「塩分を控えるためにレモンなどの酸味を加えたほうがいいよ」とお互いにアドバイスする等、健康に関する話題が出るようになりました。そしてこれまでの自動車通勤から自転車に切り替える人が出てくるようになりました。残業についても、いかに効率よくこなしていくか工夫を重ねて、残業時間の抑制に努めています。

これからのこと

平素から健康意識を高めていくことはとても重要です。従業員たちとの会話の中でお互いの健康についての話題を出していき、決して押しつけにならないよう、自然に健康へのムードを作っていきたいと思っています。そして今の従業員たちにはこれからも健康で長く働いてもらい、それぞれの夢、目標を実現してほしいと願っています。

1090

山梨県
甲府営業所

Voice Report 120th

株式会社キムラ



代表取締役社長
木村高人 氏

言葉だけではない、本当のサービスをお客様におとどけする！

- 代表取締役社長　木村高人 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市国母5-10-17
- 主な事業内容　特殊車両の整備・販売
- 従 業 員 数　30名(男性:26名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

1964年の創業以来、弊社は特殊車両の整備をしてまいりました。お客様に喜んでいただける仕事をするためには、その仕事のみでなく、背景、内容、社内の対応など、細かい気配りが必要だと考えています。
社員一同、仕事に抱いている熱意と情熱はどこにも負けません。仕事に対する責任を全うし、お客様と会社の発展に貢献することが私たちの果たすべき使命だと考えております。

健康経営取組みのきっかけ

当社は技術を生業とするサービス業です。ひとりひとりに専門性の高いスキルがあり、病欠者が出ると業務への影響が大きく、社員の健康が一番大切です。整備業を通して、車検と人の健康についやす費用と時間を比較すると、いかに自分や社員の健康に時間的・金銭的投資をしていないのかに気付かされます。「会社は社員の夢・希望を仕事を通じ実現していく。」という理念を実現するためには、社員の精神的・身体的健康が基盤となります。これらのことから会社全体で健康意識を高めたいと考え、健康経営に取り組むこととしました。

南極観測隊員を輩出

私たちは2013年(第55次南極地域観測隊)から連続して南極観測隊員を輩出しています。昭和基地周辺で－20℃、内陸では－50℃を下回る環境での仕事をすることになります。専門的な知識や経験もさることながら、何よりも健康面での選出条件が厳しい。厳格な健康診断と場合によっては完治するまでの治療を要します。健康な精神と身体が絶対条件なのです。





会社外観



会社は社員の夢・希望を…



健康セミナーを
定期的に開催



Kim-Tech
Compliance &Technology

さまざまな健康増進策

インフルエンザなどの予防接種や、勤務中の体調不良などによる速やかな通院を可能にするため、病院と提携するとともに一部の費用負担を会社で行っています。また作業着の貸与を制度化し、クリーニングは会社負担で業者に依頼して行っています。常に清潔な作業着で仕事ができ、家庭での洗濯の負担が無くなりました。熱中症対策としては低カロリーな飲み物を提供しています。年次有給休暇取得率は国が推奨する70％を目標としています。これらに加え、45歳以上の社員を対象に、会社で費用を全額負担してPET検診を導入しています。

健康習慣に関する効果

社員が食事を摂る際、塩分やカロリー表示を気にするようになりました。健康習慣アンケートや健康セミナー、毎月の情報の掲示等でさらに健康意識を高めるようにしています。定休日の増加、時間外勤務の減少により、睡眠時間の充実をはじめとするライフスタイルの変化が見られています。時間的余裕が生まれ、歯科通院をはじめ、基礎疾患の治療に時間が割ける社員が増えました。昼休みを70分として食休みに余裕を設けることができました。平均的な食事時間は15分程度であり、ほぼ60分の休憩時間が得られ、仮眠をとったり、軽い運動をする社員も出てきています。

今後に向けて

「病は気から」と言われるように、社員の心と体の健康に関するテーマは会社として持続可能な取り組みと捉えています。当社はこの先50年後も、インフラ整備を中心とする分野において、地域社会になくてはならない存在でいたいと考えています。そのためには、現在の社員も今後入社する社員も健康で長く働ける環境作りを進めなければなりません。社員の人生が幸せでなければこのような取り組みには意味がありません。社員の幸せが一番です。

藤精機株式会社



代表取締役社長
新藤　淳 氏

ワンアンドオンリー、ものづくりの「かけがえのない」存在へ

- 代表取締役社長　新藤　淳 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1648-7
- 主な事業内容　精密板金・プレス加工・金型製作他
- 従　業　員　数　87名(男性:65名・女性:22名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たち藤精機はワンアンドオンリー、ものづくりの技術を継承し、昇華させ、世界に発信しています。創業から50年。メイドインジャパンに誇りを持ち、あらゆる金属加工を手掛け、世の中に役立つ装置、次世代エネルギー、医療、航空宇宙産業開発等を支える製品を作り続けています。ものづくりを通して一人ひとりの成長をサポートし、社会に役立つものづくりを推進しています。

社員が健康を実感できる施策を

私たちのものづくりは、ものを作り動かすだけではありません。その先にある人の気持ちをも動かせるような「ものづくり」です。設計から加工、組立まですべてのプロセスにおいて、ワンアンドオンリーの存在になり、「藤精機だからこそ任せられる」と感じてもらえる企業を目指しています。そのためには社員一人ひとりの健康が欠かせません。かねてより社員にとって健康を実感できる施策をおこなっていきたいと考えており、この「健康経営」に取り組むことにしました。

健康習慣課題の把握で取組み開始

まず社員の健康習慣の課題を把握するためアンケートを実施しました。その結果、食べ物や運動などで健康づくりを意識している人が少ないことがわかりました。定期健診で高血圧を指摘される人も一定数おり、これらの現状を踏まえて全従業員を対象に計4回の健康セミナーを実施しました。このセミナーではアンケートの集計結果のフィードバックと、塩分コントロールで高血圧を予防することの重要性などを共有しました。皆、熱心に受講しており、自身の健康への関心の高さが伺えました。

FUJISEIKI Co.,Ltd.
FUJI 藤精機株式会社



本社外観



アメリカに現地法人設立



本社新棟



健康セミナーの様子

さまざまな健康増進策

毎年の定期健康診断の結果は産業医が全社員分を確認しアドバイスをもらうようにしています。再検査や精密検査の対象者には積極的な受診を勧め、実際に受診したかどうかの後追いをおこなっています。また、有給休暇に関しては、年度末ギリギリに法定の5日間が取得できていないという事態にならぬよう、計画的な取得を呼び掛けています。1時間単位で休めるようにしており、日中に中抜けしたり家の用事を済ませるために早帰りするなど、有効に活用しています。

臨床心理士が月2回来社

社員のメンタル面のケアはとても重要だと認識しています。このため臨床心理士に毎月2回会社に来てもらっています。カウンセリングを希望する社員は月に4～5人程度おり、勤務時間中に30分～60分、臨床心理士との面談の場を提供しています。ストレスチェックとその後のケアに関しても臨床心理士と連携しています。

押しつけにならず自然に健康になれる仕組みへ

健康経営は一朝一夕に結果が出るものではありません。長く取り組み続けていくことが大切です。そのため社員たちへの押しつけにならず、負担にならず、自然に健康になっていける仕組みを作っていきたいと考えています。例えば、現状では腰痛に悩む人が多く存在することからぶら下がり健康器具を備えたり、午後の業務効率を上げるため昼食後に昼寝ができるスペースを確保することなどを検討しています。これらの健康増進策を通じて、これからも社員とともに日本のものづくりを発信していきたいと考えています。

1092

山梨県
山梨北営業所

Voice Report 120th

株式会社昭栄精機



代表取締役社長
佐藤元章 氏

「SHOEI品質・SHOEIプライド」実現のために！

- 代表取締役社長　佐藤元章 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県中巨摩郡昭和町西条3853-1
- 主な事業内容　精密部品切削加工
- 従　業　員　数　35名(男性:28名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昭栄精機の主な事業内容は、NC複合自動旋盤、NC複合旋盤、マシニングセンタを中心とした精密部品切削加工です。昭和45年の創業以来、卓越した職人技とブレーンによる協力体制で一貫生産体制をとっており、切削加工後、熱処理・研磨・表面処理を行い、完成品を責任納品致します。加えて深孔加工のスペシャリスト集団、株式会社ハイタック(沼津市)が兄弟会社に加わり、更なる高付加価値のご提供が可能となりました。まさに“高精密切削加工＋高精度深孔加工＝可能性∞”です。

“SHOEI品質”“SHOEIプライド”



私たちは「可能性無限大∞モノづくりの道を追求します」を経営理念とし、社員一人ひとりがお客様にとっての最高品質を考え、期待を超える高付加価値をお届けしています。

心の健康のために

心の健康の実現にはメンタルが安定し、会社に対して安心感があり、仕事へのやりがいを感じることが必要です。このため私たちはコロナ禍でも給料を100%保証しました。積極的に女性従業員の活躍の場を増やし、また高齢者の雇用促進によって働き方の多様化に取り組んでいます。具体的には育休や復職支援プログラムの導入、時短での就労、時間単位の有給休暇の取得等です。これらによって従業員たちはやりがいを感じながら安心して仕事に向き合うようになっています。

健康経営取り組みのきっかけ

社長に就任した2018年当時は従業員の定着率が低く、残業が多く、苦労が報われていないという印象で、何とかしなければと考えておりました。ある時、甲府商工会議所の工業部会で「健康経営」について説明を聞き、「従業員が心身共に健康であれば生産性が向上する」という考え方に共感しました。これは働き方改革とも呼応すると考え、取り組みを開始しました。私たちの「健康経営」の骨子は「心身の健康」と「働き方改革」の両立を果たすことだと考えています。



会社外観



全員集合



健康セミナー風景



最新の自動複合旋盤
(24時間切削)

身体の健康のために

身体の健康の要素は労働時間、健康な身体づくり、休暇の取得です。以前は自分たちの判断での残業が常態化していましたが、労働時間をタイムリーに掌握できる体制にして、残業の事前申請を徹底して実行しました。休んでも機械は動く仕組みを模索し、彼らもさまざまに工夫し効率化して、定時の退社が当たり前となってきています。また24時間フィットネスクラブと法人契約し、運動機会の増進を図っています。さらに給与袋に毎月「健康関連情報」を封入しており、最近では持ち帰って家族と一緒に目を通している人も増えてきています。

健康経営の効果と今後について

これらの健康増進策により、1人当たりの残業時間は月平均10時間程度と大幅に改善しています。さらには利益率が向上してこれを従業員たちに賞与で還元することで、年収アップにつながっています。昼食時や休憩時にはお互いに「健康」をキーワードにした会話が弾むようになってきました。これからも健康経営を通して、Work・Life・Socialバランスを実現させ、生産性向上につなげ、従業員たちにさらに豊かさを実感してもらえるように取り組んでまいります。

有限会社ハッスイトランスポート



代表取締役
佐伯靖則 氏

『二度と後悔しない』取り組みは無駄ではなかった…答えは『健康経営』だった

- 代 表 取 締 役　佐伯靖則 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県焼津市利右衛門1088-1
- 主 な 事 業 内 容　一般貨物自動車運送事業
- 従　業　員　数　45名(男性:38名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

さかなの街、静岡県焼津市から全国へ冷凍マグロ・カツオを超低温車にてお届けしています。マグロの市場便は日中に積込み夜中に荷下ろしを行います。皆さんが寝静まっている頃にも働く大変な仕事です。その上で、『安全が最優先』ドライバーは社是である『運転は目くばり　気くばり　おもいやり』の精神で安全運行に全力です。だからこそできる限りのサポートをしなければと考えています。近年では焼津市の公認マスコットキャラクター『やいちゃん』をプリントしたトラックを走らせ地域活性化にも貢献しています。以前は男ばかりの職場でしたが、最近は女性ドライバーも大活躍中です。

健康経営に取り組むきっかけ

それはある社員に起きた悲しい出来事でした。2ヶ月前に受けた定期健康診断で「所見無し」の健診結果であったのに、体調不良を訴えてきましたので、すぐに医者に診てもらうよう促し、病院に行かせました。結果はステージ４の肺がんで即入院となり、そこから数ヶ月後には帰らぬ人となってしまったのです。大切な社員を亡くした事に、ましてや自分と同い歳であった社員で大変ショックを受けました。まだまだやり残したことも沢山あったろうに…、何よりも家族の事を考えた時に雇用主として本当に申し訳ないという気持ちでいっぱいとなりました。トラックドライバーという職業はどうしても、喫煙習慣者が多かったり、長時間の運転姿勢から来る職業病的な腰痛持ち、また、弊社は海産物の冷凍食品の配送を請け負う超低温輸送の業務も多く、夜間走行の不規則さも手伝って、健康不安材料が多々あるなとも感じていた矢先に起きた出来事でした。そこで会社として、社員の更なる健康管理への注力の必要性を痛感しました。

社員本人と家族の幸せの為の健康経営

まず、早い段階で病魔を見つけるべく、職制に関わりなく、全社員に「人間ドック」を毎年受けさせることとしました。当初は20代の社員を始め、そこまで受けたくないという社員が結構いましたが、前述の悲劇を実例に社員に説諭し、この人間ドック導入が本人と家族の幸せに繋がるのだという強い信念のもと、会社の福利厚生制度に取り入れました。所属のトラック健康保険組合の助成制度やその他の補助金制度を活用し、希望者にはオプションで「脳ドック」や「心臓ドック」も実施。年2回健診が義務付けられていないドライバーにも、1回は定期健診を実施し、人間ドックと併せて年2回の健診体制と致しました。
併せて、健康増進策として、社内にトレーニングジムとマッサージ器の設置をして、運動不足解消やストレッチの教室、腰痛緩和対策等で活用しています。



リラックス効果抜群の、
北欧製健康ベッド↓



社員すべてに末永く健康でいられるように

当社で取り組んでいる健康経営の主な施策を紹介致します。

◎健康診断後、要所見者の再診確認・保健師の面談手配
◎インフルエンザワクチンの無料接種
◎禁煙希望者に禁煙外来の受診斡旋
◎健康増進に関する情報提供・アプリの提供・健康教室の受講
◎ストレスチェックの実施とメンタルケアカウンセリングルームの活用
◎消毒用アルコール・マスク・空間除菌剤等の配布
◎電解水素水の生成器の導入
◎保有車両室内に光触媒抗菌処理の施工
◎コロナウイルスもキャッチできる空気清浄機の設置
◎事務室内に除菌オゾン発生装置を導入
◎予期せぬ事態に備え、ＡＥＤ(自動体外式除細動器)を設置



ストレス解消用サンドバック→

今後の展開

職場環境の改善に取り組んでいる証として認証を頂きました。
今後も出来ることから改善し、新たな人材を確保できるようにさらに働きやすい職場を目指します。
そして、健康経営を通じて業界のみならず、広く社外へも情報発信を行っていき、社会貢献にも繋がればと考えます。

働きやすい職場
認証制度登録証書→



1094

新潟県
上越営業所

Voice Report 120th

株式会社アイシン



代表取締役社長
熊木　晶 氏

社員とご家族の健康と企業存続のため

- 代表取締役社長　熊木　晶 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県上越市下門前1648
- 主な事業内容　土木建設業
- 従　業　員　数　35名(男性:31名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

弊社は「創意と誠意」をモットーに、1976年に設立された新潟県上越市の土木建設業者で、主として重機・車輌による土木工事・運搬作業を行っています。弊社の経営ビジョンとして「地球環境への配慮」を重要課題の一つに位置づけており、すべての事業活動において環境保全に努めることにより、持続可能な社会の実現に貢献したいと考え行動しています。

健康経営を志したきっかけ

人手不足、人材不足が叫ばれて久しい昨今、弊社も例外ではなく、否応なしに社員の高齢化が避けて通れない状況となっています。国も「健康寿命」というかたちで指針を示していますが、社員やそのご家族の健康を維持していくことが、これからの弊社の発展と社員自身のより良い人生にとって大変重要なミッションであると考え、健康経営に取り組むことといたしました。また、国連が提唱するSDGsが世界的に浸透してきており、「持続可能な企業活動」という観点からも背を押されました。

現在の具体的な取り組み

健康診断の二次検診対象者について、確実に再検査を受けるよう徹底しています。インフルエンザの予防接種を全額会社負担により実施しています。携帯可能な体温計と血圧計を全社員に支給し、それぞれ日々測定して記録を残してもらうようにしています。協会けんぽ新潟の「けんこう職場おすすめプラン健康づくりチャレンジ」の食事メニュー実施を全社員に促しています。アクサ生命の健康経営サポートを活用し、社員の健康づくりに役立てています。新型コロナウイルス対策を徹底するとともに抗原・抗体検査キットを常備し、社員やそのご家族がいつでも使用できるようにしています。コロナ禍ということもあり、残念ながら現在は実施できていませんが、会社主催による各種交流会を年数回のペースで開催し、全社員のコミュニケーション向上を図っています。



本社社屋

従業員の健康に関する効果と課題

積極的な促しが功を奏し、以前に比べ健康診断の二次検診受診率が向上、各数値に改善が見られる社員も出てきました。毎日の検温についても習慣化しており、社員の健康に向き合う姿勢が変化してきていると感じています。また、アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイスなどにより、少しずつではありますが、健康に対する意識が浸透してきているように感じます。課題としては、喫煙者数があまり減っていないことが挙げられます。また、朝食を抜く社員も一定数いるようなので、これらについて改善を進めていきたいと考えています。

会社全体に関する効果

新型コロナウイルスに関して徹底した対策を講じ、且つ全社員が高い意識を持って対処していることもあり、これまで直接的な被害は発生していません。インフルエンザについても、対策以前と比べ、明らかに感染者数が減少しました。これらに罹患した場合、数日間は活動できなくなってしまうことを考えると、業務効率的に大変意義深いものがあります。社員交流会に関しては、世代差・個人差もあると思いますが、業務と直結しないかたちでコミュニケーションを図ることにより、少なからず人間関係の円滑化とストレスの低減に繋がっていると感じています。また、アクサ生命による健康経営アンケートの結果から社員の健康に関する様々な傾向を知り、会社として今後の対策を図る重要なデータを得ることができました。

今後の展望

少子高齢化の影響が顕在化した今、私たちの住まう地域社会、そして国の未来について真剣に考え行動していかなければならない現状に直面しています。このような中で弊社に何ができるのか改めて考えてみたとき、まずは会社を存続させ、地元雇用を維持していくことが重要であると確信します。時代に取り残されぬよう新しいアイデアや先端技術を取り入れつつも、企業の根幹を成すのはやはり人であり、社員は会社の原動力です。その力を維持すべく、メンタル面も含めた健康経営を発展的に続けていくことが、会社・社員・地域にとって大変重要であると考え、今後も活用していきたく思います。

株式会社ＳＩＣ桑原



代表取締役社長
樋口孝夫 氏

「“はかる”プロ集団」として、地域に誇れる「空間情報コンサルタント」を目指す

- 代表取締役社長　樋口孝夫 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県上越市大字西田中62-14
- 主な事業内容　測量業　専門・技術サービス業
- 従　業　員　数　36名（男性：20名・女性：16名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は昭和23年（1948年）に会社を設立し、今年8月16日で74年目を迎えます。創業当時から、新技術とそれに伴う新しい計測機器導入と計測技術の研鑽、GISなど様々な面で先進的に取り入れ、社会的・技術的にも、地域のリーダーとして地域をけん引していくのが弊社の責務であるとの思いで企業活動を行って参りました。

従業員への健康への投資は企業の利益向上につながる

仕事をする上で何といっても「健康」が第一です。
社員の健康は重要な経営資源と捉えており、心身ともに健康で在ることが大事であり、常日頃から自分自身の健康と向き合い、社員が健康で生き生きと働いてもらえる環境が会社の成長につながると思います。
人生100年時代といわれる中、弊社が従業員の健康に目を向け、取り組みを進化していくことは、従業員が生き生きと活躍し、持続的に成長することが不可欠な要素と考えます。
従業員の健康増進に取り組むことは、従業員やその家族だけではなく、顧客や求職者からも評価される時代です。
そして昨今のコロナ禍に加え加速する少子高齢化に伴い、生産年齢人口の大きな減少、人材確保が困難な時代を迎え、企業の存続にも大きく関わってきます。
このような背景のもと、会社全体で健康づくりの取り組みをスタートすることで社員ひとり一人の健康管理・自己管理意識の変革と、取り組みの評価を会社全体で得られることで一体感の醸成・コミュニケーションの強化・円滑な業務遂行につながると考え「健康経営」に取り組むことといたしました。



社内球技大会



本社社屋

現状を知ることで見えてきた課題に対する取り組み・社員の参画意識

まずは現状を知る為、社員全員の体の健康・心の健康についてアクサ生命から協力いただき、従業員全員にアンケートを行いました。体の健康に関しては食べ物・運動・喫煙が課題として浮き彫りになりました。そこで、アンケート結果を元に社員全員に「健康経営従業員セミナー」を行い、アンケートから導き出された社員の皆さんの現状を伝え、将来を想像してもらいました。その上で「なぜ健康経営に取り組むのか」をお伝えしたところ、少しづつですが社員の意識が変わり始めました。毎日、午後からの就業時間前に社内放送で「ラジオ体操第一」を流して、各自デスク前でラジオ体操を実施していますが、時々「ラジオ体操第二」や「関西弁ラジオ体操」を流すと社員から様々な反応が言葉で出てくるようになり、参画意識が芽生えるようになりました。
早期発見・早期治療により仕事と治療の両立を図るため、福利厚生の一環として会社負担で生涯確率約50％といわれるガンに対する「ガン治療保険」にも加入しました。「会社負担でガン保険に入れてもらえるなんて本当に有難い」と社員の会社に対するワークエンゲージメントも高くなりました。



大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

社員全員の取り組みが評価され、今年３月に2022年「健康経営優良法人認定」をいただくことができました。
社員の皆様やその家族が弊社の一員であることに幸せを感じていただける会社で在りたいと日々考えています。人は自分の居場所がここだと心から思えた時、大きな力を発揮します。社員ひとり一人が会社にとって何ものにも代えられない大切な財産であると同時に大切な家族であると考え、この取り組みを継続し進化させていきたいと思います。

1096

新潟県
長岡営業所

Voice Report 120th

秀和建設株式会社



代表取締役社長
伴　雅史 氏

全社員が家族や地域に誇れる会社を目指して！

- 代表取締役社長　伴　雅史 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県小千谷市三仏生2533
- 主な事業内容　総合建設業、環境(LED)事業
- 従　業　員　数　36名(男性:31名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

弊社は創業以来30年の歩みの中で、中越大震災をはじめとした様々な自然災害を経験しながら、ものづくりを通して地域の人命、財産を守り、経済活動の発展に尽力してまいりました。社会がどのように変化しようとも、いきいきと活気にあふれ、こころ豊かに過ごせる社会づくりに持続的に貢献していきたいと考えています。

健康経営に取り組むきっかけ

社員の健康づくりを促進するため2019年9月1日に「健康経営宣言」をいたしました。ベテラン社員の経験を活かすため、定年を70歳まで引き上げました。長く健康で働けるように、社員ひとりひとりが自分自身の健康課題の改善に向けた目標を一つ選び日々健康増進に取り組んでおります。また、SDGs宣言の４つの目標の1つに「健康社会の推進」を掲げ、健康経営に積極的に取り組み、職場内の健康改善を推進しております。

社員が抱える悩みに寄り添いながら

近年、様々な理由で体調を崩す社員がおり、職場復帰支援として業務内容や勤務時間等の職場環境を整え、休業した社員への復職サポートと発病防止に取り組んでまいりました。その結果、休職者の復職率100％を達成することができました。社員が、健康で長く働き続けられるよう、今年度からストレスチェックを導入しストレス不調者の早期発見や防止に取り組み始めました。また、上司と年2回以上の個人面談を行うことで、社員の仕事の悩みや健康状態の把握に努めております。



仕事と介護の両立セミナーを
年に２回開催しております。



当社イメージキャラクター
シューワ博士くん





毎年お客様と社員が一緒になって
さつまいもの苗植えと収穫祭をおこないます。

健康は仕事と家庭の両立があってこそ！

社員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境をつくること、そして、ひとりひとりがその能力を十分に発揮できるように、平成30年4月より5年間の行動計画を策定いたしました。
『１:産前産後休業や育児休業、育児休業給付、育休中の社会保険料免除など制度の周知や情報提供を行う。』
『２:子どもの出生時における育児休業の取得を促進する』
この２つの目標については、新潟県が行っている「新潟県ハッピーパートナー企業」と「パパ・ママ子育て応援プラス認定企業」へ登録しております。男女とも仕事と家庭・その他の活動が両立できる環境づくりや働き方の見直し、女性労働者の育成・登用推進、そして男性が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでおります。育休を申請すると２週間の有給を支給する制度をつくり、昨年は男性社員２名が育休を取得し、あらためて母の偉大さを感じておりました。
『３:介護休業等を取得しやすい環境づくりを行う』
関係先の介護施設と連携し年2回「仕事と介護に関するセミナー」を開催し介護に対する不安の解消にも努めています。仕事と家庭のバランスが健康に与える影響は大きいものと考えます。安心して働け、そして働きがいを感じられる職場環境をこれからも構築してまいります。

地域との関わりを大切にしながら、長く住み続けられる街づくりを目指す！

弊社は地域との関わりをとても大切にしております。毎年「春のさつまいもの苗植えと秋の収穫祭」をお客様、社員そして関係先の方々と一緒になって行っております。毎年お子様連れの参加者も多く、自然に触れる楽しさや喜びを感じていただき笑顔が溢れる会となっております。またSDGsをテーマにしたフォトコンテストを開催し、地域の皆様と地球環境について一緒に考える機会も創っております。地域の皆様が長く快適に住み続けられる街づくりにこれからも貢献できたらと考えております。その実現の為、今後も健康経営に取り組み、職場内の健康を少しずつ改善し社員ひとりひとりがスキルアップに励むことで、全社員が物心両面ともに幸せになり、家族や地域に誇れる会社を社員一丸となって目指してまいりたいと思います。

株式会社太陽スポーツ



代表取締役社長
上田良雄 氏

太陽スポーツは、がんばる人を応援します

- 代表取締役社長　上田良雄 氏
- 本 社 所 在 地　富山県魚津市上村木町
- 主な事業内容　スポーツ関連販売業
- 従　業　員　数　45名(男性:28名・女性:17名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

太陽スポーツは、がんばる人を応援します
ーーーWE　WILL　SUPPORT　THE　PERSON　WHO　EXERTS　THEMSELFーーー
スポーツとコミュニケーションを通じ、夢と喜びをより多くの人々に伝え、
豊かな地域社会の発展に貢献致します。

県内の企業をスポーツで元気にしたい！ ー企業交流リレーマラソンー

県内の企業をスポーツで元気にしたい！せっかく富山にいるのだから、地域密着でかつコミュニティーを形成できることはないかと考えたのが「企業交流リレーマラソン」でした。多くの企業様からも賛同をいただきました。だからこそ自分たちの会社が、従業員が、積極的に参加すること、お客様も巻き込んで開催することが重要であり、また実は商売のヒントにもなると考えました。(モノを提供する時代から体験を提供する時代へ)開催を準備していく中で、当社社員も活き活きと働いている姿を目の当たりにして、当社社員の健康がもたらすプラス効果も感じるようになり、健康経営をおこなうきっかけとなりました。
本来であれば、かっこよく当社の社員の健康のために！と言いたいのですが、実は営業的側面もきっかけの一つとなりました。



太陽スポーツが主催する「企業交流リレーマラソン」
(写真:お客様と一緒に参加する従業員)

社内の健康「四規七則」

社員は財産であることはもちろん、家族にとっては大事な身内です。その大切な社員を守ること、安全＆安心な場所でやりがいを持ってもらうには健康が一番であると考えます。「四規七則」の気持ちでいくことが会社での健康の基本と考えます。
身体的な健康だけでなく、心の健康、やりがい、生きがいに焦点を当て「仕事を楽しむ」ことが自然と健康に導くものと考えます。

店舗のシフト改革・定休日の制定 店舗・部「間」のコミュニケーション

店舗による営業を行っている業態上、営業時間が決まっており、必然的に労働時間が長くなってしまうという課題がありました。その改善のために顧客来店数の時間データを分析し、最適な人数でシフトを組めるよう改善、また、今まで行っていなかった「定休日」を設けることは一つの大きな決断となりましたが、労働時間の改善のため制定いたしました。当社社員からも「家族サービス」に使える時間が増えたと好評です。店舗「内」ではコミュニケーションが図れていても、店舗「間」のコミュニケーション促進も重要です。店舗同士もそうですが、店舗と管理部、総務部など横のつながりをさらに活性化させるための「月曜会」(社内レクリエーション担当)の頑張りも大いに期待をしているところです。

「楽しくやろう！」の意識

社長から健康経営責任者へ、そして従業員へ伝承する。
「企業交流リレーマラソン」の参加を促し多くの仲間を作る。
健康経営の他企業への発信　→　自分たちが体験したことを他の企業へ伝承する。一番は社長自らの意識改革だと思います。みんなが仲間意識を持ち、和・チームワークこそが健康経営企業へ導くことと信じ行動していきます。



太陽スポーツが委託管理する施設での「ヨガ体験会」



左　ﾗﾝﾌﾟｼﾞｬｯｸ掛尾店　店長　池田詠二 氏
右　代表取締役社長　上田良雄 氏

1098

長野県
松本営業所

Voice Report 120th

株式会社山添シート内装



代表取締役社長
山添道雄 氏

皆の便利を支える会社、その原動力は従業員の健康

- 代表取締役社長　山添道雄 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市野溝西3-5-39
- 主な事業内容　シート製品製造・施工、イベント会場設営、用品レンタル、テント販売
- 従 業 員 数　13名（男性：7名・女性：6名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 長野支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は、昭和41年、車のホロや車内シートの張り替えなどを主体とし、縫製を主事業として創業しました。先代から引き継いだ志と、時代に求められるモノづくりの精神で、安心・安全をキーワードに取り組み、今年で創立56年をむかえました。
時代の流れに合わせ業務内容も変化させ、現在は製造業に加え、イベント会場設営やレンタル事業も行っています。テントを通し、より快適な環境、空間を創造する企業として地域社会に貢献できるよう、社員一丸となって取り組んでいます。

健康経営優良法人認定申請への道のり

当社は勤続年数が長い従業員が多く、みんなで歳を重ねてきました。そのため、年々健康への不安も増え、体調には日々気を遣っていました。そんな時、松本商工会議所様からのご紹介にてアクサ生命保険㈱様から「健康経営優良法人認定について」の説明を受けました。
最初は手探りでしたが、アクサ生命保険㈱様からの提案で、健康習慣アンケートを実施し、社員の意識を確認しました。
認定申請に向けてのこの過程が、健康管理の再確認の場になりました。



社内の「健康づくりの環境」

体と脳を目覚めさせるため、朝礼の際にラジオ体操と体調確認を行っています。早朝仕事も多く、安全に作業を始めるために大切にしている時間です。
仕事中は、夏場の屋外作業が多いため、熱中症対策用にドリンクと塩分補給食品を用意し、今年からは全員に空調服を支給しました。
冬場は、感染症対策としてペーパータオル使用や消毒の徹底をしていましたが、現在は年間を通しての対策となっています。
近年、働き方改革が叫ばれる中、当社では長時間労働を抑制するため、個別の勤務時間の管理とスケジュールの可視化と周知を再度徹底しました。それにより、プライベートな時間も確保され、心の安定にも繋がっていると思います。



2022優良法人認定

社員の健康と安全を経営の中に取り入れていく企業

健康経営の取り組みで、健康経営ワンポイントアドバイスのチラシを毎月配布していますが、従業員同士の健康に関する会話が増え、改善意識も高まっているようです。
たばこについても、喫煙スペースも設けていますが、年々、喫煙者は減少しています。私自身も入院を機に禁煙することができました。それぞれのタイミングがありますが、いつか喫煙率０％になればいいと思います。
また、コロナ過で生活環境が変わり、運動不足を感じることも多くなりました。仕事中のケガや生活習慣病の予防のためにも、気分のリフレッシュのためにも、できることから促していきたい取り組みのひとつです。

様々な仕事をさせていただいていますが、やはり身体が資本だと身に染みて感じています。
仕事の性質上、週末に現場が重なるハードな時期もありますが、互いに気を遣い、声を掛け合っていきたいと思います。皆様に喜んでもらえる仕事をするために、心身ともに健康で、長く続く企業となれるようこれからも日々精進していきたいと思います。





株式会社ナガキュウ



代表取締役社長
赤羽　博氏

皆様の様々な食のシーンで喜ばれる企業を目指して

- 代表取締役社長　赤羽　博氏
- 本社所在地　長野県松本市笹賀7600-26
- 主な事業内容　業務用食品卸
- 従業員数　42名(男性:31名・女性:11名)
- 加入健保名　長野県卸商業団地健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**私どもナガキュウは今年6月、昭和29年の会社設立から、おかげ様で68周年を迎えました。
現在は、長野県内全域の学校、幼稚園、保育園、病院、老人ホーム等施設、外食産業、産業給食等のお客様とお取引させて頂いております。
営業拠点は、松本、長野、小諸、飯田と、地域卸としてお客様に密着して業務展開しております。
時代が変わっても人と人のお付き合いを大切にしながら、信頼のおける品質で美味しい業務用食品を皆様の様々な食のシーンで喜ばれる、価値ある企業を目指しています。**

健康経営優良法人認定申請への道のり

日頃から、弊社の業務形態上、朝早くから出勤し、トラックにて配送業務・営業等、社員の身体への負担を懸念していました。
そんな時に、加入健保である長野県卸商業団地健康保険組合主催のセミナーを受講し、健康経営優良法人の取組みを知りました。
その後、松本商工会議所様からのご紹介で、アクサ生命保険㈱様から「健康経営優良法人認定について」の説明を受け、申請への取組みを一歩踏み出しました。

弊社の取組み内容

◆健康習慣アンケートを実施し、現状を把握、問題点を発見し、管理職に周知、セミナー開催。
◆福利厚生制度として、共済、医療保険に加入し、「治療費用の一部負担」、「専門医によるセカンドオピニオン」や、「メンタルサポート」等を支援。
◆人間ドックの費用を全額負担。
◆気分転換のためのお茶、コーヒー、菓子等を無償提供。
◆感染症対策として全拠点にアルコールを設置管理。
◆火曜日・水曜日・木曜日の始業前にラジオ体操実施。



2022優良法人認定

より多くの人の笑顔を作る

弊社の理念は、
【食を通して地域に密着し、地域と共に発展する企業であり、より多くの人の笑顔を作る会社を目指す】　です。
その為にも、まずは弊社社員ひとりひとりが心身ともに健康で、笑顔でいて欲しいと思います。
社員の健康＝会社の財産　です。
一日の多くの時間を仕事(会社)で過ごす社員の為に、経営者である私が何ができるかを考え、これからも健康経営に取組んでいきたいと思っています。





1100

長野県
佐久営業所

株式会社西軽精機



代表取締役社長
上原大輔 氏

自分と自分にかかわるすべての人を幸せにする

- 代表取締役社長　上原大輔 氏
- 本 社 所 在 地　長野県佐久市小田井1077-18
- 主な事業内容　製造業
- 社　　員　　数　33名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

**会社の業績を向上させ利益を出すことと、社員を大切にすることは同義と考えています。
会社はお客様のためだけに存在しているのではなく、社長として大切にすべきは会社に勤める社員とそれを支えてくれているご家族です。社員が安心して仕事に専念できる環境があってこそ、生産性が上がり業績が向上します。これからも「人」を大切にする経営を続けます。**

健康経営を取り組むきっかけ

実は一番最初に「健康経営」を聞いたとき、その取り組みに対して懐疑的な印象を持っていました。健康が人を幸せにするのでなく、幸せが人を健康にするという考え方が根底にあったためです。
健康経営の取り組みを始めたのも所属するSOIC（佐久産業支援センター）にてブライト500を目指すことが指針として掲げられたことが理由でした。しかし、実際に取り組みを始めたところ、決してそうでないことが分かってきました。元々、社員を大切にするという考え方が根本にあり、今では健康経営はその考えを体現する1つの手段であると認識しています。

働きやすい環境を

現在、当社では「仕事が終わっていれば16:30に退社して構わない」という仕組みを導入しています。有給休暇も国で取得が義務化される前より有給取得率を高めるべく有給取得日を設定し、全員が気兼ねなく取得できる環境づくりができています。
以前は「夜遅くまで仕事をしている、休日も出てきて仕事をしている」ことが「仕事ができる人」という風潮がありました。しかし、それでは会社の業績を伸ばす＝社員の労働時間を延ばすことにつながりかねず、真の意味での社員の幸せの実現が困難と判断し、働き方の風土を変える取り組みを進めることにしました。





代表取締役社長の上原氏と
健康経営実務担当者の小田川氏





働き方の大きな変化はコロナ禍で生まれました

幸いなことに、もとより先代社長の時から社員の声で就業規則の変更に着手するという実例がありました。小さいお子様がいる女性社員の声で「学校行事で仕事を休みたいが有給休暇や半休までは必要ない」というものが挙がった際、それを聞いた先代社長が「だったら2時間休を作ろう」と就業規則の変更に着手した実績がありました。社員からの声でアイディアが出てき、それを受け止める会社の風土がありました。
そんな中、突如起こったコロナ禍に弊社にも大きな影響を受けました。しかし、それは悪いことばかりでなく、働き方の変革のきっかけとなる好影響にもなりました。最初は試験的に土日に加え、金曜日も休日とすることからやってみました。稼働日が下がる分、売り上げに響く危惧がありましたが、いざ取り組みを進めるとそれは杞憂であることが分かりました。社員の働き方にメリハリが出てき、限られた時間でも従前通りに業務が進みました。そして、売上を確認したところ、思ったよりも下がっていなかったとき、働きやすい環境こそが生産性を上げることになることを確信しました。機械を稼働させないといけないので、現在は金曜休日でなく、毎日の就業時間の短縮に形は変えましたが、コロナ前と同じ業績を確保することができています。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

私が社長に就任した折、社員のパフォーマンスを最大限伸ばすために「仕事における幸せ＝自己決定権」を社員に委ねることを決意しました。

1. 誰も解雇しないという約束＝辞めるときは自分で決められる
2. 有給休暇を取りやすい風土＝自分で休暇を決められる
3. 退社時間も16:30以降で決められる

他にもスタッフ一人一人が全作業工程を担える高い技術力を身に着けることで業務作業にも自主性を持って取り組めています。社員が自分自身やプライベートを大切にできるような環境が整っているからこそ、会社でも最高のパフォーマンスを奮ってくれ、ひいてはそれが会社の業績に直結していると確信しています。これからも健康経営の取り組みで社員と一緒に会社の成長につなげていきます。

オリオン有限会社



代表取締役社長
澤﨑光洋 氏

大切な社員に永く勤めてもらえる環境を

- 代表取締役社長　澤﨑光洋 氏
- 本 社 所 在 地　長野県北佐久郡軽井沢町
- 主な事業内容　美容・貸衣装業
- 従　業　員　数　4名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**弊社は1958年より軽井沢にて主にブライダルにまつわる貸衣装と美容の業務を行っております。
お客様の人生において輝かしい特別な日の彩をお任せいただくにあたり、何より社員自身が健やかに活き活きと仕事に取組める環境こそが大切と考えます。
健康経営はその想いを具現化する有効なツールとなっています。**

健康経営のきっかけ

社員の健康を気に掛けることとなったきっかけは自分自身の健康診断結果に指摘があったことでした。
以前は国民健康保険への加入で、社員の健康は自己で管理をすべきものであり事業所として関与するものではないという考えでしたが、協会けんぽの健康保険に切り替えてから自分だけでなく徐々に社員の健康にも気が向くようになってきました。
そんな中、健康診断後の保健指導・健康相談を受ける機会があり、改めて健康の大切さを認識する中で自分自身の健康も当然大事ですが、大切な従業員の健康への意識が強まりました。

当社の社員は当社の財産

当社には正社員2名、パート3名の社員がおり、いずれの社員も当社での勤続が長いベテラン社員です。また美容業務はある意味職人の世界といっても過言でなく、社員個々のスキルや技術、お客様とのコミュニケーション能力が非常に重要となります。
それゆえ社員それぞれが特定のお客様の対応をすることとなり、当社のお客様の多くはその社員をご指名いただくリピーターとなるケースがほとんどです。また美容業務は手に職の仕事ですので、比較的長期間続けやすい仕事でもあり、社員が健康で永く勤めていただくことが会社の安定に密接につながっています。
だからこそ社員は会社にとっての財産であり、会社は社員が永く勤められる場であることが必要です。





働きやすい環境

就業時間・休日にメリハリがつくようにしています。
具体的には17:30に終業し、極力従業員が残業することがないように配慮した勤務スケジュールを組んでいます。また完全週休二日制に加えて隔週でもう1日休暇を取得できる体制を取っています。ブライダルの多い季節や成人式の時期などはどうしても社員に頑張ってもらわないといけないタイミングはありますが、負担が少なく永く勤めてもらえるように拘束時間が極力短くなるように配慮をしています。

コミュニケーションの大切さ

会社がただ仕事をするだけの場にならないように心がけています。
その1つとして福利厚生として毎年社員旅行をしています（最近はコロナ禍で実行できていませんが）。
健康経営の取り組みを始める前から慣例となっており、隔年で宿泊旅行・日帰り旅行をしています。周囲の経営者から最近は社員旅行は社員から歓迎されないからやっていないとの声を聞き、気になって社員に尋ねたところ、当社の社員からは「楽しみにしているのでぜひ続けてほしい」との意見が出てきました。現在は旅行の企画を社員に任せるようにしたところ、嬉々として計画を立ててくれるようになり、私自身も社員から出てくるアイディアを毎年楽しみにしています。業務以外のコミュニケーションがお互いの新しい一面を見られ、ひいては業務での相互連携につながっています。

次の世代への架け橋

現在、私の娘が当社での美容業務に臨むべく東京で修業をしています。いずれ近い将来に当社に入社をする予定があります。もしそうなれば新しい店舗を増やし、それと併せて若いスタッフも迎えることとなるかもしれません。今いる社員が働きやすい環境を整えておくことが、これからの将来を担う若い人材をスムーズに迎え入れることにつながります。せっかく縁あって一緒に働く社員が活き活きと業務に専念できるようこれからも健康経営の取り組みで永く働ける環境づくりを続けます。

1102

長野県
伊那営業所

Voice Report 120th

有限会社トモエ自動車商会



代表取締役
宮澤伸英 氏

“安全と安心と快適な喜びのカーライフ”

- 代 表 取 締 役　宮澤伸英 氏
- 本 社 所 在 地　長野県伊那市中央4509-1
- 主 な 事 業 内 容　自動車修理・販売業
- 従　業　員　数　30名(男性:20名・女性:10名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 長野支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は今年で創業64年目を迎えます。トモエ自動車のミッション(使命)として「安全と安心と快適な喜びのカーライフ」を掲げており、お客様の移動の安全を担う企業として「社員の安全」に取組んでおります。
私は2021年6月より代表者に就任致しました。未来に向けて、更なる社員満足度の向上・お客様満足を追求することで、地域社会への貢献を果たし会社の永続的な発展を目指して参ります。

健康経営を始めたきっかけ

2～3月が超繁忙期であり、社員の残業が常態化しておりました。時間外労働の改善・社員の健康ワークライフバランスは最大の課題でした。
そこで、今期の経営計画の中に「健康経営方針」を策定し取組みを始めました。具体的には社内の担当委員会でノー残業デーの実施や社内レクリエーションの企画、健康飲料の会議時配布等、社員の意志を尊重し行っております。
残業をする場合は上席申請のうえ、夜食の提供を行っています。
社員の意識も高まり時間外労働も削減しております。



作業場

健康に関する方針

わが社は以下の健康経営方針を定めております。
＜健康経営宣言＞
①我々はお客様の移動の安全を担う企業として自身の安全にも取組みます。
②我々は仕事と家庭の両輪アライメントを整え、両輪の充実を目指します。
③我々はよく働き、よく食べ、よく寝ることで心身ともに健康の土台を作ります。
④我々は目標を持ち、目標に向かい活動することで活き活きとした職場にします。
⑤我々は自身の安全と健康を大切にするとともに、仲間の安全と健康を大切にします。

コミュニケーションとメンタルヘルス

お客様への迅速な対応、相互コミュニケーションの為に、社員は全員立って業務を行っておりますが、健康面・集中力維持に繋がっているようです。
今後はスポーツクラブとの提携により、社員(ご家族)のリフレッシュ推進を行う予定です。
メンタルヘルスは、社内コミュニケーションが大きく関わってきます。弊社では2ヶ月に1度の食事会を企画し、お互いの価値観の共有をはかりながらチームワーク醸成しております。



本社社屋



事務所

今後の展望　トモエブランドの確立

共に働く社員の心身の健康づくりに積極的に取組み、豊かな生活向上と幸せが実現できる職場を創っていきたいと思います。
次は「健康経営優良法人ブライト500」の取得を目指します。



トモエ自動車商会の仲間たち

伊那燃料株式会社



代表取締役
唐澤幸利 氏

“誠心誠意お客様に奉仕する”

- 代表取締役　唐澤幸利 氏
- 本社所在地　長野県伊那市中央5014-1
- 主な事業内容　ガソリンスタンド・燃料小売
- 従業員数　27名(男性:17名・女性:10名)
- 加入健保名　協会けんぽ 長野支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は創業当初からのモットーである「誠心誠意お客様に奉仕する」姿勢を継続し、昨年70周年を迎えることができました。経営方針(3つの原則)として、①お客様の役に立つ仕事をしよう。②地域社会に恩返ししよう。③自分たちの会社を自分たちの手で「いい会社」にし、自分自身も「健康で充実した人生」を送っていこう。を掲げ、健康経営にも積極的に取り組んでおります。

健康経営を始めたきっかけ

「いい会社を目指す」うえで、社員の健康は大変重要です。
従来から有給休暇の取得推進やインフルエンザ予防接種は行っておりましたが、取引先の損保会社から「健康経営による労災上乗保険の保険料割引条件」を聞きました。
そこで、協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」を行い、具体的な健康経営の取り組みを開始致しました。



出光伊那SS

健康経営の具体的取り組み

社員の健康意識を高める事が最初の取り組みです。
①社員一人ひとりに「私の健康宣言」を行っていただきました。宣言した方全員に5,000円の報奨を実施。
②1年後、目標達成した社員には10,000円の追加報奨を実施。以後毎年継続をしております。
③アクサ生命の「健康習慣アンケート」は、客観的に7つの生活習慣の中の健康課題が判り、大変役立っています。弊社の課題(これからの取り組み)は禁煙で、本年6月には、協会けんぽの禁煙講習を受講しました。



健康チャレンジ宣言



健康経営優良法人認定

社内コミュニケーション

社内コミュニケーションも健康経営を推進する上ではかかせません。社員旅行や新年会等、風通しの良い職場環境改善にも取り組んでおります。
現在、4つのプロジェクトチームを編成し、各テーマに基づき会社の持続的成長や個人の幸福追求について意見交換を行っています。
＜プロジェクトチーム＞
ⅰ)幸福追求(健康経営)
ⅱ)チーム改革
ⅲ)お客様への貢献
ⅳ)社員一人ひとりの成長

今後の展望

今後はカーボンニュートラルの流れが加速し、エネルギー産業にも変化が起きます。
弊社はこれからも「クルマの快適」と「住まいの快適」にこだわり、多様なエネルギーの安定供給を行い続けることで、地域の皆様に信頼される「100年企業」を目指して参りたいと思います。
健康経営にも継続して取り組み、社員一人ひとりの「人生の充実」を目指します。



1104

岐阜県
東海中央FA支社

Voice Report 120th

共栄化成株式会社



代表取締役社長
安藤篤志 氏

「社員ファースト」の経営指針

- 代表取締役社長　安藤篤志 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県揖斐郡池田町
- 主な事業内容　プラスチック成型加工業
- 従 業 員 数　25名(男性:15名・女性:10名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

先代が水の豊富な池田町でプラスチックの射出成型を始めて約50年。下請け型町工場というのが弊社のポジションで建築資材やサニタリー用途のプラスチック部品を射出成型で24時間稼働操業しています。納品先は広島から茨城県まであり、近年は中国人、ベトナム人、フィリピン人等の社員さんも増え、工場内を色んな言語が飛び交っております。

社員さんが主役となる会社を

古くは円高不況から最近のコロナ禍迄、紆余曲折は有りましたが、優良な取引先、意欲的な社員さんに恵まれ、比較的順調に推移してまいりました。
４年前に創業50年を迎えた際に、今後を見据えて、会社の経営指針を作り直しました。
社員数も少しずつ増え、同族経営からも脱したいと考えた末に、今後は現場で働く社員さんを主役とする「社員ファースト」を経営指針としました。会社の方向性や採用も含め、社員さん各々の自己責任でもって、進んでゆこうということです。
そのような考えのもと、改めて問題となったのは多すぎる残業時間でした。そもそもプラスチック成型は24時間操業が多いのですが、時間の切れ目がなく、その場その場で問題点に対応するために、どうしても就業時間が不規則になり、残業時間が増えがちとなります。



社員さん発信で健康意識が社内に浸透

そのような中、リーダー社員達や総務部が主体となって取り組んでくれて、計画的な有給取得や健康アンケート、採用増も出来ました。まだまだ道半ばであり、成果と呼べるようなものは出来ていないのですが、会社の雰囲気が明るくなったのは確かだと思います。
社員さんの表情の変化はすぐに取引先にも伝わります。



今後の展望

おかげさまで取引先からの受注も徐々に増えてきており、それに応えるためでもありますが、来期には第二工場の開設も決定しております。会社全体としても良い方向に向かっており、それは結局のところ働く皆さんの心身の健康が源なのだなあ、と感じている次第です。
これからも社員さん全員が健康で元気に長く働き続けたいと思えるような社内環境を整えていき健康経営に関するアンテナを高くしていきたいと考えています。

有限会社田上製作所



代表取締役
田上治徳 氏

「高い技術」と「様々な経験」でかけがえのないパートナーを目指します

- 代表取締役社長　田上治徳 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県岐阜市岩田西
- 主な事業内容　成形型・NC加工・治具製造
- 従　業　員　数　6名(男性:5名・女性:1名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

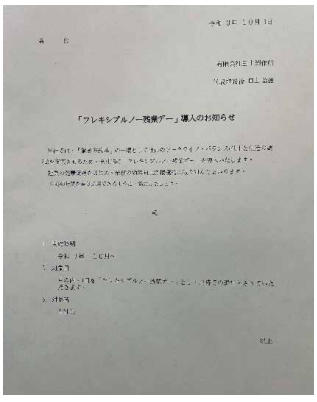
平成15年より岐阜市に本社、関市に工場をかまえ、樹脂型・木型・アルミ型などの成形型、NC加工、治具製造加工等を得意としております。取引先は自動車部品メーカー様や各種治具メーカー様までさまざまです。私たちの高い技術と様々な経験でお取引先様とのかけがえのないパートナー関係を目指しております。

企業理念と健康経営

私たちの企業理念として、これも「ご縁」、素直に「感謝」、ベストパートナーで「社会貢献」というものを掲げております。一つの物事を達成するには様々なストーリーがあります。社員に感謝。家族に感謝。そうすることでお互いに協調性、信頼性が生まれ、仕事に対して誠実、真剣に取り組む姿勢となります。従業員一人一人が自覚を持ちながら会社全体が「お客様第一」につながると考えております。
このような考え方の中で、弊社としては企業の宝である「人」を大切にしております。
従業員の健康管理は「個人の責任」ととらえられていましたが、弊社では、「企業の責任」と考えることで、従業員が心身ともに健康的に働けるよう環境を整備しております。

健康経営に対する取り組み

毎年の健康診断はもちろん、受動喫煙対策に関しては喫煙スペースの確保、メンタルヘルスに関する対応策も整備しております。
また、月に1日以上はフレキシブルノー残業デーとして、全社員を対象に定時退社を実践しており、従業員自身の時間の有効活用をしていただくことでワークライフバランスの推進についても取り組んでおります。





取り組みの結果 より安心できる職場に

社員同士のコミュニケーションをより深めるために、感染対策を十分に実施しながら、飲み会の開催を実施しております。
また新型コロナウイルスの濃厚接触者の恐れがある社員に対しては、お互いに不安もありますので、休暇をとっていただくように迅速かつ柔軟に対応いたしました。
その結果として、社員さんからは安心感を感じていただけましたし感謝の言葉も頂けました。



今後の展望

これからも社員全員が健康で元気に長く働き続けたいと思えるような社内環境を整え、健康経営に対する関心をより一層高め様々な取り組みを実践して行きます。
そのような社内体制ができていれば、社内外含めさまざまな関係者様とより一層関係性を深められ、ベストパートナーとなれると感じております。

1106

岐阜県
岐阜営業所

Voice Report 120th

有限会社カムライフノジリ



代表取締役
野尻哲也 氏

健康経営の取り組みが仕事のメリハリに

- 代 表 取 締 役　野尻哲也 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県岐阜市
- 主な事業内容　自動車修理
- 従　業　員　数　8名(男性:6名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

昭和初期から、自動車関連の修理を行って参りました。現会長が、1967年に前身である「野尻自動車鈑金工場」を立ち上げる。1989年(平成元年)に、「有限会社カムライフノジリ」となり、現在に至っております。「カムライフ」とは、「どんな車でも必ず甦らせる」という強い想いから、「COME TO LIFE」(生命を取り戻す)という願いを、会社名に取り入れています。

「健康経営」で答え合わせ

社員の働きやすい環境づくりのための取り組みを始めていましたが、その方向性が間違っていないか？取り組みが足りないのか？
判断基準が欲しかったと思っていたところで「健康経営」に出会いました。

心身を整える環境づくり

「全ての基本は健康であること」という考えから、社員の運動促進を促す環境を整えました。サウナ・プール・ヨガ等を無料活用できるようスポーツジムと提携し、社員の心と身体のリフレッシュにして頂きたいと考えています。

様々な試行錯誤を繰り返す中で

集中力や健康の根本に関わると思い歯科検診の実施や、熱中症対策の水分補給の徹底、2カ月に1回の社員の親睦会など様々な取り組みを実施しました。このことで会社がこれまでとは違った環境づくりをしようとしているという想いが社員に伝わったように感じます。



各種顕彰制度の認定

変化が感じられたこと＝伝わった実感

数ある取り組みの中で手応えを感じたのは、有給の時間制取得(1時間単位)を実施したことです。これにより家族との交流やリフレッシュの時間を気兼ねなく取得する社員が増えました。オンとオフの切り替えがしっかり出来る環境づくりは、結果としてメリハリある仕事に繋がっていると思います。

今後の課題

現在、心の問題を抱える社員はおりませんが、コロナ禍においてそのような問題に直面しないとも限りません。また、社員が病気で長期療養した時など、万が一の場合を想定した場合に、どのような備えがなされていれば万全かを考え、更に社員が安心して働ける環境づくりに努めたいと思います。



残業時間を減らすため新たな設備投資をし、その活用によってどのように作業効率を上げるか社内でディスカッションをする様子。



社員間の親睦を図るため、皆で一緒に食事をする時間を設けています。コロナ禍で外食は避け、メニューは社員のリクエストに応えるお弁当にしています。

横山塗装株式会社



代表取締役
横山幸二 氏と
ご子息 大雅 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　横山幸二 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県不破郡垂井町
- 主な事業内容　塗装工事業
- 従　業　員　数　22名(男性:19名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは日頃より建築塗装のプロフェッショナルとしてお客様のご期待に添る様、日夜努力をしております。その期待に応えるためにも会社、従業員ともに健康で夢や希望を持つことが重要だと考えておりました。そこで健康経営を知り、取り組みをスタートし、今回認定取得することができました。社訓でもある、現場10訓に「自己健康管理ができる人」を加えていきます。

従業員の健康が財産であると感じ、健康経営に取り組む必要を感じました。

2021年春に健康経営という言葉を初めて聞き、今後の会社経営に必要なことだと感じ、すぐに取り組みを決めました。建築現場の作業において常に危険と隣り合わせでもあり、常に集中力を切らさず、モチベーションを維持していくことが重要だと感じておりました。
健康経営は体の健康のみならず、心の健康やワークエンゲージメント向上にも繋がるということを聞いて、解決策の1つになると思いました。まずはどこに課題があるか、従業員がどう感じているかを知ることからスタートと思い、健康習慣アンケートから実施をしました。

喫煙者を減らす取り組みからスタートしました。

たばこを吸う従業員が多い中で、健康習慣アンケートの結果、禁煙したい人がいるということが分かりました。たばこは百害あって一利なしと言われておりますし、非喫煙者にとっても無益であると考え、喫煙を減らす取り組みをスタートしました。ただ、急激に禁煙を促すと逆効果だと考え、喫煙者に受動喫煙のリスク等の情報提供を行い、たばこを吸わない人への配慮を呼びかけ、勤務中のたばこを減らす取り組みから始めました。
まだまだ取り組みの半ばではありますが、引き続き、たばこによる健康被害等の情報提供をしていき、喫煙者を減らし環境作りをしていきます。





コロナ禍でのメンタルサポートを充実させました。

コロナ禍でメンタルケアの必要性を色々なところで聞くようになりました。メンタルが弱い人も増えている世の中になっており、その対応についても考える必要があると感じておりました。
メンタルサポートの外部窓口を設置して、電話相談だけではなく、対面相談も可能なサービスであることを従業員全員に周知しました。少しでも不安に感じたら、早めの相談をするよう呼びかけております。
外部窓口だけに頼ることなく、日々従業員の様子を観察して、メンタルサポートに努めていきます。

病気の治療と仕事の両立支援を実施します。

健康診断の二次健診受診率100％を目指します。今までは健康診断後の二次健診はプライベートのものだと考えておりましたが、病気の早期発見が早期治療、早期回復に繋がると改めて感じました。また、健康で仕事に臨んでいただくことが最も重要であり、そうすることで心の健康にも繋がり、充実した毎日を過ごすことができると信じております。そのため、これからは二次健診への後追いを実施をしていきます。
そして、もし病気になったとしても傷病時の休業補償、生命保険の活用でできる限りの復職支援をしていくつもりです。

今後の取組

従業員のヘルスリテラシーを向上させていきます。外部機関からの健康情報の提供をしていくことで意識づけを行っていきます。
また、健康に関する情報提供をチラシで行っていき、家庭に持ち帰れるよう工夫をしていきます。それにより、職場だけでなく家庭内での健康意識を高めることにも繋がり、ご家族の皆様にも健康について考えていただく機会になればと思っております。
岐阜県建設国民健康保険組合で健康宣言企業第１号企業ですので、これからも健康経営を継続していき、第１号企業に恥じない取り組みをしていきます。

1108

岐阜県
西濃営業所

Voice Report 120th

株式会社植倉造園



代表取締役
川瀬泰孝 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　川瀬泰孝 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県大垣市南若森町
- 主な事業内容　造園業
- 従　業　員　数　15名(男性:14名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

造園業は体を資本とする仕事です。その中で健康はやはり大事だと日々感じております。体が健康であれば心も豊かになります。さらに、体が健康であれば、技術も磨かれる、そうすることでお客様満足度も高まり、結果、事業の発展にも繋がると確信しております。だからこそ今後も健康経営は継続して実施していき、社員、お客様そして会社すべてが幸せになる環境作りをしていきます。

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

人材確保に困っていた時にアクサ生命の担当者から健康経営について話を聞きました。人生100年時代や働き方改革等、時代の流れで健康志向が高まっているのを感じておりました。就職する際にも福利厚生や働き方を気にしている方が増えているとの情報もいただき、今いる社員はもちろん、これから仲間となる社員も健康で長く働いていける職場環境作りをすることで、社員の満足度が高まり、職場の雰囲気も良くなれば人材確保にもプラスになると思い、スタートしました。

コロナ禍でもあり、健康経営スタートで健康意識の加速へ。

コロナで重症化する人は基礎疾患があったり、不摂生している人が多かったりとニュースや新聞で報道されており、健康を気にする人が少し多くなっていた時にスタートしたので、よいきっかけになりました。
朝、顔色が悪い社員も減り、挨拶もしっかりする人が増え、会社の雰囲気は良くなったと思います。昨年から代表として、１人１人とのコミュニケーションの時間を大切にして、現場の連携だけではなく、社員の想いを聞く時間も増やし、より良い職場づくりを意識しております。今後は社員同士のコミュニケーション強化をしていきます。



朝礼時、健康情報を配布して
社内健康セミナー実施

喫煙者が減少しました。

健康経営をスタートして、分煙を今まで以上に力を入れました。
たばこは百害あって一利なし、少しでも禁煙意欲が高い人の後押しをしようと決めました。まずは室内喫煙所をなくして、屋外に喫煙所を設置することにより、常にたばこを吸える環境ではないようにしました。また、たばこによる健康被害の情報等も提供したこともあり喫煙者が５名→３名と２名減りました。残りの３名に関してもたばこを吸う本数は減ってきているとの報告をもらっております。今後もたばこと健康に関する情報提供は続けていきます。

福利厚生制度を充実させました。

20年以上前から社員の福利厚生として、大垣勤労者福祉サービスに加入しております。社員の結婚祝い、出産祝い、入学祝い金を渡せたり、テーマパークや映画館、水族館等の割引もあり、プライベートが充実できるものとして取り入れております。毎月案内チラシを渡し、社員がいつでも使えるようにしております。それに加え、自宅で運動ができるアプリや食事の栄養管理ができるアプリも昨年から無償提供しております。健康管理をしていき、有給休暇を使うのであれば病気で休むのではなく、楽しく過ごして、心のリフレッシュもしてもらいたいという想いで実施をしております。

今後の取組

健康経営は全員に浸透するには時間がかかると思います。でも意識することで少しづつ変わっていけると思います。今は毎月健康情報を配っているだけですが、今後は外部講師を招いて健康に関する勉強会を実施していきたいと思っております。
また、コロナ禍で社員同士の交流は減っているので、withコロナでもコミュニケーションが取れる仕組みも考えていきます。
もちろん、コロナが落ち着けば社員旅行や懇親会の場を作っていきたいと考えております。体の健康、心の健康の両輪を回すのが健康経営だと思っておりますので、継続していきます。

丸文工業株式会社



代表取締役社長
渡邊哲也 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　渡邊哲也 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県大垣市深池町
- 主な事業内容　生コンクリート製造業
- 従　業　員　数　13名(男性:11名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

常に創意工夫をして仕事に取り組み＜製品は質と速さを！＞で顧客満足度No.1を目指しております。その中でも品質に重点を置き、常に規格適合・継続改善による向上に努めております。
それを実施していくためには社員の力が大きな役割を担ってきます。社内調和と自己啓発を継続できる環境づくりをこれからもしていきます。

従業員の高齢化により、健康経営に取り組む必要を感じました。

2021年の春に健康経営という言葉を初めて聞きました。従業員の高齢化が進み、人材の確保にも苦労しているときだったこともあり、まさに人材の確保と長く勤めていける職場環境づくりは必要だと感じました。
そのため、今の従業員の雇用の継続と若いパワーが必要だと感じております。この健康経営の取り組みにより、年配の従業員が健康で働き続けたいと思ってくれる限りは働ける環境をつくり、また、若い世代が働きやすい職場環境づくりをしていこうとスタートしました。

福利厚生を充実させました。

ワークライフバランスの取り組みから、まずは予防に努めることが重要だと考え、体調不良やメンタルヘルスの対策には保険会社の24時間電話健康相談サービスとメンタルサポートサービスを導入し、従業員に周知しました。もし、病気になられても治療を最優先して、職場復帰ができるよう相談できる体制を取っていることも併せて従業員に伝え、病気の治療と両立支援を実施しております。
また、食事の栄養管理ができるアプリや運動に関するアプリも導入しました。

まずは健康習慣アンケートからスタートしました。

従業員の体調管理(自己管理)を高めるにはどうしたらよいかを考えておりました。そんな中、アクサ生命の勧めで健康習慣アンケートをご紹介いただきました。最初はなかなかアンケートの回答が集まらなくて大変でしたが、やってみると意外と健康に興味がある方も多かったため、実際に健康経営をスタートしていきました。
従業員が元気で長く勤めてもらえるように取り組みを考え、他社の事例等も聞きながら実施していきます。
まずは夏場、土用の丑の日にはスタミナをつけてもらうためにうな重を全員に配りました。冬場は寒い中現場で頑張ってくれておりますので、ヒーター内蔵のベストを配りました。

これからの課題

IT化が進んでいる時代ですが、建設現場では作業に携わるマンパワーが重要となっております。若い世代でもやりがいを感じてもらえる職業になるにはまだまだ課題が山積みです。健康経営も継続していきながら、1つ1つクリアしていきたいと思います。また、コロナ禍でのコミュニケーション作りも課題の1つです。会社でやっていた社内イベントも縮小や中止がほとんどとなっております。こんなコロナ禍の状況でもできること、例えば、家庭に持ち帰って楽しんでもらえる企画も検討中です。







1110

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 120th

社会保険労務士法人絆



代表者
山口剛志 氏

“いい組織”のベストパートナー

- 代表者氏名　山口剛志 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市北区平安2-1-10
- 主な事業内容　社会保険労務士業
- 従業員数　14名(男性:1名・女性:13名)
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

【事業コンセプト】：経営者様や労務担当者様に寄り添い、労務に関する【不便・不安・不満】を解消し、生き生きと働き甲斐の有る職場創りをお手伝い致します！
会社が人を雇うと、期せずして色々な分からない事や面倒な事が発生します。
私ども「絆」は、労務に関する悩み解決の専門家集団であり、経営者や労務担当者が感じる不便・不安・不満を解消する集団で在りたい！という気持ちを持ち、行動し続けています。

健康経営をはじめたきっかけ

顧客により良いサービスを提供するためには、まずは職員の皆さんが健全健康な状態になることが大前提だと考えました。しかし、業務の性質上、仕事は職員にどうしても精神的な負担をかける場合があります。そこで、ストレスフリーな職場環境を創るために、事務所としてできる限りのことをやってみよう、社員に優しい職場を創ろう、そして自らが成功事例となり、顧客企業により良い労務管理の在り方を示したい…という想いから、健康経営に取り組み始めました。

職員全員に保健師の個別面談実施

ストレスチェックで高ストレスと判定された方が医師との面接を希望せず毎年面接につながらなかったこと、健康診断の結果で所見の有る方が再検査や精密検査を受診していないことが課題でした。
そこで改善策として、面談者を限定するのではなく、職員全員に対し、保健師によるストレスチェックや健康診断結果を元にした個別面談を実施することにし、全員が自分の健康維持に対してアドバイスを受けられるようにしました。また、会社を通さず直接、保健師と健康相談ができる窓口も設置しました。



職員の心と体の健康につながる

保健師のアドバイスにより高ストレス判定者や要検査の方もそうでない方も心や体の相談ができて良い結果をもたらしています。
保健師には体調・仕事内容・生活リズムや状況などのヒヤリングや健診結果のアドバイス、心や体の相談、健診結果の内容について説明を行ってもらっています。
その結果、『健診再検査の受診率が向上。』『生活習慣の影響項目（GPT異常、中性脂肪異常）が改善。』などの効果が見られました。

その他の取り組み

１日座り仕事のため、肩こりや腰痛の恐れがあることから、その改善の目的で体操の時間を設けています。毎日15時から５分程度エゴスキュー体操を実施しています。
ヘルスリテラシー向上の取り組みとして社内外を利用し食育を行っています。
長時間労働は心身への負担が多く、より良い職場環境を目指す上で対策が必要であることから、基本的にノー残業・ノー休日出勤を目指し、業務の効率化を図るとともに、残業が必要な場合はグループ内で残業をシェアするなど対策を日々アップデートしております。

今後の展望

健康経営は、認定を取得することそのものが目的ではありません。
職員の皆さんが、心身ともに健康で元気に仕事ができる環境を創るという最初の目的を忘れることなく、さらなる改善と取り組みを重ね、ブライト500を目指します。
そして、健康経営の良き見本となるとともに、顧客企業にも健康経営をお勧めし、１社でも多くの企業様が健康経営に取り組めるよう応援し続けたいと考えております。

弁護士法人アーヴェル



代表者
小泉　友氏

アーヴェルは「善き追い風」となります

■代表者氏名　小泉　友氏
■本社所在地　愛知県名古屋市中区丸の内2-2-7
■主な事業内容　弁護士業
■従業員数　11名(男性:5名・女性:6名)
■加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

「アーヴェル」はフランス北部のブルターニュ地方の言葉で「風」を意味します。
法人理念である「依頼者の最高のパートナーに」のもと、「迅速、誠実、親身」を心掛け、依頼者の皆様方の『善き追い風』となれるよう日々努力して行動しています。
業務は中小企業法務を主として、「風邪と法律トラブルは予防が大事」という考えのもと、法的トラブルを回避するための予防法務から新規事業やビジネススキームの構築支援等の戦略的法務まで、法律を事業に積極的に活用し、企業の円滑な事業運営を支援させていただいております。

健康経営をはじめたきっかけ

弁護士業を継続・発展させていく上で、もともと健康経営に興味があったところ、健康経営のコンサルティング会社とご縁を頂いたことをきっかけに、新たに健康経営を推進していくことになりました。これにあたって2020年７月ころから同社の協力のもと推進を始め、職場環境を整えることに努めました。

風邪と法律トラブルは予防が大事

法律トラブルは風邪と同様にこじらせて大損害になる前に予防することが重要であり、私たちは法律トラブルの予防について依頼者の方のお力になれるよう日々努めています。
法律事務所として活動を続けていくためには、事務所内における風邪等の予防といったスタッフの体調のケアが重要な前提を為すことになります。
弁護士法人という業務の性質上、うつ病、メンタルヘルスの問題で雇用問題に発展している会社様を多く見てきています。そこで、まずはアドバイスする側として、自分たちがしっかり対策をしていなければと考え、精神衛生上の健康を重視した取り組みを行っています。具体的な取り組みとして、ストレスチェック、保健師面談を全員行っております。世の中は心の病気が増加していますので、今後も内外にフォロー体制を整えていこうと思います。

全員が健康診断受診

精神衛生の向上のため保健師との面談をするべく健康診断を促したところ、全員が健康診断を受けることになりました。健康課題のあるなしに関わらず、健康診断の結果を見ながら個々に合わせたアドバイスを聞く時間を取ったことで、みんなが予防の観点で気遣いができるようになり健康安全の信号を誰かが受け取ってくれる環境が出来上がるという効果を得られました。文面ではなく、直接に面談を受けることにより、健康への意識が高まり、全体の意識が底上げされました。

その他の取り組み

残業をゼロにすることをまず目標としています。残業時間の管理は労務管理の問題に関わるため、スタッフに無理をさせてしまう環境とならないよう、毎日終礼を行い、残業予防に努めています。
このように残業をゼロにすることはスタッフの日々の健康、プライベートの改善につながるものと考えています。
また、１日５分の体操を取り入れて、リフレッシュのための時間を確保しています。デスクで簡単にできることをしたり、リーダーを決めて声かけをしたりしています。現在はどのような体操を行うかより分かりやすくするためスタッフに向けた動画を作成中です。

今後の展望

私たちは【日本一のホワイト弁護士法人】を目指します。
残業をゼロにし、スタッフ全員が病院に行かなくても日々を過ごせるよう予防体制を整えます。労務問題の温床を健康経営から改善し、労務トラブルゼロになるよう目指してまいります。これらをもとに顧問先や依頼者の方に最善のリーガルサービスの提供を致します。





1112

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 120th

株式会社康臨丸



代表取締役社長
佐崎航大 氏

心の健康を失っている人のサポート（訪問看護）

- 代表取締役社長　佐崎航大 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県知多郡東浦町
- 主な事業内容　訪問看護業
- 従 業 員 数　97名（男性：36名・女性：61名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

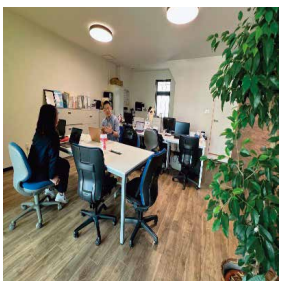
あなたのままで、まる。わたしもあなたも。誰もが自分を生き笑顔になれる社会をつくる。
健康とは「笑顔で過ごせる日常」の中にある。「笑顔で過ごせる日常」を演出するのは「些細な幸せの連続」です。私たちの訪問看護という仕事は、一人一人が目の前の人へ、些細な幸せをいくつも運んでいくことだと思っています。
訪問看護ステーション 和来 warai

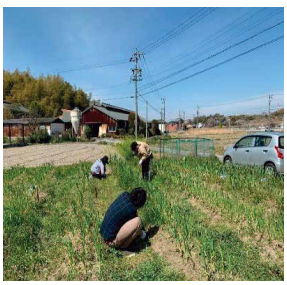
働く環境作り・関わる方々の個性を大切に

１日の大半を過ごす仕事場は、幸せになる空間であってほしいと考えています。時にはみんなで畑仕事をしたり、食事会を開催したり。スタッフ１人１人の声に耳を傾けながら、気持ちよく働ける環境作りに力を入れています。心の体力は身体的な病に打ち勝つためにとても大切です。たくさんの方と一緒に笑いながら健康に近づけていけるよう、頑張って参ります。
これまで人生で培ってこられた価値観や生活パターンはその人にとって、とても安心できる大切なもの、個性を良い形で生かしていくことを支援の柱としています。

自身の健康が一番大事

和来は訪問看護という事業スタイルで、地域で暮らす方達の健康を在宅においてサポートする役割を担っています。人の健康にアプローチする際、まず大事なのは自身の健康であると考えています。和来ではスタッフの健康をとても大切に考えています。なぜなら、利用者様の対応をするスタッフの健康なくして、人にそれを伝えていくことはできません。はつらつといつも元気なスタッフが、あなたに健康を届けに伺います。創業当時より会社として意識づけを進めてきたこの理念が健康経営を取り組むきっかけとなりました。





職場環境の充実へ

職場環境の充実を目指す上で、「ストレスチェックの実施」、「労働環境の整備」に注力しています。疲れというのは見えないうちに溜まっていくものだと感じています。日々何気なく業務をしていく中で知らず知らずに蓄積したストレスを見える化し、医師の指導を受けられる仕組みを作りました。働くスタッフは本当に真面目ですので、いざやり出すと、とことん仕事を進めてしまい、大事なプライベートの時間を費やしがちになる傾向があります。会社として残業を少なく、有給休暇の取得を積極的に促して、仕事とプライベートの分離をしっかり図るようにしています。

ストレスチェックを実施してみて

漠然と、なんとなく「疲れていそうだな」と思っていた部署の分析ができ、チームとしてのストレスの傾向を知ることができたので、管理者と情報共有をしてその後の運営に役立てるようになり、上司とのコミュニケーションの機会を増やしたり、働き方について考えるようになりました。
休みの日であっても、がむしゃらに仕事を片付けなければならないという雰囲気はなくなってきました。コミュニケーションやプライベートの楽しいことをみんなで共有する仕組みもできつつあります。

健康を通じて世の中へ貢献を

まだまだ現場には目の行き届かない疲れの蓄積はあると感じています。健康が経営を支える、そんな意識がまだまだ十分に浸透していないので、会社としても健康経営のスタンスを十分に発信し理解を深めつつ、スタッフ一丸となって健康経営を追求していきたいです。
楽しく仕事をすることは、健康にとってかかせません。健康を通じて世の中へ貢献し続けるかっこいい会社を目指します。

1113

愛知県
東海中央FA支社

社会保険労務士法人An-field



代表
熊谷　篤 氏

中小企業・従業員の満足度を上げます！

- 代表者氏名　熊谷　篤 氏
- 本社所在地　愛知県豊川市牛久保駅通
- 名古屋オフィス　愛知県名古屋市丸の内
- 主な事業内容　社会保険労務士業
- 従業員数　20名(男性:5名・女性:15名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

当事務所は労務コンサルに特化した社会保険労務士事務所として、経営者のみなさまをサポートさせていただきます。

健康経営に取り組むきっかけ

当事務所は、中小企業の経営者様や人事労務のご担当者様のお悩みやお困り事、誰に相談したら良いかわからないことまで、いつでも気軽に相談できる場所、そんな事務所を目指しています。

当初は全国の社労士の中でもあまりやっていなかった助成金の申請代行をメインとして行っていました。助成金は返済義務のない給付金なので、中小企業の経営者が資金繰りを行っていく際の大きな助力となります。しかしながら種類も多く、提出書類も多いことから残業時間が多くなっており、業務効率化を目指すことと、疲弊した社員の健康を見直すことが必要だと感じました。



従業員間のコミュニケーションの促進

社内SNSやチャットツールの導入はしていましたが、従業員間のコミュニケーションが不足していました。そこで、社員満足向上委員会を立ち上げ、豊川本社と名古屋オフィスの業務連携を取れるように担当を決めて社内活用ツールを見直し、登山を企画したり、体を動かすイベントを行いました。結果として従業員全員で情報の共有や仕事の分担について、活発にコミュニケーションができるようになり、雑談や声掛けする場面が増えてきました。コミュニケーションが増えることで、自然と助け合いの風土が育ってきたと感じています。



働き方改革にも、健康経営は必要

働き方改革に関連して中小企業の従業員の皆様に満足して頂ける様な仕組み(人事評価制度、確定拠出年金等)を経営者様に提案しております。その中でも健康経営は、従業員の皆様が健康で長く働ける環境づくりを推進するうえでも必要になってくる取組みだと感じています。



100年企業を目指す経営者をサポートしたい

助成金を経営にお役立ていただくことはもちろん、人事評価制度・退職金制度構築等で福利厚生を充実させ、働きやすい職場環境作りの貢献にお手伝いしております。働き方改革へのきっかけとして成長を続ける100年企業を目指すことも夢ではありません。
当社は、従業員の健康、コミュニケーションを大切にし、100年企業を目指す経営者様、総務・人事担当者様のサポートをさせていただきたいと思っています。わたくし達はブライト500取得を目指していくことでクライアント様の新規サポートにつなげていく方針です。

1114

愛知県
東海中央FA支社

しんくみ東海北陸健康保険組合



理事長
大原　誠氏

金融業の総合健保として、15の加入事業所のリーダーに

■理　　事　　長　大原　誠氏
■本 社 所 在 地　愛知県名古屋市中村区
■主な事業内容　保健事業
■職　　員　　数　常務理事　職員4名　合計5名
■加 入 健 保 名　しんくみ東海北陸健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

Voice Report 120th

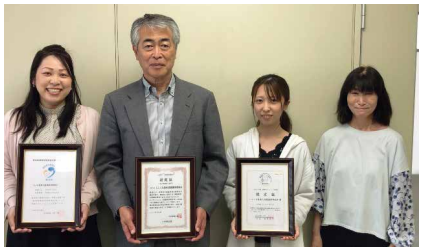
【理念】　●健康保険法等の遵守
●加入者に密着した保険事業のサービス向上
●個人情報の遵守および漏洩の防止
●諸経費の削減

金融業の総合健保として、15の加入事業所のリーダーに

健康経営を推進するにあたり、まずは当組合が優良法人認定取得のため2018年に健康宣言、職員全員が健康経営アドバイザーを取得し、取組みを開始しました。

職員の健康維持・増進・過重労働防止

繁忙期があり、職員も少ないため、被らないように有給休暇を取得することが難しい時期が発生していました。
そこで、職員全員必ず月１回以上の有給休暇の取得を目標に設定しました。取得希望日を前月末までに職員へ確認し、当月に１日も取得していない職員がいた場合、月初めのミーティングの際に取得するよう伝えるようにしました。仕事の都合等で未取得の月があれば、別の月にその分も取得したり、月の途中でも取得できるよう促進しています。その結果、休暇取得者が増え、目標に対する有給消化率100%となりました。



その他の取組み

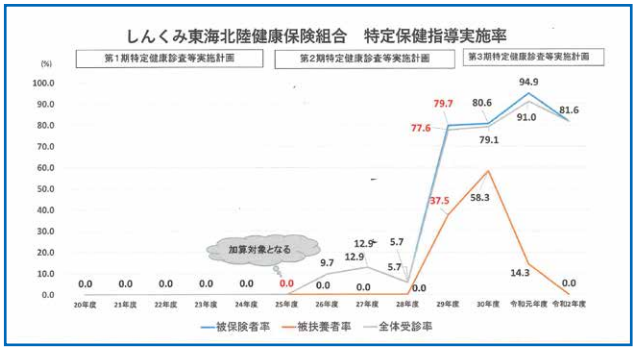
健康診断は職員全員実施していて、管理職や職員への教育は社外の研修に参加しています。適切な働き方をするため、就業時間内での勤務を心がけています。運動については機会があまりないため、職場外のスポーツクラブとの提携を行なっています。特定保健指導および再検査で該当となった場合は受診を徹底していますし、インフルエンザ予防接種は一部補助があります。
コロナ過で緊急事態宣言発令中の際は、必要に応じて交代勤務や時差出勤を行いました。

以上の取組みを実施しながら、毎年健康宣言、健康経営優良法人認定を取得することにより、職員の健康意識が高まっていると感じています。

特定保健指導実施率向上の取組み

組合には加入している事業所が15あります。
そこで特定健康診査および特定保健指導の実施率が国の示す参酌標準より低い事が分かり、特定保健実施率向上の取組みを開始しました。
特定健康診査の実施率が低いと加入者への公平性が担保されず、特定保健指導および重症化予防等の取組みに不公平が生じてしまいます。

取組内容として「既存の取組みの見直し」「組合会において主旨説明」を実施したところ、被保険者の特定保健指導実施率が、2016年5.7%→2019年94.9%と大幅にアップしました。



事業主・健保・被保険者が三位一体に

加入15事業所のうち、６社が健康宣言実施、そのうち２社が健康経営優良法人認定を取得しています。各事業所の考え方にまだ温度差はありますが、特定保健指導受診者のアンケート結果では、生活習慣の改善に役立ったとの回答が93.1%ありました。
現在は事業所担当者との年２回の健康管理事業推進委員会や、事業所向けセミナーを毎年実施し、健康維持・増進についての理解を深めてもらっています。今後の展望として、事業主・健保・被保険者が三位一体となり、健康宣言、健康経営優良法人認定事業所が増えるように、具体的なサポートをしていきたいと思います。

株式会社ハンズコーポレーション



代表取締役
青野　徹氏

企業価値はつなぐ

- 代表取締役　青野　徹氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市中村区
- 主な事業内容　整体サロン運営、企業・チームへのトレーナー派遣、フリースクール・通信制高校の運営
- 従業員数　58名（男性：26名・女性：32名）
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は、TAiSEiKANという整体サロンを全国で80店舗以上展開しています。店舗での施術はもちろん、企業やチームへの出張での施術も行っており、2008年の北京オリンピック以降レスリング競技をかわきりにオリンピック、パラリンピックにトレーナーとして帯同しています。
2022年春からは地域の活性化を図るために、行政、企業を巻き込んだフリースクール・通信制高校を開校しました。

本業がお客様の健康のサポート

当社の企業理念は「人をつなぐ、企業をつなぐ、世界をつなぐ、新しい価値創造で未来を創る」ことにあります。
本業である健康サポートを起点に、事業を拡大することによって、人と、企業とをつなぎ、日本を元気にしていきます。更に、元気な日本を世界とつなぎ、新しい価値を創造し、明るい未来を作っていきたいという思いです。
この思いを実現するためには、心身の健康と同じように、会社の健康経営も大切であると考えます。

社内報で健康情報を発信

健康経営を始める前から、「社内報」を発行していました。
内容としては、新人スタッフの紹介、誕生月スタッフのコメントやイベントの告知等でしたが、健康経営に取り組むようになってからは、この社内報に健康情報のコーナーを設けるようにしました。
例えば、生活習慣病の予防について日常生活で気を付けること、といった、社員一人一人が仕事中でも意識してもらえるような情報を毎月発信しています。
結果、健康情報が社内での共通の話題となるのと同時に、施術中のお客様との会話にも使える情報であると、社内でもとても好評いただけています。
毎月の全員への発信ですので、社内の一部の人だけでの健康経営の活動ではなく、全員に参画意識を持ってもらうのにも役立っています。





（右）本社に併設の鍼灸接骨院　TAiSEiKAN α
（左）店舗内風景（今はコロナ対策もありもう少しベッドの間隔をあけた上でベッド１台は空の状態で施術します）

１対１の空間だから生まれるヒントでお役に立ちたい

当社では企業や選手団への出張での施術も行っています。
社内の福利厚生の一環だったり、社内イベント（運動会など）の一つとして利用いただくのですが、年齢や性別を問わないため、本当に多くのお客様からご好評をいただけています。
特に近年では健康経営優良法人認定を取得している企業様も増えてきており、当社のサービスを利用いただくことのメリットが一つ増えたと思っています。実は、施術を受ける社員様とトレーナーの１対１の空間での会話から、その企業様の今後の活動へのヒントが出てくることが意外と多いんです。健康経営に取り組んでいない企業様であれば、健康経営の普及にもなりますので、今後さらに事業を拡大することでさらに多くの企業様のお役に立ち、企業や地域が元気になるお手伝いをしていきたいと思っています。

地域貢献型フィットネストレーナーの育成

今、日本では少子高齢化が進み、健康寿命の延伸が叫ばれる中で予防医療のニーズは高まり、それに伴いセルフケア意識も向上しています。
私たちは、こういった社会の課題を少しでも解決できるよう、店舗展開や出張での施術以外に、様々なスポーツイベントを開催し、そこにTAiSEiKANがマッサージブースを出展する等で、皆さまの健康と元気をサポートしてきました。
今後、フリースクールや通信制高校も４月から開校しました。さらに地域社会や企業への貢献ができる場が増えると思っています。
お客様一人一人の健康・元気のサポートをベースに、地域社会の健康・元気もサポートできる知識やスキルを持った『地域貢献型フィットネストレーナー』を育成していくためにも、私たち自身が健康経営等の活動を通して、当たり前のように自身の健康を意識し、改善していける姿勢を示し続けることは非常に重要なことだと考えています。

1116

愛知県
名古屋営業所

有限会社サトー化成



代表取締役
佐藤正一 氏

「社員とともに健康増進」に取り組む

- ■代表取締役　佐藤正一 氏
- ■本社所在地　愛知県愛西市雀ケ森町
- ■主な事業内容　娯楽機械同付属品卸業
- ■従業員数　5名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

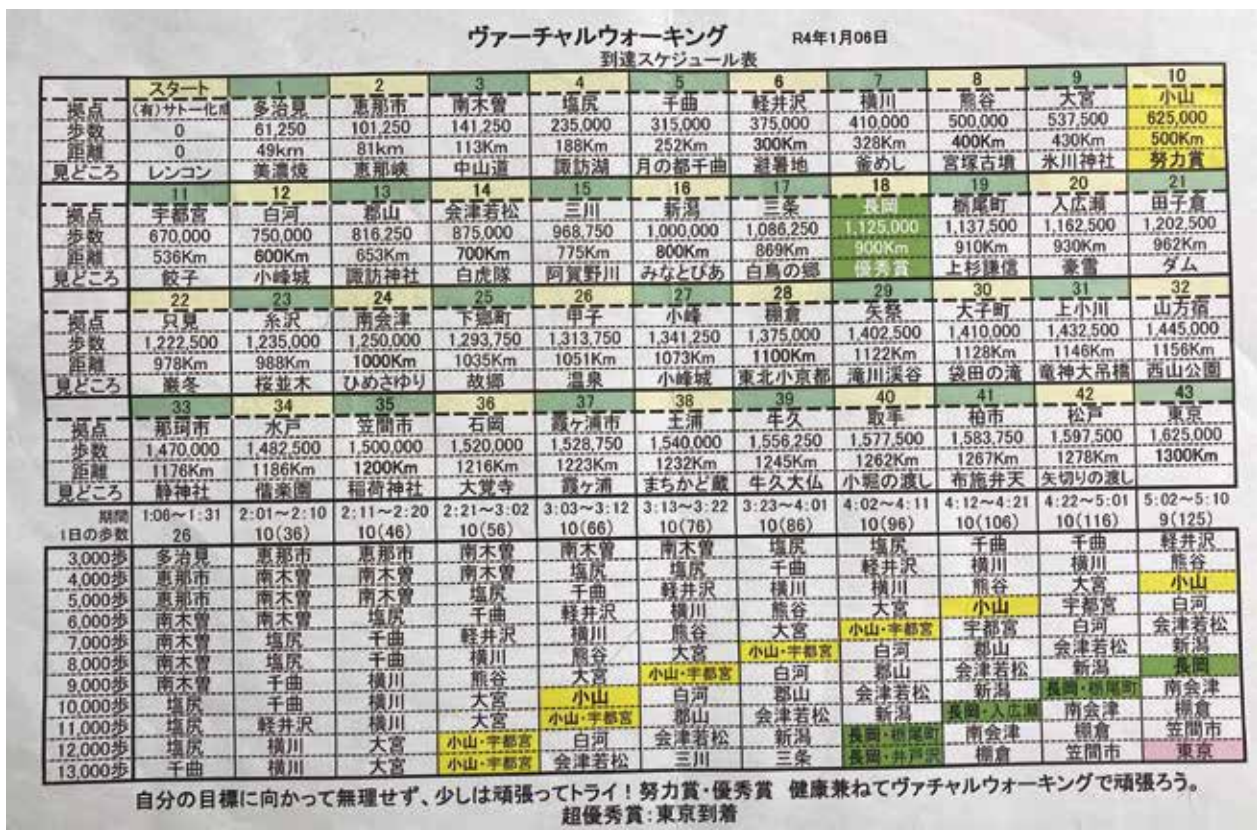
Voice Report 1200th The interview

社長自身の体験が、従業員の健康増進に取り組むキッカケに。

（社長の体験から）若い頃は健康に自信を持っていましたが、15年位前から徐々に健康診断で指摘を受けるようになりました。
年齢とともに健康の大切さを感じ、そのことから大切な社員の「健康を守りたい」と強く思うようになりました。
当社は愛知県と岐阜県に拠点を持つ２社体制をとっていますが、どちらの会社も社員の平均年齢は50代で、健康面を気を付けなければいけない年代になっています。
そこで、試行錯誤の中で健康への取り組みを始め、主に産業カウンセラーの資格を持っている取締役が中心となって推進をしていました。
例えば、ストレスチェックを年２回の頻度で実施をしていますが、１割位の社員が高ストレスに該当しています。その為、取締役が面談を行い、医師へのカウンセリングを進める等の対応を行っています。

他社の取り組みを聞けるのは有益です。

そのような折、アクサ生命の担当者から健康経営の情報を聞き、ぜひやってみようと思い始めることになりました。
担当者から他社の取組み事例を聞けたり、オンラインでの健康経営フォーラムに参加をしたりして、とても参考になっています。



ヴァーチャルウォーキング　R4年1月06日
到達スケジュール表

	スタート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
拠点	(有)サトー化成	多治見	恵那市	南木曽	塩尻	千曲	軽井沢	横川	熊谷	大宮	小山
歩数	0	61,250	101,250	141,250	235,000	315,000	375,000	410,000	500,000	537,500	625,000
距離	0	49km	81km	113Km	188Km	252Km	300Km	328Km	400Km	430Km	500Km
見どころ	レンコン	美濃焼	恵那峡	中山道	諏訪湖	月の都千曲	避暑地	釜めし	宮塚古墳	氷川神社	努力賞
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
拠点	宇都宮	白河	郡山	会津若松	三川	新潟	三条	長岡	栃尾町	入広瀬	田子倉
歩数	670,000	750,000	816,250	875,000	968,750	1,000,000	1,086,250	1,125,000	1,137,500	1,162,500	1,202,500
距離	536Km	600Km	653Km	700Km	775Km	800Km	869Km	900Km	910Km	930Km	962Km
見どころ	餃子	小峰城	諏訪神社	白虎隊	阿賀野川	みなとぴあ	白鳥の郷	優秀賞	上杉謙信	豪雪	ダム
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
拠点	只見	糸沢	南会津	下郷町	甲子	小峰	棚倉	矢祭	大子町	上小川	山方宿
歩数	1,222,500	1,235,000	1,250,000	1,293,750	1,313,750	1,341,250	1,375,000	1,402,500	1,410,000	1,432,500	1,445,000
距離	978Km	988Km	1000Km	1035Km	1051Km	1073Km	1100Km	1122Km	1128Km	1146Km	1156Km
見どころ	厳冬	桜並木	ひめさゆり	故郷	温泉	小峰城	東北小京都	滝川渓谷	袋田の滝	竜神大吊橋	西山公園
	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
拠点	那珂市	水戸	笠間市	石岡	霞ケ浦市	土浦	牛久	取手	柏市	松戸	東京
歩数	1,470,000	1,482,500	1,500,000	1,520,000	1,528,750	1,540,000	1,556,250	1,577,500	1,583,750	1,597,500	1,625,000
距離	1176Km	1186Km	1200Km	1216Km	1223Km	1232Km	1245Km	1262Km	1267Km	1278Km	1300Km
見どころ	静神社	偕楽園	稲荷神社	大覚寺	霞ケ浦	まちかど蔵	牛久大仏	小堀の渡し	布施弁天	矢切りの渡し	
期間	1:06～1:31	2:01～2:10	2:11～2:20	2:21～3:02	3:03～3:12	3:13～3:22	3:23～4:01	4:02～4:11	4:12～4:21	4:22～5:01	5:02～5:10
1日の歩数	26	10(36)	10(46)	10(56)	10(66)	10(76)	10(86)	10(96)	10(106)	10(116)	9(125)
3,000歩	多治見	恵那市	恵那市	南木曽	南木曽	南木曽	塩尻	塩尻	千曲	千曲	軽井沢
4,000歩	恵那市	南木曽	南木曽	南木曽	塩尻	塩尻	千曲	軽井沢	横川	横川	熊谷
5,000歩	恵那市	南木曽	南木曽	塩尻	千曲	軽井沢	横川	横川	熊谷	大宮	小山
6,000歩	南木曽	南木曽	塩尻	千曲	軽井沢	横川	熊谷	大宮	小山	宇都宮	白河
7,000歩	南木曽	塩尻	千曲	軽井沢	横川	熊谷	大宮	小山・宇都宮	宇都宮	白河	会津若松
8,000歩	南木曽	塩尻	千曲	横川	熊谷	大宮	小山・宇都宮	白河	郡山	会津若松	新潟
9,000歩	南木曽	千曲	横川	熊谷	大宮	小山・宇都宮	白河	郡山	会津若松	新潟	長岡
10,000歩	塩尻	千曲	横川	大宮	小山	白河	郡山	会津若松	新潟	長岡・栃尾町	南会津
11,000歩	塩尻	軽井沢	横川	大宮	小山・宇都宮	郡山	会津若松	新潟	長岡・入広瀬	南会津	棚倉
12,000歩	塩尻	横川	大宮	小山・宇都宮	白河	会津若松	新潟	長岡・栃尾町	南会津	棚倉	笠間市
13,000歩	千曲	横川	大宮	小山・宇都宮	会津若松	三川	三条	長岡・井戸沢	棚倉	笠間市	東京

自分の目標に向かって無理せず、少しは頑張ってトライ！努力賞・優秀賞　健康兼ねてヴァチャルウォーキングで頑張ろう。
超優秀賞：東京到着

運動不足の改善「ヴァーチャルウォーキング」

健康増進への取り組み

運動不足を解消する目的でウオーキングを推奨しており、当社では「ヴァーチャルウォーキング」というタイトルで、歩数実績を一覧表にして見える化しています。
これは、愛西市でのイベントに参加をしたのがキッカケでした。社員に万歩計を配布して、毎日の歩数を集計しています。『〇〇さんは、累計〇〇万歩、距離にすると〇〇から〇〇までの歩いた距離になりますよ。』と歩数だけの表示ではつまらないので、目標になるような工夫をしています。また、優秀賞や努力賞も作り、頑張った社員へ賞品を贈呈しており、このような取り組みがコミュニケーションにも役立っています。

その他には、社員が自由に飲めるコーヒーを会社が用意していますが、砂糖の代わりにオリゴ糖シロップを置いています。
また、ガンセンターから癌に関する資料を取り寄せ、社員へ配布する等の健康増進への意識や知識の向上を目的に様々な取り組みを行っています。

今後の取り組みで考えていること

◆食べ物、飲み物への取り組み
昼食にお弁当を希望する社員へは、料金の半分を会社負担にしていますが、身体に良いお弁当の導入を検討したいと思っています。
また、会社に設置されている自販機に、特保飲料を入れていくことも考えています。



ヘルシーリテラシーの向上
「国立がんセンターから取り寄せた資料（社員へ配布）」

株式会社ハートエレクトロニクス



代表取締役社長
平澤嘉穂 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　平澤嘉穂 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県大府市東新町
- 主な事業内容　半導体プログラム開発
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

現在７名のエンジニアが活躍しています。年齢は20代～30代が中心です。大手自動車部品メーカーの信頼を得て、設立当初から継続的にお取引をいただいています。社員あっての会社ですので積極的に健康経営に真摯に取り組んでいく考えです。

自身の健康診断の結果から、健康経営に取り組む必要を感じました。

2020年に現社長が就任し、社員のためになにかできないかと模索をしていたところ、自身の健康診断の結果があまり思わしくなかったので、これを機に健康経営に取り組むことにしました。
従業員にも取り組むことのメリット、目的を伝えスタートしようとしましたが、いざはじめようとするとわからないことが多々あり困っていたところ、アクサ生命保険からサポートする話をいただき、タッグを組んでいくことになりました。

課題は社員の運動不足でした。

アクサ生命が提供する健康習慣に関するアンケートの回答より従業員の課題がみえてきました。コロナ禍でテレワークが増えたこともあり運動不足であることが一番の課題ということでした。
そこで従業員みんなでいろんな運動が共有できるアプリを取得し、お互いにこの運動が効果的とか、こんな運動で競い合おうとか等、意識を高めることができました。社員同士のコミュニケーションも図れることができ、好評のため今後も継続していきたいと考えています。



半日休暇システムも導入しリフレッシュ。

今回の取り組みで社員の要望から半日休暇も導入することにしました。全日休まずとも仕事の状況にあわせ、平日の半日で済む用事にあわせられることでさらに効率よく業務スケジュールを組むことができ、社員からも喜ばれています。
また通常の有給休暇に加え、特別休暇の設定も視野にいれ、ここ最近でなかなかとれなかった社員とのコミュニケーションを図りたいと考えています。まずは以前にみんなで行った旅行に１日でも早く行けるよう日々みんなでがんばっています。



今後も健康経営に積極的に取り組みます。

今後も社員が健康になるためならと積極的に新たな取り組みをしていきたいと考えています。まずは課題でもある「運動面」でジムの会費補助も検討しています。さらに「運動面」の意識を高めるセミナー開催も考えています。いろいろ社員の意見をとりいれながら楽しく取り組める社風になってきましたので今後が楽しみです。次回も優良法人認定を目指し、その先のブライト500をいつかは取得したいと思います。

1118

愛知県
知多営業所

鈴秀工業株式会社



代表取締役社長
鈴木清詞 氏

秀でた鋼で明るい未来へ
―すべての幸せにかかわる企業に―

- 代表取締役社長　鈴木清詞 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県名古屋市緑区大高町南関山35
- 主な事業内容　鉄鋼業
- 従　業　員　数　335名(男性:291名・女性:44名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

鈴秀工業株式会社は創業95年を迎える金属加工製造の会社です。磨棒鋼やCHQワイヤー等を製造しており、同社が手掛けた製品は車や新幹線、飛行機や天文台など、私たちの日常のあらゆるところに使われています。従業員約330名のうち８割が現場勤務、残りの２割が事務職であり、従業員の平均年齢は約38歳です。

「社員が働きやすい会社にしたい」

健康経営の取り組みを本格的に開始したのは2018年頃です。「会社を良くしたい」「社員が働きやすい会社にしたい」との考えから、働き方改革や女性活躍推進、ワーク・ライフバランスの推進など様々な取り組みを行ってきました。そんな折、同業他社が健康経営優良法人に認定されたことを知ったのがきっかけで、「社員の健康をサポートしたい」と思い、健康経営の取り組みを始めました。
認定制度の基準に沿って満遍なく取り組みを実施しており、健康経営優良法人認定も今回で３回目の取得となりました。

会社常駐の保健師と密に連携

健康経営の取り組みにあたり初めに注力したこととして、健康相談室の設置が挙げられます。当社には2018年４月から保健師が常駐しており、従業員の心身のサポートを目的に気軽に相談できる体制を整備しました。定期健診後は受診結果に関わらず全従業員と面談し、健康状態の確認を行いました。受診率が悪かった定期健診後の二次健診については、保健指導とともに受診勧奨を行うことで、受診率ほぼ100%となりました。

健診データを基に取り組みを立案

加入健保である愛鉄連健康保険組合とも密に連携をしています。健康増進施策の立案にあたっては、まず健診データを健保の全体平均データと比較して、下回っている者を中心に改善の取り組みを検討しています。例として女性従業員のがん検診受診状況をみると、2018年度の受診率は17.6%と低い値でした。これを重要な健康課題であると捉え「鈴秀リボンプロジェクト」を始動しました。これは、検診を就業時間中に受診できるようにし、費用は愛鉄連健保の補助と会社負担により無料にするというものです。結果として、2019年度以降の受診率は、90%以上となり大きな意義があったと思います。また、2019年の喫煙率は39.5%。全国データ、愛鉄連健保のなかでも非常に高い喫煙率でした。個別禁煙勧奨や禁煙に関する広報活動、愛鉄連健保の禁煙事業(禁煙外来費用補助)の案内等で禁煙にチャレンジ、見事成功された方が多数いました。２年間の取り組みを経て2021年の喫煙率は29.7%まで低下しました。

新型コロナで様相が変化してきた

最近は新型コロナを機に従業員の健康の様相が変わってきていることを感じております。その代表例としては、新型コロナによりコミュニケーションを取り辛くなったことなどによるメンタルダウンが挙げられます。そこで当社としては法定のストレスチェックの実施は勿論のこと、相談窓口の設置(職場関連・職場以外で分かれている)や投書箱の設置、更には管理職の有志によるメンタルヘルス検定の取得などを通して、近年増加傾向にあるメンタルヘルス不調への対策にも注力をしております。

従業員が活躍できる職場の実現に向けて

現在当社が認識している課題として、メタボと喫煙率が挙げられるため、今後はこの２つの健康度向上の取り組みの継続に加え、疾病の早期発見・重症化予防にも注力したいと考えています。
思い返せば、取り組みを開始した当初は自身の健康を意識していない社員が大半でしたが、今では健康経営の取り組みが自身の健康や健康習慣を見直すよい機会となっています。私たちは、誰もがその特性を生かし健康でいきいきと働ける職場の現実を目指して、今後も健康経営の取り組みを１歩ずつ進めていきたいと考えております。



ミロク工業株式会社



代表取締役社長
高野　昇 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　高野　昇 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県半田市八軒町
- 主な事業内容　搬送機械設計・製作・設置
- 従　業　員　数　14名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

ミロク工業は少人数です。ですが、それは各分野において高いスキルを持ったスペシャリストの集団とも言えます。長年トヨタグループや国土交通省に関連した各種設備の設計・施工に携わり、培ってきた高度な技術力。実績に裏打ちされたミロク工業のノウハウで、現在はアジアや北米など海外からの受注も増加しています。だからこそ大切な人材のために健康経営に取り組んでいます。

きっかけは取引先の金融機関に勧められて。

以前から健康宣言はしていたものの、特に意識し、取り組むことはしていませんでした。ただ、社員のためになにかできないかと考えてはいたので、金融機関の勧めもあり優良法人認定を目指し、健康経営に昨年より取り組むことにしました。従業員にも取り組むことのメリット、目的を伝え従業員一丸となりスタートしました。

課題は社員の運動不足でした。

まず外部のサポート事業者に支援いただき従業員への健康に関するアンケートを行いました。みえてきた課題は、コロナ禍の影響もあり、運動不足であるということでした。そこで従業員みんなであいち健康プラスのアプリを取得し、健康管理をしていくことから始めました。各社員の健康に対する意識も高まり、また社員同士のコミュニケーションも図れることができ、休みの日も率先してウォーキングをする方もでてきました。好評のため今後も継続していきたいと考えています。



本格的なランニングマシーンも購入し活用。

さらに社員の運動増進を図るために本格的なランニングマシーンも購入し、社員が自由に使用できるように設置もしました。カロリー消費量等、基本的な機能に加えてデータ管理、また社員同士が競い合えるような機能もありみんなが楽しみながら休憩時間等に使用しています。将来的にはみんなの意見も聞きながら他の器具の購入も検討しています。



今後も健康経営に積極的に取り組みます。

今後も社員が健康になるためならと積極的に新たな取り組みをしていきたいと考えています。やはり課題でもある「運動面」で、さらに意識を高めるためのセミナー開催も考えています。いろいろ社員の意見をとりいれながら楽しく取り組める社風になってきましたので今後が楽しみです。次回も優良法人認定を目指し、その先のブライト500をいつかは取得したいと思います。

1120

愛知県
知多営業所

旭運輸株式会社



代表取締役社長執行役員
藤本　健 氏

Well-being経営で長く発展する会社に

- 代表取締役社長執行役員　藤本　健 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県名古屋市港区入船2-4-6
- 主な事業内容　港湾運送事業、通関業、倉庫業、その他
- 従　業　員　数　249名（男性：155名・女性：94名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

旭運輸株式会社は名古屋港を拠点とし、永年の実績と経験により培われた物流ノウハウと現場力を有する港湾運送業者である。従業員の平均年齢は約41歳。女性従業員の比率は約38%。
2019年に健康経営を推進する組織を立ち上げ、多様な社員が活躍できる職場づくりを推し進めている。同社の健康経営の取り組みは多岐に渡っており、３年連続で健康経営優良法人（中小規模法人部門）に選定されている。（2021年はブライト500）

取り組み開始のきっかけ

当社が健康経営の取り組みを開始したのは2019年の４月です。この頃には健康経営が世の中に広まってきており、新聞紙上などでも「健康経営」という言葉を認知したのがきっかけです。当社は名古屋港の同業他社と比較すると小規模ではありますが、従業員の働きやすさが強みと感じていました。健康経営優良法人認定制度を知る中で、「当社もしっかりと取り組めているのでは？」と思い、客観的な評価が得られる点や人材の採用に繋がればとの思いで本格的な取り組みをスタートしました。

多様な働き方を推進

多様な働き方の推進には特に注力しました。当社には育児等による時短勤務（申請により所定外・時間外免除となる）対象者が複数おりますが、所定外労働をさせない・ゼロにすることを目標に掲げ、システムによる報告フローの整備等により改善を図りました。これまでは「周囲に迷惑をかけてしまう」との思いもあり、対象者本人・管理職双方の意識が行き届かない状況も散見されましたが、ヒアリングを繰り返し、ダイバーシティ推進の観点から、「違いをもつ従業員同士が個々の違いを受け入れて協働できるようサポートすることが、チーム全体を強くする」という考え方を伝えることで徐々に文化が定着していきました。現在では時短対象者の範囲をお子さんの小学校卒業までに引き上げています。
また時間外対策として、当社ではPC強制シャットダウンの仕組みを持ち合わせておりましたが、この時間を従来の20時から19時半に変更しました。これにより月間の平均時間外労働が一人当たり約１時間半も削減されました。



出張フィットネス
スクール



藤前干潟清掃ボランティア

禁煙は５か年計画で。効果をもたらしている

心身の健康面では禁煙の取り組みに力を入れております。喫煙率については、今までなかなか下げることができていませんでした。現在は５か年計画を掲げ、健康日本21の目標値である12%を目標に取り組んでおります。
また目標を掲げるだけではなく、職場環境に関するアンケートを実施し、受動喫煙への不安を抱える従業員がいることも確認しながら従業員とのコミュニケーションを図りました。禁煙の健康チャレンジ施策や禁煙外来の費用補助制度の創設、さらには2021年の本社ビル移転のタイミングで就業時間内禁煙を実現したこともあり、取り組み当初には65人いた喫煙者が、昨年には54人まで減少（17%減）しました。今年度は47人（喫煙率22%）を目指して引き続き啓発を行っているところです。

採用面での変化

健康経営は当社の強みとして認識しており、引き続き従業員への浸透を図るとともに、採用面でも会社説明会やインターンシップを通して学生たちにアピールしています。当社では動画選考という選考プロセスを取り入れておりますが、多くの学生が撮影した動画内の自己PRや志望理由で、「旭運輸の魅力は健康経営で社員を大事にしているところ」であると触れています。志望度が高く、かつ当社の方針をよく理解した学生たちが応募をしてくれるようになったことも、健康経営に取り組んでよかったことの１つです。

今後の展望　―Well-being―

今後のキーワードは『Well-being』であると考えております。成果があって幸せになるのではなく、幸せがあって成果が出るということは科学的にも分かっていることです。会社が健康経営などを進めていき従業員がしっかりと取り組むことによって幸福度が上がり、それがひいては会社の成長にも繋がると考えており、その土台となる健康経営には今後とも力を注いでいきたいです。

株式会社駒来商事



代表取締役
酒井　修 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　酒井　修 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県小牧市新小木町
- 主 な 事 業 内 容　運送業
- 従　業　員　数　34名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

運送業界は人が何よりも大切です。弊社の従業員は平均年齢が48歳と高齢化が進んでおり、以前から健康管理は徹底して行ってきましたが、従業員の健康をより一層大切にするべく、健康宣言を2020年に実施し、同時に健康経営の取り組みを開始致しました。

社員の健康の為にできることを一つずつ

「不健康な状態より、健康な状態の方が絶対によい」これは誰もが理解していることですが、健康行動を実践するのはとても難しい事です。ましてやドライバーは車内で一人になる時間が多く、自制を利かせるのが難しい職業です。
だからこそ、会社が健康になれる仕組みを作り提供しています。
具体的な取り組みとしては

・健康診断を年２回必ず受診
・要受診となった場合は医師の許可が出るまで運行をさせない
・出発時の点検では昨日睡眠が取れたかなど、複数の会話を必ず実施
・トラック内禁煙
・無料のミネラルウォーター支給

業種柄毎日従業員と顔を合わせられる訳ではありません。だからこそ、会えた時に声をかけることを意識しています。そして、出来る事は限られていても出来る事を一つずつ実践しています。

長く働けて、幸せになってもらうために

当初は取り組みに対し様々な批判がありました。
「健診が面倒」「社内禁煙はつらい」「健診結果に問わず運転をしたい」等々
ただ、自身の身に万が一があった場合や、事故等があれば、運転だけでなく、就業も厳しくなり、ご家族にも影響が及んできます。
従業員や従業員のご家族の生活を守る立場でもある経営のトップは従業員の健康状態の把握が必要だと考えています。だからこそ、安全輸送＝健康であることと強く伝えてきました。
理解者が少しずつ増えてきており、今では従業員から「栄養が偏らない食事メニューが知りたい」「健康なことで効率がよくなる」という言葉が聞けるようになりました。

今後の展望

現在従業員の中に高血圧と診断されるものが複数名おります。どうしてもコンビニやサービスエリアの味付けが濃い食事を摂ってしまう事や慢性的な運動不足が原因です。
今後は食生活に関する健康情報を多く届けていく事と、運動に関する情報に注力して従業員の健康増進に努めていきたいと思います。
特に運動に関しては、コロナ禍で中止となっていた運動会やその他企画を再開して、コミュニケーションの促進と共に運動不足の解消が行えたらと思っています。



無料のミネラルウォーター





1122

愛知県
岡崎営業所

Voice Report 120th

白濱建設株式会社



代表取締役社長
白濱隆久 氏

健康経営とは会社の経営だけのこと？
社員とともに健康意識の変化を求めて

- 代表取締役社長　白濱隆久 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県岡崎市大平町
- 主な事業内容　土木建設業
- 従　業　員　数　62名(男性:58名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は土木建設業を営んでおります。業務の内容としては、掘削機械のバックフォー、敷き均し機械のブルドーザー、土砂を運搬する大型ダンプ等で行う重機土工事と、公共工事と民間宅地造成などの元受け工事等を行っています。熟練社員(高齢者)が多く若い人たちの入社と技術の伝承が今後の課題です。

当初は健康経営は難しいと思っていた

ここ数年、高齢者の社員が体調不良による休みや、病気による長期入院をすることが増えていました。このままでは社員の健康状態が仕事に影響すると思い、社員の健康が関心事項になってきました。
当初、健康経営について色々と周りに情報収集して、「社員に健康の目標を持たせて取り組む」「アプリで管理する」などと聞いて難しいと思っていた折、商工会議所が健康経営のサポートをしているということを知り連絡を入れました。会議所とアクサ生命より説明を受け、我々が思っていた健康経営に対しての不安、取り組み方への疑問等を、一つ一つ丁寧に説明を受け当社でも取り組めそうだと思えました。

社員の健康課題の把握

アクサ生命の『健康習慣アンケート』を実施し、判りづらかった社員自身の健康への考えや将来のことへの思いなどが分かり、特に健康について一番関心の高い事柄も把握することができました。
会社として実際に取り組むにあたり、まずは健康診断で多くの社員が指摘事項となっている高脂質・高コレステロールの改善を目指し、コレステロール値を下げるアクションを実施しました。



2021年10月発行の「白濱だより」



総会時に配布した
「えごまオイル」

具体的な推進と効果

推進にあたり、社員にやらせるのでなく、現状の確認と改善への気づきときっかけ作りから継続出来る工夫(結果が出ないと飽きてしまう)が大事だと思いました。また、少しずつ賛同者を増やすことも大事と考え、社員本人だけでなく家族や周りの人たちも巻き込むことが重要だと思いました。
具体的には、年４回発行している社内報の「白濱だより」に健康関連の記載、「健康経営ワンポイントアドバイス」を給与明細に同封し配布、社員が一堂に会する安全大会や会社総会時に「健康に関してのセミナー」の開催、「健康グッズのエゴマオイルの配布」等を行っております。
先日従業員のユニホームを新調した際、サイズダウンしていた従業員もおり、継続して取り組んできたことによる意識の変化・効果も出つつあります。

地域社会のインフラを守り、社員とその家族が幸せとなり、そして会社も成長していきたい

今回、健康経営優良法人認定を申請する中で、会社として多くの課題・取り組む姿勢が問われました。「健康経営」と聞くと、社員は「会社の経営が健康になるだけ」と捉えてしまうのではないかと思い、まずは、社員一人一人の健康状態、いつまで元気で働きたいのか、将来の夢、などと合わせながら一つずつ取り組むことが大事だと思います。
当社は建設業として、地域の社会インフラを守る責務を担っております。環境に配慮した工事方法で泥水の流失を抑えております。年２回行う河川清掃活動を通じて地域の環境を守っています。これからも社員の健康を考え、会社の願いである社員が健康で長く勤務をし、社員の家族も幸せになれるような健康経営の推進を継続して取り組んでいきたいと思っております。



河川清掃時の風景

岡大物流株式会社



代表取締役社長
渡邉良行 氏

健康で安全・安心に長く働ける職場を目指す！！

- 代表取締役社長　渡邉良行 氏
- 本社営業所所在地　愛知県岡崎市西本郷町字平田9-1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　67名(社員47名・派遣社員20名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社では、社員が心身ともに明るく元気に長く働ける職場を目指して、2018年10月に健康宣言を発出し健康経営の取り組みをスタートさせました。運送業は、人手不足・ドライバーの高齢化が深刻な課題になっております。その為にも「社員の健康が一番重要！」と考え、社員が安全・安心に働ける職場にするためにこの健康経営の取り組みを継続的に推進してまいりました。社員の幸せと、会社の永続的な発展を目指すことが社会的責務と考えております。

健康管理から健康経営へのステップアップ

以前より実施している社員の健康管理としての健康診断受診率は継続して100％であり、インフルエンザ予防接種も全額費用を会社負担にて集団接種で実施し感染症対策も実施しておりました。しかし、実際、私も現場に出ていた時は自分の健康のことを真剣に考えることは少なく、これだけで本当に社員一人一人の健康が保たれているのか？と疑問を持っておりました。そんな考えをもっていた時に健康経営のことを知り、関連するセミナー等に数多く参加することで健康経営を学び、当社も健康経営を取り組む必要性を感じ、健康管理から健康経営へステップアップさせていきました。

トータル的な健康経営の取り組みへ推進

社員が健康で働きやすい職場にするための取り組みとして、先ずは健康診断後の二次検診対象者への受診勧奨を行うことで体の異常を放置させないよう致しました。また健康診断のオプションとして男性は前立腺検査・女性は婦人科検査を追加してガン罹患への対応も行ってきました。
また、もしもの場合に備え、社員はアクサ生命の終身医療保険に保険料を全額会社負担にて加入、「健康経営サポートパッケージ」を導入し更なる充実を図りました。
感染症対策はインフルエンザ予防接種は従来通り実施し、コロナウイルス対策としてマスクの定期配布、アルコール消毒液の事務所内外とトラックの車内にも設置し感染防止を図っております。
働き方改革への対応として長時間労働の時間削減の取り組みを実施、週単位で管理し労働時間を見える化することで体への負担軽減に努めております。また有給休暇取得の推奨も積極的に行っており、今後もワークライフバランスの充実につなげていきたいと思います。



運転者職場環境良好度認証制度の働きやすい職場認証登録
(2021年４月22日)

社員の体の健康づくりと体調管理

2020年12月からヤクルトを社員全員で飲み始め、当初週１回から今は毎週火曜・木曜日と週２回にして腸内環境の改善から免疫力を向上させる取り組みを実施しております。具体的な成果は判りづらいですが継続して行っていきます。
夏場の熱中症の対策として、７月・８月にスポーツドリンク、お茶、栄養ドリンクの配布と塩飴を準備し社員の体調管理に取り組んでおります。
その他では、腰痛防止のハニカムクッションの配布、体組成計の配布で自分の体の状態を把握(体重・体脂肪・推定骨量他)を行っております。
また毎月１回、岡大健康づくりを発行して食生活の改善の食べ物の紹介や摂取の仕方、病気に対する知識情報、運動促進のやり方等を紹介して健康への意識づけを継続して図っております。

今後の取り組み

コロナウイルス感染症拡大による影響で社員とレクリエーション(食事会やボーリング大会)が出来ない状況ですが、コロナウイルス感染症が終息したら再開したいと思います。
今後も社員が健康で安全・安心に長く働ける職場を目指し、時代に合った、トータル的な健康経営の取り組みを継続的に推進していきます。



岡大健康づくり



本社営業所

1124

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 120th

株式会社ホンダカーズ蒲郡



代表取締役社長
山本昌宏 氏

社員の満足度向上が顧客満足度向上につながる

- 代表取締役社長　山本昌宏 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市緑町
- 主な事業内容　ホンダ系自動車ディーラー
- 従　業　員　数　50名(男性:38名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

会社と社員は運命共同体で、大きな家族を構成しているのだと常々考えています。あたりまえに社員の健康管理や社内コミュニケーションの促進など会社をあげて取り組み、受動喫煙にも力をいれてきました。そうした取組みが健康経営の本質であり、健康経営優良法人の認定になりました。結果として、社員の満足度が向上し、お客様との応対でもよい影響がうまれ顧客満足度向上に繋がっています。

社内コミュニケーションの促進をスタート

2013年からコミュケーション促進を目的に、社員満足度を向上させる委員会「ES委員会」をたちあげ、活動費用を会社が全額負担しています。4月に全体会議後の懇親会、6月に社員旅行、8月にバーベキュー大会、10月全体会議後のボウリング大会、12月クリスマス家族会など年間計画を立て実施しています。また、社員コミュニケーション食事会には会社から補助金を支給したり、被災地への復興支援のボランティア活動に参加しています。こうした取り組みを継続して実施することにより、仕事を離れた場での交流や相手への思いやりが生まれています。

受動喫煙対策などからリクルート効果まで

2016年度から社内で受動喫煙と禁煙対策として社員に禁煙を奨励。禁煙外来にかかる治療費を補助したり、禁煙者に臨時賞与を支給してまいりました。また感染症対策にインフルエンザワクチンの会社負担による接種奨励などをおこなってきました。そうしたおり、商工会議所から健康経営の取組みを紹介いただき、自然の流れのなかで健康経営優良法人の認定に繋がったと考えています。この健康経営のメリットはリクルートにも効果が大きく、社員が候補者に、いい会社であることをしっかり伝えてくれています。



顧客満足度調査の
優秀賞表彰状



従業員感謝デーの豪華ランチ
(和食弁当)

市の健康づくり推進優良事業所に認定

運動機会創出の取組みにも傾注。2016年に社内に「登山部」が発足、これに続いて定期的に体育館を貸し切り、バレーボールや卓球など室内スポーツに取組む機会をつくり、参加者が徐々に増加し、全体の6割～7割が参加するほどになりました。明るく元気に楽しむ社員の健康づくりをサポートしています。こうした取組みが評価され「蒲郡市健康づくり推進優良事業所」として表彰されました。2021年から毎月従業員感謝デーにまちの活性化の一助も考え「市内のお店の豪華なお弁当が食べられる日」としてランチを提供し、コミュニケーションもブラッシュアップしています。

ワークライフバランスの実現にむけて

健康経営はワークライフバランスの実現があってこそ。
2021年から営業時間を9:30～19:00を9:30～18:30に30分短縮。
定休日も増やしました。従来からのノー残業デーともあいまって、運動参加機会などが増え社員が活性化しています。
メンタルヘルス対策として事業場として50人未満ですが、ストレスチェックを実施。
さらに病気の治療と仕事の両立支援をしていくため、社員全員を対象に三大疾病を保障する保険に加入しています。
また女性活躍を支援するため、職場環境への配慮を導入しています。

社員満足度の向上とともに会社も成長していく

こうした取組みにより全国系列ディーラーが実施する社員活性度調査で常に上位に位置してます。そのなかでわかったことは、社員自身が成長していきたいという気持ちが強いということです。そのことを経営としても理解しサポートしていきたいと考えています。
社員の満足度が向上することで業務が活性化し、お客様との接客にもゆとりがうまれお客様の満足度が上がります。同様のディーラーによる顧客満足度調査で、2018年から2021年まで全国1位になっています。会社と社員は大きな家族の一員という思いで健康経営を一つのツールとして継続してまいります。

株式会社ヤマサン



代表取締役社長
山本和正 氏

働きやすい職場づくりのため健康経営をスタート

- 代表取締役社長　山本和正 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊橋市下地町
- 主な事業内容　大豆・米穀・飼料・食材卸売業
- 従 業 員 数　70名(男性:60名・女性:10名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

創業310余年、世の中の変化に先走らず、後れを取らず、世の中の変化に柔軟に対応し、食に関わる仕事に従事してきました。食は空腹を満たすことから、楽しむ、健康、安心安全を満たすことに時代の変遷とともに変わってきています。変わっていないのは弊社の最大の資産である人を大切にする「全社員物心両面の幸福を追求する」という基本経営理念であり、現在の健康経営に引き継がれています。

健康経営は課題の把握から

1703年に創業し、信用第一で事業を継続してまいりました。お客様を大切にする、商品を大切にする、仕入れ先・取引先様を大切にする、社員を大切にすることを旗印にしてきました。ところが、昨年度の健康診断で大切な社員の健康に少し課題があることが判明しました。健康診断は100％の受診ですが、要再検査、精密検査の社員が従前より増加したのです。血液検査で高脂質症や高血糖を指摘され食生活の改善や運動が課題であることがわかり、これらの課題は生活習慣アンケートの結果とも連動していることがわかりました。

課題を解決するための施策をスタート

業務のなかで、食事とか運動習慣を改善することは、一朝一夕では難しいものがあり、社員の意識改革から取り組むことからスタートいたしました。アンケート結果のフィードバックセミナーを各拠点で実施し、また定期的な健康情報を継続して提供しました。ウォーキングを始めた社員も増えて生活習慣の改善意識に繋がっています。喫煙率が高いことも課題でしたが、就業規則で敷地内禁煙を実施しました。結果一定程度喫煙率が下がりました。このように課題を把握して解決をするための施策を実施することが健康経営の実践に繋がっていきました。



社屋一部

働きやすい職場つくり

健康経営は社員が働きやすい職場作りの手段であり目的は良い会社を作っていくことです。ストレスを感じることが少なく風通しの良い働きがいのある職場が理想です。過去にはメンタル不調で二人ほどうつ病にかかったことがあり、再発防止のためにメンタルヘルスの相談窓口を設けたり、ワークライフバランスに配慮した勤務を配慮しています。有給休暇は全取得を目標としていますが、女性の取得率が低く課題となっています。長時間労働に関してはDXの進歩で業務の効率化が進み、勤務時間が相当短縮し残業が減っており良い傾向です。

健康経営が会社の未来をつくる

コロナ禍で実施できていませんが、家族懇親食事会や社員旅行、バーベキュー大会などコミュニケーション増進の取り組みも復活させたいと考えています。
このような取り組みの結果、社員が定着し活性化することで顧客から評価され、またリクルートでも選ばれる会社となる良い循環がうまれていくと考えています。健康経営のブラッシュアップを通じて「全社員の物心両面の幸福を追求する」を実践してまいります。



家族懇親パーティー

1126

愛知県
安城営業所

株式会社玉井設計・玉井建設株式会社



代表取締役社長
玉井秀一 氏

経営者として覚悟を持って健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　玉井秀一 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県安城市住吉町
- 主な事業内容　建築設計・建設業
- 従　業　員　数　32名(男性:26名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

弊社は1971年の設立以来、約半世紀の歴史を刻んで参りました。私どもの活動範囲が、地元西三河地方から、日本全国そして海外にまで広がった現在でも、原点は地域の人々に学び、建築設計の専門技術で応えることでお客様に満足していただき信用を築くことと考えております。
会社にとって大切な財産である従業員と共に成長し続けるため、健康経営に取り組んでおります。

優良法人認定から3年を迎えて

弊社が健康経営に取り組むこととなったきっかけは、総務部長からの提案でした。
会社にとって“人”は大切な財産であり、健康経営はその大切な“人”への投資であると考えております。
優良法人認定は、社員の福利厚生に寄与できる客観的な基準であり、雇用促進・定着率の維持には欠かせない取り組みとなっております。

健康課題に対する取り組み

毎年実施している外部機関での「生活習慣アンケート」から健康課題を把握し、以下の取り組みを順次進めております。

・ドリンクサーバーの設置
　飲み物からの糖分摂取が抑えられるよう、お茶・水・に加えハーブティーなどの提供
・トレーニングマシンの設置
　運動不足解消のため、短時間でも気軽に利用できるようスペース確保
・仮眠スペースの設置
　リフレッシュ、疲労回復のため「パワーナップ」の取り入れ



ドリンクサーバー



トレーニングマシン

健康診断をより充実させるために

社員の心身の健康を考えるにあたって、弊社が実施している取り組みです。

・健康診断受診率100%
・55歳以上の社員への脳ドッグオプション
・勤務時間内での二次健診受診(社長面談)
・担当者による社外の健康セミナー参加
・外部機関の「生活習慣アンケート」実施

以上に加え、今年度より新たに配偶者へ社員と同等の健康診断受診を導入しております。

優良法人認定取得後の変化について

社内において大きな変化は感じられないものの、先に述べた配偶者健診については、社員からの要望があり実現したことです。
健康経営を推進する中で、少しづつでも健康に対する意識の変化が表れたことは喜ばしいと感じております。
社外的な効果は年々大きく感じます。折々に健康経営の取り組みについてお声がけ頂いたり、名刺交換時の会話の糸口となっております。

今後のビジョンについて

“人”の成長が会社の成長に繋がる。またその成長には技術向上はもちろん社員の心身の健康がとても重要です。
経営者として聞く耳を持ちながら、今後も覚悟を持って進化しながら継続的に取り組んで参ります。

株式会社鈴木室内装飾



代表取締役社長
鈴木英治 氏

「顧客第一、社員の幸せ」を実現する為に健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鈴木英治 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊田市十塚町
- 主な事業内容　内装仕上げ工事及びインテリア製品販売
- 従　業　員　数　49名(男性:25名・女性:24名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

当社は、現経営者の父親が地元大手自動車メーカーでの内装工事やカーテン等インテリア製品を販売する企業として創業しました。現在の主な事業は地元大手自動車メーカー、大手電装品メーカー他そのグループ企業の建物の内装工事部門と、マンション、ハウスメーカーへのカーテン等インテリア製品販売製造の２つの事業部を運営しています。

「健康経営」に取り組むきっかけ

当社の使命として、生活・職場環境デザインを通じて、心地よい空間を提供しています。
これを実現するために、社員を会社の財産としてとらえ、社員が心身ともに健康で安全に働くことが、会社の成長に繋がると考えています。
「顧客第一、社員の幸せ」を実現するために、アクサ生命保険(株)から「健康経営優良法人認定」についてのサポートがあるとわかり、認定を目指すことになりました。



アンケート結果により、取り組みを開始

2020年10月に「健康経営チャレンジ宣言」をし、アクサ生命保険(株)による健康アンケートの結果を参考にして、以下のような施策を実施してまいりました。

1. 喫煙者率の低減
2. 労働時間の管理
3. 有給休暇取得日数の管理
4. 健康診断100%受診、及び再検査受診100%
5. 感染症予防に向けた取り組み



2021年10月12日 健康セミナー実施
テーマ／「禁煙(受動喫煙)」
講師／アクサ生命保険(株)
健康経営エキスパートアドバイザー

「健康経営」への取り組みが優秀な人材確保へ

健康経営の他、ISO9001・14001・45001、あいちファミリーフレンドリー企業の認定、また、とよたSDGsパートナー登録などにも積極的に取り組んでおります。
健康経営がリクルートにもプラスになると当初説明を受けました。実際に２年連続の健康経営優良法人認定を受けた結果、リクルート活動にも反映させてきました。
その結果、2022年度３名、2023年度５名の新卒採用が決定しました。応募の学生の中には、健康経営優良法人が応募のきっかけだという嬉しい声もあり、応募は増加してきています。

今後の展望

2024年に創立60周年を迎えます。事業拡大、人員増加もある中、社員の高齢化も進んでいます。
健康経営に取り組むことにより、社員一人一人が生き生きと仕事ができる環境を整え、最大のパフォーマンスを発揮することが、顧客満足向上、社員の幸せ、社会への貢献と考え、今後も継続して取り組んでいきます。

1128

愛知県
豊田営業所

Voice Report 120th

豊田プレス工業株式会社



代表取締役社長
加古浩史 氏

健康経営で目指す、着眼大局

- 代表取締役社長　加古浩史 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊田市広久手町
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　59名(男性:52名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

昭和25年の創業以来、プレス加工および溶接組付加工を中心とする自動車部品製造を通じて、自動車産業の発展に微力ではありますが寄与してきました。これからもモノづくりのスペシャリストとしてお客様に信頼と安心をお届けし、人の役に立つ人づくりを行い、当社に関わる全ての方々の幸せを追求します。

幸せの前提は健康であること

きっかけは健診の数値でした。今まで何気なく受けていた健診の数値が気になりだし、自分自身の健康管理について興味をもちました。体調が万全でないと、家庭、仕事、経済的に支障がでてきてしまう。会社として従業員みんなが幸せに過ごせるよう健康の手助けをしたい。
そんな中、アクサ生命さんより健康経営について知り、身体の健康、ワークエンゲージメント、社会的健康といった内容がまさに思い描いていた考えと合致しました。

改めて知った健康課題

健康に関するアンケートを実施し、従業員の喫煙率、生活習慣や健診状況等、多くのことが数字となって浮き彫りになりました。
現在の一番の課題は、喫煙率です。半数弱の従業員が、喫煙をしていると答えています。
すぐに禁煙というわけにはいかないため、まずは意識改革を第一に、定期的な健康についての情報提供やセミナー実施を継続的に行っていきます。

創業時より変わらぬ健康づくりと新しい取り組み

毎朝、就業前にラジオ体操を実施しています。体を動かすことによっての事故防止や運動不足の改善、従業員間のコミュニケーションにも役立っています。
健康意識をたかめるため、健保が提供する健康サポートアプリの推進もしております。歩数や健診結果の改善などの活動実績に応じて金券や商品と交換できるポイントを貯められるので、楽しみながら健康増進に取り組んでもらえるきっかけになればと思います。

今後の展望

コロナ禍により、社会が大きく変化しています。変わりゆく時代のなかでも一番大切なのは、『人』です。
様々な変化に対応して自ら考え行動する人財を育て、共に達成感を得ることが使命と考えます。
そして健康経営の取り組みから、大局的に人生や健康をとらえ、時代の流れや情報を取り入れながら、従業員が安心して仕事を続けられる環境づくりに今後も励んでまいります。



毎朝の日課のラジオ体操。就業前のリフレッシュ。





株式会社中田商事



代表取締役
中田純一 氏

「従業員の幸せ」と「自社の持続的成長」を実現するために

- 代表取締役　中田純一 氏
- 本社所在地　三重県伊賀市荒木野々浦
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従業員数　61名(男性:37名・女性:24名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「ピンチをチャンスに」という言葉があります。この言葉はまさしく弊社のためにあると常日頃感じています。と言いますのも、創業は平成７年５月「阪神淡路大震災」の年にあたります。また会社も業界もこのままではいけない、会社の成功の先には社員の幸せがなければいけないと大改革に取り組んだのがリーマンショックの年でした。その大改革も経験や勘で行うのではなく「物流大学」に入学し経営と物流のあるべき姿を基礎から勉強しなおしました。その時の学友とは今でも情報交換をしており私の良き相談相手であり業界を盛り上げる同志でもあります。

業界のイメージ一新と従業員の幸福

運送業界、運送会社のドライバーと聞いてどんなイメージを持つか？旧態依然の業界？ドライバーは一匹オオカミ、独身者が多く、不規則な生活、不健康？
当たっています。現状維持では従業員の幸せはないと確信しました。言い方を変えればここから改革できれば社員は幸福感を感じ、働く意欲も向上し従業員も会社も成功できると確信しました。

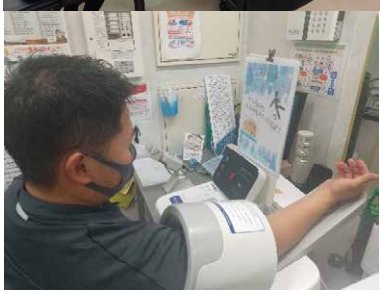
地域に貢献してこそ企業の存在価値がある

弊社は、主業である運送業以外に倉庫業、企業主導型保育事業ほか多角的な経営をしています。そんな弊社が購入した土地にサッカー場建設の話が舞い込み躊躇することなく取り組むことにしました。そのことは「青少年を中心とした地域の人々の健康増進」に繋がり地域経営者の皆様から色々な場でお褒め頂いております。

取り組みの柱は毎朝の「点呼」

弊社全体の圧倒的人数を占めるのがドライバーです。おわかりいただけると思いますがドライバーの体調が運転中に急変したら取り返しのつかないことになってしまい本人も会社も大きなダメージを受けることになります。
健康管理、健康経営の一環というよりも「リスク管理」の観点で最優先として徹底的に取り組んでいます。





取り組みと時代がマッチしてきたことを実感

前述の通りリーマンショックを機に改革をスタート。14年前のことです。従業員の幸せと企業の持続的な成長のために試行錯誤しながら取り組んだ施策が今ここへ来て称して「健康経営」と呼び「SDGｓ」と呼ばれるようになったという感があります。女性の雇用率40％、女性管理職比率50％、SDGsは17項目中13項目の取り組み。「えるぼし認定二つ星」「働きやすい職場認証制度一つ星」。認証、懸賞ありきではなくリーダーとして取り組みが間違ってなかったことへの自信となっています。

今後の課題と展望

人材確保が当面の課題と認識しています。
ここまで改革を進めていますが人材確保にはまだまだ苦戦しています。改革を進めながらSNS等の発信で是非弊社で働きたいという候補者をたくさん作って行きたいと思います。
今のまま当たり前のことを当たり前に進めていけば実現は夢ではないと思っています。

1130

三重県
鈴鹿営業所

Voice Report 120th

有限会社太田コンクリート



代表取締役
太田秀典 氏

長年コンクリートに関わって、亀山の地と共に歩む

- 代表取締役　太田秀典 氏
- 本社所在地　三重県亀山市和田町
- 主な事業内容　製造業
- 従業員数　19名(男性:14名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

当社は生コンクリートの製造販売を主とし一般貨物自動車運送事業を営んでおり、安全第一の労働環境です。業務中に突然の病気に起因する事故が聞かれますが、それを未然に防ぐにはまず従業員の健康が第一と考え2018年から健康経営に取り組み、翌年にはじめて健康経営優良法人の認定を受けました。以降、少しづつ取り組みを進化させ現在に至っています。

感染症予防の実施。インフルエンザ予防接種を会社負担で全員受診。

新型コロナウイルス感染予防のため、出勤時の検温、手指消毒のためのアルコール消毒液の設置や食堂などの人が対面するところへのアクリル板を設置する、除菌スプレーで人が触れるところを除菌し、定期的に換気を行うなどの対策をとっています。
また毎年インフルエンザの予防接種を、近くの内科で受けています。費用は会社が負担し、その日は仕事を早く終えて予防接種に行きます。
インフルエンザの予防接種を受けるようになってからはインフルエンザが社内で流行ることがなくなりました。
認定を取得したことで社外にPRできたり、従業員の健康に対する意識が向上したように思います。





ウォーキングイベントで運動不足解消

社内でスマートフォンアプリを利用しウォーキングイベントを実施。毎日8,000歩を各自の目標とし、2週間の期間中、すべての日において目標達成した従業員へは表彰としてクオカードを進呈しました。
参加者の声…意識して歩くようになった。犬の散歩の時間が長くなって犬が動かなくなり抱っこして帰ったことがあった。
効果…運動の機会以外に、スマートフォンを通してほかの参加者の歩数や順位が分かるのでコミュニケーションも活発になった。

社内のコミュニケーションを大切に

円滑な業務遂行のためには社員同士のコミュニケーションの向上が大切だと考えています。そのため、毎年定例行事として社内のバーベキュー大会を行うなど、社員同士が業務外でふれあう機会を設けています。コロナ禍で大勢で集まる機会が少なくなる中、感染防止に十分気を付けながら、実施しています。
社員同士のコミュニケーションの向上を図ることにより、モチベーションアップやストレス軽減によって業務のほうへもよい結果が出ています。



今後の展望

生コンクリートは地域にはなくてはならない産業なので、これからも地域に貢献できるように、会社も従業員も健康であり続けたいと思っております。

株式会社安土産業



代表取締役
蔵立良太郎 氏

リサイクル会社のパイオニアとして、“働きがい改革”を推進していく

- 代 表 取 締 役　蔵立良太郎 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県近江八幡市浅小井町55
- 主 な 事 業 内 容　化合繊および不織布等の加工、販売
- 従　業　員　数　45名(男性:31名・女性:14名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**1978年に滋賀県安土町(現近江八幡市)で創業。化学繊維メーカーの生産・加工工程で出る樹脂製品(プラスチック)や不織布、原綿などの「副産物」をリサイクルや新たな用途開発する会社です。
2021年には滋賀県日野町に約10,000坪の新工場を建設。プラスチックのマテリアルリサイクル体制を構築拡大しています。これまで、たくさんの方々に支えて頂き今がある私たちは、これからも「人と人との繋がり」を大切にしていきます。**

当社の強みは、優れた社員力と組織力

多様化するニーズに的確・迅速に対応するためには、「高い技術力」「豊かな発想力」「深く広いネットワーク」が必要で、それを実現するのが優れた社員力と組織力です。
当社は、従業員がやりがいを感じ、夢と情熱を持てる企業となることを目指して、働きやすい職場環境づくりに取り組んできました。
そのような折に、健康経営アドバイザーから健康経営を勧められたことをきっかけに、より良い職場環境を実現するために健康経営を取り入れることにしました。

従業員の健康課題の把握と即刻の対応

従業員あっての会社、「人は城、人は石垣」との思いから、健康が第一と考えてきました。健康診断の受診率100%は長年続けており、再検査についても徹底した勧奨を続けてきております。
健康経営の起点である健康課題を把握するため、保険会社の「健康習慣アンケート」を実施したところ、「飲み物」に関する意識と行動が低い事が判明しました。
健康経営担当者からの提案を受け、すぐさま社内にある自動販売機の中身を低カロリー・低糖質のものに入れ替え、さらに料金の一部を会社が負担することで利用しやすくしました。
そのことで、従業員の意識は高まり、購入する飲料が変わりました。





本社社屋と「SDGs宣言」



株式会社 安土産業
AZUCHI SANGYO

ヘルスリテラシーで、喫煙者が減少

健康セミナーの開催や、毎月の健康情報により従業員の健康意識は着実に高まりました。
飲み物を意識する社員が増えたことは、自動販売機の利用状況から確認できます。
また、喫煙者が自発的に禁煙にチャレンジを始め、喫煙者は減少しました。

SDGs宣言と健康経営

当社は「SDGs宣言」をいたし、地域環境の保全に配慮した事業を行い、真の循環型社会の実現に向けて社員一丸となり取り組んでおります。従業員への環境教育の実施のほか、従業員参加による近隣河川の清掃なども行っています。
SDGsの開発目標にある「3. すべての人に健康と福祉を」「8. 働きがいも経済成長も」は、経営理念と合致し、健康経営にも通じ、持続可能な職場環境づくりを一層意識して取り組んでいます。
従業員が大ケガや大病に遭遇した際でも、安心して治療に専念でき、経済的にもサポートでき、職場復帰ができるようにと全員に医療保険も掛けています。

「働きがい改革」で、夢の持てる企業づくり

創業以来44年が経過して、やっと「ホワイト」イメージの仲間入りに近づいたのではないかと、手応えを感じられるようになりました。
より良い職場環境づくりを進めることで、従業員はやりがいを感じ、イキイキと、笑顔で働いてくれています。従業員の健康は、パフォーマンスを向上させ、プライベートも充実させ、取引先へも良い影響をもたらし、会社の業績や利益の向上に繋がっています。
会社の発展も、従業員のお陰と感謝しています。
これからも従業員の「働きがい改革」を推し進め、夢の持てる企業づくりを通して、希望あふれる社会づくりに貢献したいと思います。

1132

滋賀県
彦根営業所

日光精器株式会社



代表取締役社長
中山享一良 氏

ニコニコライフの創造のために

- 代表取締役社長　中山享一良 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県近江八幡市馬淵町
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　200名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

私たちは、「ニコニコライフの創造」を理念としており、我々自身が、地域社会、お客様、従業員をニコニコにすることに対して、健康あってのニコニコだと思いますので、我々の理念の実践ということについて、これからもこの活動を含めニコニコライフの創造を担っていきたいと思います。

フィロソフィー手帳を全従業員が持ち、経営理念を実践

「すべてはニコニコライフのために」ということで、滋賀県なので、三方よしにならって我々自身が、売り手、買い手、世間に対してニコニコを提供する。実際には、フィロソフィー手帳を全従業員が持ち、ミッションの確認をし、実践を行っております。

健康経営は、ES向上にもつながると確信

我々はニコニコライフを創造することを理念にも掲げていますので、売り手、買い手、世間に対してニコニコを提供する中で、社員自身がニコニコにならないといけませんので、当社の理念にぴったり合うと思い、この健康経営は、ES(Employee Satisfaction：従業員満足度)につながること、また、従業員の健康面に対してもニコニコとなってもらいたいと取り組むことを決めました。

健康診断受診は、総務部中心に周知徹底

月次の月間計画を総務部にてスケジュール表を作成しており、発信をしております。健診の受診日に関しても、月間スケジュールで事前にわかっておりますので、あらかじめ社員へ周知徹底しています。また、受診の当月になりますと予定表にもスケジューリングされ、各部署の責任者に対しても月間の計画は周知徹底されますので、事前に受診日程の情報公開をしていることもあり、何のために健康診断を受けるのかということからみても、理念、会社の方針に合致していることもあり、必ず受診しましょうねと、総務を中心に啓蒙し、周知徹底をすすめております。





コロナ感染症対策は、基本的なことを徹底してやる

まだ続いている状況で、世間の流れと同じような感じですが、現在でも時差喫食を実施しております。本来ですと、12:00～12:40の休憩時間の中で昼食も済ますのですが、人数が多いこともあり３密を避けるために３交代で食事の時間をずらして、かつ、対面にならないように黙食できるようにしております。また、検温チェック、手指消毒は、今も継続して実施しております。基本的なことを、きっちりとやることを徹底しております。

コロナがおさまり、会社としてイベントができることを願っています

コミュニケーションは必要なことですので、コロナの影響によってコミュニケーションが相反する形になる恐れもあります。できる範囲でということになりますが、まず、各部署においての朝礼は毎日実施し、日常の問題点や、健康経営、健康診断のことなど情報を共有するようにしています。そして、月に１回、勉強会を実施し、そこで、理念の徹底や月次の収益に対する課題点などの進捗情報の報告を実施しております。また、社内の親睦会を行っているのですが、本来であれば旅行やバーベキュー、新入社員の歓迎会などを実施しているのですが、残念ながら、今はコロナ禍で実施ができていない状況です。コロナがおさまって、会社として大々的にイベントをやっていきたいなと思っております。

健康経営に取り組むことで、健康の話題が増えた

健康に関する話題が増えてきたのかなと思います。飲み物ひとつとっても、糖分やカロリーを気にしたり、休みの日の過ごし方も、自転車に乗ったり、ランニングをしたりと気に掛けたり、たばこについてもたばこの副作用について気にしたりと、健康経営の取り組みを通じて、健康に関する話題がでるようになったのかと感じています。

大橋電設株式会社



代表取締役
大橋浩之 氏

みんなの働きやすい職場を目指す！！

- 代 表 取 締 役　大橋浩之 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県近江八幡市東横関町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　17名(男性:14名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

「すべてに感謝」を社長指針として、何においても感謝の気持ちを忘れず、今、させていただいてることを当たり前に思うのではなく、家族も、仕事も、人との出会いに関して、自分の携わっている地域に関しても感謝の気持ちを忘れずに一日一日を過ごし、様々なことから喜びを感じてほしい。

すでに文化として、根付いていた

健康経営に取り組むきっかけは、以前よりお付き合いのある保険代理店の社長より勧められ、内容を聞くと、当社のこれまでの取り組んできた内容と、申請項目の適合が複数見られたので、これをきっかけに健康経営と向き合い、取り組みを本格的にスタートすることになりました。
健康診断に関しても、建設業の仕事では、工事部の社員が各現場の新規入場時に「１年以内に健康診断の受診の有無」が必須になっており、先代社長の時代より、代表者をはじめ、事務員すべて100％の健康診断受診は、当社の文化になっております。健康診断を管理している事務員より、前年の健康診断受診日より１年になるころに、報告を受け、予約し、各従業員の受診日をスケジュール化する仕組みがすでにできています。

感染症対策も思いつくことをすべて取り組んでみる

コロナ前は、インフルエンザでは、会社から特段、何かをするということはなかったが、各個人の中で予防接種を受けたいものは、勤務時間内に接種を受けることを承認していたくらいです。コロナ禍になってからは、感染者を当社から出さないということだけでなく、経営者としての全従業員を守るということ、お客様にも感染をさせてはいけないということを前提に、会社でできることはやってきました。例えば、当たり前ですが、マスク着用、手洗い・アルコール消毒徹底、出退勤時の検温の徹底、アクリル板の設置、空気清浄機の設置、全社有車へのアルコール消毒の配置など、思いつくことなど、できる限りのことはやってきました。







お互いが気持ちよく一日をスタートする

基本的に、出社時には、仕事の始まりですから、お互いが気持ちよく仕事をするためにも、「おはようございます。」、退社時には、「お疲れ様でした。」とお互いの仕事に敬意を示し挨拶をすることは、以前より当社に根付いている文化の一つです。また、朝礼に関しても、一方的に報告などを伝えるだけではなく、「今日は、〇〇をします。その業務について、〇〇に気を付けます。」と一人一言を話し、例えば、業務上でも同じ現場に向かうチーム同士、お互いのことを気に掛けることができるような朝礼を心がけてます。

意識付けの積み重ねが重要

なかなか変化を感じる部分は、ないですが、これまでの取り組みのなかで、すでに当社の文化になっていることも多いので、これまでの取り組みが、優良法人認定の取得という、公に評価されたことは本当にうれしく思います。従業員の健康に対する意識として、例年ですと、健康診断は、受診して満足している傾向もあったのか、健診結果により、保健指導の話をすると、業務優先になる傾向が強かったのですが、健康経営に取り組むようになってからは、保健指導を受けようかという声も聴かれ、自身の健康に意識が向いてきたのかと健康に対する意識づけの大切さを感じます。

日本一働きやすい職場を目指して

健康経営の取り組みを通じて、まず、みんなが働きやすい職場を目指しています。そのために、健康第一で仕事をすることが、何よりも大事であると思っています。当社は、従業員の年齢層も幅がありますので、若年層、または、シニア層など、片方に意見が偏らないよう、そして、お互いの相乗効果により化学反応が起きることを意識しバランスを取るように心がけ、さらにみんなが働きやすい職場になることを目指していきたいと思います。

1134

京都府
京都営業所

Voice Report 120th

京都宝製菓株式会社



代表取締役
河越将守 氏

「社員の幸せづくり」を実現するために

■代表取締役　河越将守 氏
■本社所在地　京都府京都市右京区嵯峨天竜寺造路町31
■主な事業内容　和洋菓子製造・卸売業
■従業員数　75名(男性:31名・女性:44名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社は全国各地の観光銘菓を手がけ、多くの商品を世に送り出してきました。安心・安全な商品の提供・製品開発・売り場や売り方の提案など、これまでに蓄積したノウハウをベースに社員一同取り組んでおります。

健康経営２年連続認定を目指して

弊社は昨年度から健康経営に取り組みはじめました。今年度も連続認定を目指し、まずは基本的な取り組みをしっかり継続するところからはじめました。従業員全員に健康習慣アンケートを行い、課題に応じた健康セミナーを定期的に実施しています。その中でも弊社の課題として運動不足の傾向があるため、タオルを使ったストレッチを取り入れたことは従業員にも好評でした。
近年はコロナ渦により健康意識が高まっている傾向があるため、今後も継続していきたい内容です。

具体的な取り組み

・健康診断受診率は100％
・定期健康診断に付加できるオプションの提供
・再検査判定の社員への再受診促進
・課題に沿った健康セミナーの実施
・敷地内禁煙対策
・在宅ワークや時差出勤
・有給休暇取得日数管理表の作成
・運動増進アプリの紹介



年間通じて隔月で行われる健康セミナー実施風景
講師　健康経営アドバイザー　テーマは７つの生活習慣

コロナ渦によるストレス対策

終わりの見えないコロナ渦によるストレスの増加は、毎年行っているストレスチェックの結果からも見受けられます。メンタルヘルスに関するセミナーの実施や、高ストレス者には定期面談時に話をしっかり聞くことを実践しています。まだ先が見えない不安な状況ではありますが、今後もサポート体制を強化していきたい項目のひとつです。





今後の展望

健康経営の取り組みを２年続け、従業員の健康課題をより把握できるようになりました。コロナ渦により弊社も大きなダメージを受けていますが、そのような中で従業員ひとりひとりが自身の健康について改めて考えることは、日々のモチベーションにも繋がったのではないでしょうか。
今後も新たな実践を続け、従業員が長く安心して働ける職場環境を作っていくことを目標とします。



休憩室に
健康情報コーナーを設置



お土産に・ご進物に
琵琶湖のえび煎餅

八光第一交通株式会社



代表取締役社長
伊藤　洋 氏

従業員の健康こそが企業の成長戦略だ

- 代表取締役社長　伊藤　洋 氏
- 本 社 所 在 地　京都府京都市西京区上桂御正町10
- 主な事業内容　一般乗用旅客自動車運送業
- 従　業　員　数　99名(男性:96名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

日本一の保有台数を誇る第一交通産業グループ京都地区　西京区上桂にあるタクシー会社　八光第一交通です。
地域ダントツ№１と自負しております。

健康優良企業を目指し

従業員のアンケートや聞き取りで、健康経営に携わり従業員がこれだけ健康に気を使っている事に驚かされた。朝の体操や食事摂取の順番、健康講義での姿勢等かなりの人が健康に貪欲さを持っていて、私は感心し思い知らされました。弊社も然りで高齢化の波が押し寄せている。健康経営に携わってこんなに従業員が身体のことを気づかい、朝ご飯も必ず食し、食べる順番迄決めている。糖質吸収のことなどを考えているのです。

身体づくりは様々

中には健康づくりに欠かせない、朝に必ずジョギングに出る者や無理なく散歩を欠かさず日課にしている方も多いと知った。少ないがフィットネスクラブに通う強者もいるくらいだ。それだけ自分の健康を常に意識しているのです。



取締役　長瀬浩二 氏

ノウハウと豊富な知識

アクサ生命さんと知り合い健康優良企業の事を知り、朝礼や全員懇談会で健康プログラムや講話でどんどん皆が興味を持ち引き込まれていく様を肌に感じ心が健康と云うワードで繋がり一体感が生まれ今迄に無い集会が続いています。

今の最悪の円安

2022年対岸の火事とは思えない出来事が世界中を駆け巡った。心と体が健康健全で無ければ国家は暴走する。これは企業や団体にも他人事ではない。
サプライチェーン(供給連鎖)も滞り、すべての商品が値上がりしている。何時終わるのか明日をも知れないウイルスとの戦いに私たちは踵を返しながらも挑むことが出来るのでしょうか？
時に130円を超える円安は食料だけでなく、電気・ガス・ガソリン等ライフラインにまで及び多くの方が辛い思いをしている。
それでも朝は必ず来る。きっと今日こそは良い一日だと信じて。
そのために心を強くしよう。
健康志向で行こう。
私はこう考える。



年間通じて毎月２日間行われる全員懇談会にて
健康セミナー　実施風景
講師は健康経営アドバイザー　テーマは７つの生活習慣

株式会社藤大(FUJIHARU)



代表取締役
藤田大子 氏

全ての人に思いやりを持って向き合い笑顔溢れる職場を目指します

- 代表取締役　藤田大子 氏
- 本社所在地　京都府亀岡市稗田野町太田竹ヶ花10-6
- 主な事業内容　電子部品の検査・組立
- 従業員数　82名(男性:18名・女性:64名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

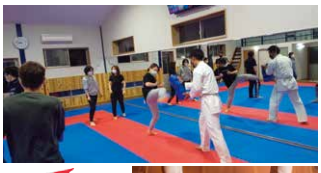
1993の創業以来、京都府亀岡市を拠点に「電子部品の検査・組立」などの技術で信頼の実績を積み重ねてきました。「ハイクオリティ」で「付加価値の高い」サービスと「確実な納期」で、常にお客様の信頼と満足を追求し続けています。それを持続可能とするために、「全従業員の物心両面の"幸福"を追求します」(経営理念)。

一番大切なもの、守るべきは「人財」

「人をすべてと考え、人を大切に」の経営理念に則り、お客様と従業員は、大切かつ守るべき「人財」そのものです。
健康経営は、知人経営者からの強いお勧めと健康経営アドバイザーをご紹介いただいたことで、導入することとなりました。健康経営は、従来からの思いであり、取組んできたことであり、経営理念を実現するためのひとつの手段であることを理解しました。
その直後には、従業員の急逝に直面し、仲間の大切さと健康の大切さをあらためて痛感しました。

従業員を守るための福利厚生と家族への手紙

大切な従業員を守るためには、予防だけではなく事後の対策も必要と痛感し、もしもの病気や事故の時に、よりよい治療が受けられ、経済的にも安心して治療に専念でき、会社を辞めることなく職場復帰を目指してもらえるようにと、生命保険を使った福利厚生を設けました。経営理念実現のための取組みである健康経営の思いを理解して頂くために、従業員の家族のみなさまへ手紙を出しました。
また、従業員の誕生日プレゼントには、感謝の気持ちを記したメッセージカードと花を贈ることを続けています。本人の意向で、送り先はご家族であったりします。





㊤社員が作り上げた
【京FUJIHARUカレー】

㊦会社帰りの空手道場で、ひと汗


㊧㊨「こどもミュージアムプロジェクト」に賛同し、こどもの絵をラッピング


株式会社 藤大
FUJIHARU

運動不足解消とストレス発散に「空手道場」

学習塾・武道・就業力を学ぶことができる文武両道の社会教育塾「Sky Punch」の地域メインサポーターを務めています。従業員の運動不足解消とストレス発散にと、費用を全額会社が負担し従業員がいつでも利用できるようにしています。従業員は女性が多いのですが、多くの女性従業員が積極的に武道(空手)に通うようになりました。仕事帰りにひと汗をかいて「蹴り」で気分爽快・ストレスも発散できると好評です。
また毎日の朝礼時には、3分程度のストレッチ体操を組み入れ全員で運動の習慣づくりに取組んでいます。

長く働けるようにと「カレーショップ」を作りました

「元気でいつまでも働ける場所を作りたい」との思いからカレーショップを作りました。精密機器の検査を行う仕事は、年齢による視力低下で長く続けるのは厳しく余儀なく退職となってしまいます。長く現場で頑張ってくれた社員に、いつまでも働ける場所を提供したい、多くが主婦であり調理を得意とする従業員に適した仕事とは、などを考えた結果が飲食店でありカレーショップとなりました。そして「カレー」も「店舗」もいちから1年以上かけて従業員で作り上げました。
【京FUJIHARUカレー】は、<食の健康>を考えた安心安全で体にやさしいカレーを目指し、素材には徹底的に拘り、地産地消で地域にもやさしいカレーに仕上げています。

「こどもミュージアムプロジェクト」同様に「やさしさ」を

「こどもミュージアムプロジェクト」に参画し、【京FUJIHARUカレー】のキッチンカーにこどもたちの絵をラッピングしています。社内に設置の飲料自動販売機にもこどもたちの絵をラッピングしました。
当プロジェクトの精神と同様に、当社は「やさしさ」で繋がりあえる「職場」を創造・提供し、「えがお」が溢れる会社を目指しています。
健康経営を紹介いただいたことに感謝をいたし、しっかりと取組んでまいります。そして当社からも他企業様に紹介し広めていきます。

山城繊維工業株式会社



代表取締役社長
久村　浩 氏

「循環型社会の形成」に全力を尽くします

- 代表取締役社長　久村　浩 氏
- 本 社 所 在 地　京都府京田辺市薪泥々50
- 主な事業内容　合成樹脂加工・販売
- 従　業　員　数　22名(男性:20名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

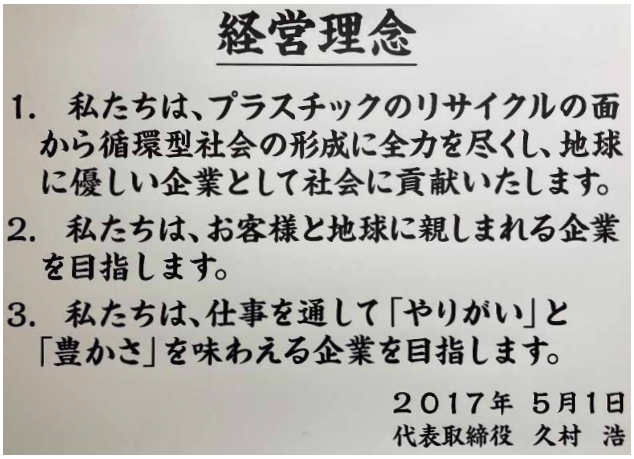
プラスチック製品を、製造する上で発生した廃プラスチックを、再び原料として、再利用する為の、リペレット加工をしております。「廃プラスチックを発生元で活かす」地球にやさしい循環型社会の形成に、全力を尽くし、プラスチックに携わる企業様のお役に立ちたいと考えております。

健康経営に取り組むきっかけ

当社の理念を遂行する為には、社員全員の健康が不可欠でありますが、会社として、社員の健康維持に対する取り組みが、明確化されておらず社員の健康意識も高くありませんでした。
社員が身心共に、健康で長く働ける環境をつくるためにも、健康経営に取り組む必要性を、強く感じました。

喫煙率低下に向けた取り組み

現在当社で、喫煙可能な場所は、第一工場の休憩室のみとなっております。その為に、喫煙する社員は、事務職でも、第一工場の休憩室まで来て、喫煙します。この休憩室は、以前は、第一工場で作業する非喫煙者の待機場所でありましたが、煙草の臭いや、喫煙者の副流煙の影響を考え、現在は、分離しております。更に、今期中には、より非喫煙者に害が出ない様に、屋内から離れた場所に、喫煙所を作る計画をしています。喫煙所までの距離を、遠くする事により、喫煙者の喫煙回数(本数)の低下が狙いであります。


経営理念

1. 私たちは、プラスチックのリサイクルの面から循環型社会の形成に全力を尽くし、地球に優しい企業として社会に貢献いたします。
2. 私たちは、お客様と地球に親しまれる企業を目指します。
3. 私たちは、仕事を通して「やりがい」と「豊かさ」を味わえる企業を目指します。

2017年 5月1日
代表取締役 久村 浩

感染症対策(コロナ対策)

新型コロナウイルス感染症対策として、弊社では、常時マスクの着用、手洗いうがいの徹底は勿論の事、社員の出社時や来客の方には、非接触型体温計にて検温しチェック表にて管理しております。37.5℃を超えた場合は、再度計測し37.5℃未満にならない場合は、出勤や来訪をお断りしております。
社員におきましては、朝の起床時の検温を徹底しており体温が高いと判断した場合は、速やかに会社に連絡し出勤を控える。
弊社は、新型コロナウイルス抗原検出キットを常備しているので、体の異常を感じた時は、出社せず会社に連絡し検出キットを用いて検査し陽性なら出社せずに会社の指示に従った行動をとるようにしております。

その他、具体的な取り組み

まず、健康事業所宣言をして宣言証にて、下記の四項目を宣言致しました。
①法令に従い、健診を100%受診します。
②健診結果が再検査・要治療だった社員には、医療機関の受診を促します。
③血圧計を設置し測定を行います。
④自動販売機の商品にトクホ飲料等を導入します。

＊①の健診については、毎年必ず、100%受診しておりましたが、②については、本人に通知こそしておりましたが、その後のフォローが不十分だったので、再検査受診に必ず行くように、後追いしています。

1138

大阪府
大阪FA支社

Voice Report 120th

イーパフォーマンス株式会社



代表取締役社長
安達圭三 氏

元気で明るく健康な従業員がお客様の満足度を高めると信じて

- 代表取締役社長　安達圭三 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市北区天神橋2-4-17 千代田第一ビル6F
- 主な事業内容　WEB制作・WEBマーケティング業
- 従 業 員 数　4名(男性:1名・女性:3名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**弊社は、webを通してお客様に売上向上ひいては業績向上の支援をさせていただく会社です。
だからこそ、お客様(多くは経営者様)との商談や様々な相談を受けた際にも、従業員一人ひとりが明るく元気に対応する事がとても大切になります。相手にも元気のお裾分けが出来るくらい、弊社の全ての従業員が健康であり、明るく元気に仕事に取り組むためにも、健康経営が大切だと考えています。**

健康経営に取り組むきっかけ

弊社は、webサイト制作や運用管理をさせていただいておりますが、2～3年程前から急激にwebサイトに「当社のSDGsについての取組をアピールするページを作って欲しい。」という依頼が増え始めました。17の目標を研究し、当社でもSDGsについて取り組むことを決め、優先して取り組むべきテーマとして掲げたのが、3番・8番に該当する健康経営というテーマでした。そして健康経営に取り組むことを社内外にも告知して行く為の手段として、「健康経営優良法人」の認定を受ける事を決意しました。

ハードワークと成長の狭間で大切な健康経営

私が大学を卒業後入社した会社は、とてもハードな会社でしたが、今の私があるのは前職で様々な経験を通して学び、そして育てて貰ったと思っていますし、今でも心から感謝しています。しかしその一方で、心身の疲労から体調を崩し、会社を辞めていった従業員が多かったのも事実です。現在でも、web制作を行う多くの会社は納期に迫られ、従業員に長時間労働を強いる事も少なく無いと聞きます。
私は今でも、若年期はハードな仕事環境に身を置いて、仕事に必要なスキルや心の豊かさを高めていく事は大切だと考えます。ただ、仕事と自身の成長のバランスを誤り、体調を崩したりするのは本末転倒です。だからこそ、会社として健康経営の宣言をし、会社として従業員一人ひとりの健康を考え、健康経営に取り組む事が大切だと考えました。



(左)健康経営優良法人2022認定証

(下)健康経営に取り組む従業員一同



健康経営は、自社の業績・売上向上にもつながる

少子高齢化が進む日本において、会社として従業員が長く健康で働ける環境を整えていく事はとても大切です。また、従業員一人ひとりの健康を見守る事も大切です。更には、弊社のようにお客様の業績・売り上げの向上支援を事業領域としている会社においては、取引き頂くお客様の目に映る自社の従業員の健康的で明るく元気な応対がとても大切な要素になります。お客様の立場になって考えれば容易にイメージ出来ると思いますが、元気がなく不健康そうな営業と元気溌剌で健康的な営業なら、どちらに仕事を依頼するかは明白です。そういう意味においても、健康経営はとても大切だと考えています。

健康経営の具体的な取り組みについて

健康経営の具体的な取り組みについて
弊社が実践している健康に関する取り組みは、以下になります。
・健康診断対象従業員100%受診(全額会社負担)
・従業員全員禁煙者 ・保健師相談制度 ・メンター相談制度
・残業事前申請制 ・インフルエンザ予防接種(接種希望者には費用全額会社負担) ・スクワットマシン等筋力増進器具の設置
・自社サイトや名刺等での健康経営優良法人のロゴの掲示

今後の展望

弊社の行動指針は、「自社および自分や仲間の成長とお客様の成長が出来るか否かと言う視点を忘れず行動する。結果として、高成長・高収益を続けながら、物心両面で豊かになる。」と謳っています。しかし、これは経済的な豊かさや心の豊かさを伝えているもの。これからは、健康である事も加えていけるように会社の理念そのものも再考する必要があると考えています。従業員が健康であることが自社の売上の向上に繋がると前述しました。今後は、冒頭で述べたように健康経営を推進するきっかけになったSDGsに関しても、現在の弊社の取り組みにとどまらず、持続可能な社会の実現に向けて、当社として出来る事を少しずつでも増やしていく事が、世の中に選ばれる会社になる為に必要な条件になって来ていると思います。この先もこの事を従業員全員で共有しながら、当社の事業を拡大していければと思います。

株式会社ロード



代表取締役社長
原田　優 氏

大切な従業員が、健康で長く働ける環境づくりのために

- 代表取締役社長　原田　優 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市旭区今市2-18-26
- 主な事業内容　訪問介護、介護事業運営コンサルティング
- 従　業　員　数　20名（男性：12名・女性：8名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「健康経営」「健康経営優良法人認定制度」の重要性について、非常に共感を持ちました。弊社の現状を分析し、健康経営に取り組む中で、弊社に必要なことを洗い出し、社内制度の充実を図り、一定の効果を生みました。健康経営優良法人認定制度に認定いただくこともでき、更なる従業員の生活を豊かにするとともに、社会貢献についても考え行動していきたいと考えています。

健康経営に取り組むきっかけ

設立当初から取引している健康経営支援業者様から、ある日情報提供があり、「健康経営優良法人認定制度」という制度のご案内を受けたことがきっかけです。「大切な従業員の採用・定着の重要性」「健康は生産性の向上につながる」という点等に共感し、取り組むことを決めました。

健康経営の在り方、取り組みの必要性を考え、現状の分析へ

健康経営優良法人認定制度の適合要件を満たすということは、「健康経営の第一歩」だと考え、健康経営支援担当者様と共に、まずは現在弊社が、適合要件のうちどれくらい適合しているかを確認しました。健康診断受診、感染症予防対策等、元々適合している項目もありましたが、適合できていなかった項目も多く、「企業・従業員のための健康経営」に向けこれから弊社ができる事はこんなにもあるのだと驚き、健康経営に更に前向きに取り組みたいと考えました。



健康経営の実践のため、まずは社内制度の充実へ

未適合だった項目の中に、「女性の健康保持」に関する項目がありました。弊社では女性の割合が約40%を占めるため、初めに女性に対する社内制度を見直す取り組みをしました。2021年度より、婦人科健診の受診に対し、就業時間認定とする事を決め制度化しました。当制度の利用者も現在では増え始めております。

２点目に、喫煙率の低下に取り組みました。弊社では今回の健康経営に取り組む前時点での喫煙率は25%でした。約４人に１人が喫煙をしているという現状であり、課題認識をしておりました。こちらに関しては、「引き続き従業員への呼びかけ」「禁煙外来の費用補助」の取り組みを行う事を決め費用補助は制度化をしました。2021年度末時点では、20%に低下しました。その他、まずは健康経営優良法人認定制度の認定項目に、適合するために、制度充実等に取り組みました。これらの取り組み結果については、毎年度末に振り返りをし、PDCAを繰り返していきたいと考えております。

健康経営を継続して取り組む事による未来の姿について

2022年度の健康経営優良法人認定制度に認定されました。弊社では、これを健康経営のスタートだと捉え、更なる健康経営に取り組んでいきたいと考えております。その先では、「従業員の採用・定着を実現」「雇用を生む」「従業員の生活を豊かにする」という事が可能だと考えております。

1140

大阪府
近畿FA支社

Voice Report 120th

株式会社熱研



代表取締役社長
岡田正義 氏

「全従業員を大切にする会社」を目指して！

- 代表取締役社長　岡田正義 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大東市永野3
- 主な事業内容　金属熱処理　【高周波熱処理】
- 従　業　員　数　18名(男性:14名・女性:4名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

４年前の社長就任以来、働くメンバーのメンタルや体調不良に悩み、何か良い解決方法が無いかと、健康経営セミナーに参加。その内容に衝撃を受け「これで、みんなが元気になれるのなら」と実践を決意。まずは自分達の心身の健康作りを意識する為に、従業員の中からリーダーと数名のメンバーで健康経営実践チーム作り、全従業員の健康と幸せを願いスタートしました。

健康を意識するきっかけづくり

【健康経営優良法人】の認定を取得する事が目標ではありますが、まずは健康になろう！を目的として、現在の問題点の洗い出しや、やるべき項目のリスト化に着手するなど、出来る事から始めました。
これまでも受動喫煙をなくそうと、工場内禁煙は実施していましたが、野外休憩場所では自由に喫煙してましたので、喫煙場所を明確に区切る喫煙スペースをDIYで作り、煙が広範囲に漂わないように更に工夫をしました。
また、健康診断は毎年実施していますが、今回より40歳以上の全員を対象に、生活習慣病予防に関わる検査項目を追加しました。健康診断後の「要再検査」「要精密検査」「要治療」の結果が出た社員に対しては、これまで対象者任せにしていましたが、会社として医療機関の受診を促す仕組みに変え、100%実施を目標としています。
そして、個人保険に加入していない従業員も居たので、福利厚生の更なる充実として入院等を保障する保険にも加入。同時に心身の健康等を電話で相談できる外部サービスも備え、従業員やその家族も利用できる仕組みを確立しました。



全従業員に分かるように「専用掲示板」を作成！



階段１段で「0.1キロカロリー」の消費！



従業員全員同じ「Tシャツ」で、健康のためのストレッチ講座開催！

身体を動かすきっかけで運動量UP！

日頃から健康を意識できる仕掛けづくりとして、社内の階段１段毎に「0.1キロカロリー消費」と表示をしました。効果を見える化することで「昇降運動でヒップアップ効果」「階段は日々の筋力アップマシン」「マイナス0.1キロカロリー」を意識するようになりました。
また、歩くきっかけづくりとして携帯アプリを使い、毎日の歩数を意識しています。１日目標:3,000歩を達成すると、次は5,000歩を達成しようと自然と意識も高まります。
また、各社で合計歩数を競い合う企業対抗イベントに参加した時には、社員みんなが一致団結し協力し合いながら、歩く楽しみを体験できた良い機会となりました。
さらには、全従業員で参加するオンライン健康セミナーを開催。
心身ともに、運動をする機会を増やしました。

さまざまな活動を通じて、従業員みんなが健康を意識して、積極的に継続できる仕組みが出来上がりました。

私たちの今後の展望

金属のジムトレーナー【NEKKEN】は、健康宣言で「金属を鍛え、自分の身体も鍛えてみんなで健康になろう！」を合言葉に１年目に健康経営優良法人を認定されました。
２年目はやってきた仕組みを継続しながら、これまで対応が出来ていなかった「ストレスチェック」の実施に挑戦し、従業員や役員、そしてその家族が健康であり、安心して働き続けられる会社となるため、今より魅力ある企業を目指し、上位ランクの「ブライト500」の認定へ向けて走り続けます。

社会保険労務士法人Voice



CEO代表
平川智一 氏

社会保険労務士法人として、働きやすさを追求！

- ■ＣＥＯ代表　平川智一 氏
- ■本社所在地　大阪府大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル5F
- ■主な事業内容　社会保険労務士
- ■従業員数　18名(男性:8名・女性:10名)
- ■加入健保名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

社会保険労務士法人として、日ごろから働く人々、経営者の方、社会の声を大切にしてきました。会社で働く従業員にも、今まで行ってきた取り組みを評価してもらっています。今後は、認定を目指す企業にもアドバイスをさせていただき1社でも多くサポートできればと思っています。

社労士法人だからこそ、自社で働く人を大切にしたいという思いで認定を取得

社名がVoiceですので、声ということを意識しています。風通しの良い社風になるように、健康経営の取り組みを行っております。
将来の状況の予測が困難な世の中になり、不測の事態に対応するためにも健康経営に取り組むことで対応が可能となり、さらには、健康経営優良法人認定取得をきっかけにほかの会社様の取り組みも参考に取り組みを強化していきたいと考えています。

健康診断のオプションを補助

一番身近な従業員の声を聴くことも大切にしています。以前は、法定内の検診だけでしたが、健康診断のがん検診などのオプションも会社の補助で付加できるようにしました。女性の多い職場でもあり、特に女性の健康に対する意識は高いので、それに応えられるようにしていきたいと考えています。

コミュニケーションツールを使い、有休取得の活性化

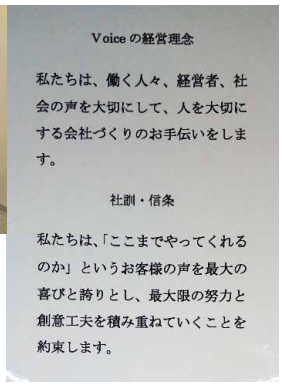
働き方改革の法整備がなされましたが、すぐにみんなが有休を気軽にとれる環境にありませんでした。そのため、社内でコミュニケーションツールを採用し、そのなかで有休取得のためのグループを作り、みんなが有休を取っていることを公表することで、有休の取得率が向上しました。
このコミュニケーションツールのおかげで、業務を複数人で担当した場合に、誰がいつ休むかがわかり、業務の引継ぎも容易で、業務の効率化がかなり進みました。

コロナ禍で、テレワークの環境整備

従業員ごとに生産性が高まる仕事のやり方があると考え、テレワークだけの従業員や、交代でテレワークを行う従業員がおり、生活環境に合わせた働き方を目指して、取り組みを行っています。
そのテレワークはコロナ禍に対応するだけでなく家族の育児や介護などが必要な従業員にも働きやすい取り組みになります。今後も工夫を重ねていきたいと考えています。



健康経営の取り組みについての会議の様子



Voiceの経営理念

人を大切にする会社作りを目指して

現在、有給休暇の取得率は会社としては比較的高いのですが個人によって取得率や取得日数にバラつきがあることから、これらを改善していき、今後は、さらに働きやすさを追求して、環境の変化にも対応し、社労士法人として、人の専門家として、多くの企業様に発信していきたいと思います。認定の取得が目的ではないが、継続して取得をすることで、モチベーションを維持していきたいと考えています。

1142

大阪府
近畿FA支社

Voice Report 120th

株式会社OSU Health Support Academy



代表取締役
大槻伸吾 氏

すべての人を元気にする

- 代表取締役　大槻伸吾 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区西心斎橋1-10-28 心斎橋Mビル2階
- 主な事業内容　健康サービス業
- 従業員数　5名(男性:3名・女性:2名)
- 加入健保名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「健康に力強く生活しようとする皆様のお手伝いをしたい」という熱い想いを持ったスタッフと一丸になり、子ども達や働く人達、そして高齢者の方々、皆様の笑顔のために私達は健康への道案内をさせていただきたいと思っています。

健康経営に取り組むきっかけ

弊社は『すべての人を元気にする』という言葉を基本理念に幅広い世代に対して様々な健康サービスを提供しております。全社員が健康運動指導士を取得しており、一人一人が非常に専門性が高い業務をこなしています。そのため、負担が大きく、ストレスを抱える新入社員もおり、それが原因で離職につながるケースもありました。
お客様を『元気』にするためには、従業員の心身が健康で元気であってこそだと思います。すべての人の健康をサポートするため、そのため、健康経営に本気で取り組みをスタートしました。
健康運動指導士…(公益財団法人健康・体力づくり事業財団認定資格。保健医療関係者と連携し安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う者)

具体的な取り組み例

2022年４月より健康を維持していることに対する手当を拡充し、BMI標準範囲内維持者に5000円。非喫煙者または医療機関等による禁煙プログラムを実施中の者に5000円の合計１万円を毎月支給することを開始。会社が本気で健康づくりを進めていることを広く周知しています。
(取組例)
・毎月体組成測定を行い、体重や体脂肪量、骨格筋量を計測
・ウォーキングイベントの開催(勤務中)
・食生活サポートとして管理栄養士によるセミナーおよび栄養バランス弁当選手権を開催(全額会社負担)
・女性の健康に関するセミナー実施
・ストレスチェックおよびメンタルヘルスセミナーの実施
・有志によるヨガ部(ストレッチング等)の設置



2022年3月14日健康セミナー実施
講師は健康経営担当岡﨑
テーマは『女性の健康について』



2022年１月にウォーキングを実施
社員全員で初詣を兼ねて野崎観音までウォーキング

コミュニケーションを大切にした組織体制づくり

社員間でのコミュニケーション不足を解消する為、各チームで週１回のミーティングを実施。またグループLineなどを用い、常に情報共有を図るようにしています。一人一人の進捗状況を報告し合うことでチーム全体の動向を把握し、社員間でサポート体制が取れるように努めています。月１回の全体ミーティングでは役員を含め全社員が顔を合わせる機会を作っています。
環境整備の一環として、コミュニケーションが取りやすいデスクの配置換えを行いました。
新入社員のサポートとして疑問点不安要素がない等の聞き取りを行うことで心のケアに努めています。さらに先輩社員は新入社員の育成状況を共有することでチームとしてサポートできるよう努めています。

今後の展望

人材は会社の一番の財産と考えています。今いる社員との出会いと関係性を大切にしていくことが会社の発展にもつながります。健康経営に取り組むことにより年齢や性別、役職に関係なく全員が対等に意見を言い合える環境に変わりつつあります。
今後も、その環境を生かし、様々な意見や考えを基に新しい取り組みへと挑戦していこうと考えています。社員みんなが生きがいとやりがいを継続して持ち続けられるよう健康経営として何が必要なのか、何をしていくべきなのかを考え、Oneチームとして構築していきたいと思っています。



健康経営担当者として
パワフルに事業を進める岡﨑氏

金剛ダイス工業株式会社



代表取締役社長
廣尾敬雄 氏

健康づくりがモノづくりの感性と未来への技術を磨く！

- 代表取締役社長　廣尾敬雄 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市平野区平野北2-11-16
- 主な事業内容　ダイス、圧造金型、耐摩耗治工具設計製造
- 従 業 員 数　24名（男性：22名・女性：2名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

自社の技術を継承していくには、社員全員が長く、安心して働き続けられる環境を整えることが大事だと考えています。そのためには健康を普段から意識することに加え、社員の個性を伸ばしあいながら、心身共に健康になる職場づくりを目指しています。

健康経営に取り組むきっかけ

「健康経営」を知ったのは経営者仲間の会社訪問です。ちょうどその頃、自社で取り組んでいた生産性向上・事故防止の様々な社内カイゼン活動の結果、業務災害無事故記録が1000日を超えました。そうだ！次は病気で休まない健康記録を目指そうと考えました。私たちの金型の肝になる作業は人の手仕上げ、手順は伝承できても技術はそう簡単に伝承できない、健康じゃなければ集中力も欠けてお客様が使いやすい金型・工具を作ることはできません。自分にとってもお客様にとっても、まず健康であることが大切という定義をしました。

社員目標にも変化が

健康経営に取り組む前から、毎年社員全員が年間目標を決め、それを工場事務所入口に掲載しています。目標として多いのはやはり健康に関することです。みんな健康を意識はしているものの、健康のために何をすると決めている人は意外と少ないと感じていました。そこで会社として『健康宣言』を行うことを決めました。「これどういうことですか？」という質問も多く、個別に説明するだけじゃなく朝礼でも健康ってどういう財産なのかを伝え、それぞれがまず自分で考えるようにしました。これをきっかけに今年の目標では具体的な行動を掲げた社員が一気に増えました。病気自慢よりも健康自慢、自分の得意なこと、特徴や習慣を正しく理解し、長く続けられる取り組みを決めてくれました。





『誕生月会』　誕生月の社員が食べたいものをリクエスト！
社長が評判のお店を探し調達してきます。

「健康」という名の資産形成

健康は誰もが手にすることができる資産と位置づけ、自分のものさしで評価することを始めました。でも健康診断では客観的な評価をされます。再検査項目があっても改善できることはたくさんあります。でもそれには少し時間がかかります。老後の資金と同じように今からできることを少しずつやっていこうというスタンスで始めました。運動を始めた社員、休肝日を増やした社員、家族との時間を増やすなど、何でもいいからできることをスタートしました。まずやってみる、走りながら考える、やったことないのだからやってみないと成功するかどうかわからない、そんな当たり前のことをみんなで再認識した瞬間でした。



社員の夢目標ボード

今後の展望

健康が大事ということは社員全員の共通認識ですが、方法は人それぞれ、共通解のないことに取り組んでいます。多様化が叫ばれる今の時代、１つの共通解を求めるよりもお互いの解を共有することの方が大事ではないかと考えています。それぞれが考える目標と行動、それを社員同士が共有し、自分と置き換えて考えてみること、他者理解がモノづくりの基本ではないかと感じるようになりました。健康という共通の目標を通してコミュニケーションの活性化が達成され、他者理解の機会がメンタルの不調を減らす、そういう好循環が起こることを期待しています。健康を考えることはいい社会づくりの第一歩と考え、これからもいい製品づくりと同じように自分たちの健康づくりにも力を入れていこうと考えております。

1144

大阪府
近畿第二FA支社

Voice Report 120th

あまゆり株式会社



代表取締役社長
辻　百合子 氏

社員の健康が、会社の発展とお客様の満足度に繋がる

- 代表取締役社長　辻　百合子 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府高槻市栄町4-15-1-203
- 主な事業内容　訪問鍼灸マッサージ業
- 従　業　員　数　3名(男性:3名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

自宅や施設などで生活する高齢者を対象に、医療保険適用の訪問鍼灸マッサージや機能訓練をしています。「寝たきりにしない、させない、つくらない」をモットーとし、地域に根ざした会社であります。住み慣れた自宅で家族とともに、少しでも長く過ごすことができるよう利用者の健康管理、ご家族とのコミュニケーションにつとめています。店舗においてはストレッチを組み合わせた鍼灸マッサージを施術しております。

健康経営を始めたきっかけ

利用者の健康管理が必要な仕事柄、社員にも自身の健康を見直してもらいたいと思っていたところ、アクサ生命の担当者より健康経営について話をいただきました。時代の流れもあり、健康について取り組む必要があると感じました。利用者の健康も大事ですが、社員自身が、心身ともに健康で働ける環境が必要であると実感しました。元気で健康的が利用者さんにとっても喜ばしいことだと思います。健康経営を取り入れることにより健康、笑顔で利用者さんに接する事ができると思い、取り組んでいくこととしました。

健康診断受診率100％

年に一度、健康診断を実施しています。結果が届いた際には、保健師による面談を実施しています。数値が悪い結果に関しては、保健師よりアドバイスをいただき、生活習慣、食事改善など見直しをしています。定期的に保健師に訪問していただき、直接アドバイスをいただくことで、具体的に取り組む内容が明確になるというメリットがあります。再検査では数値が標準の範囲内になったと喜ぶ社員もいます。個別に指導して頂けるので、社員も安心して保健師に相談できる環境作りにも配慮しました。
健康診断の内容だけではなく、ストレスチェックの実施も行いました。働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。





健康習慣アンケートで健康課題を把握

アクサ生命のサポートを受けながら、従業員の生活習慣を把握するために「健康習慣アンケート」を実施いたしました。アンケート結果のフィードバックと健康に関する情報提供を実施したことにより、健康データの把握だけではなく、日常的に社内で健康に関する話題が出るようになりました。ここ数年間実施したことにより、健康無関心層の意識改善には間違いなく繋がっており今後も高い意識を維持するために継続していきます。

感染症対策の取組み

【1】感染症対策の一環としてインフルエンザ予防接種費用を会社が負担、社員のマスクを支給、社員各自に携帯用消毒液の支給
【2】新型コロナワクチン接種の副反応時は会社認定の休日
【3】感染症予防対策のオンラインセミナーの受講
【4】施術者同士の接点を控えるため、直行及び直帰の推進
【5】忘年会、飲み会の中止、必要な飲み会は他のお客様と接点を持たないために、個室利用の徹底

今後の展望

健康経営優良法人を３年連続して受賞することができました。社内としてはセミナーの積極的な開催や環境改善などを図っていき、社外的には健康経営への取り組みを積極的に発信し(名刺に記載)、地域の活性化をはかっていきたいと思っています。
従業員一人一人が意識することにより、笑顔があふれる会社を目指していきます。

京阪建物株式会社



代表取締役社長
道本能久 氏

「こころまちつくろう」は、お客さまとの約束です

- 代表取締役社長　道本能久 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市中央区大手前1-7-31
- 主な事業内容　不動産賃貸業
- 従 業 員 数　67名(男性:41名・女性:26名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

京阪グループのスローガンである「こころまちつくろう」は、お客さまとの約束です。皆さまから心待ちにされる企業グループとなり、心が通い合うまちを作ること。この約束を胸に、私たちは歩んでいきます。
京阪建物は、不動産賃貸業として自社保有ビルや京阪保有不動産の運営・管理や不動産開発を行っています。施設ご利用の皆様が快適にお過ごしいただけるよう、安心・安全・清潔な空間と心のこもったサービスを提供します。

BIOSTYLEプロジェクトを機に、健康経営に取り組みたいと感じました。

京阪グループ各社では、SDGsの達成に貢献するべく京阪版SDGsとも言える「BIOSTYLE PROJECT」に取り組んでいます。もとより、生活習慣病検診や人間ドック、婦人科検診などの費用を会社が全額負担していることや、当社の業務である建物の賃貸管理と絡めながら、何が人と地球に優しい取り組みになるのかを模索し、働く環境を提供している立場として、まずは当社が健康経営を推進し健康経営優良法人を取得する事が求められていると感じ挑戦することにしました。

運動をする機会を提供する為にフィットネスジムと契約しました。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、従業員の日常の運動機会の減少や在宅勤務により勤務時間内の歩数が減っていると感じ、当社ビル内のフィットネスジムと、法人契約をしました。従業員は無料で利用でき、早朝から夜間まで営業しているので出退勤前後でも気軽に立ち寄り汗を流しています。まだ利用者は少ないのですが、今年は体力測定会なども取り入れ自身の現状の把握と意識づけ、そしてジム利用の促進により運動習慣の定着を図っていきます。

食生活の改善をサポートする【オフィスで野菜】を取り入れました。

健康診断の結果から食生活の改善も必要と感じました。しかし、従業員のプライベートの食事はどうしても各々のモチベーションに依存してしまいます。そこで、食生活面で何かサポートできないかと考え、オフィスにいながら手軽に健康的な食事ができるよう新鮮なサラダやフルーツ、無添加や国産食材にこだわった惣菜など、健康的な食事がとれる「オフィスで野菜」の設置を始めました。毎週１回の納品日には人気商品が売り切れるほど従業員も楽しみにしています。





写真左:オフィスで野菜
写真上:フリーアドレスのオフィス内部

コミュニケーションが社内の風通しを良くし、長く働ける環境に繋がる。

コロナ前は社員旅行や忘年会など社員同士の接する機会を設けておりました。旅行は参加率約90%と人気のイベントでした。近年は在宅勤務など直接顔を合わせる機会なども減ってきたので、社内外との繋がりを生み出せるよう思い切ってフリーアドレスの導入を決めました。２ヵ所に分散していたオフィスを集約しつつ全面改装を実施しオープンな間取りへ大胆に変更しました。導入前は戸惑いの声もあったのですが、今では他部署の人と話す機会も増え、以前より出社する事が楽しくなった等の声も聞こえてくる様になりました。

今後の目標

初めて認定を頂きましたが、まだまだ課題も多いです。当初の目標でもある「ブライト500」の認定を目指すには、今度こそ従業員全体で健康経営に取り組む必要性を感じました。今年は健康習慣アンケートなどを取り入れ、セミナーなどを通して従業員に取り組みが浸透する事を期待しています。当社も少しずつ平均年齢も上昇しています。これから入社してくれる若い世代も、いま会社を牽引してくれているベテラン世代にとっても、時代も変わり長く働いていく時代にもなるからこそ、常日頃から心身の健康に留意しシニアになってもパフォーマンスを維持できる様に会社としてサポートしたいと考えています。

1146

大阪府
大阪営業所

Voice Report 120th

株式会社ビーエムセンター



代表取締役
土田英雄 氏

社員とその家族の健康とハッピーを目指して

- 代表取締役　土田英雄 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区備後町
- 主な事業内容　オフィス空間に関するトータルコーディネートサービス
- 従業員数　45名(男性:31名・女性:14名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

2020年12月から始めたSDGsの取り組みの中に健康に関連する項目があることから、「みんなが健康に」という思いで、まずは社員と家族の健康を考える取り組みを始めることになりました。また、お取引先様が健康経営優良法人に6年連続で認定されていることもあり、役員会で話し合い「健康経営」への取り組みをスタートさせました。

社員のからだとこころの健康のために

まずは健康経営関連サービス会社を通じて産業医の先生を選定し、健康相談やハラスメントホットラインなど、社員が自身のからだ・こころの健康を専門家に相談しやすい環境を整えることから始めました。
また健康課題を見つけるために、自社でアンケートを作り社員の健康への意識調査を行いました。どういうことに関心を持っているか、健康診断結果で気になる箇所があるかなど、今までは見えなかった社員の関心ごとや課題を「見える化」できました。

再受診率100%を目指して

以前は定期健康診断後の再検査・二次検査などの受診については、本人の判断に任せていました。健康への意識が高い社員が多く、再受診が必要な方は少数ですが、社員ひとりひとりのからだの健康と向き合うために、本人宛にメールで再検査や二次検査の重要性を伝え、再受診の確認をしています。以前に比べて再受診率が増えてきていますので、100%を目指して、今後も受診推奨に力を入れていきたいと考えています。

オンラインで社員へ健康情報を発信

安全衛生委員会を毎月開催していて、Teamsの「健康経営チャンネル」で委員会の内容を社員に発信し、いつでも社員に閲覧してもらえるような取り組みをしています。産業医の先生による衛生講話も社員全員が参加することが難しく社員が自由な時間に視聴できるように、大阪府の健活セミナーなどのオンライン講習を有効に活用したいと考えています。



多目的会議室「庵(iori)」にて
協力会社様に対する
新型コロナ感染予防対策説明会



カフェ・ダイニング
スペイン産のタイルを空間のアクセントにした
リフレッシュ&コミュニケーションエリア

アンケートを活用し、健康課題を明確に

現在、今年度の健康に関する社員アンケートを実施中です。昨年と比較して何が改善されているのか、課題として抽出しないといけないものは何かを明確にし、取り組みにつなげていきたいと思います。
健康で働きがいのある環境づくりを目指して、一つ一つの課題解決に取り組んでいきます。

社員もその家族も会社もハッピーに

健康経営優良法人への申請は初挑戦でしたが、認定をいただくことができました。社員のみなさんに健康でいてほしい、そして会社も永続的に発展させたいという観点から、継続認定はもちろん、ブライト500も視野に入れたいと考えています。
社員とその家族の健康、そしてお客様やお取引先様のハッピーを目指して、これからも健康経営に取り組んでまいります！！

株式会社関西トランスポート



代表取締役社長
深田武彦 氏

従業員が自分自身を大事にできるように

- 代表取締役社長　深田武彦 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府堺市西区草部430-1
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　40名(男性:36名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

高齢化と人材不足の問題を解消するために『ホワイト認証』を取得し、「従業員には働きやすい環境で長くいてほしい」という思いで普段から様々な取り組みをしていました。健康診断でお世話になっている医療機関と協会けんぽより、堺市主催の健康経営セミナーの案内をいただくまでは『健康経営』という言葉を知りませんでした。しかしセミナーを受講してみると普段の取り組みの多くが『健康経営』に当てはまっていることを知り、本格的に健康経営をスタートさせました。

食生活は特に気を付けてほしい！

敷地内でプランターやペットボトルを利用して野菜作りをしていて、できた野菜でお味噌汁や豚汁を作り従業員に振る舞う予定です。またウォーターサーバーの横に栄養が摂れて体も温まるシジミのスープなども備えています。
新しい取り組みとして、従業員が自由に食べられる安くて美味しい社食として、無添加の食材で作られた冷凍食品を常備することにしました。今まではコンビニなどの弁当を食べている従業員もいましたが、多くの方が利用してくれると期待しています。新しく設けた休憩スペースには食生活に関するポスターなども掲示しているので、無添加の食事を摂りながら健康情報も提供できればと思っています。
またペットボトルや段ボールなどのリサイクル収益でトクホの飲み物や栄養補給できるゼリー、低カロリーのお菓子などを購入し、従業員へプレゼントしています。夏の暑い時や繁忙期など、疲れが出て体調を崩しやすい時期に、少しでも健康な食生活をしてもらえるようにと考えています。



従業員へのプレゼント



無添加食品設置型社食サービス



野菜作り





(上)マッサージチェア完備の
休憩スペース
(左)食生活に関するポスター

再受診しやすい環境づくり

定期健康診断後の二次検査等に関して、今までは個人の意思に任せていました。しかし普段職場で元気に見える従業員でも、健康診断の結果が悪い方もいます。早期発見・早期治療をしてほしいという思いから、再受診しやすい環境を整えることに注力しました。部署やチームリーダーにも協力してもらい就業時間や業務内容の調整を行うことで、昨年度は該当者のほとんどから再受診の報告を受けました。

コミュニケーションが増え、従業員が率先して健康づくりの企画を発案

健康経営の取り組みを通じて、今までよりも従業員とのコミュニケーションの時間が増えました。また従業員の中で「歩こう！」と促してくれる方や、ウォーキング大会を計画してくれる方も出てきました。チーム対抗でアプリや会社の万歩計で歩数を計測し、多く歩いたチームには景品を用意しようと検討しています。健康経営担当者だけではなく、従業員が率先して「みんなで健康になろう！」と取り組んでくれることは本当にうれしいことです。

ひとりひとりが自分自身を大事に思えるように

初めての認定ですが、認定をもらうための取り組みではなく、普段の取り組みの延長線上に認定がありました。ブライト500もいずれは視野に入れたいと考えていますが、本末転倒にならないように、まずはできることをしっかり取り組んでいきたいです。
まだ従業員の半数は「やらされている」感を持っているかもしれません。自分自身について考えていなかったり大事にできていなかったりするのではないかと感じています。健康経営の取り組みを通じて、従業員ひとりひとりが自分自身を大事に思うことができるきっかけになればと思っています。

1148

大阪府
大阪営業所

有限会社野口商事



代表取締役社長
野口賀蔵 氏

SDGsの取り組みをさらに加速させたい想い

■ 代表取締役社長　野口賀蔵 氏
■ 本 社 所 在 地　大阪府豊中市螢池中町
■ 主な事業内容　パチンコホール
■ 従　業　員　数　8名(男性:7名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

地域に根ざし、地域の皆さんから長く親しんでいただいているパチンコホールです。すでに自社で取り組んでいた【１つのパチンコ店のSDGsチャレンジ】キャンペーンは、豊中SDGsパートナーにも登録されています。さらに取り組みを加速するための次のステップとして、共に働く仲間にも、長く健康でいてほしいという想いから、健康経営に取り組むことを決めました。

すでにはじめていたSDGsの取り組みをさらに加速させるために

当社では、【１つのパチンコ店のSDGsチャレンジ】と題してのキャンペーンを企画し、SDGsの取り組みをスタートしました。お客様の遊技貸し玉をユニセフを通じて、また大きな震災・台風などの災害で被害にあわれた地域に寄付を行っています。お客様への寄付行為の背中を押すために、お客様の寄付金額と同額を当社から負担することにしております。これによって、お客様の善意が普段の寄付を２倍額になることから寄付金額を増やし、またキャンペーンをやることによって、助け合いの精神を忘れない事や、世界ニュースなどへの関心を持っていただき当社とお客様と共に社会問題の解決に少しでも取り組んでいます。
また、住み続けられるまちづくりをと考え、不定期ではありますが、地域のごみ拾いを行っております。地域で商売をしていることや、自分たちの生活を支えてくれているお客様の住んでいる地域を知ることから始めました。その後地域へのお祭りへの参加や、地域活動の応援などを考えるようになり、地域のイベント豊中まつりへの障がい者支援の物販を行ったり、蛍池ハロウィンバルなどの立ち上げに携わったり、地域の防災地図の作成を手伝い、配布の協力などを行っています。

SDGsと健康経営の親和性を知り従業員の健康にも取り組むことを決意

SDGsの取り組みを通じて、健康宣言、そして優良法人認定について知る機会があり、これは自社が取り組むべき課題だと感じ、まずは健康宣言の発信からスタートしました。
コロナ渦において、従業員・お客様への感染対策にも十分配慮してきたこともあり、優良法人認定項目を従業員と一緒に共有する仕組み作りからスタートしました。
もともと風通しのいい職場を目指し、経営層と従業員、従業員間のコミュニケーションの構築には積極的に取り組んでいましたので、従業員も積極的に参画してくれました。

今後の展望

今後も【１つのパチンコ店のSDGsチャレンジ】キャンペーンを通じての地域社会への貢献と併せて、従業員全員の健康にコミットした取り組みを継続し、地域のみなさんから長く愛される会社作りを目指します。







1149

大阪府
大阪営業所

渡辺泰株式会社



代表取締役社長
渡辺　優 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　渡辺　優 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西区千代崎2-1-40
- 主な事業内容　園芸関連資材、観賞用植物の製造・販売業
- 従　業　員　数　17名(男性:12名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

『面白く、楽しく』を経営の柱として、目的や目標もなくただ、生活を送るための【労働】から【朗働】すなわち(労働＝朗働)と考え、あくまでも主体性と自立性を持って従業員がそれぞれの夢の自己実現のために、明確な目標を掲げながら仕事にチャレンジをしています。健康経営は夢の実現のためには絶対に必要な経営方針です。会社と従業員が一丸となってこれからも取り組んでいきます。

健康診断の結果から協会けんぽの指導を受けて健康経営に取り組む必要を感じました。

2000年に健康診断の結果から特定保健指導受講の指示があり受けている過程で担当の保健士から健康経営の情報提供を受けこの施策は社員の健康のために是非取り入れたいと考えすぐに健康宣言を協会けんぽに提出をした。しかしその後すぐにコロナ禍になり従業員に周知ができなくなったために2021年から本格的に社員と共に健康経営に取り組みました。

特定保健指導の重要性を伝えるために健康経営に取り組む必要を感じました。

健康診断を受ける義務が従業員にありますが、もし、特定保健指導を受ける必要があるなら、特定保健指導の重要性、素晴らしさを従業員に伝えることが大切です。せっかく健診を受けて健康状態を把握しているのにメンテナンスを受けないなんてもったいないです。協会けんぽに依頼をすれば無料で受講できます。場所を会社内に設置すればプライバシーも守ることができます。当社では再検査を勧める案内を必ず送り再検査率のアップに努めています。
感染対策には特に力を入れて、インフルエンザワクチンは全社員に全額補助を実施しています。協会けんぽの指導を受けてできる対策はすべて実施していく方針です。



1年間の目標設定に向けて
部門ミーティングを実施



コロナ前の慰労会での
集合写真

メタボを減らす！心の健康に注力する！コミュニケーションを増やし活力アップ！

高齢になると血圧が高くなる。また、コレステロール値でBMIの改善が重要です。食事制限はしないが、バランスの取れた食事をする重要性を認識してもらうための食育の機会を増やし、メタボの社員を減らす努力をしていきます。炭水化物は朝、昼のみ、タンパク質はささみを摂るなど食生活リテラシーを通じて血圧、BMIの数値を意識させることが重要。
コロナ禍でコミュニケーションが取れなくなった社員のストレス状況を把握するためにストレスチェックを実施し、今後の課題を見極めコミュニケーションの活性化を図っていきたいと思います。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい。

これからの課題は社員から任命された健康リーダーが率先して次のテーマを考え組織づくりをして心のケアーに取り組んでいきます。社員の将来の目標の実現のためには、健康経営は欠かせません！ヘルスリテラシー向上のために様々な研修・セミナーを実施していきます。そのために各部署のリーダーが社員の意見を集約して情報見える化し、情報共有し社員全員の健康増進に会社として関わっていきます。その延長戦で社員のご家族にも波及することで会社全体で成長をしていきます。

60周年を迎えるにあたり、今後の展望。

当社は60年間で基盤となる事業は３事業。最初はワイヤー事業次にプラスチック加工の機械製作の事業、第三の事業が今の園芸になっています。園芸は癒しの部分が特に強い。緑を見ることによって目の疲れが取れることもある。花を見ることによって幸せ感やゆとり感ができます。日本人は部屋の中に緑をという習慣がないお花の切り花の消費量は外国に比べて日本はすくない。マンションの住人には庭がないので部屋の中にあればいい。昔より今のほうが需要は大きくなった。園芸の基盤を強固にして新しい事業を次世代の人たちが創っていけばいいのではないかと考えています。

1150

大阪府
大阪営業所

Voice Report 120th

有限会社Kauri



「100年後、多くの人に感謝を頂ける会社」を目指します！

■代表取締役　中谷　浩氏
■本社所在地　大阪府大阪市西区阿波座1-5-12
ACDC;02　2F
■主な事業内容　製造業
■従業員数　24名(男性:9名・女性:15名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

**より良いカットソー創りを通して100年後に多くの人に感謝していただける会社を目指しています。
事業を通して社会貢献をしていくことを考えています。そのためには社員全員の健康が重要です。
健康でなければ多くの人に感動を与えるカットソーは創れません。そのための努力を怠ることなく健康経営を通じて社会貢献を目指します。**

きっかけは助成金をもらうためでした。しかし、今は健康経営に取り組む必要を感じています。

経営コンサルティング会社より助成金を申請する施策の一つとして健康経営を紹介されました。取り組む中で、健康経営の重要性と取り組むべき課題が見えてきました。課題を改善していくことには妥協をせず努力を怠らず社員はもちろん会社が一丸となって取り組んでおります。しかし、まだまだ出来ていないことが多く、これからの改善計画を会社として社員を巻き込んで、真の健康経営を目指してまいります。

コロナ禍での取り組みで社員へのカウンセリング マッサージが心と体の癒しになりました。

コロナ禍で社員とのコミュニケーションが取れにくい中、プロのカウンセラーによる社員一人一人へのカウンセリングで心の癒しを会得した後プロのマッサージ師による体のマッサージで体を癒すことで社員全員が癒されたようです。これからは、社員の生活習慣の把握から健康状態の課題を見極められるアンケートを実施する予定です。





丹波篠山の自社裁断工場

社名の由来となった
「カウリの木」



SDGsが生み出す未来 顔の見えるモノづくり。

Kauriの目的は、単に高品質なカットソーを作り、自社を潤すことではありません。カットソー創りにおいて妥協することなく、お客様の求めるカットソー創りを追求することで、自社だけでなく、縫製業界全体をより魅力的な環境に整備していくことができれば、きっと100年後も高品質なモノづくりを行える業界を遺していけるのではないでしょうか。今だけではなく、未来を見据えたモノづくりを行っていきます。これからもSDGsが生み出す未来に向けて「顔の見えるモノづくり」にしっかりと取り組んでいきます。そのための健康経営です。

天に向かって伸び続けるカウリの木のように 会社も永遠に成長していきたい。

Kauri(カウリ)という社名は、ニュージーランド特有の大きな木の名前に由来します。カウリの木は、高さ50m以上、幹の直径で15m以上になるものもあるほど大きく、その樹齢は1000年を超すものが多いなど、まさに神秘の木です。当社の社名の由来は、このカウリの木と同じように、天に向かって成長し続けていく会社にしたいという想いからです。その想いに健康経営をプラスしてお客様第一の精神とおせっかい精神で社会貢献をしていきます。

大切な社員とその家族の健康とともに 会社も成長していきたい。

10年後の後世にも高品質なものづくりを遺していくには社員の健康は欠かせません。そして、大切な社員の家族の健康も不可欠です。その社員の健康と共に会社も成長を続けていきます。



株式会社山崎木工所



代表取締役
山崎年庸 氏

社員のためが、会社のために

■代表取締役　山崎年庸 氏
■本社所在地　大阪府大東市御領
■主な事業内容　木製家具製造
■従業員数　18名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は、1973年大東市氷野３丁目に主に応接椅子・ソファの製造会社として創業し、今年で創業50年を迎える会社です。これまで、お客様のニーズに応えるために、社員１人１人が日々、試行錯誤し、協力して、木工技術を高め、そして新たな開発を目指し、また、地域に貢献できる企業を目指してきました。

社員のためが、会社のために

健康経営については、耳にする機会はあったものの、何をどう取り組むのかもわからないままでしたが、担当していただいているアクサ生命の健康経営アドバイザーから、健康経営を取り組むことで会社にとって、社員にとって、どういった効果が期待できるのか、具体的にどう取り組めばいいのか、優良法人認定制度への応募方法など、詳しく教えていただける機会があり、これはぜひ社員と一緒に取り組むべきだと感じ、まずは協会けんぽを通じて健康宣言を行いました。

まずは健康課題を把握
全従業員へのアンケートを実施

健康経営アドバイザーから、取り組む前に、まずは社員の健康意識を把握してみてはとの提案を受け、健康習慣アンケートを提供いただき実施するところからスタートしました。
飲み物・食生活・運動・喫煙・こころの健康・睡眠・適正飲酒の７項目に関して、健康診断の結果では見えてこない社員の意識を知ることが出来、健康課題が明確になりました。
今後取り組むうえで、様々な健康課題が確認でき、まずは何からとりくむべきか優先順位も明確にすることが出来ました。



出来ることから・社員に知ってもらうことから

把握できた健康課題を管理職で共有し、まずは社員全体のヘルスリテラシーの向上を目指そうと計画をたてました。健康経営アドバイザーと連携し、毎月、健康経営ワンポイントアドバイスを社員へ配布しました。
若い社員も多く、日々の忙しい業務の中、欠かさず配付することで、少しずつですが社員の健康に関する意識が芽生えてきていると感じる様になってきました。

社員のコミュニケーションの場を

コロナ過で従業員間のコミュニケーションもなかなかとりにくい中、これまでも実施してきた近隣企業様も含めたバーベキュー大会などを通じて、従業員間のコミュニケーションの場をさらに充実させ、風通しのいい職場環境を構築したいと考えています。

健康経営も含め
SDGsの取り組みをさらに加速

木材を余すことなく、椅子を作ったときに出る端材を使って、生活に溶け込みやすい家具作りに取り組んでいます。今後も社員とともに、SDGsと健康経営の取り組みをさらに充実したものにさせていきたいと思います。

1152

大阪府
大阪営業所

日本コムシンク株式会社



代表取締役社長
山里真元 氏

「IT技術者集団として成長を続け」顧客・社会に貢献

- 代表取締役社長　山里真元 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西区江戸堀1-2-11
- 主な事業内容　ITコンサルティング等ITサービス関連業
- 従　業　員　数　210名(男性:151名・女性:59名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

企業経営では、社員の健康と業績には直接的関係が薄く、プライオリティが一段落ちるとお考えの方もおられるかも知れません。実は、社員の健康促進は、業績アップに直結しています。例えば、残業時間の低減活動は、限られた時間で成果を出そうと努力するため効率が上がり、業績が上がれば社員の給与も上がり、よりよいライフスタイルをもたらす好循環ができあがります。健康と経済を両立させた経営を今後も継続していきます。

社員一人一人の健康が生産性の源 その考えで自然に健康経営に取り組んでいました

IT業界は、社員の健康状況が即、生産性に直結します。その為当社では自然な流れで健康経営の取り組みを始めました。残業時間の削減活動は、10年前と比較して67%削減という結果を出しています。毎年、全社員に向けた健康教育も実施し、今年は『36協定順守の重要性』『有休取得の効果』『睡眠』などをテーマに取り上げました。社員の平均年齢が上がってきたので、生活習慣病の重症化を食い止めるために再検査の受診奨励や受診後報告までケアし、再受診率100%を目指して活動中です。

在宅勤務の増加で運動不足が課題 解決策としてバーチャルサイクリングを設置

在宅勤務の増加で、社員の運動不足が新たな課題になっています。外出する機会が減り活動量が不足することが、数年後の生活習慣病の要因になるのではと危惧し、運動不足解消の仕掛けを考えています。
2021年度には東京で『DXオフィス』と呼称されるオフィスをOPENしました。画期的な受託開発やコンサルティングを実践する場になっているのですが、そこではバランスボールに座りながらミーティングに参加して体幹創りに活用したり、マッサージチェアーを置いたりしています。また、バーチャルサイクリングも設置し、画面上でアバターが動く疑似サイクリングをしながら社員には健康増進を図ってもらっていますが、そうした様子を他社から見学に来られたりもしています。





バランスボール、ハンモック、バーチャルサイクリング
などが置かれたDXオフィス

15年前からメンタルリスクに取り組んでいます 復職率は75%超

システムエンジニアという職種の特性上、予想されるリスクを考えて仕事に取り組むため、どうしても思考がネガティブになりがちで、メンタル不調を起こすことが他業種に比較して多いのが実態です。そのため、復調後は元の職場に復帰してもらえる仕組みづくりに15年前から取り組んでいます。社内外に相談窓口を設置し、社員本人はもちろん、家族からも相談できるようにしています。復職者を受け入れるチームには、受け入れの態勢づくりや声がけの研修を行い、「メンタル不調があっても復帰できるのが当たり前」の組織づくりを目指した結果、現在の復職率は75%を超えています。

コミュニケーションを深めるための雰囲気づくり！ グリーンの壁紙で事務所を大自然の環境へ

コロナ禍で、社内パーティーやイベントが開催しにくくなりました。この状況を打破するために、オンライン参加できるイベントや、社内でサークル活動が行えるような環境創りに取り組んでいます。オフィスの壁にフェイクのグリーンを貼って大自然の公園にいるような雰囲気つくりをしたり、バーカウンターを設置して定時になれば社員が自然に集まるような仕掛けをし、コミュニケーションを深める環境を創っています。オンラインゲーム大会や甘いもの好きのスイーツの会などのサークル活動に参加することで、他部門との交流も図れています。

創業40周年に向けて社員の報酬を40%アップ 従業員数を200名から400名に増員する

2025年11月11日が創業40周年になります。その記念すべき未来へ向けて社長としてのビジョンを発表しました。社員数を今の200人から倍の400人に伸展させ、平均年齢を40歳以下に引き下げます。1番大事なこととして、社員の平均年収を40%アップすることを掲げました。計画初年度の昨年は、実績で平均８%の待遇アップを達成しました。2年目にあたる今年は、さらに８%アップさせる予定です。その為にも健康経営の推進で、採用や社員育成にも力を入れ、今後もますますIT技術者集団として成長を続け、顧客・社会に貢献していきます。

株式会社JRC



代表取締役社長
浜口　稔 氏

すべての人々に一番に選んでいただける企業として

- 代表取締役社長　浜口　稔 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西区阿波座2-1-1
  （大阪本町西第一ビルディング6F）
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　289名（男性：258名・女性：31名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

Visionは「世の中の『不』をなくす。」、Sloganは「発見を発展へ」と掲げ、時代が直面する課題を解決し、社会発展の基礎づくりに貢献するソリューションを創造しつづけます。お客様への質の高いサービスのご提供のためには、社員のモチベーションこそが重要と考え、その能力、意欲の向上が図れる体制を構築し、すべての社員が希望と活力を持って働くことができ、誇りに思えるJRCを目指してまいります。

「社員の健康」こそが会社の将来につながると考え、健康経営に取り組んでいます！

2018年当時は少子高齢化も含めて人材が採りにくくなってきていたこともあり、会社が今後も成長していくための方法を模索していました。そこで、組織全体として意識改革する必要性を感じ、働き方改革プロジェクトチームを立ち上げました。
チーム内で話し合う中、「社員の健康こそが会社の将来につながる」と考えた結果、健康経営に取り組むこととなりました。入社候補者にとって優良法人認定企業であることが企業選別のポイントになっていると感じています。

勤務時間の管理のためにRPA導入！働き過ぎを防ぐための情報共有に活用！

働き方改革プロジェクトでは、残業時間などのデータ集計作業や、会議の資料作成にかかる手作業などをすべて自動化するために「RPA」を導入しました。その結果、管理職や現場のリーダーは社員個々の働き過ぎ防止を意識しながら勤怠管理を簡単にできるようになり、残業時間も減り、社員も抵抗感なく働き方改革を進めることができました。ExcelとRPAを上手く絡めてシステム化すれば、任意の時点で自動でデータを集計でき、個々の通知メールも自動的に送ることができます。管理する側もされる側も便利になるので、RPAの導入は大変有用です。



ジュニアボード（若手意見交換会）で働きやすく、働きがいのある職場環境づくり！

若手を中心に従業員間のコミュニケーションを増やして職場環境をより良くしていこうという制度をつくり運用していきます。
20～30代の若手社員で部門を超えて意見交換する事によって、今まで話す機会が無い社員同士がそれぞれの立場で困っていることや、将来の会社についてしっかり話し、お互いが働きやすい会社を目指していきます。
また、健康のことを考えてたばこを止めたいが、禁煙できない社員がおります。禁煙を希望する社員に禁煙外来への受診勧奨をしたりして健康を意識する社員の後押しをしたいと考えています。

働いている社員一人一人が生き生き幸せに感じる会社を実現していきたい！

事業拡大やステークホルダーの多様化に伴い、企業理念の体系を誰にも分かりやすく整理・再構築しました。また、お客様に無い視点＝「発見」から、「不」をなくすソリューションを提案し、課題解決によって「発展」へとつなげていくという私たちの決意と理念を「発見を、発展へ」というスローガンに込めました。社員にはいろいろな課題解決に向けてチャレンジをして欲しい！その中で社員一人一人が生き生きとして幸せを感じる会社を実現していきます！



1154

大阪府
大阪営業所

Voice Report 120th

大和建工材株式会社



代表取締役社長
武田敏治 氏

ダイワを通じて社会のお役に立っている事に自信と誇りの持てる働き甲斐のある、建築金物メーカーを目指す

- 代表取締役社長　武田敏治 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県尼崎市田能6-12-31
- 主な事業内容　建築用金属製品　製造業
- 従 業 員 数　20名(男性:15名・女性:5名)
  ベトナム工場:12名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康経営は「環境整備」の一環と捉えています。社員と向き合い、絶え間なく変化できる会社を目指し、日々実践しています。以前から社員教育は熱心に取り組み、日本経営品質賞を２度受賞された方の教えを６年前から経営に取り入れています。また、現地見学会を通じて、他社の良いところも学んでいます。結果として、健康経営の土台づくりにも繋がっています。社長机も効率重視と健康重視で立ち机です。

若い社員は健康に対する意識が、どうしても低い傾向

毎年受診している定期健康診断ですが、検診結果シートをあまり見ていないなと以前から感じていました。また一方で、若くても腰痛があったり、姿勢が良くなかったり、と以前から気になっていました。

こだわりのラジオ体操 ～ 健康管理とは一生の仕事 ～

会社が社員の健康についてあれこれ言うのは会社の義務だと思っています。ラジオ体操には特別にこだわってきました。全身の筋肉に意識を持って行うとすごい運動です。しかし、若い社員は、「今から健康管理？」自分は病気やケガで動けなくなるとは思っていません。社員に対し、いつも伝えていることは、「日本全国の製造業がやっているから、やるのではない。」「仕事中に怪我や捻挫、腰を痛めないように。」「社員が定年まで仕事ができるように。」「そして、なにより、家族のために。」「１人が休むと他の社員も困るし会社も困る。」

体力測定会を実施 ～ 楽しく、コミュニケーションの活性化 ～

私も40代前半の頃、ぎっくり腰になり、整体の先生に診ていただいた折、「年齢の割にはすごい筋肉量で筋肉の質もよい」と言われた事がありました。筋肉の質や量は、体質も影響しますが、大学卒業まで運動で鍛えたことが主要因と思っています。体力面からの健康意識へのアプローチもあるのではと考えました。銀行主催の例会で体力測定を受けた事がきっかけで、社員にも受けさせたいと思いました。グループ毎に、ワイワイガヤガヤ受けて、良きコミュニケーションの場ともなっています。皆んな面白いと好評です。体力測定結果表には、それぞれ種目別の測定結果と社内順位が表記されます。50代後半の私自身が順位で勝っている項目もあり、実は嬉しいです。この体力測定会を弾みに、健康意識を更に高めてくれればと願っています。

朝礼時の社員手帳の唱和

経営方針、社員規程や健康と、大切な項目や興味を持ちそうな項目を選び読み合わせ唱和します。会社と社員のそれぞれの権利と義務、評価について等、私が説明し朝礼当番が所感を述べます。ベトナムの工場ともラインビデオで毎日つなぎ、連携しています。朝の大切な勉強の場です。ラジオ体操や体力測定会とは違う、意識面でのアプローチもしっかり日々行うことが大切だと考えています。

サンクスカード ～「ありがとう」の意識付け ～



褒められると素直にうれしいものです。入口から一番よく見えるところにサンクスカードの収納ボックスを設置し、「ありがとう」を受け取った枚数、送った枚数が、パソコン画面でリアル表示されています。そして、有給取得の翌日は、朝礼時に必ず言う言葉があります。「昨日の有給休暇、ありがとうございました。」当たり前と思わず、人に感謝することへの気づきの力を日々鍛えています。

現地見学会に参加

社員を定期的に他社のベンチマークに派遣しています。先日は、道路整備の土木会社を見学しました。現場事務所の備品の三定管理が徹底されていて、１年生社員でも手際よく仕事をして、定時退社しています。
私自身も工夫に気付く嗅覚を鍛えています。

健康経営を通じての社員への思い

世の中、ISO、SDGs、ウクライナ紛争、インフレ。若い社員の「それがどうなん？」という言葉が聞こえてきそうです。健康である事の意義や大切さは健康経営が始まる以前から伝えてきた事ですが、「健康大事やで」のお墨付きを得た感があります。「やっぱり、ラジオ体操は、真面目にした方がいいかな。」と、ほんの少しでも意識してくれると、社長としては嬉しく思います。

テックマート株式会社



代表取締役
大沼俊哉 氏

ITで人を幸せに…

- 代表取締役　大沼俊哉 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市淀川区西中島1-9-13 クレアシオン新大阪ビル502号
- 主な事業内容　ITサービス、ソフトウェア開発
- 従業員数　15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

お客さまと従業員と会社がWin-Win-Winになるテックマート流3方良しを目指す。Plus One のエンジニアになろう！

安心して永く働いていただくために健康を意識

当社が健康経営を意識したのは５年前からです。生涯現役のエンジニアになろう！ということを目標に、エンジニアとしてのスキルアップの機会の創出だけでなく、健康についても大切にしています。従業員の健康のために独自の生活習慣病予防検診のメニューを作成し、全従業員が受診出来るようにしました。引き続き従業員の健康のために会社として何が出来るかを考えていた時に健康経営優良法人の制度を聞きました。健康経営という言葉の響きが従業員の健康を大切にしている当社にピッタリだと思い、早速取り組みを進めました。

さらなるヘルスリテラシーの向上を目指して

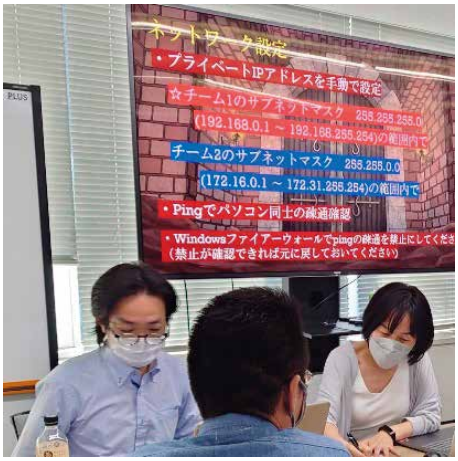
健康経営を進める上で難しい点は、健康に興味がない従業員に興味を持たせたり、行動させることです。誰しも健康が大事だということは分かっていると思います。しかし、どうしても趣味や仕事を優先して健康への意識がおろそかになりがちです。ですので、従業員一人一人の健康への重要性の認識を高めるために、ヘルスリテラシーの研修や勉強会などの取り組みも進めたいと考えています。従業員のヘルスリテラシーが高まり、その結果として健康行動ができるようになればいいなと思っています。

従業員の要望を取り入れた健康への取り組み

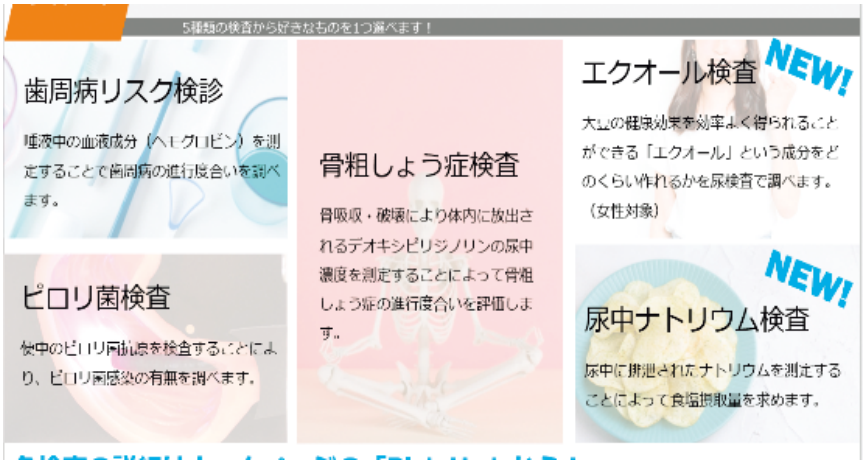
今後も生活習慣病予防の取り組みについて継続して注力していこうと考えています。検診のメニューも従業員の要望を取り入れて毎年改定し、受診率向上を目指して取り組んでいます。今年は昨年と比べて受診率が64%→75%まで上昇しました。今後も受診率向上を目指しますが、合わせて、検診の結果を受けて従業員が必要な治療を受けるまでのフォローも拡充していこうと考えています。
また、上記以外にもPCR検査の支援や会社に青汁を常備するなど従業員から受けた要望に対してフットワーク軽くいろいろ取り組んでいこうと思います。

テックマートの目指すところ

IT技術の会社ですから、お客さまに満足していただくために高い技術レベルのサービスを持続可能な形で提供し続けることが必要です。これを実現するためには、従業員のスキルアップへの投資だけでなく、従業員の健康にも最大限投資を行い、従業員の健康を通じてITサービスをより安定で持続的なものにすることが必要です。
この取り組みの結果として顧客満足度と従業員満足度の両方が向上し、その結果として会社が安定的に持続的に成長することを目指しています。



社内会議の様子



生活習慣病予防検診について勉強会を開きました。

1156

大阪府
大阪営業所

ラ・クォール本町クリニック



理事長・院長
瀧野敏子 氏

女性のQOL（生活の質）は美と健康にあります

- 理事長・院長　瀧野敏子 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区本町3-5-2・2階
- 主な事業内容　無床診療所
- 従業員数　女性8名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

「健康経営」＝「幸福経営」ととらえ、医療環境に置き換えると「すべての医療従事者が安心して働くことができる病院」という観点に立つと、患者さんが第一で患者さんに充実した医療サービスを提供するためには、医療に携わっているスタッフが満足して日々充実していることが重要だと思っています。「働きやすい病院」にするには、トップの理事長や院長の考えや思いが最も重要ですが、一番大事なのはスタッフに助け合い精神やお互いを気遣うような姿勢があるかどうかです。幸福な職場環境は人間関係が良好かどうかが大切だと思っています。

健康経営に取り組むきっかけ

大阪ガス産業医の岡田邦夫先生（大阪市立大学医学部の先輩）が、2006年にNPO法人・健康経営研究会を設立された頃から個人的に「健康経営」の理念には共感していました。
別組織のNPO法人イージェイネットの代表理事として医療従事者の就労環境改善活動をしていく中で、医療機関にも就労環境改善の基本として「健康経営」の概念を取り入れることが必要だと感じましたので、それなら自分の足元であるクリニックから始めようと思いました。
今後イージェイネットの「働きたい病院認証事業（愛称ホスピレート）」の認証評価項目にも、受審病院が「健康経営に配慮した取り組みをしているか」を取り入れる予定です。

患者さん向けのコロナ対策がスタッフ側の「健康経営」に役立つ

医療機関で常態化している長時間労働をいかに短縮して業績を向上させるか、という取り組みに苦労しました。
ちょうどコロナ禍に突入した時期でもあり、時差出勤を取り入れクリニックの終了時間を１時間繰り上げて就労時間が減った分、仕事の効率をあげて収益を確保するためにクリニックのDXを行いました。
幸か不幸かコロナ禍が追い風となり、患者さんの院内滞在時間の短縮だけでなく、タッチレスという患者さん向けコロナ対策がスタッフ側から考えても「健康経営」に役立つことがわかりました。
DXというと具体的には、従来なら電話だけだった診察予約をオンラインでも24時間行えるようにした結果、スタッフが受ける予約の電話が減ったことに加え、問診もオンラインにして来院前に入力を済ませています。
また、クレジットカード・QRコードなどキャッシュレス決済を推奨した結果感染防御に加えて、現金の受け渡しの手間やミス発生によるストレスを軽減できています。

テーマ
米国人の医者の
かかりかた



米国人講師による
レクチャー風景

これからの課題だと感じていること

正社員の2020年の有給休暇取得率は94％でした。
それをふまえた課題は、スタッフ一人ひとりの仕事の能力などによって同じ仕事量でも人によって時間外労働になる場合があり、その格差を組織としてどう改善できるのか、どうすれば仕事の生産性を向上していけるのか、時間外労働になるスタッフに対して業務プロセスの見直しを徹底していくことで、こころとからだに余裕ができ有給取得率が増えると思っています。

アピールしたい健康経営の取り組み

公認心理師とスタッフが直接やり取りできるように守秘義務契約を結び、ストレスチェックをしています。
研修や健康情報の提供は看護師が講師となって事務スタッフに、また院長が講師となってスタッフ全員にレクチャーをする情報提供を行ったり、院長が選んだ注目記事をスタッフ全員に回覧したりしています。
加えて、健康情報トピックスや治療薬についてスタッフ全員を対象にして製薬会社担当者から情報提供を受けています。
その他、母体がクリニックなので健康管理に必要な検査（血液・超音波胃カメラ・心電図など）が、希望すれば自己負担なしで受けられます。
メンタルヘルス不調者に対しては、カウセリングを受ける機会を設けたり、カウンセリング・マインドフルネスなどについて学ぶ機会を設けたり、適切な対応をしています。それから、栄養士が主催の栄養知識や献立作成などの勉強会を実施して、食生活改善に向けた取り組みもしています。

今後の展望

現在、おおむね19時には仕事を終えて退社できています。
2017年当時は、ほとんど毎日20時を過ぎていたので時代を感じます。
今後は、18時半には退社できるように診療・仕事の密度や効率などをあげたいと思います。
当院では、健康経営の実践によりスタッフのウェルビーイングの向上や「会社があなたをたいせつに思っている」という、スタッフ向けのメッセージを発信し続けることにもつながると考えています。
このメッセージは、スタッフのエンゲージメントを向上させる為だけではなく患者さんに寄添うというスタッフの心身の余裕を引き出すと思っています。
それは、患者さんに豊かな医療(診察・検査・注射など)を含めた健康管理を提供し続けるという、当院の使命を全うすることになります。

株式会社アジャイルウェア



代表取締役CEO
川端光義 氏

Feel Goodな明日をつくる

- 代表取締役CEO　川端光義 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市中央区谷町1-3-12 天満橋リーフビル8F
- 主な事業内容　クラウドサービス事業
- 従　業　員　数　45名(男性:25名・女性:20名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

顧客も社員も大事にする。
無理して会社を大きくしようとするのではなく、仕事の楽しさを追求しながら、自分たちのペースで成長し続けたいと思っています。

創業からの経営方針と健康経営との親和性

2012年の創業以来、【人を大切にする】という経営方針のもと、社員を家族のように思って接しています。社員・社員の家族も含め、幸せを感じながら仕事をしてもらえる職場にしていこうと考え、実践し続けています。1日で1番長い時間を過ごす職場の過ごし方は家庭にも影響すると思いますし、その人の人生の過ごし方まで左右してくると言っても過言ではありません。
健康経営を取り組もう！と始めたわけではありませんが、新規事業「KIWIGO」を立ち上げるタイミングで健康経営を知り、弊社の考えと合致する部分を感じました。経営方針だけでなくしっかりと社員の幸せに繋がっているかの評価として客観視した姿を見たいと思い優良法人認定を受けてみようとなりました。

リモートワーク下の社員の運動不足を解消せよ！

2020年4月から社員の健康も考えみて完全在宅勤務に切り替えましたが、それによりなんと私の体重が10kgも増加してしてしまいました…。これではダメだ、自身そして社員の運動不足解消のために何かできないか考え、発案したのが「目標消費カロリー達成で手当てを支給」というものです。手当ては月に4千円！
最初に消費カロリーを測ることのできるスマートバンドを社員に配布しました。1日100キロカロリーが目先の目標です。これはリモート環境下だと平均して50~60キロカロリーの消費ペースだったので無理のない意識で達成できる目標ラインを定めました。



福利厚生EXPO出展時の様子

取り組みを行っての社員の反応は…

会社の取り組みとして始めたものの、まずスマートバンドを装着してくれるのか不安でした。しかしふたを開けてみると、インセンティブ設定の効果もあったのか、95%の社員がこの取り組みに参加してくれました。月4千円の手当をもらった社員も実に7割！
その他にも全社ミーティングの場で表彰も行っています。
私自身も減量に成功し、会社みんなで意識して共通の目標に取り組めたのかなと思います。
「そこまでやってくれる会社なんだ」という嬉しい声も届きました。

新規事業『KIWIGO』で健康経営の輪を拡げる

運動不足を自社だけではなく社会の課題として捉え「KIWIGO」というサービスを作りました。
行動科学に基づき、運動が嫌い/苦手意識がある方も自然と楽しく習慣化できるように設計されています。
継続するためには「やる気」、「簡単さ」、「きっかけ」の3つの要素が必要です。まさに健康経営や日々の生活習慣にも関わってくるところですね。このアプリは自社の社員の試行錯誤をした知見を活かし、コミュニケーション不足解消までも含めた課題解決アプリとして設計をしました。
「KIWIGO」を働くすべての社員のみなさんに活用いただいて世の中を元気に明るくしていきたいと考えています。

Feel Goodな明日のために

弊社では今年中には週休2.5日制を、そしてゆくゆくは週休3日制を実現することを社員全員に公表し取り組んでいます。自社で実現した働き方の多様性、社員が幸せに働いてもらえる環境作りの事例を広く世の中に発信していくことにより「Feel Goodな明日」が社会全体に広がっていくことを目指しています。

1158

大阪府
大阪営業所

Voice Report 120th

株式会社キリン・エンジニアリング・サービス



代表取締役
磯村　忍 氏

『人材は会社の宝』当社のエンジニアを“人財”と称しております

- 代 表 取 締 役　磯村　忍 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市
- 主 な 事 業 内 容　廃棄物処理事業
- 従　業　員　数　217名(男性:199名・女性:18名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

従業員個人の自発的な健康活動に対する支援と組織的な健康増進活動の推進に力を注ぎ、全従業員が健康でイキイキと働き続けられる企業を目指し、お客様に安全と安心を与えることで信頼され、事業活動を通じ地球環境の維持に努めることで社会に貢献していきます。

使命感を持って働く社員に寄り添う

これまで、『従業員は仲間であり家族である』『会社に対する帰属意識を持ってもらいたい』という思いを伝えるため、管理統括者自らが全国35か所の現場を回り、ひざを突き合わせコミュニケーションを図り、事業所間のつながりを持つことで、決して一人ではないことを伝える活動をしてきました。
ここ数年のコロナ禍において、会社として何ができるのか、コロナだからこそできることを考え、リモートによるコミュニケーションの向上を図っています。
組織内における自社従業員が一人という環境で働くこともあるため、孤独感を感じない様フォローを行い、SNSツールなどを活用することにより、意見を交換できる場を作りました。

健康経営に取り組むきっかけ

参加した研修会のご縁から健康経営を知る機会がありました。健康経営に取り組む本髄が、企業の永続的な発展と従業員の幸せを同時に目指す未来への『投資』であるという内容が、当社が目指していることに非常に近いと感じ、また、すでに取り組まれている企業様からの勧めもあり、2018年に健康宣言を行いました。
2019年にはエキスパートアドバイザーの方にも助言をいただきながら、晴れて優良法人認定を取得することができました。取り組みを始め５年目となりました。今回４回目の認定取得となります。
初年度は申請書作成も手探り状態で苦労したのを覚えています。人のご縁からコンサルティングをして頂き、初めての認定取得は大変うれしく思いました。



スマホアプリを利用した
ウオーキングラリーの表彰式
2021年11月実施



毎朝 始業時のラジオ体操風景

取り組み始めて気付いたこと

健康経営の取り組みを行う中で、年を追うごとに健康こそが全ての基盤であるという事を感じる機会が増えてきました。私自身が病を患ったことにより、その思いをより強く感じました。
当社の人財である従業員一人一人の健康を守ること、健康であるからこそ誇りある仕事に向き合ってもらえる、更には健康であるからこそ従業員のご家族様を守ることにも繋がると考えます。
従業員とのコミュニケーションを通して健康に対する意識はもちろん、繋がりや想いも共有したいと考えます。

健康経営に取り組み始めたにもかかわらず把握できなかった従業員の大病

正社員への毎年の健康診断は欠かさず行っていましたが、パート従業員の大病を把握できずにいました。
大切な従業員が、働くことができない状態になってしまったことに、会社として改めて健康であることが一番幸せだということを、健康経営を通じて皆に伝えていくことが必要であると痛感しました。
パート従業員も含めた全従業員の健康診断受診100%を達成させ、二次健診の受診勧奨、産業医や保健師のバックアップなど、気付きを与えられる機会を増やし、病気を未然に防ぐ手立てを打っていくよう取り組んでいます。

これからの取り組み

生活習慣病に直結する喫煙に対する取り組みとして、禁煙補助薬の支給や禁煙に関する書籍の貸し出しなどを考えており、一方で非喫煙者にも健康ポイントを付与するなど、包括的な取り組みとしてとらえ、「健康でなければならない」ではなく、「健康であり続けたい」という自発的な健康意識を持ってもらいたいと考えています。
健康経営を通して、現場で社名を背負い使命感を持って働く従業員に寄り添い、安心して働ける環境を創り続けることで、「この会社に貢献したい、この会社で働けてよかった！」と思ってもらえる会社を目指します。

株式会社セブンスターバレット



代表取締役
森　勇人 氏

お客様の「ありがとう」の一言のために

- 代表取締役社長　森　勇人 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府茨木市春日2-2-1
- 主な事業内容　ソフトウェア開発
- 従　業　員　数　3名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

従業員の権利と健康を守り、自然体で働ける環境を提供することが経営者の務め。不安に捉われず、自分が発揮できる最高のパフォーマンスで仕事に臨んで欲しい。お客様にも、きっと伝わります。

ブラック企業というイメージを払拭したい！

弊社が健康経営の取り組みをスタートしたのは１年半程前からです。ソフトウェア開発、ITの分野の職種は以前からブラックなイメージが蔓延しているのが事実です。そのイメージを変えたいという強い想いがありました。健康経営優良法人認定制度の存在を知ったのは、その時です。ネーミングとしても周囲に分かりやすく、自身の意識改革にもなると感じました。
今後は人員も増やしていきたい、でも費用もそんなにかけられない、そんな悩みを解決してくれる取り組みだと感じてすぐに始めようと考えたことがきっかけです。

大切な従業員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

従業員が安心して働ける環境作りを進めるうえで、ご家族からのご理解・ご協力を得ることが不可欠です。弊社はベンチャー企業という背景もあり、まだまだ未熟なところも多く、労働環境に対するご心配や、リモートワークによるご家庭への負担・ストレスなど、「この会社で大丈夫なのか？」と思われる要素は少なくないと思います。しかし、それらの不安を払拭し、「この会社で良かった」と思って頂くために、改善に取り組み続け、従業員のご家族についても、従業員と同様に大切にしたいと考えております。従業員とそのご家族の心身の健康が、企業の健康と成長に繋がると考えているからです。

特に注力したテーマ

従業員が病気やケガ、何かしらの理由で休暇・休職を必要とした際に、どうしても気になるのが、キャリアへの影響です。私自身も、家庭の事情などから長期休暇を必要とする際、悩みました。
必要な時に休暇を取得し、キャリアを傷つけることなく復職できる。それは当然の権利です。現在、弊社に女性従業員は在籍していませんが、この考え方は女性の権利を守ることや、社会的活躍を推進することにも繋がっていくと考えています。
男女の壁や個性、家庭の事情など課題は様々ですが、それらに捉われてキャリアを諦めることのない環境作りに取り組みを続けていきたいと思います。



従業員の方々

自然体で働ける会社になるために…

弊社の経営理念でもある自然体で働ける会社。ここに拘って今後も引き続き健康経営を含めた企業として取り組みを強化していきたいと考えています。こうした活動が従業員のワークエンゲージメント向上に繋がっていくと、自身の仕事に誇りを持って働くことが出来るようになると思います。誇りを持って、自身の仕事が人の役に立つ、そして自分らしく働く、これこそ自然体で働けるということではないでしょうか。自分が作ったソフトウェアは良いものだ！と言える人であってほしいと従業員には思っています。そう言えるように私も全力で従業員のことをサポートしていくつもりです。みんなでお客様からの「ありがとう」の一言がもらえるように、これからも歩んでまいります。

1160

大阪府
大阪営業所

Voice Report 120th

小川工業株式会社



専務取締役
小川匡哉 氏

お客様の幸せが、自分達の幸せへとなるように。

- 専務取締役　小川匡哉 氏
- 本社所在地　大阪府茨木市下中条町13-20
- 主な事業内容　総合建設業
- 従業員数　16名(男性:13名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

小川工業は、建築、特に住まいを通して、お客様に安心と安全と快適さを提供していきたいと考えております。お客様の幸せが、自分達の幸せへとなるように。そしてその繋がりが強く大きな和となることを目指し、社員一同、時間を大切に日々一生懸命努力していく所存です。

100年企業に向けて健康経営という切り口から

弊社が健康経営の活動を始めたのは2021年の夏頃です。取引先の会社様が健康経営に取り組まれていたことを知り、そこで初めて健康経営を知りました。健康経営を知ってすぐに、これは良い取り組みだと感じました。弊社は2017年に設立50周年を迎えました。100年企業に向けた次の50年を歩んでいく上で必要不可欠だと感じ早速取り組みを始めることにしました。企業が続くためには従業員のみなさんが長く元気に働いてもらってこそです。健康であり続けるためのベンチマークとして健康経営の取り組みはすごく良いと思います。

ヘルスリテラシーをさらに向上させていきたい

健康経営の取り組みとしてはまだ１年程。まだまだこれからだと考えています。コミュニケーションの促進だけでなく、従業員のみなさんの健康を後押し出来るような健康情報を会社として発信していきたいと思っています。具体的には、文書での健康情報の習慣化やメンタルヘルスについてのセミナー等、様々な角度から取り組みを続けていきたいと思います。健康に対してのモチベーションも十人十色だと思います。少しでもそこのギャップを埋めていき、会社としても従業員として共通の目標に歩んでいけるようにしたいです。

コミュニケーションの促進に注力しています！

まず取り組みを強化しようと考えたのがコミュニケーションの促進です。
弊社は現場での仕事に出ている従業員の方や各種書類の作成等の営業サポートをしている従業員の方がいるので、互いに顔を合わせてコミュニケーションを図る時間が少ないという課題がありました。
部署間の繋がりを強くするために、そして日々の健康づくりの後押しをするために定期的にセミナーを開いています。
これまで「足の健康」、「水ついて」等の各種セミナーを行いました。専門の会社様をお招きしてみんなでワイワイと受講しています。



2021年9月16日セミナー
講師:株式会社日本トリム
テーマ:水と健康



2022年4月6日セミナー
講師:株式会社TALARIA
テーマ:足と健康

健康経営の発信企業となっていく…

今後は会社も従業員も健康でありながら100年企業へと目指していきたいと思います。
優良法人認定を取得していることがきっかけで一人でも多くの方に弊社のことを知ってもらいたいですし、一緒に働く仲間も増やしていきたいと考えています。いま現在もアットホームな会社だと思っていますが、より一層みんなが近い距離で頑張ることが出来る企業になっていけたらなと思います。
健康経営はすごく良い取り組みだと思うので、どんどん周りの会社様にも広げていきたいです。より多く取り組み企業が増えて、名刺交換したときに、お互いが優良法人認定のマークがあるだけで楽しい会話が生まれそうです。そんな未来のために健康経営、これからも楽しみながら進めていきます。

株式会社新栄ビルサービス



代表取締役社長
佐藤洋誓 氏

お客様の幸せが、自分達の幸せへとなるように。

- 代表取締役社長　佐藤洋誓 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市北条宮の町219
- 主な事業内容　ビルメンテナンス
- 従　業　員　数　877名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社ではビル・マンション・施設の中で、毎日人が住居し、人が働く場所に常に「安心」・「安全」・「快適」を提供していくことを第一と考えております。お客様のあらゆるニーズに対応できるようサービスの品質向上に努め、更なる飛躍を目指してまいりたいと存じます。

長く健康で勤められる会社を目指して

ビルメンテナンスの仕事は、ビルやマンションを中心とした建築物の管理を行うというものです。一口に管理といっても清掃・保守点検・警備など、さまざまな業務がありますが、それを行うのはやはり人、しかも経験がものをいうところが大きいのです。そこで従業員に長く健康で勤めてほしいという思いから従業員の健康増進に向け取り組みを始めました。そうすることで働きがいのある安全安心な職場環境を作り、業務品質の向上、質の高いサービスに繋がると考えたからです。

取り組みやすいところから始めよう！

「心身ともに健康で働きやすい職場環境を目指します」をスローガンに掲げ、次のことを実施しました。難しいことではなく、普段から感じていること、出来ることから取り組みました。

・働きやすい環境への取り組み
　完全週休二日制を導入し、心身をリフレッシュしやすい環境を整え、従業員が働きやすい職場を目指しています。
・感染症予防への取り組み
　インフルエンザワクチン接種費用を一部会社が負担し、接種する人数を増やしました。
　また、新型コロナ対策としてマスクの配付を実施しています。
・受動喫煙防止への取り組み
　社用車内を禁煙としました。車内禁煙は健康面のみならず、事故防止にもつながると考えます。
　社屋内は完全禁煙とし、出入口から離れた敷地の一角に喫煙スペースを設置しています。
・熱中症予防への取り組み
　夏場に着用する作業用のポロシャツを吸汗・速乾・涼感機能などを備えた高機能のものを導入しました。
　夏季に塩分、水分の補給を目的に塩飴、ドリンクを配付しています。





受動喫煙防止の取り組み

従業員の反応や効果は…

効果は数字で表せたり、ものさしで測れたりするものではありませんが、従業員の会話に取り組みについて話題にあがることも多くなりました。
またアクサ生命様の健康経営ワンポイントアドバイスも実践している姿を見かけます。
従業員の健康に関する意識の高まりを感じます。
始めたことは長く継続していきたいと思います。

さらなる健康増進にむけて

健康診断受診やストレスチェックの100％実施は通過点として、健康診断の再検査対象者やストレスチェックの高ストレス判定者への再検査受診であったり、医療機関へ相談をしやすいよう知恵を絞り、これからさらに健康経営の取り組みを推し進めていきます。



1162

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 120th

サンライズ鉄工株式会社



代表取締役社長
岡林一郎 氏

世に、人に、その想いが『力』に

- 代表取締役社長　岡林一郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市加納4-11-4
- 主な事業内容　荷役運搬設備製造
- 従　業　員　数　25名(男性:21名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

『企業は社会の公器である』という信念のもとに 仕事を通じて社会の多くの人々から受けた「ご恩」を返す場が会社であり 社員一同が力を合わせて社会に役立つ製品やサービスを提供してゆく

健康な企業は健康な社員によって創られる

健康経営をこれからの産業界全体の課題として意識することで「企業＝人」に繋がるという風に思います。
私の中での健康経営とは、経営者と従業員が「健康経営の精神」をよく理解した上で取り組み、その取り組みの持続が企業の永続的な成長へと繋がって行くのだと考えています。

社員への充実した福利厚生を目指して

社員の日頃の疲れを癒してくれる場を提供するため、全国のベイコートクラブの会員となり、エクシブ(有馬・白浜・京都等)の利用をしやすくし、その利用料の一部を補助しています。
他にも社員間コミュニケーションを深める目的で年末とお盆に「家族同伴焼肉パーティー」を実施しており、開催場所として工場内を提供しています。家族の方々もご一緒なのでかなりの大人数となりますが、大いに盛り上がります。
ハイキングや釣り大会、ゴルフ大会など社員同士が打ち解けられるような機会を作って来た甲斐もあってか、低い離職率を保つことが出来ています。
あとは、ここ２年実施できていない恒例の慰安旅行が復活できるレベルにまで早く回復してほしいものです。



中学生の職場見学会



留学生の職場体験

これから取り組んでいく課題

健康診断の本来の意味・意義を社員ともう一度しっかり共有し、指摘項目があった二次健診該当社員に対しては再検査の受診を徹底したいと考えています。
近年の医学レベルであれば、今まで治らないとされていた病気をも治せるようになったこと、それはつまり今まで以上に早期発見が大事になるという思いがあるからです。
朝礼時ラジオ体操は健康維持増進のため引き続いて継続させ、生活習慣となってしまっている喫煙についても、やめたいと望む社員には禁煙外来を紹介する等、いわゆる予防医学についても積極的に取り入れたいと考えています。

病気になっても帰ってこられる場所を目指す

今後は、やむなく病気になってしまい治療に専念することになった社員に対してのバックアップと復帰後のリスタート体制も整えてゆきたいと考えています。もちろん大切なことは病気にならないよう日々健康管理を意識し続けること。そのために色んな場面で健康について話し、善循環型取り組みを実践します。

これからの世代の方達との交流も大切に

日々の就労は単に「自分の時間を労働に費やし対価を得る」「食べるためにのみ働く」というだけではないと考えます。
私たちは、これからの世代の方々にも私たちの考え方を知っていただき、これからの世代の方々の考え方を知る、そんな世代を超えた交流を引き続き続けていきたいと思っています。
アクサ生命の担当者さんからの「優良法人認定にトライしましょう」の一言からスタートさせたこの健康経営を、今後は内容の充実を凝らし、飽きず継続させることを社員と一緒に考え続けます。

株式会社竹屋化学研究所



代表取締役社長
竹谷裕人 氏

「絆」を大切にする。経営理念に基づく取り組みは社員１人１人の志があってこそ実現される

- 代表取締役社長　竹谷裕人 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市長堂2-3-21 布施駅前ビル4階
- 主な事業内容　製造業(建築用ポリマーセメントモルタル)
- 従　業　員　数　32名(男性:21名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は明治41年、生薬及び漆器用レーキ顔料のメーカーとして誕生致しましたが現在では住宅基礎用のポリマーセメントモルタルを製造販売しております。「次世代を見据え、人々に必要とされるものを創造する」という志のもと、今後もこのポリマーセメントを中心にさまざまな用途に使用できる製品を研究開発して参ります。そして“夢あるものづくり”を通じて幸福と豊かさを社会へ届けられる組織の構築には、その中で働く「人財」が必要不可欠だと考えます。

仕事と心と体の健康の繋がりとはなにか？

弊社ではこれまでISO9001認証取得から始まりSDGsの取組みなど様々な観点から労働環境への整備を行って参りました。そんな中、以前から耳にしていた「健康経営」が掲げる“従業員の心と体の健康によって会社の生産性が上がる”といった考え方は今の社会背景において重要事項だと捉えておりました。生産・消費人口の減少の中で企業の付加価値を高めることは勿論ですが、その中でも従業員は会社における財産です。まずは我が社で働く従業員皆がワクワクと仕事へのやりがいを感じて欲しいと思っています。優良法人認定取得を目指す経緯の中で、2018年にそれまで一つの場所で仕事をしていた仲間が滋賀工場と東大阪の本社とにわかれることになりました。健康経営の取組みはコロナ禍によって薄れつつあったコミュニケーション向上の良いきっかけにもなると考えました。



コロナをきっかけに
新しく始めた社内報



ワンポイントアドバイスの掲示



階段利用推奨
ポスターの掲示

会社としてまず出来ることから

・会社負担でのインフルエンザ予防接種実施
・ストレスチェックの実施
・弁当代の補助
・食育講座の実施
・禁煙日の促進、分煙
・外部研修や定額制webセミナー活用による教育活動の実施などおこなっており、アクサ生命さんによる健康習慣アンケートとワンポイントアドバイスも活用しております。

健康に対する現状課題を把握し、出来ることを１つずつ実行する

月２回の階段利用の推奨に加え、デスクワーク中心の本社はもとより作業中心の製造工場では重労働によるケガの予防を兼ねた運動不足の解消としてラジオ体操を実行することにしました。新しい試みに始めこそ反発はありましたが、始業と共に継続することで頭の切り替えになると実感する者が増えました。また運動を楽しむ為に2021年に参加した「あるくとウォーク2021」では14日間のアプリによる歩数競争で優勝、今年はより大規模な５月度の大会に参加する予定です。

今後の展望

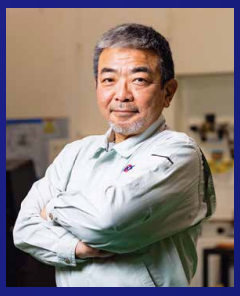
仕事と同じくらいプライベートも充実して幸せだと感じられる事は前向きで健全な思考へと繋がり、それがまた明日も仕事を頑張ろうといった意欲へと変わるはずです。健康経営を通じて少しでも気づきのきっかけになるよう取り組んでいきます。

1164

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 120th

近畿工業株式会社



代表取締役社長
田中聡一 氏

企業は人なり、人は和なり

- 代表取締役社長　田中聡一 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市本庄2-1-25
- 主な事業内容　機械同部品製造修理
- 従　業　員　数　19名(男性:15名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は一昨年創業70年を迎えました。永きに亘り、お客様よりご支持を頂けていることに感謝すると同時に、企業活動を支えてくれている社員への感謝を感じております。その社員が健康でいられることで、お客様への想いが深くなり、また新たな信頼を得られることになるのだと考えております。

まずは社員の健康課題を知ることから

以前から健康診断は全社員に受診してもらうなど、ある程度のレベルでは社員への健康維持に対する意識はあるものだと考えておりました。しかしながらアクサ生命様に健康経営をサポートいただく中、特に「健康習慣アンケート」を実施していただいたことで、社員の実質的な健康に対する意識や、健康を害する要因がどこにあるのかを推測できたことはとても大きかったです。
弊社では喫煙者と常習的な飲酒習慣を持つ社員が特に多い訳ではなかったのですが、就寝３時間前の食事摂取や朝食を抜く社員が複数名いることがわかったことなど、ピンポイントでの具体的な取り組みができるようになりました。

常に新しい取り組みを考える

受注環境の影響にもよりますが、取り組み前まではほぼ全員が年間250時間の時間外勤務を実施していました。
その中でも数名は350時間となってしまっていました。19時過ぎに勤務を終えて帰宅し、その後夕食を摂るとなると、当然就寝までの時間が短くなったり、睡眠時間が短くなってしまいます。
そこで決めたことはノー残業デーを取り入れ、できるだけ早く帰宅できる体制を整えることでした。また有給休暇取得推奨日を設け、個人ごとに時間外勤務や有給取得状況を管理することで早めに情報を渡すことが可能となり、今はなるべく正しい生活リズムで過ごしてもらえるように心がけています。



月に一度の社員研修会



朝はラジオ体操からスタート

ワークライフバランスで生産性向上を

ワークライフバランスの推奨を取り入れた結果もあり、昨年１年間では当日欠勤を申告する社員は殆どいなくなり年間では６件となりました。また、業務効率においてもコロナ前の状況と比較すれば20%ほど向上しています。
結果論かもしれませんが、健康状態の健全を維持するということが、ここまで数値として業績に対して好影響を与えることになるとは思ってもみませんでした。
もしかしたら勤務時間が短くなった分、社員に心の余裕ができたことでひとり一人の生産性効率が上がったのかもしれません。今後はその辺りも数値化し検証したいと考えています。

人材育成は企業育成

当社では、人材育成とは企業育成と捉え、毎月の研修会を通して「５つの人間力」を備えた人材育成を目指しています。(写真左)
当社が考える５つの人間力とは、
1.好奇心が旺盛でおもしろがられる
2.すぐに行動できる
3.結果が出るまでやりとおす
4.可能性思考で笑顔になれる
5.伝える力・理解する力・会話する力がある

今後の展望

企業としての基礎をなすのはやはり「人」。お客様と直接コミュニケーションをとらせていただく社員ひとり一人が、常にお客様や社会、そして地球への貢献を第一に考え行動できること、この当たり前を当たり前に考え、実践できる社員が集う「人間企業」を当社は目指しています。そのためにはやはり健康です。
これから成長する企業とは社員の健康を常に想い続ける企業であるのだと考えています。

株式会社SKB



代表取締役社長
伊藤博之 氏

全従業員が健康で明るく、そして楽しく居れる会社を目指し健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　伊藤博之 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市御厨1-5-3
- 主な事業内容　機能金物・建築金物の開発・設計・製造
- 従　業　員　数　95名(男性:61名・女性:34名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は創業以来50年以上にわたり、特殊な動作を可能にする機能カナモノの開発に携わってきました。もちまえの強みであるアイデア発想力を礎に、音の理学的研究や建築・施工の継続的研修などを通して、いままでにないイノベーティブな技術の確立をめざすとともに、建築家・デザイナーとの対話による商品開発にも力を注いでいます。また、商品の企画立案から意匠・設計・開発・流通にいたる工程を一元管理するマネジメント体制づくりを進めています。SKBのプロダクトは「美しくて使いやすい」。そう評価していただける「ゆたかなカナモノ」の創造により、くらしの快適に、社会の発展に貢献したいと願っています。

健康経営に取り組んだきっかけ！

会社にとって人は財産です。また会社の健康もすべて人によって成り立ちますので、会社として今まで以上に人の健康に取り組んでいくべきだと考えていました。そうした中、健康経営優良法人認定制度が設けられ認定基準に基づいてできることは何かと考え、従業員とともに取り組んでいきたいと思い実践していくことを決めました。弊社は、商品の開発・設計からモノづくりまで行っています。それを担う人が心身ともに健康でないと新しい発想やイマジネーションは生まれて来ません。また、すべての従業員が個性を活かし、その能力を最大限に発揮することが、企業の発展と社会への貢献につながると考えています。健康経営優良法人認定取得に向けて、2019年の1年間は準備期間とし、2020年に申請を致しました。

特にこころの健康が大事！

健康経営優良法人認定制度で掲げられている認定項目はすべて大切であり、これらすべてを実践することが重要であると考えています。その中でも、こころの健康(メンタルヘルス)は決して他人事ではありません。実際にメンタルヘルスケアを必要としている従業員もいます。そういった方と向かい合いながら、そしてそこから学ぶことが非常に大事であると思っています。なので、体裁だけではなく、取り組み内容に拘ることが重要であると思っています。
具体的に産業医や社内窓口など、相談できる環境を整え、ケアを行うなど、会社としてできることを考え取り組んでいます。



SKBの経営者・役員・従業員すべてが共有する「SKB CREDO」の冊子



サンクスカードを投函する若手社員による手作りBOX

コミュニケーションの質をアップ！

仕事をする上で、コミュニケーションは非常に大事だと捉え、コミュニケーションの質を上げることに注力しています。弊社では「SKB CREDO」というSKBの経営者・役員・従業員すべてが共有する「バイブル」を作成しています。会社の存在意義、経営姿勢、一人一人の行動規範、そして品質理念について掲げていますが、これらを実現していくにはコミュニケーションが重要になってきます。健康経営を取り組む以前から、会社としてイベントを開催することでコミュニケーションの促進を図り、また定期的に懇親会を行うことで従業員のみんなに敬意を払う場を設けていましたが、コロナ禍で一堂に会する機会が失くなってしまいました。そうした中、社内コミュニケーションの要として色々な部署の入社１年目から３年目までの従業員が集まる「おもてなしルーム」という小集団活動を実施しています。そこから発信した企画では１日１善活動やサンクスカードを社内のメンバーに渡すことでポイントが獲得でき、そのポイントを集めて健康グッズと交換できる取り組みを行っています。今の環境下で、このような取り組みを行ったことで、「仲間意識」や「コミュニケーションの質」の向上、さらには健康意識の向上にも繋がっていると感じています。また、新入社員には８か月の研修期間を設け、色々な部署の基礎の部分をしっかりと理解してもらいその後、各部署へ配置するようにしています。コミュニティのおかげでコミュニケーションはもちろんですが、仕事の悩みの相談先としても活用することができています。

今後の展望

全従業員が健康で明るく、そして楽しく居られることが一番です。従業員の皆さんが健康意識を高めることで、ご自身の幸せ、ひいてはご家族、一緒に働く仲間の幸せにも繋がっていくと思います。だからこそ、健康に対する意識を会社全体として何をしたら引き上げれるのかを考え、継続して取り組むことが大事だと考えています。そして、会社の永続的な発展に向けて、共に挑戦してくれる従業員を大切にし、さらに高い次元での健康経営に努めていきたいと思います。

1166

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

株式会社時風プレイス



代表取締役社長
小島　清 氏

日々進化する業種だからこそ従業員の健康を守ります

- 代表取締役社長　小島　清 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府泉佐野市長滝
- 主な事業内容　自動車部品付属品卸および一般整備
- 従　業　員　数　11名(男性:10名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2021・2022 3回認定

当社は、日々進化する、カーナビゲーションやカーセキュリティーなどの自動車電子機器に対応すべく、インストール作業で得た経験や情報・技術を蓄積して、新製品へのより早い対応や新製品の開発に繋げています。車の変化に合わせて技術や会社の体制も変えていく必要があります。そのうえで人財の確保と育成は最も重要であると考え、健康経営に取り組んでいます。

病気の予防を強く意識する理由があります。

日ごろからの病気の予防として、健康診断の受診率100％はまず当たり前です。店休日に全員で病院へ行くようにしているので、受診漏れすることはありません。オプションも希望があれば会社負担で受けてもらえます。さらに再検査が必要な従業員には、ひとりひとりに声をかけ、仕事を言い訳に病院に行かないということが絶対に無いように徹底しています。というのも、以前従業員の一人が重い病気にかかり、２年間休職するという経験をしました。従業員１人が占めるウェイトは、限られた人数で会社を運営するうえでとても大きく、何よりも大切な従業員が病気で苦しむということがとても辛かったです。幸いその従業員は、２年間の闘病を経て回復し、無事仕事復帰、今も元気に働いてくれていますが、この経験から予防の大切さを痛感しました。それからは従業員ひとりひとりとのコミュニケーションを今まで以上にしっかり取るように意識し、健康面での不安が少しでもあれば、たとえそれが歯医者であっても休暇を取って通院するよう促しています。
また当社では、新型コロナウイルスが流行する前から、インフルエンザワクチンの接種を全額会社負担するなど感染症対策は徹底しておりました。新型コロナが流行してからは、アルコールの設置や検温はもちろんのこと、電車通勤だった従業員を全員自家用車通勤に変えさせるなど、少しでも感染症のリスクから従業員を守れるよう努めております。



社長・副社長の還暦祝会



月に一度のゴルフコンペ

従業員のワークライフバランスを保ち エンゲイジメントの向上を目指しています。

就業時間とそれ以外の時間のメリハリをしっかりつけて、プライベートの時間を大切にしてほしいと考えています。副社長が、朝早めに出社して業務をおこない、終業時間からほぼ残らずに退社することで、従業員が残業せずに退社しやすい状況を作るようにしています。昼休みの休憩時間は電話も留守電に設定し仕事になってしまわないように工夫。以前は店が開いていると、シフト上休みでも出勤してくる従業員がいたので、現在は店休日を火曜日に設定し来ても仕事ができないような状態にしました。休むときは休む、仕事をするときは仕事をすることで、パフォーマンスも向上すると考えています。

コミュニケーションの活性化がメンタルヘルスケアに一役買っております。

新型コロナが流行する以前は毎年、年に２度の頻度で慰安旅行や日帰り旅行に行っていました。社長・副社長の還暦祝いに行った伊勢や犬鳴山の旅行も、みんなで楽しむことができました。
その他にも、月に一度は取引先も交えてゴルフに行って、社内の人間だけにとどまらない交流を楽しんでいます。新型コロナが流行して以降、メンタルに不調をきたす人が世間では増えたようですが、幸いにも当社ではメンタル不調者は１人も出ていません。旅行やゴルフでのコミュニケーションが、良好な人間関係の構築、延いてはメンタルヘルスケアにも一役買っているのではと考えております。

今の状態は最低ラインです。今以上を目指します。

今の状態が最低ラインだと考えております。2017年度から優良法人認定を受けていますし、今年度の認定で特別苦労したことはなく、逆に効果を大きく実感したということも少ないです。健康経営がどんどん広まってきている流れの中で、特定保健指導など、無料で受けられる様々なサービスが増えつつありますが、なかなか従業員に対して効果的に利用できていないのが現状です。今後は、従業員が気軽に取り組めるようなサービスの導入や、従業員の健康をより増進できるような福利厚生制度を充実させ、今以上に安心して、長く健康に働ける環境づくりをおこなっていきたいです。

株式会社共栄社



代表取締役社長
西山幸男 氏

「社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　西山幸男 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府高石市取石
- 主な事業内容　一般廃棄物収集運搬業
- 従　業　員　数　8名(男性:7名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

**当社では、一般廃棄物の収集運搬業務の許可を取得しています。不法投棄・環境問題が重視される中、法令を遵守し、適正かつ環境に配慮した収集運搬業務を行っています。
廃棄物の適正処理を通して、清潔で美しい安全な街づくりに貢献しています。**

アンケート結果に衝撃を受けて 健康経営に本気で取り組み始めました。

当社の業務は運転を必要とすることが多いため、交通事故などが起こらないように、従業員の精神状態の安定に気をくばりストレスがたまらないように努めていたつもりでした。ところが、２年前に健康習慣アンケートを実施した結果、ストレスや悩みがある従業員が７割もいる事が分かりました。この結果に衝撃を受けて健康経営に本気で取り組まなければいけないと思いました。
最初に横のつながりや縦のつながりを深めるために、レクリエーションを夏と冬に開催し、コミュニケーションの良化を図りました。従業員同士、また若手社員から社長にいたるまでの風通しのいい雰囲気づくりに力を入れました。すると、２年後のアンケート結果ではストレスや悩みのある従業員が０(ゼロ)となりました。今では、積極的に業務上のアイデアを提案する従業員が現れました。
業務を任せていける期待できる社員が育ち喜ばしい限りです。

具体的な取り組み内容

○健康診断受診の完全実施
○感染症対策の実施
○従業員の健康意識の向上を図るために、健康保持・増進に関する教育の実施
○ワークライフバランスの実現
(長時間労働対策、有給休暇取得促進、病気と仕事の両立支援)
○受動喫煙対策、禁煙対策





毎月恒例の
コミュニケーションタイム

大切な社員を気にかけて声をかけています。

健康経営の成功には、従業員のことを大切に思って、一人ひとりの健康について関心を持ち、気にかけて声をかけることが何よりも大切であると痛感しています。「食事に偏りがないか？」「お酒の量は多くないか？」「タバコは吸いすぎていないか？」など直接声をかけてきました。その結果、従業員自身が自分の健康について意識を持つようになりました。例えば、飲み物では炭酸飲料からお茶を飲むように変わってきました。また、従業員の顔色にも気づくことができ、病院へ検査に行くよう促し、病気の早期発見につなげることができました。一人ひとりが大切だからこそ、日々気にかけていくことが大事であるとつくづく実感しております。

今後の展望

今後も引き続き従業員の健康意識を高め、一人ひとりの幸福度を高めていきたいと思っています。また、持続可能な社会の実現のためには現代では環境問題に取り組むことが企業の社会的義務のひとつとして認識されておりますが、地球の負担を軽減するエコ・バランスの取れた環境づくりに邁進していく為にも、それを担う従業員の健康を意識した健康経営のレベルアップは欠かせません。
来年はブライト500の取得を目指していきます。



1168

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

株式会社三幸舎ランドリーセンター



執行役員　工場長
西　智也 氏

「自立」のための健康経営

- 代表取締役社長　大北健二 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府泉佐野市鶴原
- 主な事業内容　クリーニング業
- 従　業　員　数　94名(男性:52名・女性:42名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

当社は特例子会社として障がいのある方の雇用の促進、そして安定を図るために設立いたしました。一般的な企業と比べると、障がいや特性に対するサポート環境が整っており、障がいの程度に関係なく働くことが可能です。一人ひとりに合った働き方、自立に向けてサポートしており、さらにサポートを拡充していくべく日々、努力しております。仕事を通して従業員の人生が豊かになりますように取り組んでおります。

アピールしたい自社の取り組み (定期健診受診率100%)

健康経営を取り組むようになってから、従業員の健康診断の大切さを実感しました。受診もれのないように新入社員も含めた全員の健康診断受診期間を７月～８月と決めて一斉に受診を促し集中して取り組んでいます。また、当社は障がい者雇用にも力を入れており多数在籍していますが、そのものたちの受診に関して周りの従業員の理解を得る事に力を入れました。その結果、障がいのある従業員が健康診断を問題なく受けられるように、ほかの従業員が付き添ったり、介助をしたりして助け合いながら無事全員受診することができました。このようにして従業員の健康診断の受診についての意識は定着し、新たに入社した従業員も含めて健康診断の大切さを全員で理解して受診率100%を維持しております。

アピールしたい自社の取り組み (コミュニケーションの促進に向けた取り組み)

コミュニケーション促進の取り組みとして食事会、暑気払い、慰安旅行などを実施しました。慰安旅行について、「大阪本社」は沖縄・下呂温泉・白浜、「埼玉工場」は熱海・草津などを旅行し大いに盛り上がりました。しかしながら、ここしばらくはコロナの影響によりレクレーションが出来ておらず寂しいかぎりでした。先日、待望の緊急事態宣言が解け久しぶりにレクレーションを開催しコミュニケーションを深めることができました。これを機にコロナの状況次第ではありますが、かねてから計画していた大阪本社と埼玉工場を合同で全員が集まっての大親睦会を早期に実現させたいと思っております。





久々のレクレーション
(BBQ)

アピールしたい自社の取り組み (50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施)

当社は法律的にはストレスチェックの実施義務はありませんが、全員にストレスチェックを実施しております。障がいがあってチェック内容を読むことが困難な従業員にも、上司が読み上げて回答するなど一人ひとり寄り添いながら対応して全員完了する事ができました。ストレスチェックを実施する事で、どういう所にストレスを抱えているのか？が明確化されました。また、従業員自身も気付かないうちにストレスを抱えており、従業員自身ストレスの原因が分かった！と言う声が上がってました。

健康経営を実践して良かった！

特例子会社として設立された当社の役割は従業員に単に仕事を与えるだけではなく、従業員を『自立』させていくことを最終目標にしております。だから、従業員には仕事だけでなくプライベートも大切にして『自立』してほしいのです。この健康経営のワークライフバランス推進一つをとっても『自立』をめざす当社の考えと一致します。
このように健康経営を促進する事は従業員が一人ひとり自分の健康を考える機会ができる、すなわち『自分の事を大切に考える力』を養えると考えています。実際『自立』に健康経営の取り組みは非常に役に立っております。本当に「健康経営を実践してよかった」と思っております。



作業風景

株式会社和泉セレモニーセンター



代表取締役社長
辰村利幸 氏

仕事全般の改革につながる健康経営

- 代表取締役社長　辰村利幸 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府和泉市葛の葉町
- 主な事業内容　葬祭業(搬送業務・葬儀施行)等
- 従　業　員　数　26名(男性:9名・女性:17名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

私たちは故人様に、ご家族が感謝の気持ちを伝える葬儀をお手伝いしています。故人様がいたから私たちの今があり、今もまだ故人様の笑顔が心の中にあります。まごころと感謝をもって寄り添い、一人でも多くの方の「ありがとう」をつなげたい。そんな「ありがとう」のちからを信じて地域へ貢献し続ける事が私たちの役割であり、ご利用者様・地域の方々・そして共に働く地元の仲間達・人と人のつながりを大切にしてまいります。私たちは「地域の一員」として感謝しこれからも躍進していきたいと思います。

健康の意識は個人ごとに格差がありました。

当社が健康経営を取り組むことになったのは、従業員の主力が40代後半になり健康に気を使わなければならなくなったと経営サイドで感じたからです。本人たちの意識については従業員ごとに随分と差があると感じておりました。そんな折「健康経営優良認定法人」というものがあると聞き、従業員の意識を変える機会になればと思い挑戦することとしました。最初はすぐに100％改革するとは思っておりませんが、少しずつ前進していければという気持ちでした。
それから３年たち、今回で２回目の認定となりましたが以前に比べ従業員の意識はかなり広がっていると感じています。

社長自ら健康診断結果通知書を基に指示をおこなっています。

５年ほど前から当社は健康診断に力を入れております。まず、忘れないように「健康診断は毎年４～６月に受診する」と社内で決め周知徹底いたしました。年度が変わったら健康診断をすぐに実施するようにしています。病院への手続きも総務が一括してそれぞれ従業員の業務予定と照らし合わせながらもれのないように予約を行い受診率100％を維持しています。オプションの健診も任意で受診できるようにしています。また、健康診断結果通知書は本人宛に郵送されますが、必ず会社への提出を義務付けています。そして、社長自ら一人ひとり健診結果を確認し、再検査等の2次検査が必要な場合は個別にどんな業務よりも優先させて受診するようにアドバイスしています。その検査結果も社長が提出を受けていますので２次検査の実施もれもありません。



感染防止対策として
光触媒コーティングを実施



スワンデーを掲示

100％近い喫煙率の低下に取り組みました。

かつて当社は喫煙率が100％に近い状態でした。本人の健康状態もさることながら接客業務が多い中でタバコのにおいを嫌うお客様も多いので喫煙率を下げる取り組みを本格的に始めました。まずは、喫煙可能エリアを制限していきました。屋内の喫煙エリアを廃止し屋外喫煙エリアのみとして、社有車内も禁煙にしていきました。また、一般社団法人禁煙推進学術ネットワークで日本記念日協会に登録された毎月22日の禁煙デー「スワンスワン」を周知しました。さらに月に１日だけでなく「2」のつく日を加えるなど月２日、３日と増やしていき「スワンの日」とカレンダーに表示して呼びかけています。100％近い喫煙率は50％にまで減ってきました。

他にも様々な取り組みをしています。

健康に役立つ情報については誰もが日に一度は確認する業務連絡用ホワイトボードに掲載してヘルスリテラシーの向上に努めています。運動増進についても、すぐに取り組める施策としてエレベーターの利用を原則禁止としました。お客様を優先するというサービスの向上にもつながっております。また、感染症予防対策として光触媒抗菌コーティングを全館に実施しました。さらに社有車内にもコーティングしお客様から安心できるとお褒めいただいております。

「3つの環境整備」にて健康のみならず仕事全般の改革のきっかけとなっています。

当社では今「３つの環境整備運動」に取り組んでおります。まず、一つ目は「物の整備」です。毎朝の清掃活動をしています。探し物をする時間を削減することで働き方改革になり、共同作業によるコミュニケーションの活性化のために行っています。二つ目は「人の整備」です。尺度や感覚は人によって違います。それによって、聞く人ごとに回答が違うなど業務上の戸惑いも生じさせかねません。だからこそ感情で考えるのではなく、根柢の考え方を統一する必要があります。そこで週３回ミーティングを開いてコミュニケーションを活性化しています。最後の三つ目は「情報の整備」ですが、コロナ禍において特にコミュニケーションが基本となります。
健康経営の取り組みは健康だけでなく仕事全般への改革のきっかけとなっております。

1170

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

大日整工株式会社



代表取締役社長
梅﨑大佑 氏

新しい会社だからこそ健康経営を取り組みました

- 代表取締役社長　梅﨑大佑 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府和泉市小野田町
- 主な事業内容　自動車整備業・貨物運送業
- 従　業　員　数　25名(男性:23名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は、物流業界で利用されるトラックの点検・整備・修理をメイン業務として行っており、故障の原因追及まで徹底して行います。そのおかげで現在、年間2,000件を超えるご依頼を頂いており、高度な技術でのスピード感のある整備を届けております。また、運送事業も行っており定期便・スポット便・チャーター便など、お客様のご要望に合わせて様々な運送プランをご用意しております。

新しい会社だからこそ、健康経営に取り組む必要がありました。

当社は平成27年に設立された大変新しい会社です。自動車業界は3K(きつい/汚い/危険)のイメージが染みついており、率先して志願して働く人をあまり見かけません。そこで当社のような新しい会社で働き手を確保するのには従業員の健康に配慮した経営を行っていく必要があり、必然的に創立以来様々な取り組みを行っておりました。そんな折、とあるコンサルティング会社より「健康経営優良認定法人」というものがあり、当社の場合何か特別なことを新たに始めなくとも現状のままで認定取得できる可能性があると聞き挑戦することにしました。

身体をつかう仕事なので、身体のケアが何より重要と考えています。

整備の仕事は腰を痛めることが多く、当社の社長も若い時に腰を痛めた経験があったことと、コロナにより巷の整体師の方の仕事が減っていると聞いたことから人助けの意味も込めて、1週間に一度整体師の方を会社に招いて一人30分身体のケアを会社にて費用を全額負担して希望者全員に施術しています。また、身体のケアに健康診断は欠かせません。当社では、全従業員に健康診断を100%実施し35歳未満の従業員にも法定項目を超えて35歳以上の従業員と同じ健診項目を実施しています。ほかにも運転手には年2回健康診断。いずれも全額会社負担にて行っており病気の早期発見、生活習慣改善へのきっかけにつなげております。



整体師による施術



楽しい親睦会

熱中症対策に神経を使っています。

昨今当社で何よりも神経を使っているのが「熱中症」対策です。温暖化による夏の気温上昇は非常に危険なものがあります。そこで、当社では無料のウォーターサーバーの設置、冷蔵庫内にスポーツ飲料を冷やして備蓄しいつでも無料で提供、会社内の飲料自販機の飲料も100円にて提供、塩飴の無料提供等にて万全を期しています。また、これは夏場だけではありませんが休憩時間も一日合計90分間設けており、その取得方法も本人の判断でまとめてとってもいいし何回も小分けしてとることも可能としています。常に身体と相談し無理をさせないことを重視しています。

職場が楽しければつらいことも乗り越えられると思います。

仕事でつらいことがあっても職場の雰囲気が良ければ楽しく過ごすことができると思っており、管理職には特に「しんどい時ほど笑おう」「まずは自分が楽しまないといけない」ということを合言葉にしています。職場を明るくするために当社では様々な親睦会おこなっています。「バーベキュー大会」「新入社員歓迎会」「忘年会」は全額会社負担で実施しています。また、「ゴルフ」や「釣り」なども不定期に和気あいあいと楽しく行いコミュニケーションの強化につなげています。さらに今年は設立以来初めて社員旅行として全額会社負担による「伊勢1泊2日旅行」が決定しました。全員で非常に楽しみにして現在計画準備を行っております。

人を育てることでもっと休める会社にして幸せな人生を送ってもらいたいと願っています。

仕事を何のためにするかというと自分や家族の幸せな生活を実現するためにするものと考えています。夜遅くまで働いてくれることは会社にとってはありがたいのですが、家族と過ごす時間を犠牲にしたり休みが取れなくて自分のしたいことができなくなっていたらそれは本末転倒であると思います。よって今後「もっと休みが取れる会社にしたい」と思っています。それにはどんな人が休んでもその人の仕事をカバーできるよう、今いる『人材を育てたい』と考えて育成に力を入れています。人を育てると自分も楽できます(笑)。そして社員全員で明るく楽しい人生を過ごしたいというのが当社の目標です。

泉鋼管工事株式会社



代表取締役社長
泉　實氏

「地域のくらしを支え続けていく」ための健康経営

- 代表取締役社長　泉　實氏
- 本社所在地　大阪府泉佐野市下瓦屋3-1054-3
- 主な事業内容　管工事業　土木工事業
- 従業員数　190名(男性:159名・女性:31名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2021・2022 3回認定

当社は、クリーンエネルギー・天然ガスを提供する大阪ガスと共に歩んで約５０年。関西国際空港の対岸を拠点に、近畿一円のお客様に天然ガスの快適性、安全性を提供する住まいの総合エンジニアリング企業を目指しております。地域のトップランナーに相応しい、自信と自覚を持った活力ある若々しい会社づくりに取り組んでいます。

健康経営普及活動の権威から健康経営に取り組む必要性を教わりました。

当社の健康経営の取り組むきっかけとしましては、協力会社である大阪ガスでの講演会に参加したことによります。健康経営普及活動のパイオニア的な存在でもあるDaigasグループ健康開発センターの顧問の岡田邦夫先生による「健康経営」についてのお話をお聴きしました。この講演にて「健康経営」が如何に企業にとって大切なものであるかを知りました。当社では従来より従業員の健康について取り組みを数多く行っておりましたが、「健康経営」を意識した取り組みを本格的に行う必要性を感じ、早速全社員に対し社長が宣言を行い「健康経営優良法人認定」を目指すスタートを切りました。

女性に活躍してほしいからこそ、女性が働きやすい職場づくりを行っています。

管工事業は従来より男性が中心となっている職種が多い業界です。当社は女性にそういった職種においても活躍し潜在的な力を引き出していきたいと考え女性活躍への取り組みを行っております。
そのためには、女性が働きやすい環境を作らないといけません。
まず、社内に「女性健康促進プロジェクトチーム」を立ち上げ、女性専用の休憩室を作るなど女性の健康保持のための環境づくりを行っています。この取り組みが評価され、大阪府の女性活躍推進企業として2020年６月「男女いきいきプラス」認証事業者として登録を受けることができました。



会社周辺の道路清掃活動



大阪府の女性活躍推進企業
「男女いきいきプラス事業者」に

メンタルヘルス対策に力を入れています。

最近力を入れているのはメンタルヘルス対策です。ストレスチェックにより高ストレス者への面談については産業医を２年前から心療内科医に変えて、専門的な面談を実施できるようにしています。
ストレスチェック時だけでなく、２か月ごとに産業医と面談できる機会も設けました。また、ストレスチェク54項目以外にも上司や同僚、部下との人間関係や仕事に対する悩みなどの質問項目を加えて組織の課題分析も行っております。さらにメンタルサポートの会社と提携し、会社に知られたくないメンタル面での相談にいつでも応じられるように体制を整えました。
日頃のコミュニケーションの良化対策としては毎月、その月の星座生まれの人と社長を含めた役員にてランチミーティングを行っております。また、不安や悩みの多い傾向にある新入社員には別組織の人が面談する「メンター制度」も取り入れました。会社の周辺の道路清掃運動も約30年続けており地域社会への貢献とコミュニケーションづくりに役立てています。

様々な長時間労働対策が実を結びました。

長時間労働対策としましては、「ノー残業デー」の設定をしています。先月残業が多かった従業員、有給休暇を一日も取得できなかった従業員については管理職会議においてその理由と改善策を確認しています。月間時間外労働30時間を超えた社員については本人と管理職で業務内容の確認面談を実施する仕組みを作りました。さらに恒常的に残業の多い社員には理由書と改善報告書を社長決裁事項とし、けん制をしています。こういった取り組みにより以前あった月間60時間超時間外労働はなくなりました。

今後の取り組みについて。

当社の今後の取り組み最大の課題は喫煙率の低下です。喫煙率は45％と一般的な会社と比較しても高くなっています。当社では禁煙タイムを設けるなど対策をしていますが、喫煙所に工夫をして少しでも喫煙本数が減るようにしていきたいと思います。
従業員が今後伸びていくであろう定年まで健康で元気に活躍していくことを願ってさらなる取り組みを行っていきます。

1172

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

山陽製紙株式会社



代表取締役社長
原田六次郎 氏

「循環型社会に貢献する」ための健康経営

- 代表取締役社長　原田六次郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府泉南市男里6-4-25
- 主な事業内容　クレープ紙製造業
- 従　業　員　数　45名(男性:38名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

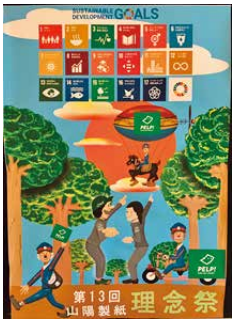
われわれは昭和３年３月に創業以来、紙と共に歩んできた再生紙のスペシャリスト集団です。地球温暖化が進む中で、サスティナブル社会形成への機運は一層高まってきました。環境のみならず、様々な社会的な課題に真摯に向き合い、自社の特徴を活かしながら解決のために挑戦する企業のお役に立ちたいと考えています。

人に重心を置いている会社だからこそ、健康経営に取り組む必要性がありました。

「健康経営優良認定法人」に挑戦することになったのは、特別なことを新たに始めなくとも、従来より当たり前にやっていたことで認定取得をできるのではと考えたからです。当社は何よりも人を大切にしてまいりした。当社において、かみづくりは特殊な技術も必要であって機械設備よりも職人の腕にかなり依存する仕事です。それゆえに品質に対する高い信頼もいただいております。「紙」は理屈でなく感覚で覚えていくしかありません。触って感じなければなりません。そんな人に重心を置く会社であるがゆえに人の健康にも重心を置く必要がありました。

健康診断は健康経営の取り組みの最重要アイテムです。

当社は50代と20代に人が集中しています。60歳の定年後も、希望する人は誰でも勤務延長できます。少子高齢化が進む中で会社も大きく変わらざるを得ません。そのためにも若い社員の育成と従業員の健康保持は重要です。年２回の健康診断も健康経営の重要なアイテムとなります。健康診断はオプション検査も含めて全額会社負担で実施しています。２次検査等の指摘者については、該当者の上司である部署長に、仕事が忙しくていけないということのないように最大限の配慮を行うよう指示しています。さらに、その結果も部署長からの報告を受け、実施洩れのないようにしています。



年に一度行う理念祭
従業員自作のポスター



男里川の清掃活動

コミュニケーションの活性化とワークエンゲイジメントの向上に

当社は『「紙創り」を通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること』を経営理念としています。この経営理念を基に様々な取り組みをしております。まずは委員会活動です。当社には「理念委員会」「脱炭素委員会」「創客委員会」など五つの委員会が設置されていて、従業員はいずれかの委員会に所属しています。月一回、それぞれの目標に対する進捗確認をしています。さらに、「循環型社会に貢献する」という理念を共有し、深めるための１日として、「理念祭」を開催。その年ごとに理念委員会がテーマを決め開催しています。従業員自らが作成したポスターを掲示し、モチベーションを高めます。各委員会の成果発表、改善提案、SDGsの取り組みの発表を行ったりと、意見交換の場として有意義な一日にしております。また、毎月第２日曜日に工場の横を流れる男里川の土手の清掃活動を地域のボランティアの方と一緒に行っています。これは15年ほど前、若手社員を中心に会社のホームページをつくろうということになり、イメージ写真を撮ろうとしたところ、川の土手にたくさんのゴミが放置されているのに気がつきました。そこで自分たちの大切にしている男里川の掃除を自主的に始めたのがきっかけで、途中からは地域ボランティアの皆さんと合流しました。このような活動を通じて、コミュニケーションの活性化ならびにワークエンゲイジメントの向上に取り組んでおります。

真の健康経営を目指します。

「紙づくり」という性質上、作業環境は決していいものではありません。作業上冷気を入れることができないため、夏場の作業場内は室温が40℃を超えることが多々あります。希望者に「ファン付の作業服」を支給したり、ウォーターサーバーを設置したりして対応しています。今後も環境面での対応をもっと工夫していきたいと思っています。また、健康を守ることが最優先である意識を従業員に浸透させていきたいと思います。例えば夏場など気温が上昇し、身体的に危険な状況になってしまった場合、就業規則にとらわれず、現場の状況に応じて適宜休憩をはさむなどの臨機応変な対応をする判断力の育成です。各個人が自己の健康を第一にとらえることで、可能な限り高いパフォーマンスを維持することが、真の健康経営といえるのではないでしょうか。

泉谷電気工事株式会社



代表取締役社長
泉谷仁博 氏

従業員の健康を守ります

- 代表取締役社長　泉谷仁博 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西区北堀江1-1-21
- 主な事業内容　電気工事業
- 従　業　員　数　28名(男性:23名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

当社は昭和51年から大阪泉州地域を基盤に電気工事の専門技術者として創業し建設業界と共に泉州地域の発展に努力してまいりました。これからの建設業としては品質基準や環境についても考えていく必要があり弊社では、ISO9001認証取得や環境分野にも積極的に取り組んで行き、これからの時代に対応する電気工事専門技術業者として日々努力しております。

健康への意識が高い従業員をサポートしたい。

健康経営という言葉はかなり以前から知っておりましたが、具体的な取り組み方法など調べようと思いつつも後回しにしていました。3年前にアクサ生命の担当者から健康経営の話を聞き、担当者の勧めもあって従業員の生活習慣アンケートを実施いたしました。アンケートの結果、従業員自身の健康に対する意識が高いことが判明しました。煙草についても、喫煙者のうち6名が6か月以内に喫煙をやめたいと回答していました。そこで会社としてもこの従業員の想いを支援をするため、健康経営に本格的に取り組み、今年で2回目の優良認定を受けることができました。

「熱中症」「感染症対策」「ヘルスリテラシー」に具体的な取り組みをしています。

現場作業の従業員にとって何よりも怖いのは「熱中症」です。そこで当社では現場作業の従業員全員に経口補水パウダーや瞬間冷却剤、体温計が入った「熱中症対策キット」をウェストポーチに入れて持たせております。また、湿度や温度が危険レベルに達すると警告音で知らせてくれる機械も全員に配布しています。
次に、「新型コロナウイルスの感染症対策」としてはマスクの配布、消毒液の設置に加え、緊急事態宣言時には電車通勤者の時差出勤、社有車の通勤使用許可、テレワークの推進を行っております。
「ヘルスリテラシーの向上取り組み」としては、社内イントラに開設した健康経営の取り組みページに健康情報を毎月定期的に掲示して意識の向上に努めております。



熱中症対策キット



泉大津市の港湾美化啓発運動
に参加しています

ワークライフバランスの支援をしています。

ワークライフバランスの取り組みについては、毎週水曜日を「すいすいデー」と称して早帰りデーに設定、プレミアムフライデーとともに社内イントラに入れて喚起しております。有給休暇の取得促進として1時間単位の「時間有給休暇制度」を導入しました。また、「有給休暇取得奨励日」を設定をして、文章にて周知、社内カレンダーにも明示したところ、取得しやすくなったと大変好評です。

若手社員も活発にコミュニケーションをとれる風通しの良い職場の実現を目指しています。

メンタルヘルスの対策としてコミュニケーションの良化に取り組んでおります。職業柄、現場に直接行って仕事をする社員もいますので、従業員同士が顔を合わさないことも多いのです。そこで、月に一回全員集い全体朝礼を開催し業務の方針等と併せて健康状態の確認をしています。また、3密を避けて屋外で行うバーベキュー大会を開催し親睦を深めています。そして、当社では現場、営業担当にかかわらず30歳以下、もしくは入社5年以下の従業員で、「若手委員会」を設置しています。これは、社内会議でも発言しにくい若手社員に発言の場、意見吸収の場として設置しました。期待以上に活発な活動をしており、現在の会社のユニホームのデザインは若手委員会から提言され採用したものです。さらに、若手委員会メンバーによって自主的に毎年5月末にある泉大津市の港湾美化啓発運動へ参加してくれています。積極的に地域社会への貢献を行っており、ワークエンゲイジメントを高めております。

今後も従業員の健康を守ります。

今後の取り組みとしてはメンタル面のサポートをもっと行いたいと考えています。電気工事業という仕事柄、現場の作業員には仕事に追われる、納期のプレッシャー、他社の人間との仕事の調整、現場が定期的に変わるなど精神的な負担が大きいため、心の健康に力を入れていきます。また、当社の若い社員は将来有望なものばかりですが、若いがゆえに生活リズムや食生活が乱れたり睡眠不足になったりしがちです。何年もかけてせっかく仕事を覚えても健康状態によりリタイアすることになったら、本人だけでなく会社にとっても残念ですので、今後も従業員の健康を守っていきます。

1174

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

株式会社田島運輸／ひかり物流株式会社



(株)田島運輸社長 ひかり物流(株)社長
三佐川恵美子 氏　戸川一秋 氏

高齢になっても働いた方が健康になれる場

- 代表取締役社長　三佐川恵美子 氏/戸川一秋 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府羽曳野市郡戸/堺市美原区さつき野東
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　2社合計52名(男性:43名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

運送事業は、生活になくてはならない重要な事業のうちの一つです。世界規模のパンデミックが発生しようと、大地震が起きようとも物資をお客様へ届けるという重要な責務を全うする必要があります。こうした重大な責務を抱えながらの業務は従業員にとって多大なプレッシャーを与えることになることもまた事実です。我々は従業員に健康的で充実した生活を送ることができるように知恵を絞っていきたいと思います。

ライフラインを支える重要な社会的な役割があるからこそ、健康経営に取り組む必要性を感じました。

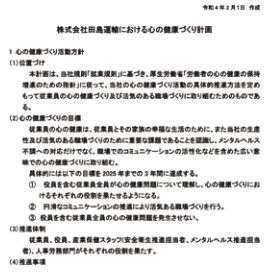
我々２社のグループでは従業員の高齢化が進んでおりましたが、物流業界はライフラインを支える重要な社会的な役割があるので高齢になっても十分に戦力となってもらえるよう従業員の健康に気を配っておりました。そんな折、金融機関の方と名刺の交換をした際に名刺に健康経営優良認定のマークがあり、興味をもって調べたところ、健康についての取り組みが公に認められること、対外的なイメージアップにつながる、特に採用面でのプラス効果、そして地域によっては銀行からの融資において金利負担が少なくなるなどの特典があることがわかり社内の体制を整えて挑戦することにしました。

女性は女性として活躍できる環境を整えました。

当グループでは積極的に女性ドライバーの採用を行っています。多くの女性スタッフがドライバーとしても活躍しています。㈱田島運輸の社長が女性ということもあり、女性目線から女性が働きやすい環境づくりを行っています。まずは女性専用のトイレの設置から始まり更衣室、女性用の休憩室の整備をしました。また託児所２か所と提携し子育ての支援体制も作りました。健康診断においてもマンモグラフィー検査などの女性対象オプション検査を会社全額負担で実施しています。さらに、コロナ禍においてお子さんの学校で学級閉鎖などがあった場合は給料全額保障した上での特別休暇を取得してもらっています。ドライバーは男性中心の世界ですが女性ドライバーを男性なみに扱うのではなく女性は女性として扱っています。



2021年5月26日
メンタルヘルスセミナー実施
講師は地域産業センターから



株式会社田島運輸における心の健康づくり計画

1 心の健康づくり活動方針
(1)位置づけ
本計画は、当社規則「就業規則」に基づき、厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、当社の心の健康づくり活動の具体的推進方法を定めもって従業員の心の健康づくり及び活気のある職場づくりに取り組むためのものである。
(2)心の健康づくりの目標
従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また当社の生産性及び活気のある職場づくりのために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場でのコミュニケーションの活性化などを含めた広い意味での心の健康づくりに取り組む。
具体的には以下の目標を 2025 年までの３年間に達成する。
① 従業員を含む従業員全員がこの健康問題について理解し、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たせるようになる。
② 円滑なコミュニケーションの推進により活気ある職場づくりを行う。
③ 従業員を含む従業員全員の心の健康問題を発生させない。
(3)推進体制
従業員、役員、産業保健スタッフ(安全衛生推進担当者、メンタルヘルス推進担当者)、人事労務部門がそれぞれの役割を果たす。
(4)推進事項

2022年4月1日
心の健康づくり計画策定

物流運送の最大の悩みに取り組んでおります。

物流業界にとって何よりの重要な課題はワークライフバランスの取り組みです。特にドライバーは荷待ち時間などの拘束時間が長く、長時間労働になりがちです。そんな中、働き方改革関連法によって、2024年4月1日から「自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制」が適用され時間外労働が大きく規制されます。当グループではひかり物流㈱の戸川社長が現役の社会保険労務士であるので専門的知識と経験に基づく具体的なノウハウを駆使してこの問題の改善に取り組んでおります。まず、電子の出退勤システムを導入し、分単位での勤務時間管理を徹底しました。一定基準時間が近くなるとアラーム機能、拘束時間の管理も備えています。これによりシフト調整が可能となり時間外労働が激減しました。また働き方改革法などを戸川社長から労務担当者に判例を交えながら解説しわかりやすく理解させているので、ワークライフバランスの取り組みは随分すすんで参りました。

コミュニケーションは大切にしていきます。

コミュニケーション良化策として、クラブ活動を行っています。現在「ゴルフ部」「釣り部」がクラブ活動をしています。また、会社に焼肉店を出張させてバーベキュー大会の開催も行い懇親を深めています。またチームごとのミーティングも毎月開催しております。

高齢になっても、働いた方が健康になれる場を提供していきたい。

ドライバーにとって最もリスクがあると感じているのはメンタルヘルスです。一人でいることが多く、同じ姿勢のままで過ごすこともあってストレスがたまり、メンタル面での不調につながらないか心配しています。そこで「心の健康づくり計画」を立てメンタルヘルスセミナーを開催するなどの取り組みを行っています。今後もさらにストレスチェック等を実施し万全を期したいと思っております。そして我々の大きな目標は男女問わず高齢になってもいきいきと生涯働ける、生きがいを与える場にできる環境を作りたいと思います。他社で定年退職された人でも意欲のある人に第二の働ける場、働いた方が健康になれる場として提供していける会社を目指します。

株式会社内藤工機



代表取締役社長
西保悟志 氏

「人あっての会社」「人が財産」「人を守ることが一番」

- 代表取締役社長　西保悟志 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府岸和田市岸之浦町
- 主な事業内容　上下水道、化学プラント配管工事等
- 従　業　員　数　27名(男性:23名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社では、各種配管プレハブ品、製缶品を製作し、それらの製作品類の取付はもちろん、各種プラント配管工事、大型機器、反応釜、精密機器等の搬入、据付作業、上下水道・化学プラントなどの一式工事を、施工管理から検査までお客様のご要望に合わせて幅広く対応しています。長年積み上げた知識力と新しい技術や工法を融合させ、「正確に、早く、美しく」を信条とし日々邁進しております。

新しい会社だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

当社は平成12年に創業し、平成16年から設立された比較的新しい会社です。この業界の仕事は一人前になるのに5-6年かかり、熟練工と呼ばれるのには10-15年かかるといわれています。このように人の技術力にウェイトを置かざるを得ない状況ですから、当初から「人あっての会社」「人が財産」「人を守ることが一番」というスタンスをとり続けて従業員の健康に対する取り組みも行っておりました。おかげ様で創業当初からのメンバーは健康に大きな支障を受けず現在主力メンバーとなって活躍しております。このたび保険会社から「健康経営優良法人認定制度」があると聞きまさしく我々が目指すべきものであると認識しこれに挑戦することとしました。

健康診断結果を上手く活用しています。

健康診断はうまく活用できると健康経営の最良のツールになります。まず100%実施できるように病院と業務の日程を調整して洩れのないようにしています。また、管理職以上のものには人間ドック検査を全額会社負担で実施しております。人間ドック検査は近いうちに対象者を40歳以上の社員に広げる予定です。また、健康診断の結果は業者に依頼してデータ化して従業員にフィードバックしています。特に健康診断結果に基づいて算出される「健康年齢」は最も多く関心を集めており、実年齢との差があるとかなり衝撃を受けるようです。実は30代の従業員層が実年齢との差が多い状況でした。健康に関心の薄い若手従業員にいかにして健康を意識させるか今後の当社課題です。



ゴルフネットを設置しました





熱中症対策の
空調服(上)
ウォーターサーバー(下)

運動増進とコミュニケーションの活性化の両方狙ってます。

運動機会の増進への取り組みとして社内でゴルフをしています。コロナ禍で忘年会等の懇親行事ができないので、コミュニケーションの活性化も兼ねゴルフコンペ(表彰式なし)を行っております。休憩時間に利用できるようにゴルフネットを設置しました。これが実に好評で休憩時間の都度利用されています。
また、働き方改革の取り組みとしまして、管理表を使った有給休暇の取得促進を行っており、年間休日も95日まで引きあげました。年間120日、完全週休2日制に早く移行したいと考えています。

感染症予防や熱中症にも取り組みをしています。

感染症予防対策としましては、インフルエンザ予防接種の費用を全額会社負担にして奨励しております。コロナのワクチンも商工会議所の職域接種を希望者分予約申し込みをしています。
他、毎朝検温の実施、アルコール消毒液の設置をし万全を期しています。ヘルスリテラシーの向上策としましては休憩室に健康情報のポスターを掲示しております。そして、夏場の熱中症対策は、休憩回数の増加、大型ファンの設置、空調服支給、ウオーターサーバー設置による水分の無料提供もしています。また女性の健康保持のために女性専用の休憩室も作りました。

大切な社員とその家族に安心感を与え会社も成長していきたい。

当社は施工と施工管理の両方を行う非常に珍しい会社です。
今後は「施工ができるからこそ管理ができる」という考えは貫きながら、プラスアルファのエンジニアリング力をつけて会社を成長させたいと考えています。その為に採用を新卒者に切り替えて若手社員の増強を図り、外注の比率を下げてお客様のご信頼に応えられるようにしていっております。この会社のビジョンも従業員が健康であればこそです。これからも従業員の健康を守り続けます。また、万が一従業員が重い病気にり患しても家族に金銭的な不安を与えないように福利厚生型の生命保険を全従業員に準備しました。安心して働ける環境を作り、ワークエンゲイジメントを高めています。

1176

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 120th

角野晒染株式会社



代表取締役社長
角野孝二 氏

「伝統を守りつづけ、後世に残す」ための健康経営

- 代表取締役社長　角野孝二 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府堺市西区津久野町3-32-1
- 主な事業内容　綿織物の精錬漂白加工、捺染加工業
- 従　業　員　数　15名(男性:9名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社は昭和６年(1931年)に創業しました。和ざらしの生産から染め、裁断まで、全て自社工場で一貫生産しています。和ざらしは大きな釜で生地を約28時間かけて炊き上げることで、綿本来の風合いを損なうことなく、優しい肌触りになります。より多くの方に晒を染める楽しさを知ってもらうため、2021年に体験工房をオープンしました。今後も末永く堺の伝統産業を守ってまいります。

伝統がある半面古い体質による健康経営の後れを感じました。

当社は昭和６年に創業し以来90年に亘って堺の伝統産業である「手ぬぐい」の絞り染めを守り続けてきました。伝統のある会社ではありますが反面、古い体質も残っており社員の健康に気を配るようなことをしてませんでした。そこで、現社長に変わって、古く良きものは残しつつも、従業員の福利厚生については新しいものをどんどん取り入れていきたいとの想いから、今まで実施していなかった従業員の健康診断を実施することから徐々に始めていきました。そうして現社長体制になって10年がたとうとしているときにアクサ生命の営業社員から「健康経営優良法人認定制度」のことを聞き挑戦してみようということになり、2021年から認定を受けております。

公益財団法人の福利厚生事業を通じて福利厚生や健康診断を取り組んでいます。

従業員の福利厚生向上のため当社では「公益財団法人堺市産業振興センター(SCKセンター)」が運営する福利厚生事業に入会しました。慶弔給付やスポーツ・レクリエーションなど大企業並の福利厚生、サービスの提供を受けることができます。健康診断についても会員割引価格で実施することができ、さらに費用の補助も受けられます。中小企業にありがたい制度となっております。健康診断は当日の朝から車に分乗して病院に全員そろって半強制的に行くので受診もれはなく100％実施できております。また、健診結果については全従業員の結果を社長が把握し、２次検査の必要な従業員には直接受診の指示をしております。



「絞り染めの体験工房」を
始めました



熱中症対策に
空調服を支給しました

喫煙、熱中症、感染症対策に様々な取り組みを行っています。

まず、喫煙の取り組みとしましては、喫煙時間の制限を設けております。午前中15分、昼休憩時間、午後15分の３回に制限しております。喫煙率は40％とまだまだ高いのですが節煙は進んでおります。また仕事柄、夏場の工場内の気温上昇は激しく熱中症対策にも力を入れています。例えばウォーターサーバーを設置し、さらに空調服の支給も行っております。感染症対策としては、マスク不足のころから工場内でガーゼマスクを作って従業員全員に配布しました。また、従業員だけでなく介護施設の職員さんたちがマスク不足が困っていると聞き本マスクを提供し喜んでいただくことができました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい。

当社の従業員は堺の伝統産業を守りつづけ後世に残していくという大きな役割を担っております。技術職で一人前になるには最低でも５年かかりますし、営業職でもかなりの専門的な知識が必要となります。そんな従業員の健康を守ることは会社にとっても社会にとっても大切なことであると実感しています。やりがいを感じてほしいとの想いから、「体験工房」を始めました。専用の作業場を作り、従業員が未経験の体験希望者に一から丁寧に教えていきます。
非常に評判も良く、従業員も教える喜びを感じています。さらに、参画意識を高めるために、新たな「経営理念」を社員全員で考えました。そのような機会を持つことで従業員のやりがい向上、ワークエンゲイジメントの向上につながってきました。また、社長と従業員の個人面談も始めて、仕事での悩みや気になることを聞き取りメンタル面のフォローもしております。今後も健康経営を通じて従業員には、伝統産業を守りつづける誇りをもって末永く勤めて欲しいと思います。



株式会社エフ・ラボ



代表取締役
永井英太郎 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代 表 取 締 役　永井英太郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府西区阿波座1-11-17
- 主な事業内容　コンピューターソフト開発
- 従　業　員　数　41名(男性:23名・女性:18名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

eff/eOffice:スケジュール管理、受発注管理、社員の所在管理等、オフィスの業務を円滑にするグループウェア。(企業向け個別カスタマイズ対応可能)
eff/sss　:パソコンを活用した看護医療系専門学校向け学校業務支援システムを販売。

普段の施策が認定の決め手

健康経営の取り組みを始めたのは協会けんぽから案内があり、その案内に優良法人認定取得を目指すための認定要件が記載されていたため、自社で既に行っている施策・制度を改めて見直してみたところ認定を受ける要件は満たしていると判断し、速やかに健康宣言を行い、優良法人認定のために準備をすすめました。
実際、健康診断については、有所見者への2次健診が必要な社員向けに、手元に１次健診の診断結果が届いた際、チェックリストを作成し、２次健診受診結果を任意で提出するよう依頼しています。多くの従業員がその結果を提出してくれるので、協会けんぽと共同して保健指導につなげて健康を維持するよう指導したいと思っています。

コミュニケーション促進

ソフト開発の仕事柄、個人での業務に偏るため、コミュニケーションを促進することは重要と考えていて、様々な施策を行っています。社員旅行や年末の社内会議後の懇親会を開催しており、その時にビンゴ大会やボーリング大会等の遊びの要素と、その後に食事会を行うことで従業員同士の横のつながりが深くなっていると思います。
なお、年末以外では春の歓送迎会、夏の納涼会等で気分転換も含めて楽しいひと時を過ごしています。



バリ島でのひととき



忘年会で・・・

全員参加の運動会

身体を動かす施策も定期的に実施しています。“運動会”と称して、雨の日でも中止にならないように体育館を終日借り切って、各従業員がバトミントン、バレーボール、卓球とそれぞれ好きな種目にエントリーして対抗戦を行ったこともありました。体育館が広いため3種目が同時に開催できるので終了時間もほぼ同時刻にすることができるため、全種目終了後、楽しく食事会を開催しました。運動が苦手な社員も応援で参加することで全員参加で開催できています。翌日の筋肉痛に悩まされる社員もいますが、働くモチベーションにつながっていると思い、続けていこうと思っています。

働き方改革で意識改革

働き方改革に伴い、残業や休暇に関して意識改革を行いました。それまでは有給休暇を取得しにくい環境でしたが、30分単位の時間有休制度を導入し、年間150時間の有休取得が可能となり、従業員が個人ごとに終日取得や午前・午後休暇等、フレキシブルな取得方法が可能になり、計画的に取得してくれることで、家族との時間も増え、明るくなったと感じています。残業については、納期の関係でゼロとすることは難しいですが、体調管理に十分配慮して残業を行うようにしています。

今後の課題

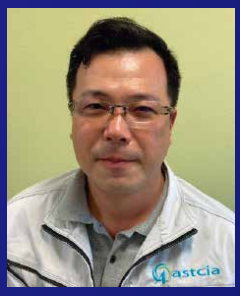
今後は、メンタルヘルスへ力を注いでいきたいと考えています。まずは義務ではありませんが、ストレスチェックを行い、高ストレス者の把握を行い、協会けんぽの保健師と共同して症状が重くなる前に対処できる体制を作っていきたいと思っています。
また、従業員のほとんどがデスク前での業務のため、毎日の運動不足解消のために、ストレッチ体操やラジオ体操を取り入れて、普段使わない筋肉を使うことで運動不足を少しでも解消出来たらと思います。

1178

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 120th

株式会社ASTCIA



代表取締役社長
平岡秀和氏

あなたの快適な暮らしのために「空気を創る、空気と創る」

- 代表取締役　平岡秀和 氏
- 本社所在地　兵庫県神戸市兵庫区里山町650-4
- 主な事業内容　建設業・設備工事業
- 従業員数　4名(男性:3名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

経営理念:お客様の快適な暮らしの“空気”を創るお手伝いを“空気”と造らせて頂くことで社会の発展に貢献し、皆さまから信頼される企業を目指します。そのために…
①建設設備の技術向上に邁進します。　②ご期待以上の満足を追求します。　③環境保全活動に尽力します。

認定取得の高い認知度で採用活動に効果有！

６年前より協会けんぽとアクサ生命の営業の方から優良認定を取得してみないかとお誘いを受けていましたが、当時は従業員が今より少なく、更に３Kと呼ばれるほど業務が厳しい環境でしたので、当時は静観していました。また、当時は年齢層が若い社員の採用が困難で、様々な媒体を活用して採用活動を行ってきましたが、成果には至りませんでした。そうした中、昨年改めてアクサ生命の営業の方から採用活動で優良認定マークの使用で効果が高い旨をお聞きし、採用への強い思いから優良法人認定の取得に取り組むこととしました。そして、優良法人認定の取得後に採用媒体で認定マークを掲載したところ求職者の認知度が高いことに気づき、新しく採用出来たので、取り組んでよかったと思いました。

働き方改革は先取り！

働き方改革として、有給休暇の取得には気を遣っています。休日については、事務は完全週休２日制、現場仕事の社員は隔週休２日制で、それ以外の有給休暇は現場仕事ではありますが、従業員の希望通りに事前届け出制にして取得してもらっています。
残業については、ほとんどありません。公共工事を受注している仕事柄、業務終了時間はしっかり守っています。更に、途中での休憩時間も複数回、長時間取ることでみんな気持ちよく働いてくれています。現場についても昨年度は月間平均残業時間が６～10時間以内となっており、働きやすい職場と喜んでくれています。



紅一点で癒される事務所



本社全景

大切なコミュニケーションの促進！

コミュニケーションを促進することは業務を円滑に行うためにも必須と考えており、コロナ禍になる前は現場仕事で区切りがつくたびに打ち上げと称して、全員で懇親会を行い、楽しい時間を過ごすことで働く原動力としていました。コロナ禍になり懇親会の回数は減りましたが、社長が率先垂範で感染防止策を講じながら逐次実施しています。この春には待望の新人が入社したこともあり歓迎会を実施しました。みんな久しぶりの懇親会で楽しい時間を過ごしてくれました。

健康診断・メンタルヘルスは大事！

健康診断には毎年期間を定めて全員受診しています。その後、有所見の場合は、健診結果判明後、２週間以内に再検査を受診して、その結果を報告してもらっています。そして協会けんぽの保健師の方の指導を受けたりして、本人が健康を意識して気遣いするようにしています。紅一点の女性事務員についても一般健診の際、婦人科健診を合わせて受診することで早期発見につながると満足してくれています。
また、メンタルヘルスについては、社労士の先生と提携するだけでなく、保険会社が提供しているT-PECサービスを活用して外部相談も充実しています。社内体制でも社長がFTFを随時実施することで相談しやすい環境をつくり、普段から従業員の状況変化に気づくよう気を付けて、事態が大きくなる前に対処しています。

スキルアップ研修！

従業員のスキルアップ研修のために、協会けんぽ主催の健康WEBセミナーや、商工会議所主催の能力アップセミナー等に積極的に参加してもらっています。参加費用は会社が負担することで従業員のみんなが自己啓発を含めて参加しやすいと喜んでくれています。
また、退職金制度についても会社として保険に加入し、将来の人生設計の一助になることを知ってもらうことで従業員から感謝の言葉を聞くことが出来てありがたいと思っています。

株式会社関西広告社



代表取締役社長
遠藤隆司 氏

屋外広告で世界に夢と感動を！

- 代表取締役社長　遠藤隆司 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県加古郡稲美町国岡800
- 主な事業内容　広告業
- 従　業　員　数　220名(男性:154名・女性:66名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営優良法人
2022 認定
Voice Report
120th

**私たちの使命は、広告・看板を通して人と人を繋ぐ役割を担うこと。
お客様の集客のUP、さらに、そのお客様にも喜んで足を運んでいただけることです。
屋外広告・看板は人を動かし、世の中を動かすことができます。人と人のご縁や繋がりを大切に、
皆様に夢と感動を与えることができる、真のプロフェッショナルを目指しています。**

既存の施策で認定取得！

２年前に協会けんぽから健康経営優良法人認定の話を聞き、これまで行ってきた様々な会社施策を検証してみたところ、優良法人認定の条件がほぼ達成されていることが判明し、認定取得を目指しました。例えば、当社の社員構成は、車での営業や内勤事務、現場作業、農業職等様々なため、運動不足解消のために毎日リズム体操を行っています。さらに新たな取り組みとしてヨガ体操も不定期ではありますが始めました。また、飲料の自動販売機は健康を考えて食物繊維の多いものを選んでいます。営業成績が達成されたときには１か月間無料となるため、営業成績にも効果が出ています。

福利厚生として農業体験！「収穫祭」

福利厚生の一貫として、コミュニケーション・身体活動・安全な食事など健康な生活を保証するために、自社保有の田畑での無農薬の米づくりを通じた農業体験を行っています。毎年、米作りの工程で田植えと稲刈りのどちらかを経験します。最後に全社員とその家族、地域住民の方にもご参加いただき、お米の収穫を祝う「収穫祭」を行っています。そこで新米が初めてふるまわれます。他にも福利厚生の一環として季節の果物等が配布されたりするので社員の楽しみな行事となっています。



プロフェッショナルな社員たち



毎日のリズム体操



毎月のお誕生日会！
今回は豪華な食事会の後
「オペラ座の怪人」を鑑賞



社員総出で楽しみ満載の収穫祭！

毎月楽しみな「お誕生日会」や研修旅行

社員のコミュニケーション促進施策のひとつとして「お誕生日会」を毎月開催しています。
このお誕生日会は平日の１日を出勤扱いとして、高級料理を堪能した後、演劇を鑑賞し１日羽を伸ばしてもらっています。
先月は食事会で舌鼓を打ってもらい、その後「オペラ座の怪人」を鑑賞しました。他の月では社員のリクエストに応えながら吉本新喜劇や宝塚歌劇・大阪四季劇場等々で観劇と食事会を実施して、年に1度の誕生日会を楽しみにしてくれています。他にも毎年海外への研修兼慰安旅行(2020年からコロナ禍のため国内に変更)も楽しみにしてくれています。

GW前　BBQ大会！

社員総出で楽しむBBQ大会も実施しています。家族全員で楽しむ一大イベントとして認識されています。
今年のゴールデンウイーク前の「関西広告社祭」では、社員の家族を含め総勢360名の参加があり、社員(大人)向け賞品が充実しているだけでなく、子供向け賞品の品揃えも多いことで家族全員が楽しめるよう工夫して開催しています。

感染症対策から健康管理はダイアリーで！

お客様にお会いする仕事柄、感染症対策には万全を期しています。全部屋にアルコール消毒を設置し、検温の徹底だけでなく、24時間途切れることなく空気清浄機を使用したり、オゾン発生器を各部屋に設置して感染予防を徹底しています。更に、健康管理を行うことは従業員個々の生産性を高め、定着率を上げると言われていることから、全社員へ健康管理への意識をつけるために体重、体温、血圧の測定結果を記録するためのダイアリーを全員に配布しています。毎月、BMIの数値が基準値を達成した社員には賞金も支給しています。おかげで脳梗塞の早期発見につながった事例もあり、日々の体調チェックが発見と予防に繋がっています。

1180

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 120th

新明和商事株式会社



代表取締役社長
野路　衛 氏

「人の生活」に密着し、「安心な社会と快適な暮らし」を支え続けます

- 代表取締役社長　野路　衛 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西宮市高松町4-8
- 主な事業内容　不動産事業 、人材派遣事業等
- 従　業　員　数　101名(男性:45名・女性:56名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

《新明和商事　長期ビジョン》

新明和商事は、人の生活(人生)にかかわるサービスの提供を通し、「安心で快適な暮らし」の実現に貢献する専門家集団として、生活環境における価値共創カンパニーを目指します。

事業継続の最大リスクは社員の健康

当社は、不動産事業、駐車場運営事業、人材派遣事業、また親会社の寮・社宅管理などの福利厚生サービス事業など、多種多様な事業を行っていますが、一つひとつの事業を見ればたいへん少ない人数で運営をしています。また、事業特性から職歴のある人材を中心に採用してきたことから、社員の年齢構成は40代後半から50代前半が多数を占めています。2032年に創業100周年を迎えるにあたり、昨年「長期ビジョン」を策定しましたが、長期的な視点に立って当社の今後を考えた時、事業を継続していくための最大のリスクは「社員の健康」であり、これが当社の生命線であるとの思いに至り、健康経営の取り組みを本格化しました。

運動機会の増進、コミュニケーション機会としてのボランティア活動

運動機会の増進とコミュニケーション機会の増進を目的として、地元のNPO法人が定期に実施する甲子園浜のボランティア清掃「クリーンアップin甲子園浜」に社員有志で参加しています。家族を連れて参加する社員もいて、地域住民の皆さんと一緒に清掃活動に取り組んでいます。昨年11月は、半日で甲子園浜のごみ約120キロを収集して、環境美化に努めました。気持ちのよい秋晴れの下、浜辺を歩きながらゴミを拾うことで、適度な運動になると同時に、地域貢献ができたと喜んだ社員もいました。終了後は、皆でランチをしながら交流し、心も身体もリフレッシュしました。





「クリーンアップin甲子園浜」楽しみながらのボランティア清掃活動

ウォーキングWキャンペーン

健康増進を目的として健康保険組合が実施するウォーキングキャンペーンに積極的に参加しています。これは毎年10月１日から12月10日までの72日間で72万歩を歩くというイベントです。各自、歩数計を利用して「ウォーキングMEMO」に歩数を毎日記録し、途中経過がわかるように工夫しています。72日間以内で72万歩以上歩いた社員には「完歩賞」として賞品を健康保険組合から贈呈されます。会社からも賞品を贈呈することで「Wキャンペーン」と銘打って盛り上げています。お陰様で、駅ひとつ前で降りて徒歩通勤する社員等、積極的に参加してくれるのがうれしいです。

情報共有ボードの活用

健康に関する様々な情報共有のために、コピー機の横に縦横約１メートルの情報共有ボードを設置しています。コピー出力までの数秒間に何気に目を通してくれることから、認識度の高い情報共有ができています。掲示の内容は、「食事に関すること」「運動に関すること」「メンタルに関すること」「健康経営に関すること」の４種で、誰でも知り得た情報を自由に貼り出すことができます。自身のウォーキングキャンペーンの進捗を掲示したり、おすすめのストレッチ体操を掲示したりする等、短い時間も活用して健康意識を高めています。

女性活躍＆情報提供

女性が多い職場でもあるため、女性にとって働きやすい環境づくりに向けて取り組んでいます。提携病院の健診センターから提供される女性特有のがんや疾病に関する資料を社員へ配布する他、厚労省の女性サイトの活用を周知しています。
また、食生活の改善や生活習慣病予防に関する情報提供にも力を入れています。毎月の衛生委員会では、産業医に約15分間のミニ講話をお願いしています。講話の内容は、全社員へメール展開して、情報過疎に陥らないように注意しています。これからも様々な機会に「健康」について周知徹底して元気な会社にしていきたいと思います。

尼崎ホテル開発株式会社／ホテルヴィスキオ



代表取締役社長 総支配人
大矢悦子 氏

人々の心に「満足」を創造し、豊かな社会作りに貢献する

- 代表取締役社長　大矢悦子 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県尼崎市潮江1-4-1
- 主な事業内容　ホテル業
- 従　業　員　数　42名(男性:30名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

企業理念を実効するための行動指針(協力会社含む全関係者100名以上の意見を聞いて作成)

①お客様の「満足」を創造する。　②職場の「満足」を創造する。
③私自身の「満足」を創造する。　④社会的「満足」を創造する。
⑤家族の「満足」を創造する。　⑥企業としての「満足」を創造する。

健康経営の認識

社長は昨年就任され、健康経営について、それまでの総務や人事部門の経験が活かされ、不健康な社員やメンタルヘルスが必要な社員の対応について、個人として対応すべきことと会社として対応すべきことの両面をよく理解されていました。
社長就任後、メンタルヘルスにおける高ストレスを抱えている社員や長時間労働を続けていた社員の退職が一定数存在していることに心を痛めていましたが、就任当初は健康管理はあくまで個人的でパーソナルな問題なため、まずは個々人で解決すべき問題だと考えていました。
しかし、健康維持の重要性は十分理解出来ていたので、健康経営の取組みを始めるにあたって、会社として従業員のために出来ることをしてあげようとの観点から様々な取組みを始めたことで、連続して優良法人認定を取得することが出来たと思います。

喫煙対策が課題

社内では喫煙者率が30％を超えているので、喫煙対策として分煙を奨励し、社員向けに荷物搬入口の裏側で人通りのない場所に喫煙コーナーを設けて、現在は喫煙者にも配慮はしています。しかし、宿泊されるお客様には全室禁煙(喫煙所有り)でお願いしているので、今後は全従業員にも順次就業時間内での禁煙を奨励していこうと思います。



ホテルヴィスキオ全景





楽しい職場で

コミュニケーション促進

従業員のコミュニケーション促進のために社内イントラネットを活用しています。様々な情報を共有することで種々のイベントを企画したりしてコミュニケーションツールとして活用しています。
イベントについても、昨今のコロナ禍の中、ボウリング大会や忘年会・食事会が延期や中止となっていますが、感染症が落ち着いたら復活させたいと思っています。
現在は厨房であったり、フロントであったりと様々な部署がそれぞれの仕事場で不定期な時間帯で業務を行ってるため、お互いに顔を合わす機会が少ないことから朝礼を最も重要と考え、全部署の出勤者全員に集まってもらって朝礼を行っています。おかげ様で情報が共有できるだけでなく、仕事が縦割りになりがちですが、会話することでフラットな職場が形成されていると感じます。

働き方改革やメンタルヘルスの取り組み

業務柄不規則な時間帯の業務になる社員もいますが、残業時間管理は徹底しています。毎月45時間以上の残業が発生しないよう勤務シフトに配慮した勤務とするだけでなく、やむなく長時間労働が発生した社員には速やかに産業医面談を行い、体調不良が起きる前に休暇取得や時間管理を徹底して体調悪化を防いでいます。
メンタルヘルスについても弊社はJRグループの傘下にあることからグループ全体でのストレスチェックを実施し、高ストレスと指摘された社員には早期での産業医面談と、業務改善を励行し、ストレス軽減を図ることで働きやすい職場になっていると感じています。

今後の課題

今後については、育休取得の促進等女性が活躍出来る制度や情報提供を行いながら、喫煙率を下げることに積極的に取り組んでいきたいと考えています。更に、コミュニケーション促進のための歓送迎会なども感染防止を徹底しながらすすめて、従前実施していたオフィス内エクササイズを復活させ、運動不足解消にも寄与したいと思っています。

1182

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 120th

倉本運送株式会社



あなたの力が未来を創る
お客様に満足して頂ける物流サービスを目指します

- 代表取締役　倉本　昇氏
- 本社所在地　兵庫県西宮市西宮浜2-8
- 主な事業内容　一般貨物運送事業
- 従業員数　142名(男性:128名・女性:14名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

倉本運送グループでは、社会貢献、お客様に満足して頂ける物流サービスの構築を目指しています。
「安全、迅速、確実」な業務の遂行を日々目指しながら、近年は次の項目に取り組んでいます。
①健康経営優良法人2022の認証・従業員の健康促進
②ホワイト物流推進運動へ参加
③働きやすい職場認証制度１つ星

従業員が安心・安全・健康であること

運送事業だからこそ「安心・安全・健康」を重視して事業を運営していました。そして、ISO39001認証等、会社として様々な認証・資格を取得することで社外の評価のステータスが上がっていくだけでなく、社会に貢献できる企業として従業員のプライドにもつながってきたと思います。
その認証の中の一つに優良法人認定もあり、従業員の健康維持・増進のために2020年より本格的に目指して認定を取得することが出来、昨年も継続して取得することが出来ました。今後１人でも多くの従業員が定年の定めのない会社に少しでも長く勤めたいと思ってもらえるよう様々なサポートをしていきたいと思っています。

禁煙への道

ドライバーさんたちは１人で運転をすることが主業務の関係で喫煙者が多いのが課題と思っています。現在は約50%の社員が喫煙者で電子タバコ等に変更してくれていますが、禁煙までは至っていないのが現状です。禁煙者への配慮として事務所内は完全禁煙として、事務所裏の人通りのない場所に分煙場所を設置し、タバコを吸うのが面倒くさいと思ってくれて禁煙にチャレンジしてくれる社員が出てくれるのを楽しみにしています。



タイヤチェーン講習会



本社全景



自社での健康診断

感染症対策は万全！

感染症対策としてインフルエンザの予防接種は一部会社負担で実施しています。この度のコロナ禍においては、全社員へのマスク配布、全部署へのアルコール消毒の設置、事務所内のパーテーションの設置、毎日の検温、血中濃度計、更に、二酸化炭素濃度測定器(CO_2チェッカー)で強制換気を行っています。
加えてドライバーさんは毎日のアルコール呼気チェック、体調管理の対面点呼を実施し、「安心・安全・健康」な業務が出来るよう細心の注意を払っています。

知識付与も大切な業務

運送業として交通安全運動や交通法規の様々な変更等、知らないといけない事項や、知っておいた方がよい各種情報、更に、健康関連情報について、毎月ドライバーズミーティング(勉強会)を開催し、情報過疎とならないよう注意しています。社外セミナーを受講したり、業界新聞から情報を収集することで、社内、及びグループにて共有・周知を実施しています。

最大の課題！

健康経営に取り組む中での最大の課題は健康診断実施後、有所見者(要精密検査)への２次健診の受診勧奨と未受診者の撲滅です。２次健診受診該当者には、未受診で健康異常が原因で事故を起こすリスクを回避するだけでなく、従業員が長く働くための健康維持・増進のためにも、自分の健康状態の把握は必要不可欠であることを知ってもらう必要があります。
２年ほど前までは要精密検査所見の社員は毎回10名前後あり、その大半が未受診でしたが、昨年より協会けんぽの保健師の指導を仰いで２次健診の受診率が20%ほど良化しました。今年は更に有所見者全員の２次健診受診を達成したいと思っています。

旭建設株式会社



代表取締役
高橋健一郎 氏

働く喜びを『人生の歓び』とする世の中を実現する

- 代 表 取 締 役　高橋健一郎 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県尼崎市西桜木町14
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　9名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

企業理念～3つの特徴

①本当は困っている、小さなことも解決する
②図面ではなく、お客様の声から工事を進める
③技術者集団ではなく、素人発想の集団

私たちは ともに 生涯残る
価値ある環境づくりに貢献します

20年前から健康経営

20年以上前、先代社長の頃から、従業員に気持ちよく働いてもらうためには休暇をしっかり取れる環境で、オン・オフをしっかり分けて働けること、また、残業を可能な限り少なくすることで、長く気持ちよく、楽しく働いてくれると考えて、実践してきました。
おかげ様で有給休暇については従業員が求める日程で求める日数を取得しており、残業も実績は月間8時間以内となっていて夕方18時以降は事務所に誰もいない環境となっています。唯一連続休暇については業務の関係で１週間以上の連続休暇だけは避けてもらっていますが、みんな納得して計画的に取得してくれています。

身体と心の健康診断

健康診断については全員定期的に実施し、有所見者については建築組合健保から保健師さんにお越しいただき個人面談を実施しています。体調不良を感じた社員が自ら面談を求めてくれるので症状が軽いうちに対処することができるため重症化する従業員がいないので今後も続けていきたいと思います。
また、メンタルヘルスについても、これまで高ストレスで重症化する社員はいませんでした。これは、毎月社長が全従業員と個人面談を実施しており、友達のように何でも相談できる環境にあるので、仕事だけでなく、家庭でのストレスについても相談があれば、アドバイスをして重症化を防いでいると思います。





協力安全会議



39ミーティング

39ミーティング（社員研修会）

39（Thank you）ミーティングと称して毎月社員勉強・研修会を10年以上前から実施しています。このミーティングは毎月６つの設問を出題して、全従業員参加でそれぞれ回答してもらい、その回答につき全員でディスカッションを行うものです。設問は人生に関することや、仕事に関すること等様々な分野にわたり、回答がひとつではない設問としています。考え方を発表することでそれぞれの従業員の人間性が磨かれたり、仕事の段取り等が効率よくなったりして、みんな楽しく参加してくれています。ただ、終了後にディスカッション結果をフィードバックするためにまとめる作業がものすごく大変ですが、みんなのために続けたいと思います。

コミュニケーション促進と自己研鑽

従業員のコミュニケーション促進のために忘年会や食事会を開催していました。従業員だけでなく協力会社の担当者も一緒に実施することで仕事にも好影響があり、楽しくできていました。
また、自己研鑽のために各種セミナーへの参加や、自分自身のスキルアップのための資格取得講座等への参加も自由に行い、その費用を会社負担とすることで、みんな積極的に自己研鑽を行ってくれています。知識が増えることで業務にも好影響を与えていると感じています。

今後の課題

今後については、まず事務職員向けに運動不足解消を狙って自転車を数台購入し、営業車での移動ではなく、自転車での移動に変更しようと思っています。運動不足を感じている従業員を中心に喜んでくれているので速やかに実践したいと思います。
更に、喫煙者については、この1年間で禁煙に成功した社員がいないため、今年こそ禁煙に成功してもらうため、ポスターやワンポイントアドバイス等で視覚情報を数多く見せることで節煙に挑戦し、ひいては禁煙に成功してくれるよう啓蒙したいと思います。

株式会社大下水道設備商会



代表取締役
大下正和 氏

水回りに関するお困りごと解決、地域社会に貢献

- 代 表 取 締 役　大下正和 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市広畑区西夢前台5-165
- 主 な 事 業 内 容　管工事業
- 従　業　員　数　10名(男性:6名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

社是
①明朗・愛和・喜働　②凡事徹底　③積小為大　④正々堂々
⑤先義後利　⑥常在戦場　⑦売り手よし・買い手よし・世間よしの三方よし経営
⑧今を生きる

健康は生きる基本

従来より取り入れた方が良いと思うことはすぐに経営に取り入れてきました。その基本は健康を維持することと考えていました。現在の社員が家族と共に生活をして、仕事を続けるためには健康でなければ続けられない。また、食事をきちんと取らなければ健康は維持できない。だから健康を維持するためにはこれまで注意喚起を欠かさずにいました。ただ、当社の主力社員の年齢層は50歳代のため、将来に亘って高い業務の質を維持して仕事を行うのは難しいため、年齢層の若い社員の採用が急務となっていました。そんな時、健康経営の取組みで採用に効果があることを聞いて取組みを始めました。

全社員禁煙達成！

昨年おかげ様で全社員が禁煙者となり、全ての灰皿を撤去することが出来ました。協力会社やお客様で喫煙される方々から文句を言われることもありますが容認していただき、事務所内は快適な環境が保たれています。
しかし、最近採用した新人の内１名が喫煙することが判明し、やむなく受動喫煙対策を意識して事務所の離れの倉庫裏に喫煙可能場所を設置しました。ただ、その社員も気を遣って現在は勤務時間内は禁煙してくれていて今までの環境が維持されています。今後は家庭でも禁煙を推奨し、健康阻害要因である喫煙をやめるよう啓蒙していきたいと思います。



本社全景

コミュニケーションイベント

従業員間のコミュニケーションは大切に考えています。意思疎通が出来れば出来るほど事故も減り、元気で楽しい職場になることから様々なイベントを行ってきました。コロナ禍の前は食事会や事務所奥に高台を作りその上で満開の桜を見ながらの花見会は絶景で絶賛されていました。また、忘年会を兼ねて社員旅行に行ったり、工場見学や、歴史探訪、他の建築業の見学として研修会を兼ねた社員旅行も行ったりしていました。楽しむ中にも今後のためになる要素を入れることで参加率があがり、次の旅行を楽しみにして今の仕事に集中してくれていたと感じています。コロナ禍が収まればまた企画したいと思っています。

働き方改革

休暇については従来は人数が限られている中での仕事のため、休まれたら仕事が回らないことから休暇取得を遠慮してもらっていました。しかし、現在は環境が変わった訳ではありませんが、考え方を変えて、社員に無理を言わないようにしたことで、体調不良での休暇を取得する社員がいなくなってきました。おかげ様で急な体調不良での休暇取得がないため計画的な人員計画が立てられ仕事もスムーズに回るようになりました。更に、道路工事を行う関係で残業は全くなく、従業員にとって働きやすい職場として喜んでくれているのがわかるので、嬉しく思います。

今後の課題

今の課題はコミュニケーションをとるイベントを増やすことと思っています。コロナ禍は完全には収まっていませんが、あえて食事会や広い場所でのBBQ大会を開催しようと思っています。
健康に対する意識改革を進めるために、「食べること」から始めたいと思います。食べることは「生きること」であり、更に「元気になること」です。当たり前のことを当たり前に行うことが大切なことであると気付いてくれる社員を増やし、元気で楽しい職場にしたいと思っています。

株式会社河岸製作所



代表取締役
河岸剛作 氏

志高く豊かな人生を歩む
～ものづくりで人が育つ環境作り～

- 代表取締役　河岸剛作 氏
- 本社所在地　兵庫県姫路市別所町別所1910
- 主な事業内容　旋盤
- 従業員数　9名(男性:7名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

経営理念
★社員の幸せを追求し、人格を高める
★私たちはお客様に信頼される企業を目指す
★私たちは社会を笑顔にする

人を喜ばせ続けることができる人だけが自分の人生を幸せにできる

健康は道徳の道を説くことと同じ

健康とは、道徳教育と同意義と考えていました。学生として勉強していた以後、健康や道徳を学ぶ機会はほとんどありません。従って、健康管理や道徳観念等は各自がそれぞれの情報から理解し判断していて、自分に都合よく解釈していたと思います。そんな時、健康経営の話を聞いて、健康についても道徳教育と同じように「言わなくてもいいけど、言わないと気付かないこと」を社員全員に伝えることで、みんなが同じ目標に向かって仕事に従事することで満足感も高く、ワークエンゲージメントの高い会社になると考え、健康経営を推進しました。

意思統一のための研修

従業員を含めて全社員が同じ目標に向かって、同じ意識をもって業務をすることで生産性は上がると思っており、毎月１回社長勉強会を実施しています。これは独自の経営計画書による経営方針を毎回全社員が理解し直し、意識を共有するために実施しています。経営理念にあることを理解して、実践することで自分も家族も幸せになり、地域にも貢献できると信じています。従業員の全員が社会貢献できていることに自信を持ち、幸せな人生となるよう社長勉強会以外にも自主勉強会を行い、情報共有をしています。

従業員アンケートを受けて飲料改革から！

まずは従業員の健康に対する意識調査を兼ねた生活習慣アンケートを行いました。その結果、多くの従業員が飲み物について、気遣いすることなく糖分の高い飲み物を摂取していることが判明しました。このまま継続していては糖尿病リスクが高まることを危惧したため、会社に常置されている自動販売機の中身について糖分の多い飲料を健康飲料に変更し、少しでも気遣い出来る環境にしました。そうしたところ、普段なら選択しない健康飲料が売り切れになることもあり、従業員のみんなが次第に気にしてくれていると実感出来ています。



本社全景



旋盤機械

コミュニケーション促進イベント

コミュニケーション促進を目的に趣味も兼ねて様々な活動を行っています。登山やスポーツ、釣り等々従業員それぞれが楽しんで仲間意識を醸成してくれる活動について、食事費用や交通費等を会社負担とすることで喜んでくれています。社長の趣味が登山のため、毎週のように冬場の雪山登山だけでなく、様々な山登りに1年を通して参加できる従業員と共に楽しく山登りをしています。みんな趣味の一貫として参加しているので参加者率は高く、働くモチベーションにもつながっていると思います。

健康経営を継続すること

今回健康経営優良法人の認定を受けたことで従業員のワークエンゲージメントがあがり、これまで行っていた毎朝のラジオ体操も本気になって実施してくれるようになりました。メンタルに関する相談についても外部コンサルタント会社に依頼し、相談しやすい環境を整えました。またモチベーションアップにもつながっていた社員旅行や忘年会もコロナ禍が収まれば以前のように皆で楽しい時間を過ごせたら良いと思っています。

1186

兵庫県
姫路営業所

Voice Report 120th

美樹工業株式会社



代表取締役社長
岡田尚一郎 氏

美樹工業の最大の経営資産は「信用」

- 代表取締役社長　岡田尚一郎 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市北条951-1
- 主な事業内容　建築工事、土木工事、導管工事、設備工事、リニューアル工事
- 従 業 員 数　279名（男性：230名・女性：49名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たち美樹工業は、信用第一を軸として、関西圏を中心に活動の輪を広げている総合建設会社です。事業の柱は５つ。「建築工事」「土木工事」「導管工事」「設備工事」「リニューアル工事」です。それらは単体で受注する場合もあれば、一体となって顧客のニーズに総合力でお応えしています。私たちの強みは、顧客満足を日常業務の中に組み込んでいるところにあります。信用は一朝一夕には生まれません、美樹工業は常に良い緊張状態を維持しつつ、皆様の現場で顧客満足をめざし、活動してまいります。

きっかけは従業員の体調不良

30代の従業員が体調を崩し、長期間仕事を休むことになったことをきっかけに、「若い＝健康」の等式は成り立たない、会社として従業員の予防健康づくりに取り組まなければいけないと考えていました。そんな時、アクサ生命から従業員と一緒に健康の維持や増進に取り組む『健康経営』についてご紹介いただき、導入を決めました。健康経営の取り組みを通じて、従業員1人1人が「会社に来るのが楽しみ！」と思えるような働きやすい環境を整え、仕事に対する高いモチベーションを維持し続けることで、公私ともに豊かな人生を送ることができると考えたからです。

人間ドックの受診対象年齢を拡大

「従業員の命と人間ドックの費用、どちらが大切か？」の問いの答えはもちろん前者。元々、40歳以上の全従業員に人間ドックを受診させていました。しかし、前述の辛い経験を踏まえて、「特に重症化が心配な生活習慣病を早く見つけて、早く治療を始めてほしい」という想いを込めて、35歳を迎える従業員にも受診させることにしました。早速、35歳の従業員の１人が生活習慣病に罹患していることが判明しました。不幸中の幸い、早期に発見できたので、大事に至ることはありませんでした。従業員も「早期発見できたのは会社のお陰！」と大変喜んでいました。



入口のSDGsコーナーに認定証を掲示

治療と仕事の両立を支援するために

重い病気が見つかると、従業員本人はもちろん、ご家族も、精神的・経済的な不安で押し潰されそうになってしまうと考えています。そこで、そんな不安を少しでも取り除くために、従業員から罹患の報告を受けたら直ぐに、従業員本人・ご家族・上司・総務部・主治医を交えた面談を実施して、治療を念頭に置いた業務内容の見直しを行っています。「仕事の時間は人生の1/3を占める」と言われています。仕事が生き甲斐になっている従業員が、病気を理由に仕事を続けられないなんて残念でなりません。本人の希望を聞きながら、できる限り雇用の継続を目指しています。

健康経営の取り組みに対する評価を実感

全従業員の前で健康宣言を行い、健康経営の取り組みを始めてから、日々の食事を管理するために導入したアプリの操作方法や禁煙外来の補助金の申請方法など、従業員から予防健康づくりに関する能動的な問い合わせが増えてきました。また、採用面接の際に弊社のHPを見た就活生から「御社は従業員の健康に配慮しているんですか？」といった質問をいただくようになりました。少しずつではありますが、健康経営の取り組みに対する社内外からの評価を実感しています。

二次検診の受診率100%に向けて

人間ドックの効果を更に高めるため、再検査や精密検査といった二次検診の受診が必要な従業員に対する受診勧奨の取り組みを強化して、二次検診の受診率100%を目指します。合言葉は、「従業員1人1人が心身共に健康で、豊かな人生を過ごせるように、小さな異変を見過ごさない！」です。

株式会社まつよし



代表取締役
松本義弘 氏

勤職自琢

■代表取締役　松本義弘 氏
■本社所在地　兵庫県加古川市西神吉町大国665-1
■主な事業内容　鋼製建具工事、組積工事
■従業員数　30名(男性:24名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

《　建具工事、組積工事、板金工事、熱絶縁工事のことなら株式会社まつよし　》
多岐にわたる取扱商品・工事実績
★鋼製建具・金属・パーテーション・エクステリア工事　★外壁工事　★耐火被覆工事
★断熱工事　★AED販売・リース

安全が必須！

建設業界では「安全」がもっとも大切で重要なことです。どんなに腕があって責任感の強い社員でも、健康を害してしまえば安全な工事を遂行することが出来ません。よって、安全な仕事には心身ともに健康であることが第一条件であるとの信念を持っています。
毎朝、社員は出勤したら事務所内に常置している血圧計で血圧を計測する習慣があります。血圧降下剤を飲み忘れて高血圧が計測された社員には薬を飲むように促し、そうではなく高血圧が計測された社員には病院へ行くように促します。こうして、日頃から血圧への関心、体調の変化への関心を高めるようにし、事故のない現場作業が出来るように働きかけています。

喫煙者を減らすことが重要と考えていた

従来より健康である基礎を脅かすのは「タバコ」と考えていました。「百害あって一利なし」と言われていることからも喫煙者を減少させることが業務上も必要であると感じていました。
そのため事業所内完全禁煙に踏み切り、分煙についても建物の外で少々不便な場所を分煙場所に指定し、少しでも喫煙がしにくい環境にしてきました。
おかげさまで約33％いた喫煙者が約20％まで減少しています。まだまだ喫煙者は存在しているので家族のためにも今後仕事を長く継続してもらうためにも禁煙の必要性を啓蒙し、全社員禁煙を目指したいと思います。

コツコツ運動で楽しくリフレッシュ！

私は自ら早起きを心がけており、雨の日も風の日も欠かさず毎朝30分～40分のウォーキングを実施しています。おかげ様で食事をおいしくいただけるだけでなく、体重管理についても、血圧の管理についてもお医者様よりお墨付きをいただくほどの健康体を維持しています。
そうしたことから声掛けが広まり、今回の健康経営についての取り組みに合わせて、お昼休みにラジオ体操をするグループがあったり、公園へ行って鉄棒や縄跳びに挑戦するグループがあったりして、日頃動かしていない身体を動かすチャンスを自分たちで作っています。少しの運動は午後からの業務にもメリハリがついてよい影響を与えてくれています。

コミュニケーションは人間関係の潤滑油！

社員の中には積極的に話しかけるのが苦手な人もいます。コミュニケーションをとることは業務もプライベートも関係なく人間関係をよくするのに必須との考えから、毎朝の朝礼で全社員が一言スピーチを行っています。様々な話題をきっかけに各々の人間性や家庭のことが垣間見え、お互いの理解を深める一端になっているのを感じています。
また、BBQ大会では社員だけでなく、家族や下請け協力会社の方々の参加を募って実施しております。社員が企画し、準備するのは大変ですが、普段の仕事中には話せないことを話したり、考案したゲームに取り組んだりして、参加した大勢の人に楽しいひと時を過ごしてもらって、大変な苦労も喜びに変わっているようです。これからも続けていきたいと思っています。







1188

兵庫県
東播営業所

有限会社藤久鐵工



専務取締役
藤原史陽 氏

ありがとうを未来へ

- 代表取締役社長　藤原久夫 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県加西市大内町852
- 主な事業内容　金属切削加工業
- 従　業　員　数　12名(男性:9名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

《経験と知識、熟練された技術で、「鐵」に命を吹き込む》
会社の原点は工業用ミシン部品の切削加工。
「お客様のイメージを一つ一つ丹念にカタチにしていく」ポリシーは、創業以来変わることはありません。
金属の新たな価値を創造し続け、必要とされるモノを、切削加工技術を通して、お客様にお届けします。

新たな時代の働き方を考える

弊社は、2022年に創立50周年を迎える老舗企業ですが、同時に前だけを見て、がむしゃらに邁進してきた50年でもありました。その間、スタッフには多大な貢献を頂きましたが、スタッフの疲労による体調不良が常に心配の種でした。サステナブルな社会の実現に向けて社会が変革する現在、弊社と致しましても新たな時代の働き方を模索しております。その中で、健康経営は一つの答えであると考えるようになりました。数年前から取り組んで参りました働き方改革。毎週水曜日は基本定時日とし、残業時間の短縮や効率的に働くことができる仕組みづくりなど、様々な施策を講じる中で、この度、健康優良法人の認定を頂けました事は、弊社にとって大きな励みとなりました。今後も引き続き、働きやすい環境づくりを社内一丸となって進めて参ります。

健康意識改革

「体が資本」。製造業を営む上で、社長がスタッフに伝え続けた言葉です。弊社スタッフは、平均年齢が比較的若く、私を含め健康に無頓着な方が多い事は事実です。ですが、健康経営と出会い、若いうちから健康に気をつけなければならないと気づき、すぐに実行に移すこととしました。
まず取り組んだことが、分煙です。喫煙者に対して、屋内禁煙、喫煙場所の取り決めを致しました。この事で受動喫煙対策になり、非喫煙者との関係性が少し改善されたように思います。すぐには難しい禁煙ですが、少しづつ健康を意識して頂ければと願います。この他にも運動、食事など第２、第３の健康意識改革を進めて参ります。



2018年稼働開始した新工場



金属加工製品

コミュニケーションの促進

社内コミュニケーションは仕事を円滑に行うためにも非常に重要ではありますが、製造業はコミュニケーションに割く時間が少ない業態であるという事も認識しておかなくてはなりません。
そこで弊社では、様々なテクノロジーを駆使して生産性向上を図り、時間的なゆとりを生む事を一つの目標にしております。
まだ道の途中ではありますが、10年前と比べますと、徐々に意見交換の時間や、BBQ、食事会などの交流の時間が確保できるようになってきたのではないかと感じております。
また、コミュニケーション促進とスタッフ間の情報共有を目的とし、委員会を設置しております。SDGs、健康経営、コミュニケーションの３委員会を発足し、活動を毎月続けています事も、コミュニケーションの促進に繋がっていると信じております。

スタッフセミナーの開催

スタッフの自主性の発揮、チーム力向上、意識改革等の観点から３年前より毎月１回のスタッフセミナーを実施しております。これは毎月１回、交代でスタッフ自身に得意分野をテーマとして、講師を務めて頂くというものです。自らが講師を務めることで、緊張感と参加意識が醸成され、様々な現在の改善活動につながっているのです。企業とは人であり、スタッフの成長は企業の成長です。今後も本活動を通して、全員で成長して参りたいと考えております。

VISION2030

今後の健康経営における展望としましては、「生産性向上による、残業廃止」を目指します。「仕事も私生活も充実してこそ、スタッフの幸せである」と考え、この目標達成こそがスタッフの健康につながると確信しております。
継続は力です。健康経営も働き方改革も、続けなければ意味がありません。健康優良法人の認定を頂いた事を一つのきっかけとして、今後もサステナブルな企業づくりに邁進し、10年先もお客様に安心を提供し続けて参ります。

神戸合成株式会社



代表取締役社長
宮岡督修 氏

社是　：　「利他心」「似和為貴」「笑門来福」

- 代表取締役社長　宮岡督修 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県小野市匠台10
- 主な事業内容　輸送用機械器具専用ケミカル事業
- 従　業　員　数　34名(男性:21名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

**経営理念　：　全グループ従業員の物心両面の幸福を追求し、
社業によって関わる全ての人々をも幸福にし、
社会の発展と世界の平和に貢献する。**

神戸合成では、創業以来ひたむきに「お客さまのご要望を全て叶える」ことを目指しています。

ホワイト企業としてのプライド！

過去、2人の従業員がガンに罹患し、1名は惜しくも亡くなってしまい、健康に対する意識の必要性を高く認識しました。
これを契機に健康診断は以前より受診率100%でしたので、有所見のあった従業員に対して、所見結果判明後1か月以内に2次健診受診を促し、その結果について報告を受けて、症状の悪化を防いできました。2次健診受診率も100%となった結果、病気で休暇を取得する従業員がほとんどいなくなりました。その他にも様々な会社施策からホワイト企業であることを外部から見ても理解されるよう優良法人認定を目指すこととしました。

完全禁煙の実現！

業務上可燃性ガス等を扱う関係上、職場では厳しく火気厳禁としていました。しかし、職場以外の場所での喫煙を主張する従業員もいて、過去には分煙場所を設けて喫煙許可を出していました。しかし、業務上、絶対に火気厳禁であることから禁煙を推奨するために「卒煙」宣言を行い、1年間継続して禁煙に成功した社員へ10万円の報奨金を支払うようにしました。その結果、喫煙している全従業員が挑戦してくれて、おかげ様で全社員が禁煙者となってくれました。新しく入社する従業員にも現在禁煙か、禁煙を誓うことで入社を許可しているので構内に喫煙場所がなく快適な職場環境が維持されています。



社員総会＆方針発表会



ソフトボール大会の一幕



研修旅行時の食事風景



お誕生日会

楽しい盛りだくさんなイベント

コミュニケーション促進として、毎年慰安旅行に行っています。毎年社員総会後の4月末から実施していましたが、昨年はコロナ禍の間隙を縫って7月に「世界遺産の旅」として知床半島に行ってきました。時期・場所ともに好評でみんな来年を楽しみにしてくれています。また、毎月お誕生日会(人数が少ない時は2ヶ月～3ヶ月合同)を開催しています。従業員のほぼ全員が車通勤のため、日帰りではゆっくり出来ないとのことから、毎回1泊2日で有馬温泉に行き普段の疲れを癒し、明日への活力にしてくれています。コロナ禍以降久々に開催した前回も大好評でした。

年間を通じたイベント

当社が工業団地の中にあることから、ソフトボール大会を団地内の企業参加で対抗戦を実施しています。秋口には商工会議所主催でも開催されるので毎年楽しみにしています。また、毎年工業団地内の企業が集まって運動会も実施しています。中小企業も多いので、数社合同して対抗戦を実施し、他社との交流の場ともなっています。
また、兵庫県は全国2番目にゴルフ場の多い県でもあることからゴルフも盛んで、毎年2回ゴルフ部として対抗戦を行っています。会社からたくさんの賞品を提供することから参加者が多くなって楽しい1日を過ごしています。

社員総会＆方針発表会

毎年4月末に実施される社員総会＆会社方針の発表会では従業員のモチベーションアップとなる嬉しい表彰を行っています。それは、健康維持賞、労働安全賞、交通安全賞等々、該当社員に金一封を授与することでみんなが笑顔になってくれます。
また、従業員全員参加での食事会では飲食店を貸し切って、1次会は終業時間前に始めて、2次会まで会社負担で行うことからほぼ全員が参加しています。楽しいイベントは明日への活力につながっていると実感しているので今後も続けていきたいと思っています。

1190

岡山県
倉敷営業所

Voice Report 120th

ササベ印刷株式会社



代表取締役
板倉昌美 氏

従業員の健康があってこそ、会社は成長する

- 代 表 取 締 役　板倉昌美 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県倉敷市西阿知町
- 主な事業内容　印刷業
- 従　業　員　数　16名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「健康」という共通ワードのもと、社員との一体感を図るべく健康経営にチャレンジ

福利厚生として商工会議所の共済制度に加入しており、担当者と話をしていた際に、健康経営について紹介があったことが取り組みのきっかけでした。
普段はデスクワークの社員や高齢者の社員も、時に作業要員として立ち仕事が発生することもあるため、怪我や事故の防止も考慮し、長く勤められる企業体制作りに取り組んでいます。
トップダウンでチャレンジというより、社員とのコミュニケーションを図る上で、健康経営を通じて「健康」という誰にでも当てはまるキーワードの元、会社全体の一体感が生まれるツールになる、と確信しました。

認定取得までの道のり

認定取得に向けては、認定の項目内容そのものが、既に実施しているものも多かったため、申請すれば認定されるのでは、と思いました。今までも社員との面談等で、社員の病状やご家族の様子の把握をしていましたが、健康経営を意識することで、具体的な取り組みが明確となり、従業員の健康づくりの背中を押す大きなきっかけになったと思います。
例えば、取り組みの一つとして、毎月給与袋に健康経営ワンポイントアドバイスを入れています。毎回テーマが変わるため、それを楽しみにしている従業員もいるようです。
今月のワンポイントアドバイスを話題にすることで社員の意識も高まり、社員同士でもその話題でコミュニケーションが円滑になるなど、当社の中に浸透してきています。



毎朝のラジオ体操実施
朝の始まりは
社員と気持ちを一つに



社内ポスター掲示
入口に認定証を置くことで、
来客時に話題になる事も

全社的な健康課題が明確に

健康習慣アンケート結果を元にしたフィードバックセミナーにより、意外に「運動不足を解消したい」と願う社員が多いことに気付かされました。そこで、取り組む最初のテーマとして運動を挙げ、毎朝、全員で誰もが気軽に取り組めるラジオ体操を行っています。その結果「全社で健康課題を克服する」という一体感が生まれたように感じています。
また名刺への健康経営優良法人ロゴ掲載も、従業員への健康に対する意識付けに大いに役に立っています。社外の方とのやりとりでも、名刺をご覧になって健康経営という共通の話題ができるなど、思わぬ効果も出てきています。

従業員は会社にとっての家族

健康は個人のみの問題ではなく、健康習慣を決定づける企業側にも責任があると考えています。
今まで福利厚生の一環として、健診の時には胃カメラの受診や婦人科検診の推進も図ってきました。それは当社にとってかけがえのない、家族とも言える従業員一人ひとりを大切にしたい、という願いからであり、その方の人生や家族のことも経営的な目線で見ていく重要性を感じています。
これからも健康経営を通じて、従業員一人ひとりが人生の目的を持ち、充実感を持って業務に打ち込める職場づくりを目指していきたいです。

今後の展望

社員のみなさんに自信・安心感をもって働いてもらうためにも、健康経営は明るく前向きな取り組みだと思っています。社員の健康があって会社の成長に繋がるものと信じています。これからも健康で、元気に、明るく働いていただき、共に豊かな人生を実現していく原動力としたいです。
この度は健康経営優良法人2022を取得できましたが、取り組みを継続することで“○○年連続健康経営優良法人”となり、社内外にアピールしていきたいと思います。

株式会社カープランニング広島



代表取締役社長
田頭秀晃 氏

仕事は楽しい！元気を届ける圧倒的なNo.1の会社

- 代表取締役社長　田頭秀晃 氏
- 本 社 所 在 地　広島県尾道市高須町5667
- 主な事業内容　自動車販売業
- 従　業　員　数　32名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営の取り組みのきっかけ

弊社は普段から社員の寄り添うことを大事にしてきました。社員が前向きに元気でいるためには、健康であることは重要です。
健康経営の取り組みを通じて、社員が健康になり笑顔が増えると思い、取り組みを始めました。

従業員もお客様も笑顔になる取り組み

弊社ではみんなが笑顔になるような取り組みを主に３つ行っております。
１つ目は健康づくりになります。酸素BOXや運動器具の設置をしております。社員はもちろん、来ていただいたお客様にも無料で提供させていただいております。
２つ目は地域貢献活動になります。週に２日間、活動をしております。内容としては、ごみ拾いになります。この取り組みは設立当初から始め、10年以上続いている取り組みです。運動にもなりますし、きれいになるとみんながいい気分にもなります。
最後の３つ目は、イベントになります。社員同士の交流の場を作るために、草野球や野球観戦などみんなで楽しめることを企画しております。仕事だけでなく、仕事以外の社員の顔を知ることでよりお互いのことを知る機会になります。

「仕事は楽しい！」

採用に関しては今年から11名の仲間が増え、現在32名の社員が在籍しております。若い社員が多い中、私自身が一番伝えたいことは「仕事は楽しい！」ということです。そのために社員とのコミュニケーションは欠かせません。
そのために健康づくりの環境を含めた、居心地の良い職場を用意することを重点的に取り組んでまいりました。
その結果、新入社員のほとんどは「仕事が楽しそう！」「雰囲気がとてもよかった」という志望理由で入社されました。
また、社員同士で今日一日よかったこと、うれしかったことを共有し、仕事のモチベーションに繋げております。
今後も社員一人一人に寄り添いながら、全員で成長していきます。

社長の想い

私は「みんなが元気になれるような会社」を作りたいと考えております。社員には夢と希望を持ってもらいたい。そのためには心も体も健康であることが大切になってきます。
朝礼では、毎日「お客様に一番喜んでもらう活動をします！」などのナンバーワン宣言を元気に明るくしております。
そして、この仲間と一緒に「元気を届ける圧倒的なNo.１の会社」を作るために挑戦していきたいと思います。



全員写真



運動器具の設置



お客様と社員が愛用している
酸素BOX

1192

広島県
福山営業所

株式会社フィッツ



代表取締役社長
原井佳雄 氏

～健康経営の継続は社員の幸福につながる～

- 代表取締役社長　原井佳雄 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市神辺町道上607-1
- 主な事業内容　情報処理システムのコンサルティング
- 従 業 員 数　5名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

Voice Report 120th

健康経営のはじまり

弊社は2015年の創業時、「社員が働きやすい職場」「社員が能力を発揮できる職場」といった課題解決策として健康経営に取り組んでおります。健康経営を知るきっかけとなったのが、協会けんぽからのご案内です。業務形態は取引先にて業務を行う事が多い為、取引先に、ご迷惑がかからないように健康状態、感染予防の対策は徹底しております。健康経営はその予防につながる取り組みだと思い、取り組み始めました。

健康経営の取り組み

社員の働く環境や健康を第一に考え、取り組みを行っております。様々な取り組みを実施している中でまずは「感染予防」の徹底を実施しました。具体的には除菌・消毒液の設置、マスクの支給とインフルエンザの予防接種の奨励と実施確認でした。その取り組みの結果もあり、創業時からインフルエンザで休む社員は未だに一人もいません。現在、インフルエンザの予防接種へ会社にて半額負担しています。
また、自分の時間を大切にしてほしいという思いでリフレッシュ休暇制度を設置、水曜日にはノー残業デーにしております。仕事のオンとオフをしっかりと意識することで、残業が減り、社員一人一人の生産性も上がりました。

社員同士の交流の場を

健康経営の取り組みでは、社内に運動器具の設置、夏には熱中症対策としてスポーツ飲料と塩飴を配布しております。また、社員の交流の場として、月に一回社員同士がお互いの仕事の状況などを話し合う時間を設定しております。社員への誕生日プレゼント、ハロウィンやクリスマスなどのイベント時には事務所内パーティやお菓子の配布を行っています。働く中で、少しでも楽しく働いてほしい、そして、このような活動がメンタルヘルスに対しての予防・早期発見につながると考えております。

社長の想い

健康経営は社員の幸福につながると思い、創業当時から取り組んでおります。健康経営の取り組みを通じ、社内の環境はよくなりました。また、効果としては会社説明会の参加人数の増加、他の会社とのつながりなどプラスになることが多くありました。
将来は健康経営の取り組みを社員全員がしっかりと理解し、自ら行動できるようになってもらえればと思っております。今後も社員のため、会社のために健康経営を続けていきたいと考えています。



全体写真



熱中症対策として、
スポーツ飲料を配布



社員の誕生日にお菓子をプレゼント

協和建設工業株式会社



代表取締役社長
田村伊正 氏

健康経営を通じて地域に評価していただける企業へ

- 代表取締役社長　田村伊正 氏
- 本 社 所 在 地　山口県萩市椿2370
- 主な事業内容　総合建設業
- 従 業 員 数　121名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 山口支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは、“故郷（ふるさと）が大好きです。”をモットーに、誇るべき歴史と美しい自然が織りなす郷土を愛し“開発と保存そしてその調和”を企業理念として郷土の発展に取り組んでいます。

健康経営に取り組んだきっかけ

当社は人を財産として育てていきたいと常に思っております。今までも社員に課題を示し、関与させることで社会へ参画させてきました。最初に健康経営という言葉を聞いて感じたことは、【健康経営】というワードで情報発信することで元々取り組んでいたことを分かりやすく伝えることが出来るという事です。
【健康経営】という言葉は健康を考えるための動機づくりであるとの思いから、健康宣言をし、健康経営優良法人を目指そうと決断しました。

3分間スピーチの話題も『健康』が中心に

当社では、毎週行っている朝礼で社員による3分間スピーチを実施しているのですが、健康経営の取り組みが進んでくると『健康』についての話をする社員が自然と増えてきました。例えば、スピーチの中で禁煙宣言する社員が出て盛り上がったり、肥満解消のためにダイエットで何キロ痩せたとか、現在治療中の病気や過去にかかった疾病など、対応策や予防法を交えて話す事で、健康に関する情報共有も出来ています。
みんなが健康を意識し話題にのぼる事で、会社内の雰囲気も良くなっているように感じます。

地元のスポーツジムと連携

地元のスポーツジムと提携し法人契約を結びました。プールやフィットネスジムの利用ができ、従業員本人は無料。従業員の家族も割引料金で利用出来ることが出来ます。非常に評判が良く、仕事帰りにジムに通う社員も増加しました。コミュニケーションも円滑になってきたように思います。
社員の健康管理に係る取り組みの一つですが、地元企業と連携する事で地域での相乗効果を生み、ひいては当社のモットーである郷土発展にも繋がると自負しております。



認定証



スポーツジム利用の様子

定期健診の二次健診の受診率向上

定期健診で要精密検査・再検査となった社員に受診するように声掛けを行い、少しずつですが受診率も向上してきました。今後も受診率100%を目指していきますが、そもそも二次健診を受ける必要がなくなる健康づくりや、周りから言われなくても自ら受診する意識づくりが大切だと感じています。

地域に育まれ努力し、地域とともに会社も年数を重ねていきたい

企業として年数を重ねていく事は決して平坦な道のりではありません。人が財産であり資産です。
健康経営を取り組むことで企業は地域と共に歩み育ててもらうものだと思います。地域に評価してもらえる企業、地域に評価してもらえる社員でなければなりません。
基本理念である『故郷が大好きです』をモットーに地域に育まれ努力を重ね、地域とともに会社も年数を重ねていきたいです。

1194

山口県
山口営業所

有限会社元気ジャパン



取締役社長
木下久雄 氏

健康経営を通じて笑顔であふれる企業へ

- 取締役社長　木下久雄 氏
- 本社所在地　山口県山口市鋳銭司10447-25
- 主な事業内容　運送業
- 従業員数　98名
- 加入健保名　協会けんぽ 山口支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 120th

従業員の笑顔であふれ、笑い声が飛びかう。そんな会社にしていきたい。

健康経営に取り組んだきっかけ

以前私の母が施設に入った時、施設の中で友人が出来たら少しでも楽しんで過ごせるかとも思っていましたが、足が悪く歩けない方ばかりでそれどころではありませんでした。長生きしても健康でないと意味がないと痛感しました。また、会社立ち上げ当初から一緒に働いている同僚が糖尿病になり、視力が落ちるなど症状が出てきました。若い頃から日々の生活を送る中で健康に留意して過ごすことの大切さを常に感じていた所、健康経営の話を伺い、絶対に取り組むべきだと思いました。

休憩室を自宅のように。ジムも設置

従業員が休憩する際、出来る限りリラックスして欲しいと思い、休憩室にこだわりました。くつろぐための大型テレビや大型ソファーでリビングを演出。こだわりのアイランドキッチン。ダイニングの奥にはスポーツジムを作りました。自宅のような空間にすることで従業員の皆が集いやすく緊張しないスペースにする事をイメージしました。
その結果、休憩時間には多くの従業員が集い、笑い声が良く聞こえてきます。



こだわりの休憩室



設置したスポーツジム

キッチンカーで社長が店長に？

面白いと思えば何でもやってみたくなるのですが、レンタカーで貸し出しが出来ると思って買ったキッチンカーがあります。コロナ禍で中々レンタルというわけにもいかず会社に置いてありました。これで昼時間に食事を出せば従業員が喜ぶと思い、社長自らカレーとから揚げを作り社員に振舞いました。思いのほか好評で従業員も楽しんでいました。

月１回恒例になった大掃除でコミュニケーション

自分たちの職場は自分たちでキレイにしようと社長自ら掃除をしていました。徹底的にキレイにするのですが、それを見ていた従業員が１人増え、また１人増え、いつの日か月１回の恒例行事となり、運転手含め年末並みの大掃除をしています。当社は工業団地の中にあるのですが、会社前の道路も掃除していた所周りでも掃除を始められた会社が出てきました。話をしながら会社をキレイにすることで従業員同士より親密になったと思います。
その他地域のリレーマラソンに皆で参加したり、毎年社員旅行に行ったり従業員のコミュニケーション強化に力を入れています。

人を大切に　どんな事でも人がいないと動かない

会社を設立してはや18年が経ちました。最初は２名だったメンバーが現在正社員で98名となり、トラックも80台になりました。事務所も手作りで建てたりみんなの力で大きくなった会社です。先日は事務所の外で皆が語り合い、大きな笑い声が響いていました。会社で従業員の笑顔や笑い声が聞こえ楽しそうにする皆の姿を見たとき本当に会社を立ち上げて良かったと思えました。
人を大切に。どんな事でも人がいないと動きません。人と人とが協力し合って事は動くと思います。わが社は皆が主役。社長になった気持ちで仕事に取り組んでほしいと思っています。
今後も従業員とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

豊田鋼機株式会社



代表取締役社長
豊田善隆 氏

定年まで生きがいを持って健康で全うしてほしい

- 代表取締役社長　豊田善隆 氏
- 本 社 所 在 地　山口県萩市椿東2884-1
- 主な事業内容　鉄鋼・同加工品卸
- 従　業　員　数　70名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 山口支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

『人と暮らしと技術を未来につなぐ』。力を合わせて、人々の暮らしを、私たちの暮らしを、より豊かにしたい。私たちの事業を通じて、変わりゆく社会をもっともっと魅力あふれるものにしたい。そのような会社であり続けたい。

健康経営に取り組んだきっかけ

以前社員が現場で倒れ、ガンに罹患したことが原因だった事が分かりました。そのことで社員の健康について大切であることを改めて実感しました。それから様々な企業からの良い提案は受け入れ導入していきました。
健康経営の話を聞き、当社には絶対に必要だと思い健康経営優良法人を目指そうと思いました。

還元水素水・酸素カプセルを設置

ある会社から還元水素水の話を聞き社内でセミナーを行いました。水の大切さと還元水素水の良さを社員が理解し、私自身も感銘を受けたので社員の為に還元水素水のサーバーを購入し給湯室に設置しました。
就業時間中に飲むだけでなく、ペットボトルに入れて家に持ち帰る社員も多く、社員に浸透しています。
また、酸素カプセルを購入し就業時間中に30分入って良い事としています。今は使用する社員が限られており、今後は課ごとに時間を決めるなど利用促進をしていこうと思っています。



酸素カプセルを
社内に設置



還元水素水のサーバーを設置

健康管理・増進のための設備制度を導入

健康管理の為、血圧計を購入し社内に設置しました。その他、社員がインフルエンザに罹患した場合の影響を鑑みインフルエンザワクチン接種の全額費用負担をしています。
女性向けに乳がんセミナーを実施。乳がんに対する知識を得ることが出来ました。
また、自社グループ会社のフィットネスクラブの会費補助をし社員の健康増進を図っています。
様々な取り組みをすることで社員の健康に対する意識の向上を図っています。

社員間のコミュニケーション向上のため

社員間のコミュニケーション向上のため部活動をしています。
また、駅伝大会や商工会議所主催のソフトボール大会に出場。バーベキュー・ボウリング大会などコロナ前は積極的に取り組んでおりました。
コロナ後には必ず再開したいと思っています。

生きがいを持って健康で職務を全うして欲しい

私も50歳近くになり体調の変化を感じ、やはり日々の食生活や睡眠、運動などいろいろなことに気を付けないとパフォーマンスが落ちていくと思うようになりました。65歳に定年延長された今、社員には65歳まで生きがいを持って健康で職務を全うして欲しいと思います。そして60代になったときに健康でまだまだ働けると思える日が来る様、健康に気を付けてほしいと思います。

1196

山口県
下関営業所

Voice Report 120th

株式会社遠山



代表取締役
遠山哲広 氏

朝を活かすことから仕事が始まる『凡事徹底』

- 代表取締役　遠山哲広 氏
- 本社所在地　山口県下関市長府扇町5-80
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業
- 従業員数　34名(男性:34名・女性:0名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

**昭和30年創業から60数年経過し、私の祖父から受け継ぎ今は３代目。
ダンプ１台から始まった事業も今は110台となり、皆様に喜ばれる運送に日々精進し取り組んでおります。
時代の趨勢に逆らわず、昭和平成令和と時代が変わる中で私共も進化しながら、変化しイノベーションを図り、
時代に即した状況で、どなたにもご利用いただける業態となっていきたいと思っております。**

健康経営に取り組むきっかけ

運送業という業種のため、健康が仕事に大きく影響することもあり体調管理は重要でした。
仕事の能率だけでなく交通事故へも影響する為、会社のイメージにも関係してきます。
加えて、明るく挨拶でき健康に働ける会社・元気な会社にしていきたいという思いもあり、何かしら対策をしなくてはと思っていたタイミングで健康経営の話を伺い、チャンスと捉えて取り組みを開始しました。

取り組み内容

まず、学び舎に運動用具を置き、従業員が自由に使えるようにしたところ、運動しながらコミュニケーションをとることが出来るようになり、結果仕事にも良い影響が出てきて、円滑に仕事が進むことが多くなったように思います。
仕事柄、腰痛や肩こりを持った従業員が多いのですが、少しずつ軽減しているという従業員もいます。
ジムに行く時間とお金がかからないので皆に好評で、活用してくれています。



ただいま運動中

今、抱える課題

喫煙者がまだまだ多いのが、課題です。
禁煙となるとハードルが高く推進が難しいです。
ただ体の為には少しでも本数を減らして欲しいとの思いがありますので、「体への影響」「周囲への影響」などのチラシを回覧したり、会議で声掛けを行ったりしていますが、現状あまり効果が出てはいません。
同様に、飲酒に対しても意識を高めていく必要があると思っています。
これからも粘り強く、より効果的な方法を考えながら声掛けを行っていきます。

今後の展望



会社の駐車場に「朝を活かすことから仕事が始まる」と看板を立てました。
祖父から受け継いだ会社を、変化を取り込みながら存続していきます。
朝から元気に明るく仕事が出来るように環境を整えていきます。

これからの課題

出来る範囲で少しずつ取り組んでいるところですが、まだまだ積極的に健康に興味を持っている人が少ないのが課題でもあり、伸びしろでもありますので、生活習慣アンケートなどで得た情報を活用しながら、少しずつでも会社が取り組んでいる内容を理解して貰い、興味を持って貰えるよう推進していきます。
そうは言いつつも、できるだけ日常的に負荷なく自然に健康習慣となることが一番良いと思いますので、そちらも検討課題です。従業員全員が元気で長く働いて貰えるよう、継続は力なりで実践していきたいと思います。

株式会社ソアー



代表取締役社長
金子隆晴 氏

全ての社員が十分に能力を発揮できる職場づくり

- 代表取締役社長　金子隆晴 氏
- 本 社 所 在 地　佐賀県佐賀市鍋島3-10-14
- 主な事業内容　OA機器販売及びメンテナンス、保守
- 従 業 員 数　112名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 佐賀支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

「お客様の喜びと社員の喜びを継続的に両立させ、世の中の役に立つ存在であり続けたい」をモットーに、お客様の事業繁栄の貢献に日々努め、佐賀県では唯一、富士フイルムビジネスイノベーション（株）の特約店として地域に密着したサービスを行っています。
これまではコピー、プリンター、ファクシミリなどで仕事の「効率」を上げるお手伝いをしてきましたが、近年、オフィス環境は複雑化し、情報の管理・運用が煩雑化しています。これからは必要な情報・知識をネットワークで共有する環境づくり、最適な業務プロセスへのカスタマイズなど、事業の「効果」を上げることも私たちの役目だと考えます。

健康経営に取り組むきっかけ

創業から38年が過ぎ、社員の平均年齢も40歳を超えました。CS向上活動ももちろん重要ですが、ES向上の施策のひとつとして社員一人ひとりが健康でいきいきと働ける労働環境づくりにも繋がると考え、また採用活動においても健康経営を行っていることで社員を大事にしている会社であることがアピールできると考え、取り組みを始めました。

健康経営を始めて良かったこと

会社全体での健康に関する意識が上がってきており、健康診断及び婦人科検診の費用負担、助成金等の福利厚生の後押しもあってか、幅広い項目の健診を受診される方が増えました。
自治体の公共調達における加点や各地域の優遇措置も受けられますし、採用活動においては社員を大事にする会社であることのアピールにも繋がっています。



子どもお仕事参観デーの様子



西部支店、フリーアドレス化

福利厚生、ワークライフバランスの充実に向けて

福利厚生面では社員の喫煙率を下げる為、非喫煙者には毎月給与に手当を支給、喫煙者には禁煙外来受診費用の補助を行う等の健康増進の取り組みを行っており、その制度を活用して禁煙に成功した社員もいます。また、中小企業勤労者福祉サービスセンターに全社員加入し、人間ドックや健康診断の費用、スポーツクラブ利用料、その他飲食、宿泊費用等に助成金を活用できるような制度もあります。
ワークライフバランスの充実に向けては、時間外労働の削減を目標に主にPCの電源管理ソフト導入、全社員対象の半期ごとに業務改善提案の提出、テレワークの積極的活用推進の３つを取り組んでいき、無駄な時間外労働を削減するように努めています。あわせて新型コロナウイルス感染対策として出勤率40%削減を目標に、直行直帰、テレワークを積極的に推進し、社員の働き方にも柔軟に対応しております。

今後の展望

昨年、西部支店の移転を機にテレワークやペーパーレスに対応した、職場のフリーアドレス化を進めました。机は誰がどこに座ってもよく、固定した席にありがちなファイル類も一切無く広々としたスペースが確保できます。社員はパソコンに必要な情報をすべて保存し、プリントアウトした書類を持ち歩くこともなく、事務用品など必要な備品は、壁際の専用ワゴンに入れて管理する事を徹底し、お客様に実際に見学にきていただけるようなオープンフラットな職場環境になっております。今後は唐津支店の移転も控えており、カフェ風をコンセプトとして現場社員の声を取り入れながら、計画を進めております。将来的に本社も含め全社をフリーアドレス化する予定で社員が健康で働きやすい会社にしていきたいと考えております。

1198

福岡県
福岡中央FA支社

Voice Report 120th

株式会社機動開発



よい仕事　先ずは　社員の健康管理が第一！

- 代表取締役　大内義弘 氏
- 本社所在地　佐賀県杵島郡白石町大字馬洗2303-3
- 主な事業内容　土木１式工事／とび･土工工事 等
- 従業員数　22名(男性:19名･女性:3名)
- 加入健保名　協会けんぽ 佐賀支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は､｢安全･正確･迅速｣をモットーにしております。
クライアントに満足して頂ける工事を熱意と誇りをもって携わっております。
それに､地域貢献にも力を入れて､信頼される企業を目指しております。

定年制を廃止し､元気で長く働いて貰えるように､健康経営に取り組んでおります。

若手の建設業離れもあり､社員の高齢化が進んでいるため､健康で元気に長く働いて貰えるように､健康経営に積極的に取り組んでいます。
年齢に関係なく､ずっと元気に働き続けてもらいたいという想いから､令和４年６月に65歳定年制を廃止するように就業規則を変更しました。
健康診断も年に１回必ず全員が受診して､保健指導も受けてもらっています｡社内に相談窓口も設けて､心身共にサポート出来るよう体制を設けております。

重機も新しく導入して､残業を減らすよう努めています。

仕事の効率を上げるために､積極的に重機を導入して､従業員の残業を減らすよう努力しています｡おかげで､月間の残業平均時間は５時間以内となっており､残業の無い月もあります。

福利厚生も充実しております。

夏には作業服と空調服､冬には作業服と防寒着を支給しています｡交友を深めるために､年に２回親睦会(春と冬)､年に１回の社内旅行２泊３日を実施しています。
(過去２年間コロナで自粛　来年は北海道予定)
毎日社長が現場を回り､夏場には熱中症対策で冷たいドリンク等を持って､コミュニケーションを図っています。

今後の展望

建設現場では､体調不良により仕事に集中出来ないなど､ちょっとした注意力の散漫が原因で大事故に繋がります。
一人一人が自分の体調管理に関心を持てるよう､健康経営でサポートしていきます。
今後も社員が毎日元気に笑顔で働ける職場作りを進めていきたいと思っております。





2019年の｢名古屋･鳥羽温泉旅行｣の様子

株式会社中村工務店



代表取締役社長
中村鉄男 氏

社員のよろこびが会社のよろこび

- 代表取締役社長　中村鉄男 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県長崎市松山町4-44
- 主な事業内容　住宅リフォーム業
- 従　業　員　数　38名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営の取り組み

2014年から社員主導で社員たちのやりたいことに挑戦してみた結果、健康経営を行っている状態でした。そのため、社員からの要望で認定を受けました。さらに働きやすい環境を実現するために、ブライト500の認定を目指します。

具体的な取り組み

社員からの提案を実施することで、社員間の風通しを良くし、お互いの信頼関係を高め、働きやすい環境を整備しています。

【ゲーム感覚で楽しみながら社員の立案を実践】
・年初に健康に関する目標を立て、年末までに達成できたらインセンティブを得られることで、健康意識が向上している。
・社員間の「ありがとう」の気持ちを送りあう「ありがとうコイン制度」を導入し、感謝の気持ちや励ましの気持ちをお互いに送りあっている。集めたコインでインセンティブが得られるだけでなく、職場での時間を楽しくさせている。
・社員間投票による10部門の最優秀賞と年間MVP賞があり、様々なインセンティブを得られることで働き甲斐を高めている。

【メンタルへの配慮】
・外部のメンタルサポートサービスを利用できる。会社に知られることなく悩み相談窓口を無料で利用することができる。
・改善提案箱を設置しているため、匿名で会社に意見を伝えることができる。
・フリーアドレス制を取り入れ、コミュニケーションの活性化を図っている。

【心と体の健康つくりをサポート】
・やりたい部活動ができ、会社から助成金支給で活動を応援している。(バレーボール部、ゴルフ部、バトミントン部、釣り部、バイク部など)
・インフルエンザ予防接種費用は全額会社負担
・健康診断時に、大腸検査、腹部エコーなどオプション検査を全額会社負担で追加している。

【社会的健康】
・みなし残業時間内に地域の清掃活動やイベント参加を社員が積極的に行っている。自分たちが働く地域に貢献を行うことや会社と家庭以外の関りを持つことで、より豊かな時間を過ごすことができている。





創業65周年を迎えて今後の目標

住宅に関することのお客様の悩みや問題を解決できるプロを目標にし、地域の皆様に必要とされ、安心して任せてもらえる企業を目指します。
そして、鎖国時代に日本の窓口であり、あらゆる文化に先駆け発展した長崎。これからも長崎が発展、活性化できるよう長崎の良さを、仕事を通して発信し続けます。また、被爆地でもある長崎。創業以来「平和公園」の前に社屋を構えていることに誇りと使命を感じています。そのため、平和につながるような仕事に発展させられるように社員一丸となって取り組んでいます。平和に対する取り組みの一つとして、毎年当社負担で平和公園のクリスマスイルミネーションを行っています。これも社員からの要望で始まったものです。
恒久平和への願いを共有し、戦争、被爆による惨禍の記憶を風化させないために行っており、地域の皆様に大変喜ばれています。
これからも、社員からの要望を取り入れ、社員全員が豊かで幸せな人生を送るために生活安定の保証と安心して働ける環境を一番に考え、給与や生活水準の向上などが実感でき、生きがい働きがいをもてる職場つくりに努めます。



1200

鹿児島県
鹿児島営業所

Voice Report 120th

株式会社菊川鉄工



代表取締役社長
菊川陽一郎 氏

離島交通を支え、平凡な毎日のためのインフラを守るために

- 代表取締役社長　菊川陽一郎 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市宇宿2
- 主な事業内容　一般機械修理・一般機械器具卸業
- 従　業　員　数　29名(男性:28名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

鹿児島県は有人離島が26あり、約16万人の人々が暮らしています。わが社は離島交通・発電設備を支え、離島での平凡な毎日のためのインフラを守ることを使命としています。
社員は毎日エンジンに向き合い鉄の声を聞くのが日課ですが、鉄製の機械のわずかな変化・異常に気が付くよう「健康経営」で体調管理と共に五感を研ぎ澄まし、県内リーディングカンパニーを目指します。

自分の経験から「ベストを尽くす」ために健康経営に取り組む必要を感じました

私は常に「ベストを尽くす」をモットーにしております。持てる能力を発揮しベストを尽くすためには、心身の健康が基本です。2018年に人間ドックで脳動脈瘤が見つかった時は、自覚症状も全くなく「まさか自分が」という思いでした。ちょうどアクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営を勧められ、会社と従業員の健康増進と離島の方の生活とインフラを守るために取り組むことにいたしました。健康経営アドバイザーの力を借りて、最初はコストを掛けずに身近なところから「スモールチェンジ」を心がけました。

ベテラン社員には健康で長く働いていただき、次の自分を育ててほしい

社員の平均年齢は47歳と、数年前の50歳代から若返りつつあります。ベテラン社員も頑張ってくれており、60歳代が７名70歳代が２名です。何と言っても経験がものをいう仕事ですから60代・70代の方には健康で長く働いていただくのと同時に、次の自分を育てていただくようお願いしています。
従業員の意識が業務に100%向くためには、自身と家族が健康でなければできることではありません。それは私自身が脳動脈瘤が見つかりカテーテル手術を受けるまでの４か月の間気が気でなかった経験から身をもって断言できます。仕事に100%集中するためには、「健康経営」を推進する必要があるのです。アクサ生命の健康経営アドバイザーによる研修で浸透を図っています。



2021年８月11日健康セミナー実施
[コミュニケーション]をテーマに全員参加で学びあいました。

離島の暮らしを守る出張 出張に対する気配りは欠かせません

離島への出張は最長で１カ月半にも及ぶため、従業員の体調管理には特に気を配っています。出張中は２～４人のチームで昼夜とも行動を共にすることになります。個室に宿泊させてあげたいのですが、離島には民宿しかないところも多く実現可能な場所は限られてきます。出張でストレスを溜めないよう、１週間以上の出張後は必ず有休を取得してもらっています。出張中は食事のバランスも崩れがちとなりますので、少なくとも必ず３食を摂るよう促しています。アクサ生命から配布されるワンポイントアドバイスの、食事・飲み物・栄養編が大いに役立っています。

健診結果で従業員の健康状態を把握 予防にも力を入れます

健康経営に取り組む以前から、健康診断の受診率は法律上の義務として100%でした。しかし健診結果を活用できていたかというと決してそんなことはありませんでした。健診結果については社員と立ち話で話す程度で、健康状態も把握できていませんでした。現在は結果の一覧を作成し、一人一人の健康状態を把握すると共に、日々の変化にも目を配っています。私自身脳動脈瘤の手術を受けた経験から、脳ドック・CTスキャンやMRIなど予防的な各種検査に関して補助の制度を設けて症状が無くても積極的な活用を呼び掛けています。

健康経営でリーディングカンパニーを目指します

今まで淘汰されない事を目標に経営に取り組んできました。わが社の使命が離島での平凡な毎日のためのインフラを守ることとしていることに鑑み、リーディングカンパニーを目指しベストを尽くしてまいります。



朝礼実施後に
社員の皆さんと

今別府産業株式会社



代表取締役会長
今別府英樹 氏

「社員とその家族の幸せ」を実現し、地域社会の発展に貢献

- 代表取締役会長　今別府英樹 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市新栄町
- 主な事業内容　その他の建築材料卸業
- 従　業　員　数　100名(男性:76名・女性:24名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2022 2回認定

「環境(まち)創り　人財(ひと)創り」の経営理念に基づき、暮らしに密着した事業に取り組んでいます。経営ビジョン「グッドカンパニー」実現に向け、独自性を発揮し新たな価値を提供すべく社員と会社が共に成長することで、働く喜びを分かち合い、私たち一人ひとりと家族が幸福になり、地域社会へ広く貢献していくことが大切だと考えています。そのための実効性ある方法として、健康経営に取組みます。

「経営理念」と「ビジョン」の実現のために健康経営に取り組む

当社の経営ビジョン「グッドカンパニー」は具体的には
**「1.地域社会への貢献　2.社員とその家族の幸福
3.会社の成長発展　事業を通じて安全で快適な生活
環境を創り出し、地域社会の発展に貢献すること」**と定め、それが当社の存在目的です。そのためには、社員一人ひとりが自己の存在価値を自覚し、資質の向上を図り、技術力を身につけていかなければなりません。そのような人材が育ち、「会社」「社員」「地域」が健やかに伸びていく会社こそ「グッドカンパニー」であり、私たちが目指すビジョンです。

各自の「健康目標」を設定し、毎月上司との面談で共有・確認

上記「経営理念」及び「ビジョン」実現のためには、社員一人ひとりが幸福な状態を実感し高めることが必要不可欠です。社員の「心の健康」「身体的健康」「社会的健康」のために、年度始に健康目標を各自が設定し上司との毎月の面談時に共有すると共に実現を推進しています。 YES,イマベップ「素直・みんなで力を合わせる・元気」のスピリッツで働きがいのある職場づくりには、健康経営の取組みが必要不可欠です。職場環境としての心理的安全を保障し、成長を実感できる職場作りを目指します。私たち一人ひとりと家族が幸福(しあわせ)になり、地域社会へ広く貢献していくために、全社員の「社会的にも満たされ良好な状態」の実現を目指し健康経営に取組んでまいります。



2022年５月６日上期社員研修において健康経営勉強会実施
テーマは「働きやすい職場つくり」



2022年２月19日
地域貢献の一環として、
清掃活動を実施しました

安全大会で協力会社ともテーマを共有し、安全・安心・快適な職場環境創りを実践

毎年７月に日頃お世話になっている協力会社の皆さんにも参加いただき、「安全大会」を開催しています。職場や現場での日常的な安全・健康について当社社員と共に考えていただく一日となります。テーマに沿って保健師・保険会社・県警交通課の方に講演をいただきます。「安全なくして繁栄なし」「健康なくして幸せなし」のスローガンの下、安全・安心で快適な職場環境創りを実践しています。年２回発行の社内報「ハーモニータイムズ」においても、健康情報を共有し「健康経営」の取組みが社員の幸福と企業の生産性向上につながると確信しています。

健康経営を通じてSDGsを実践 社員・会社・地域の健康を促進

季節性感染症予防対策として、2018年11月から毎年医師に来ていただき会社施設内で社員及び関連会社・協力会社の方に会社の費用負担制度を活用して予防接種を実施しています。この４シーズンインフルエンザ感染者ゼロを継続中です。わが社は創業以来「環境」をテーマに経営に取組んでまいりました。現在は「SDGs」特にNo.３のテーマを一層意識しつつ、社員と会社・地域の健康促進のためさらに強力に取り組んでまいります。「健康経営」社員の「幸福な状態」の実現を通じて社員にとって健康で楽しく働く事ができ働き甲斐のある職場作りを行い、地域社会への貢献活動にも積極的に取組んでまいります。全社員と会社が成長した証として、2023年度は「ブライト500」を目指します。

地域社会への貢献に、社員一人ひとりが積極的に取り組んでいます

2021年11月20日鹿児島県植樹祭に際し苗木の贈呈と共に16名の社員が参加。地域への感謝の気持ちで苗木を植え、緑化の推進に貢献しました。



1202

鹿児島県
川薩営業所

Voice Report 120th

株式会社ユタカ産業



代表取締役社長
山口竜二 氏

お客様第一で質の高いサービスを提供するために「健康経営」！

- 代表取締役社長　山口竜二 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県いちき串木野市
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業
- 従　業　員　数　30名(男性:26名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

現会長芳田明は創業当時から【健康なくして安全なし】をモットーにおき、お客様を第一に考えた会社経営をおこなってきました。今後従業員の一層の高齢化が進む中、従業員に寄り添った会社経営を継続することで、家族が認め勧めてくれる会社の構築を目指します。

健康経営に取り組むきっかけ

当社は創業以来、従業員の「健康」を念頭において経営に取組んでまいりました。従業員一人一人の健康増進に対する取り組みを行おうと思っていた矢先、健康経営優良法人認定制度を知りました。会長は従業員の健康が会社自体の生産性向上に寄与する「健康経営」の考え方と、会社の方針が一致していると感じ、「健康経営」による社員の幸福の実現への取り組みを決意しました。

社員が心身健やかで働ける職場作りを

従業員の平均年齢が50歳ということもあり、1年でも長く楽しく健康で働ける環境作りを目指しています。リクルートに関しても若い方にも安心して働いて頂けるように、福利厚生制度の充実に関し一層力を入れていきたいと思います。具体的に配車係と60代の従業員に対しては、脳ドッグ受診を全額会社負担で導入予定としております。従業員のご家族から『いい会社だね』『他の人にも勧めたい』と言って頂ける、BIGではなくGOODな職場環境作りに励んでいきます。

健康課題に対する取り組み

運輸業では事務や配車等を担当する内勤スタッフとドライバーを中心とする外勤スタッフがいます。もちろん会社にとってどちらも欠かすことは出来ない人財です。健康診断は内勤スタッフは年1回、外勤スタッフは年2回必ず実施しています。2次健診も保健師の方に個別指導して頂き受診率は100%です。保健師と情報共有することで私と社員のコミュニケーションも良好です。しかしながら外勤スタッフ(ドライバー)の食事に関しては、目がいき届かない所もあります。運輸業界全体でも睡眠時無呼吸症候群(SAS)、糖尿病、高血圧がかなり問題視されています。まずは社員の健康意識の向上を図りながら、どのような具体策を行い、改善につなげていくかが今後の課題です。

今後の展望

今後は業界的に難しいと言われている、「週休二日制」に本気で取り組み実現したいと思っています。既に社内では検討段階に入っています。
また健康経営の連続認定を軸にしながら、国土交通省が推進している「ホワイト経営」取得まで見据え、運輸業界の抱える課題解決に先進的に取り組んでいきます。
お客様第一の経営を実行するためにも、従業員に寄り添った経営を継続していきたいと思っています。



当社では、血圧の毎日測定を推進しています



優良法人認定証


当社トラック


当社社屋

小城製粉株式会社



代表取締役社長
能勢勝哉 氏

便利で質の高いサービスを提供するために「健康経営」！

- 代表取締役社長　能勢勝哉 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県薩摩川内市隈之城町
- 主な事業内容　食品製造業
- 従　業　員　数　41名(男性:25名・女性:16名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は企業理念を「全社員が仕事も人生も充実していると感じて働ける至福の企業を日々探求すると共に、食(職)を通じてご縁をいただいた世界中の人々の人生に『幸せと笑顔と健康』を育みます」と定め、世界中の食卓が日本の食文化米粉(ＫＯＭＥＫＯ)で繋がり、人々が手を取り合って輪になって世界がひとつに繋がることを夢見て、世界に和むＫＯＭＥＫＯ作りに取り組み続けます。

健康経営に取り組むきっかけ

当社は明治時代に創業し、お客様のお菓子作りをハード(粉の製造)とソフト(お菓子を作る技術や情報)の両面からサポートして参りました。それを行うために常に会長から社員の誕生日ごとに健康の尊さを伝えておりました。
そんな中、アクサ生命の担当者から健康経営の説明を聞き、当社の考え方と一致しており必要性を感じ、是非とも継続的に取り組もうと決めました。

お客様の喜びのために

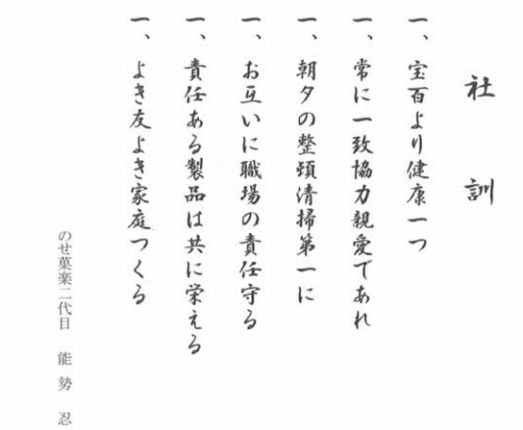
私たちにとって、「お客様との喜びの分かち合い」が何よりの幸せです。お客様の付加価値作りをお手伝いし、お客様に喜んでいただける原料メーカーとして、今後とも品質や衛生面の向上に日々精進し健康に役立つ素材の研究に取り組んでいきます。そのためにも、社員の健康が土台ですので『宝百より健康一つ』を社訓の1つに取り入れ長年大切にしてきました。

健康経営実践の取り組み

まずは、健康習慣Webアンケートを活用し課題の把握を行いました。定期健康診断100％実施はもちろんのこと、保健師と連携し保健指導や特定保健指導実施の機会を設けました。さらに、アクサ生命からのワンポイントアドバイスを朝礼で月１回配布し、社員の意識を高めたり、「職域健康セミナー」により活用できる健康関連のサービスを周知し取り組みに対する動機付けを行っています。

今後の展望

健康であることは充実した生活を過ごすために最も重要なことだと思います。したがって、年齢や部署によって偏りのない健康への意識づくりを目指しています。
健康経営に取り組むことによって意識が徐々に高まっており、実際再検査等の受診も増えてまいりました。今後は身体の健康に加え、心の健康に留意した職場環境づくりに取り組んでいきます。





本社外観



当社製品

1204

鹿児島県
鹿屋営業所

Voice Report 120th

株式会社池田コンサルタント



代表取締役
池田浩藏 氏

「災害の無い県土を築くため」に、社員と共に前進する

- 代 表 取 締 役　池田浩藏 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿屋市笠之原町
- 主 な 事 業 内 容　設計コンサルタント業
- 従　業　員　数　20名(男性:18名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

公共事業の受注・設計を通じて、当社の技術を用いて最高のものを提供する。私たちの設計により交通事故の起きない道路、生活しやすい街、氾濫の無い河川を作り災害の無い県土を築きたい。安全で暮らしやすい健康な街づくりを通じて、社員と住民のウエルビーイングを実現するため健康経営に取組んでいます。業務も健康作りも、当たり前のことを当たり前に改善できる取り組みを継続します。

健康な街づくりのために社員と会社の健康作りに取り組む

社員一人一人の能力向上のため、我が社は人的投資を惜しみません。社員に長く働いてもらい、技術を伴う資格の取得に努め名実共に自他ともに認める社員の技術の習得を常に目指し実現していきたいと考えます。例えば道路では自動車がスムーズに走行できると同時に、歩行者も安全に生活道路として利用できる道路が必要です。走行性・安全性・利便性が最高のものをできるだけ安価に提供できるよう取り組む。そのために技術力のある社員に健康で長く働いていただき、思う存分能力を発揮してほしい。それには一人一人の健康意識の向上と実践が必要なのです。

健康経営で仕事しやすい・生活しやすい・子育てしやすい職場環境を構築

経営が認められている会社は、人が集まり人材の確保も容易となる時代です。私たちは公共事業を受注し、地域のお役に立つことを使命とする会社です。自分たちだけの会社ではありません。地域の雇用にも貢献し、会社も社員も地域の人、そして社会に貢献していく使命があります。同時に財政にとっても優しい会社でなければなりません。これらのことを実現するためには、仕事しやすい生活しやすい子育てしやすい職場にしていく必要があります。難しく考えずに、当たり前のことを当たり前に実行する。昔の人間の考え方、今までの自分のやり方考え方、10年前のものはことごとく通用しない時代です。技術力を武器に時代が求めるニーズに対応し続けてるため、日々前進あるのみです。



2020年４月完成の本社社屋



2022年４月11日　朝礼時の健康セミナーで挨拶する池田社長
テーマは「禁煙」

人生の目標を成し遂げるためにまず健康 健康経営の推進は健診・再健診100%から

社員も社長も皆が幸せになれる会社にするために、健康経営が必要です。何かを成し遂げるためには健康であることが最低条件です。健康経営で社員一人一人の健康を実現し、能力を発揮してほしい。そのためにまずは健康診断の受診です。健診は会社として日程調整の上申込んでいるので、キャンセルも無く受診率100%です。半日の人間ドックを業務の一環として、営業日に実施しています。一人一人の状態を社長が把握し、要再検査者に対しても社長から話すようにした結果再診受診率は飛躍的に高まりました。

適正飲酒・禁煙・食事(栄養)に気を付け、ワーク・エンゲイジメントを高める

焼酎好きな土地柄にしては幸いなことに飲まない社員が多く、適正飲酒は励行されているようです。以前は喫煙者が多くいたのですが、会社内と営業車は全面禁煙とし、タバコはなるべく吸わないでいられるような環境づくりをしています。禁煙者には「健康手当」を支給し、社員全員禁煙を目指す体制としています。遅くなる時は食事も不規則になりやすく、栄養も偏りがちです。そのような時は帰宅後に家族で召し上がっていただけるよう、ホテルで健康に配慮した弁当を準備し家族分持ち帰ってもらっています。地元に働く企業があることは最高のことです。働きやすい、力を発揮しやすい会社としてワーク・エンゲイジメントを高め、誰もが定年まで働きたいと思える会社を作っていきたいと決意しています。

３つの健康作りを推進し 社員のウエルビーイングを実現する会社に成長

社員に給与の心配をさせるようでは経営者として失格です。社員一人一人のウエルビーイングを実現し、社員の健康と共に会社の健康も社長である私の責任です。儲けるだけが会社ではありません。人という基盤があってこその会社です。技術力を持った人材を集め、基盤を整備して次代にバトンタッチできるよう「からだの健康」「こころの健康」「社会的健康」を実現し、生産性向上に日々取り組んでまいります。

1205

鹿児島県
鹿屋営業所

株式会社正栄物流



代表取締役
比良正文 氏

地元の「美味い」を全国にお届けするために健康経営に取組む

- 代表取締役　比良正文 氏
- 本社所在地　鹿児島県曽於郡大崎町持留
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従業員数　23名(男性:23名・女性:0名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 120th

当社の経営理念は、1.お客様に安心と満足を提供し、魅力ある会社作りを目指そう 2.総合輸送品質の維持向上と、安全の確保管理に徹しよう 3.健全で明るい職場にしよう　です。いずれの達成にも「健康経営」による社員のワークエンゲイジメントの向上と、ウエルビーイングの実現が必要です。「健康経営」推進により経営理念を実現し、社員とその家族及び地域社会への貢献を果たしていきます。

社員の体調管理に気を使っているつもりでしたが、「健康経営」を知りこれだと感じました。

地元大崎町の農家が丹精込めて生産した農産物を出荷する手段がなく、困っているのを目の当たりにしました。自分の力で「美味しい食材を全国に発信したい」「生まれ育った地元に恩返ししたい」との思いで起業しました。同時に地元で働く場を提供し雇用にも貢献すると共に、納税を通して地域の発展にも寄与したいと願っています。最高齢は73歳と高齢なドライバーもおり、社員の体調管理には万全を期すつもりでおりました。そのような折り、「健康経営」を知り社員の健康意識を高め、雇用の場を永続的に提供できるようにするために「健康経営」に取り組もうと考えました。

法令基準以上の実践を継続し、健康経営に取り組む。

法令遵守・コンプライアンス最優先は時代の要請でもあり、事業継続の上で必須要件です。法令上走行４時間毎に30分以上の休憩が必要ですが、「健康経営」を進めるうえで法令通りでは不十分と考えています。アルコールチェックも法令で決まる前から、乗車前・乗車後に実施しています。遠方の配送時にはフェリーを利用することで、できるだけ休憩を取るようにすること。夜の走行は危険度も増しドライバーのストレスも高まることから、夜の便はやめ昼積んで昼走るビジネスモデルに切り替えました。配車時には休暇の取りやすいローテーションを組むことを心掛けています。現在燃料費が高騰していますが、それを理由に走らないわけにはいきません。しかしドライバーには燃料代節約ではなく、ストレスのない走行を促しています。



食品を運搬する際は荷物の状態が悪くならないように配慮し、適切な温度を保つことが重要です。当社では冷凍車を導入し、お客様からお預かりした荷物を良い状態でお届けいたします。



事務所入り口に設置された血圧計とアルコール消毒液

「健康経営」がコミュニケーション良化と、健全で明るい職場作りに貢献しています。

「健康経営」に取り組んでから、自動販売機の飲物も無糖の物・お茶・水に切り替えました。鹿児島には「茶一杯(茶いっぺ)」という文化があります。家に来た人には必ず「上ってお茶でも一杯飲んでいきなさいよ」というおもてなし文化です。同時にお茶でも飲んで心を落ち着けて事故を起こさないように、との意味も含んでいます。社員の出社時に小銭を渡して好きな飲物を買ってもらい、一緒に飲みながらコミュニケーションをとるようにしています。事務所入口に血圧計を設置し、毎日出社時に測定しています。血圧から体調の話にとどまらず業務や家族の話題まで広がります。茶一杯と共に、コミュニケーション良化・健全で明るい職場作りに一役買っています。

職業柄社員の健康に気を付ける項目は多岐にわたります。

ドライバーという職業柄、腰痛対策と食事に関し不規則及び弁当が多くなるため栄養の偏りと肥満に気を使っています。喫煙対策は私自身がストレスなく禁煙できたので、社員にも過度なストレスを掛けずに禁煙できるようそっと背中を押しています。栄養を摂取するためには、何でも噛むことのできる丈夫な歯が必要です。社員にはうちでの仕事は「配車と歯医者」が命だと言っています。仕事に出かける日、帰ってくる日に合わせて歯医者の予約を入れ早期の治療と虫歯予防に会社を挙げて取り組んでいます。

社員のウエルビーイング実現により、確実な輸送でお客様と地元に恩返しします。

鹿児島県は第一次産業産品出荷額が5,000億円を超え、北海道に次いで全国第２位です。中でも農業・畜産業の盛んな地元大隅半島・大崎町は、日本の食糧基地であると自負しています。この地元が誇る食材を日本全国に「安心」「安全」「迅速」確実にお届けする輸送の実現のために「健康経営」を推進し、社員一人ひとりのウエルビーイングを実現していきます。ウエルビーイングな社員がいることで魅力ある会社となり、健全で明るい職場を全員の共同作業で構築し、お客様と地元に恩返しをしてまいります。

1206

鹿児島県
鹿屋営業所

Voice Report 120th

森山事務機販売株式会社



代表取締役社長
森山正樹 氏

「未来ある子供たち」のために健康経営で事業を発展

- 代表取締役社長　森山正樹 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿屋市札元1
- 主な事業内容　文房具・事務用品卸業
- 従　業　員　数　5名(男性:2名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

創業75年を迎える３代目です。地域に根差した唯一の専門店として、大隅半島一円の学校に事務用品を納めています。IT化・デジタル化の進展は著しいものがありますが、生徒・学生が実際に自分の手で書くという行為はとても重要です。未来を担う子供たちに文房具・事務用品をお届けする使命を果たすためにも、従業員の健康意識を高め事業を継続・発展させていく重要性を実感しています。

きっかけは所属する会の青年部による、独自の健康宣言取組みでした。

所属する鹿屋・肝付地区の会の青年部78社で特色ある取組みにチャレンジしようと、独自の健康宣言作りをしました。コロナ禍で取り組めない、何もできないではなく仲間で活動の柱にしようとの思いで進めました。毎月の例会で講演や事例発表を聞き新しい取組みや知らない事を学びました。進んだ取組みをしている仲間から学びあい、お互いを高めあう事で従業員の健康意識の向上と健康作りを推進し、生産性向上へとつなげる取組みを実行しました。仲間と共に取組んだのが継続できた大きな要素だったと思います。

ワークライフバランスに配慮し今までできなかった定休日を設けました。

朝礼時にワンポイントアドバイスの読み合わせを行い、健康意識の浸透を図りました。社員に対し健康診断は就業時間内に必ず受診するよう促し、受診率は100%です。従業員の残業は元々なかったのですが、業務上定休日を設けることが困難でした。今年４月より第３日曜日を定休日とし、ワークライフバランスにも配慮した働き方改革を勧めました。社員からは定休日と前後して今まで取得しにくかった連休が取りやすくなったと概ね好評です。社員には学校行事などにも積極的に参加し、働きやすい職場にしていきたいと願っています。小学２年生時の職場見学、中学２年時の職場体験に協力すると共に、地域の子供たちに親しみやすい職場環境を考えています。



2022年 ４月
リニューアルオープンした新店舗
カラフルな外観が話題となり
子供たちのフォトスポットにも
なっています。



朝礼時に健康経営ワンポイント
アドバイスを使用して、
ミニ健康セミナー実施
講師は森山社長
テーマはベジファースト

リニューアルオープンで頑張ってくれた社員に対し、物心両面で報いたい。

本年４月に店舗をリニューアルオープンしました。店舗を子供たちの写真撮影可能とし映えて話題となるように外装も工夫し、自分でデザインを考えました。社員には超多忙な時期となりましたが、会社のためによく頑張ってくれました。昼食時間もままならない時もありましたので、ヘルシーなお弁当を用意したりもしました。夜遅くまで頑張ってもらった時は、ヘルシーな晩御飯も準備し少しでも気持ちよく働いてもらうように努めました。
リニューアルの繁忙期が一息ついたところで、慰労会を開催し社員の労に感謝しました。

自分自身の健康作りを、押し付けないように社員にも浸透させたい。

健康経営を進めるためには、まず社長である私自身が健康であることが必要と考え健康作りを率先垂範しています。飲み物は鹿児島のお茶が好きと言う事もありますが、体に良い緑茶しか飲みません。食べ物では特に外食時には気を付け、ベジタブルファースト・タンパク質を多く摂る・豆類を摂ることに気を付けています。自分の取組みを社員にさりげなく話したり見せたりして、押し付けにならないように健康作りを促しています。休日にはなるべく運動をするように心がけ、保育園の子供とのウォーキング大会には欠かさず参加しています。

ワークエンゲイジメントを高め会社の成長と共に、地域の子供たちに貢献していきたい。

IT化・DX推進は販路拡大のチャンスと捉えています。現在店舗での売り上げが３割、私の営業とネット販売が７割です。特にネット販売は人手を掛けずに売り上げ増大が期待でき、可能性は無限大です。それができるのも、店舗の売り上げという基盤があってこそです。店舗を支えてくれるのは社員ですから、ワークエンゲイジメントを高め健康でイキイキと働く職場環境は重要です。将来は地域貢献として、将来の地域を担う子供たちに、文具を通して学ぶ楽しさを伝えていきたいです。例えば自分専用の万年筆のインク創りなど、楽しく参加できるものを開催していきたいと考えています。

1207

鹿児島県
鹿屋営業所

株式会社宇都電設



代表取締役
宇都健三郎 氏

全社員の「幸福」の元でありたい
社員は地域社会に貢献すること

- 代 表 取 締 役　宇都健三郎 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿屋市白崎町
- 主 な 事 業 内 容　電気工事業
- 従　業　員　数　24名(男性:22名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 120th

お客様及び地域社会との共栄を目指し、また電球一個からをモットーに地域を明るく照らす、その思いを一貫することが当社存立の意義であるとの考えに基づいたとき、なにより社員が健康であることこそ良い仕事ができるとの思いに至り、2020年健康経営優良法人の認証を取得しました。
『心して取り組め』の社是を軸に、お客様信頼度No.1を目指し実現いたします。

健康経営に率先して取り組み、創意と工夫で社員に自ら参加してもらう。

社是「心して取り組め」は、できるかできないかではなく、どうせするなら私がしますと腹をくくるという意味です。健康経営に取り組もうと決めた時も、私自身が模範となる必要があると考えウォーキングを始め、10カ月で10キロの減量に成功し現在も維持しています。当初導入した歩数競争もグループ対抗戦として継続しております。上位５名の表彰は社長である私を外して行っていましたが、私も表彰対象とすることで、良い意味で社長に勝ってやろうとの遊び心も取り入れ、楽しみながら継続しています。歩数はソフト会社に特注した業務報告ソフト「レポウト」で業務として報告しています。

社員と本気で向かい合い、社員の健康も幸福も実現する。

ラジオ体操は毎朝の朝礼時に、全員が声を出して行っています。元気な方が病気となり声を出せない姿を見てきた経験から、声を出すことのできる喜びを日々感じてほしいとの思いで始めました。健康診断で要チェック者には、協会けんぽから保健師さんに来て頂き時間内に面談を実施しています。要再診者で２～３回言っても再診に行かない社員には、強制的に行かせました。社員からは「社長の本気度が伝わった。そこまで言ってくれて嬉しい。」と言われました。社員は社長の本気度を試していることを改めて学びました。アクサ生命から毎月頂くワンポイントアドバイスも、給料袋に入れて一人一人に心を込めて手渡ししています。伝わってこそ情報・行動してこそ情報だと考えていますので、ワンポイントアドバイスの内容が伝わり社員の行動変容につながるよう心を込めて渡しています。



2022年6月7日　全員でラジオ体操を実施後、朝礼時に「健康経営」と「禁煙」に関して話される宇都社長



新社屋内に設置した「健康部屋」と名付けたトレーニングルーム
社員も活用しています

社員とその家族の健康・幸福とともにウエルビーイング経営を実現していきたい。

ワークライフバランスへの取り組みも重要と考え、前期に新たに社員を２名採用し残業の減少・有休取得にも取り組みました。帰宅時間は相対的に改善できています。ただどうしても土日に来てほしいというお客様もいらっしゃることが大きな壁となり、完全週休２日制はまだ実現できておりません。社員とのコミュニケーション良化と社員を支えてくれる家族のために、社員と配偶者・子供・親御さんの誕生日にはプレゼントをしています。先日数年ぶりにお会いした社長から、「教えてもらった社員への誕生日プレゼントのおかげで、退職する社員がいなくなった」と感謝され大変嬉しく思いました。

ワークエンゲイジメントの高い社員と共に、お客様にも地域にも貢献する会社でありたい。

素直な人が人生の勝利者となるとの信念でやってきましたが、何事も一気呵成にはまいりません。やり続けることで良かったと感じる事が多いのも事実です。社員には「会社がいつまでもあると思うな」と言っています。もちろん会社は永続させるつもりですが、他社でも評価される人財であってほしいとの願いからです。人から言われてやっとスイッチが入るようではダメです。社員の心のスイッチが自分で入れられるよう、ワークエンゲイジメントの高い社員を育成していきたいと考えています。お客様からも地域からも必要とされ、なくては困る社員であり、会社でありたいと願っています。

健康経営で社員と共に、お客様・地域との共栄を目指す。

ボイスレポート200号にも掲載頂き、その際新社屋を作りルームランナーやバイク・筋トレ器具を設置し健康部屋を作りたいと申しあげました。本年２月に新社屋が完成し、念願の「健康部屋」を設置することができました。有言実行でき良かったと思います。一番熱心に活用している社員は毎日業務後に30分継続使用し、２カ月で３キロの減量に成功しました。これからも事業を継続し、雇用を守り納税によっても地域の健康に貢献していく決意です。その実現のため「健康経営」に取り組み、社員と共にお客様及び地域社会との共栄を目指してまいります。

1208

沖縄県
那覇営業所

Voice Report 120th

有限会社浅海技術



代表取締役社長
屋宜宣久 氏

社員の健康こそ企業の財産

- 代表取締役社長　屋宜宣久 氏
- 本 社 所 在 地　沖縄県那覇市首里末吉町4-5-20
- 主な事業内容　調査業
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は、平成とともに創業し2018年に30周年を迎えました。那覇市繁多川で創業して以降、コンサルティング業務をはじめ、測量業、レーダー探査、磁気探査業務へと事業を展開して参りました。
磁気探査業界におきましては、今なお多くの不発弾が発見されており、県民の皆様の暮らしの安全を守る重要な役割として期待されてきました。弊社は、これからアジアの中心として大きく発展を遂げる沖縄県に貢献するという使命を果たし続けていかなければなりません。迅速、確実な業務遂行をモットーに、これからも変わらず沖縄県に貢献して参ります。

健康経営ってなんだ？からのスタート！

二年前、アクサ生命の担当者様から健康経営優良法人認定事業のお話を伺った際は、沖縄という土地柄も相まって健康経営をまったくもって知らない状態でした。事業の詳細を知るにつれ、企業として社会的意義の大きい取り組みだと認識したこと、また当時から意識せず行っていた取り組みもあったことからもう少し頑張って認定を受けよう、というのが始まりでした。
当時から少数精鋭の零細企業であったため、社員一人ひとりが替えのきかない大切な存在でした。健康経営の施策を進めていくなかで「企業は社員の健康があってこそ」だと改めて感じました。幸い弊社の社員は大病を患うことはこれまでにありませんでしたが、これからも健康経営の施策を通じて健康で元気に働いてほしいと思っております。

受動喫煙の防止に向けて

弊社敷地内は完全禁煙となっており、喫煙者にとっては過ごしにくい環境となっております。幸い現在喫煙者は在籍していませんので、肩身の狭さを感じている人はいないと思われます。今後喫煙者を採用した際にも、受動喫煙を防止するため変わらず同じ施策をとって参ります。





会社備え付けの血圧計と
従業員へ無償提供の飲料（お茶、無糖）

認定に向けての取り組み

健康経営を行うにあたってまず一番に行ったのは健康習慣のアンケートでした。従業員は健康に過ごしているものだと思っていた経営陣は真っ赤な結果に当初は非常に驚きました。
まず取り組んだのは飲み物の習慣です。当時、従業員が会社で気持ちよく働けるよう飲み物を無償で提供していました。提供している飲み物の中には水やお茶のほか、清涼飲料水や炭酸飲料などもありました。仕事の疲れを癒すための甘い飲み物も塵も積もれば山となるということでアンケートを確認してすぐに廃止し、現在では無糖飲料のみの提供となっています。
その結果一年後のアンケートには飲み物への健康意識が見違えるほど高くなりました。決して短くない時間を過ごす会社での健康経営の施策は、従業員の意識に大きく影響を与えるのだと改めて気づきがある取り組みでした。

今後の展望

新型コロナウイルスによって、私達の生活は大きく変わり、社会では「健康」が強く求められるようになりました。
企業としても改めて社員一人ひとりの健康が事業の発展に必要であると強く感じております。まだまだマンパワーを要する業種であるからこそ、多くの時間を過ごす会社での時間が少しでも健康に寄与できるよう弊社ではこれからも様々な取り組みに挑戦し変革を進めて参ります。


認定証
法人名　有限会社浅海技術

www.axa.co.jp

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020　東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777（代表）

www.axa.co.jp/

Form No.0X0617(1.0) AXA-A2-2211-1550/C0T 2022.12.15